

地方自治体職員を対象とした洪水対策に関する意識調査  
報告書

2005年3月



# 地方自治体職員を対象とした洪水対策に関する意識調査報告書

## 目次

1. 調査の概要	
1.1 調査の目的	1
1.2 調査対象と配布・回収状況	1
1.3 調査票の構成	1
1.4 集計に用いる属性	1
2. 対策の実施状況	
2.1 設問内容の構成と集計結果	3
2.2 各設問項目の属性別集計結果（河川管理担当部署）	5
2.3 各設問項目の属性別集計結果（危機管理担当部署）	13
3. 自治体における洪水対策と河川整備に関する課題に関する集計結果	
3.1 設問内容の構成と集計結果	21
3.2 各設問項目の属性別集計結果（河川管理担当部署）	25
3.3 各設問項目の属性別集計結果（危機管理担当部署）	46
4. 治水施策の課題に関する集計結果	
4.1 設問内容の構成と集計結果	67
4.2 各設問項目の属性別集計結果（河川管理担当部署）	69
4.3 各設問項目の属性別集計結果（危機管理担当部署）	77
5. 自治体における河川行政上の課題に関する集計結果	
5.1 設問内容の構成と集計結果	85
5.2 各設問項目の属性別集計結果	86
6. 河川管理における今後の対策の必要性に関する集計結果	
6.1 設問内容の構成と集計結果	111
6.2 各設問項目の属性別集計結果	112

7. 危機管理における緊急対応時の課題	
7.1 設問内容の構成と集計結果	132
7.2 各設問項目の属性別集計結果	133
8. 危機管理における平常時の課題	
8.1 設問内容の構成と集計結果	144
8.2 各設問項目の属性別集計結果	145
9. 危機管理における対策の実施効果	
9.1 設問内容の構成と集計結果	152
9.2 各設問項目の属性別集計結果	153
10. 危機管理における今後の対策の必要性	
10.1 設問内容の構成と集計結果	165
10.2 各設問項目の属性別集計結果	166
11. 危機管理対策における所属組織の措置、他組織との連携体制、住民の防災対策	
11.1 設問内容の構成と集計結果	175
11.2 各設問項目の属性別集計結果	176

## 付録

河川管理担当部署行政職員対象調査票  
危機管理担当部署行政職員対象調査票

## 1. 調査の概要

### 1.1 調査の目的

本調査は、地方自治体における洪水対策、河川管理、危機管理における課題について、地方自治体職員の意識をもとに把握することを目的として実施している。

### 1.2 調査対象と配布・回収状況

調査は全国の市（区）町村自治体（調査時点 3238 自治体）の河川管理を担当する部署における行政職員、及び自然災害に関する危機管理を担当する部署における行政職員を対象とし、郵送配布・郵送回収によって行った。調査票は 2003 年 2 月 13、14 日（遠方地域には 13 日、その他は 14 日）に送付し、3 月 24 日に回収を打ち切った。回収率は河川管理担当部署 40.4%（1309/3238）、危機管理担当部署 46.4%（1519/3238）であった。

調査票は各自治体に送付し、河川管理を担当する部署、自然災害時において緊急対応を担当することになる部署にそれぞれの調査票が 1 票ずつまわるように依頼した。また役職に関係なく当部署に配属されてから最も長く所属している職員が回答するように依頼し、回答部署・回答者の選出は各自治体・各部署に委ねた。また各担当の部署が重なる場合には、当部署において別々の回答者になるように依頼した。

### 1.3 調査票の構成

調査票は、河川管理担当部署の行政職員を対象とした調査票、危機管理担当部署の行政職員を対象とした調査票において共通する設問項目と、各担当部署のみを対象とした設問項目がある。また設問においては、自治体において実施している対策の状況を尋ねた設問項目と、各回答者の意識を尋ねた設問項目に分けられる。

### 1.4 集計に用いる属性

本報告で集計する属性を表 1-1 に示す。回答者個人の属性として、年齢、災害対応経験、自宅被災経験別に集計している。自治体の属性としては、被災実績、自治体規模、地域別に集計している。

回答者個人の属性（年齢、災害対応経験、自宅被災経験）については、調査票の回答結果より把握した。また自治体の属性において、自治体被災実績については、水害統計（平成 10 年版：建設省河川局発行、平成 11 年～14 年版：国土交通省河川局発行）を用いて、調査時点より過去 5 年における各自治体の浸水被害の被災回数を各年毎に把握した（農地のみの被害については対象から除外している）。自治体規模については、各自治体の 2003 年 3 月末現在の人口を用いて分類した。地域については、北海道地方（北海道）、東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）、関東地方（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）、北陸・信越地方（新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県）、中部地方

(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)、近畿地方(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)、中国地方(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)、四国地方(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)、九州・沖縄地方(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮城県、鹿児島県、沖縄県)のように、47都道府県を9地域に分類している。

なお「2. 対策の実施状況」においては、各自治体の対策の実施の有無と個人の属性とは関連の薄いと考えられるので、属性別の集計結果は自治体属性別のみを示している。その他の章では全体の集計結果とともに、個人属性別、自治体属性別の集計結果を示している。

表 1-1 集計に用いる属性の概要

<b>【回答者属性】</b>	
年齢別：	①30歳以下，②31～40歳，③41～50歳，④51歳以上
災害対応経験別：	①ある，②ない
自宅洪水経験別：	①とくになし，②床下浸水，③床上浸水、全壊・流失
<b>【自治体属性】</b>	
被災実績別：	①0回，②1回，③2回以上
自治体規模別：	①1万人未満，②1万～3万人未満，③3万～10万人未満， ④10万人以上
地域別：	①北海道地方，②東北地方，③関東地方，④北陸・信越地方， ⑤中部地方，⑥近畿地方，⑦中国地方，⑧四国地方， ⑨九州・沖縄地方

参考資料

- 1) 平成14年版水害統計：国土交通省河川局河川計画課編、2004年3月国土交通省河川局発行
- 2) 平成13年版水害統計：国土交通省河川局河川計画課編、2003年3月国土交通省河川局発行
- 3) 平成12年版水害統計：国土交通省河川局河川計画課編、2001年12月国土交通省河川局発行
- 4) 平成11年版水害統計：国土交通省河川局河川計画課編、2001年2月国土交通省河川局発行
- 5) 平成10年版水害統計：建設省河川局河川計画課編、2000年1月建設省河川局発行

## 2. 対策の実施状況

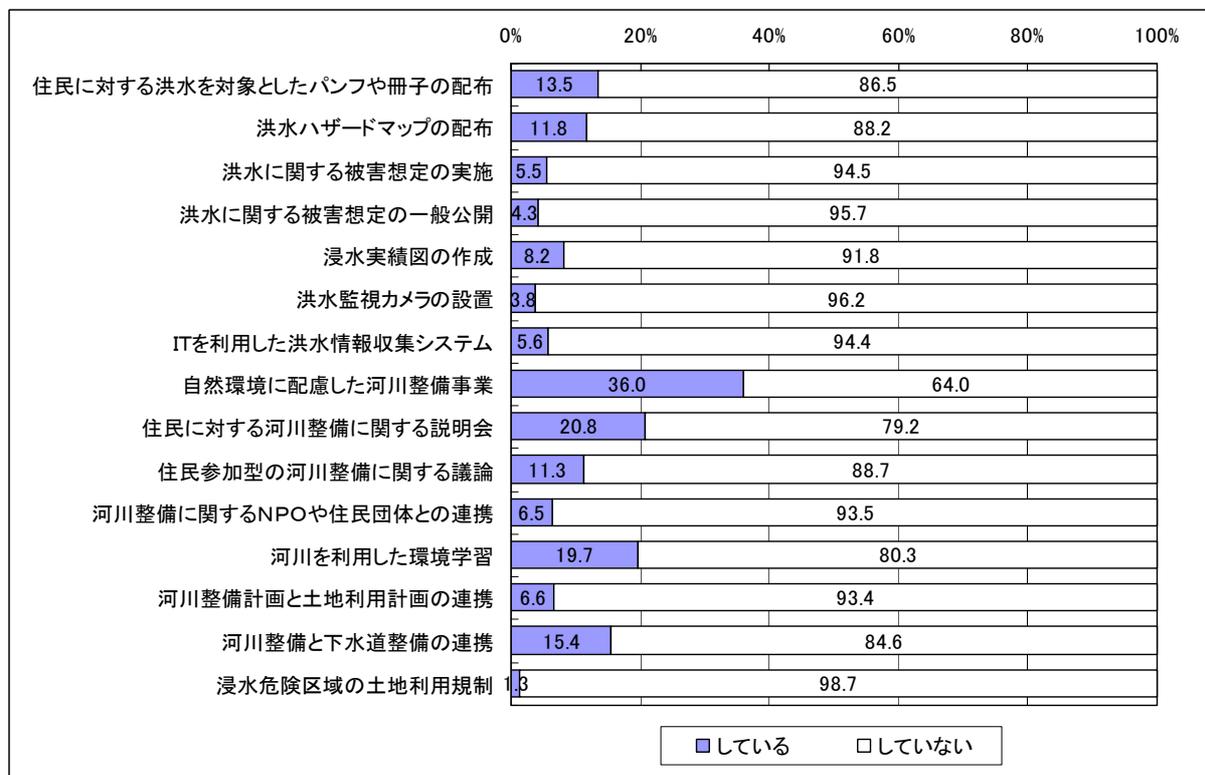
### 2.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、各自治体の対策実施状況について、河川管理担当部署及び危機管理担当部署の行政職員に尋ねた内容である（河川管理担当部署対象調査票：問5、危機管理担当部署対象調査票：問7に対応）。河川管理担当部署、危機管理担当部署それぞれの集計結果を以下に示す。

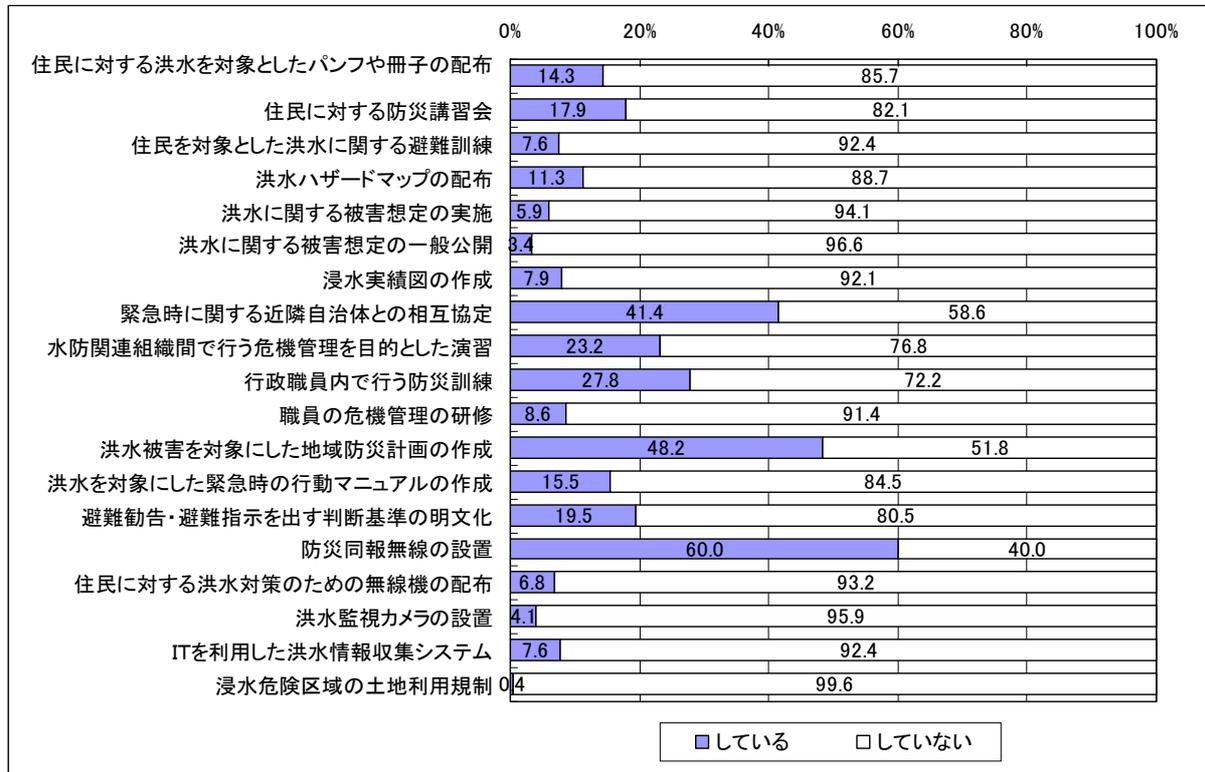
#### 【設問内容】

次の中から、あなたの自治体で現在実施している項目のすべてに○印をつけてください。

#### (1)河川管理担当部署全体の集計結果 (n=1190)

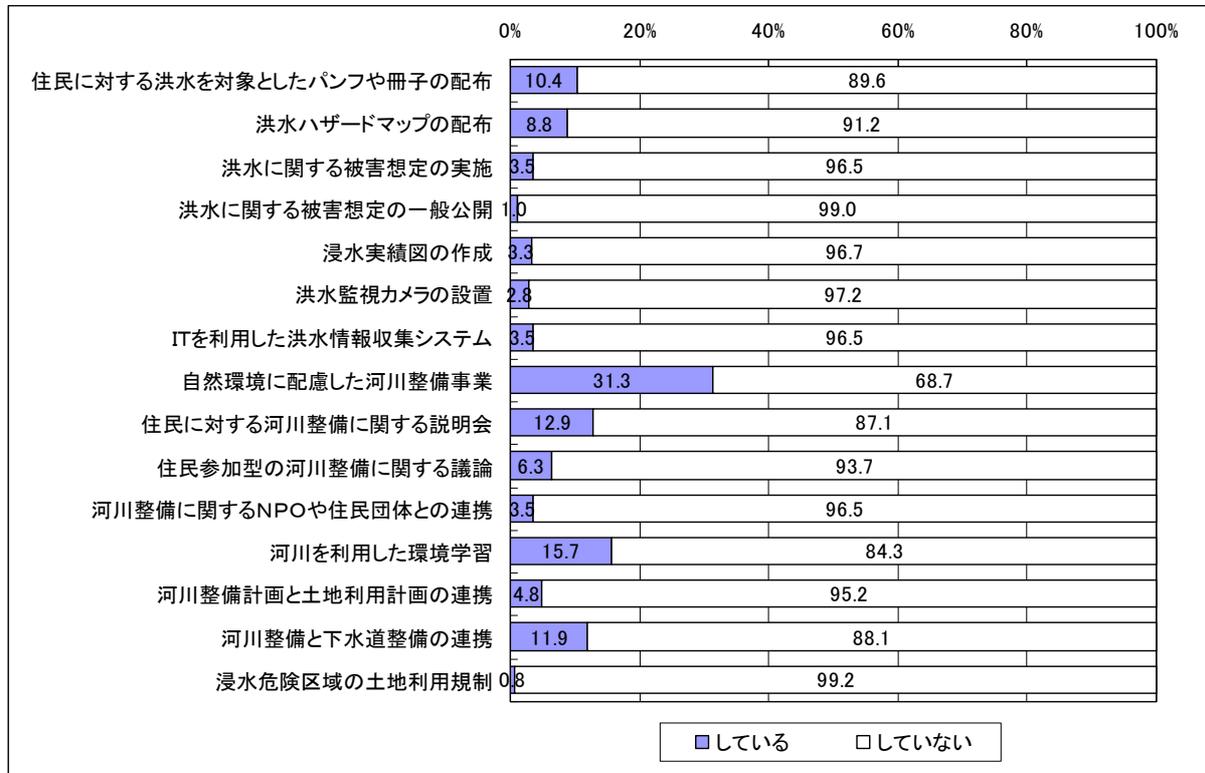


(2)危機管理担当部署全体の集計結果 (n=1480)

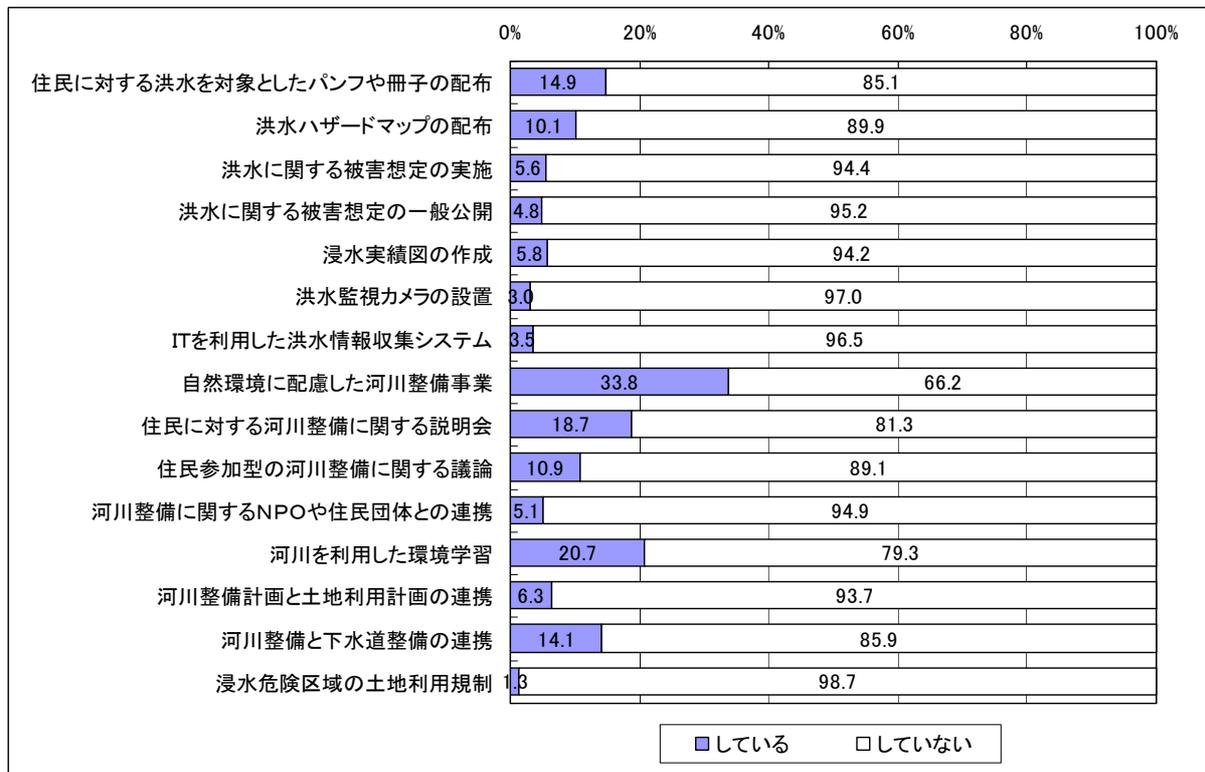


## 2.2 各設問項目の属性別集計結果（河川管理担当部署）

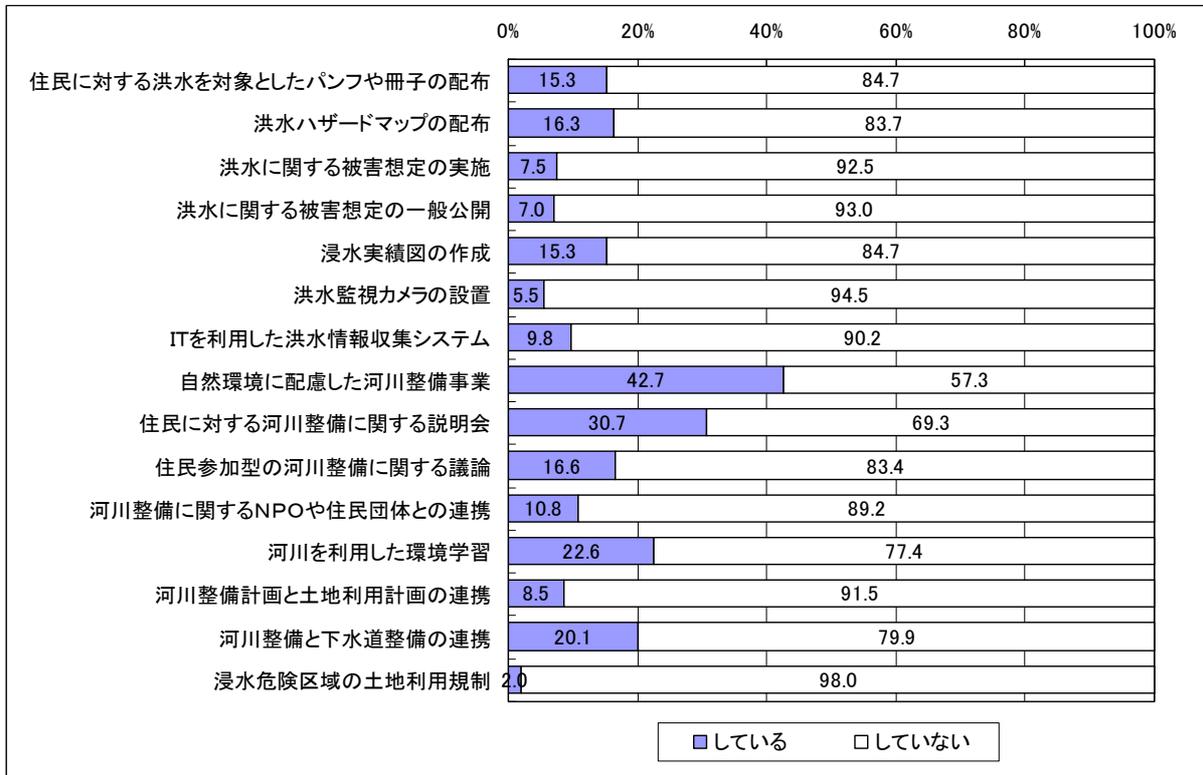
(1)被災実績別：0回（n=396）



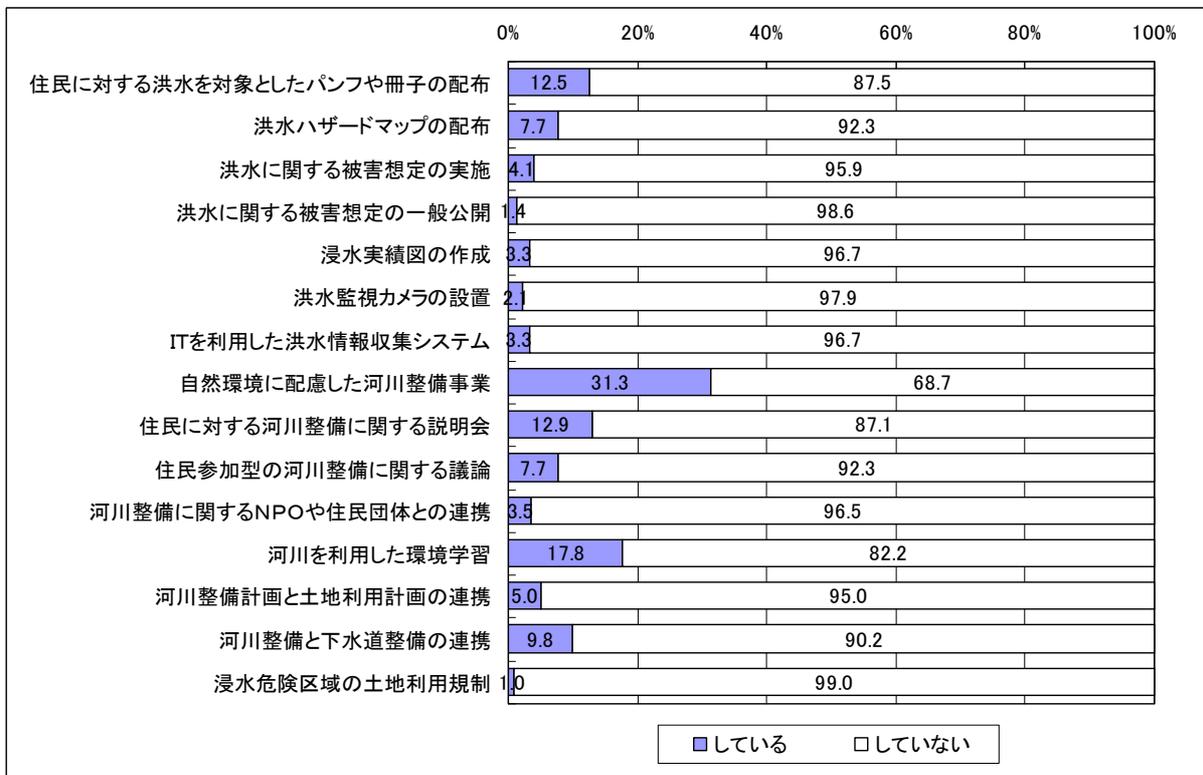
(2)被災実績別：1回（n=396）



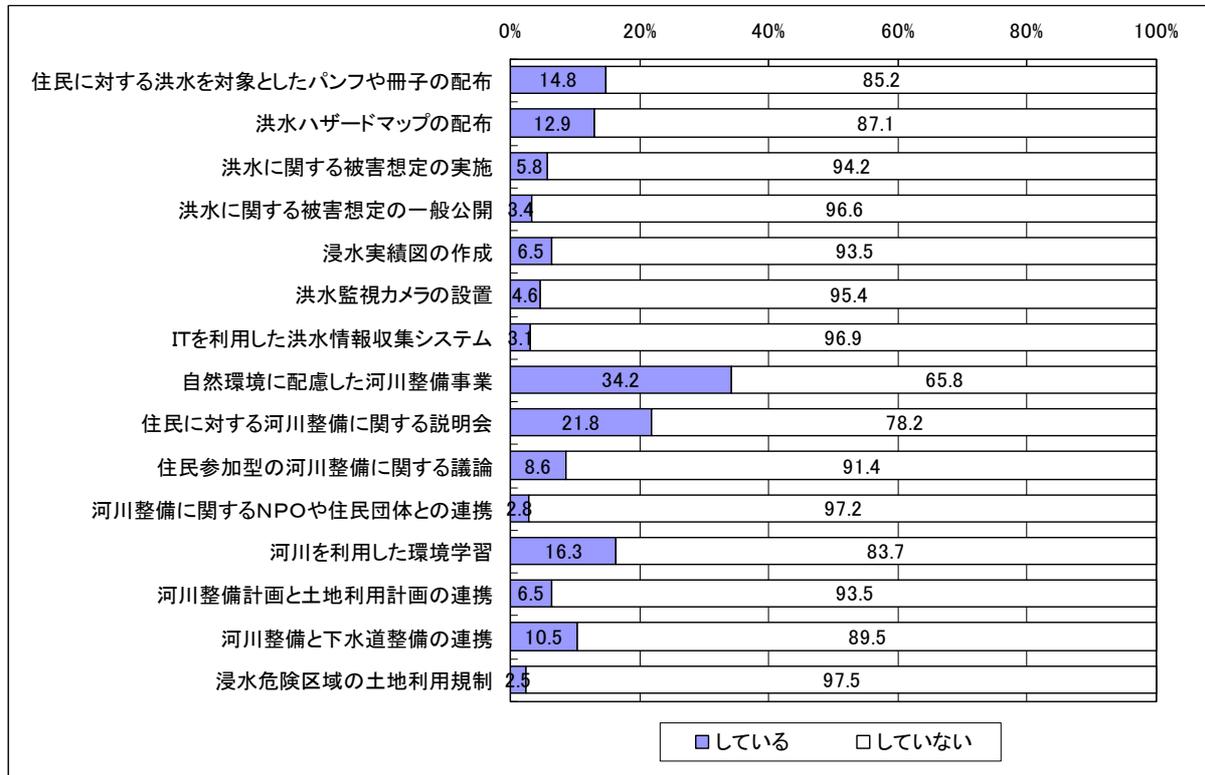
(3)被災実績別：2回以上 (n=398)



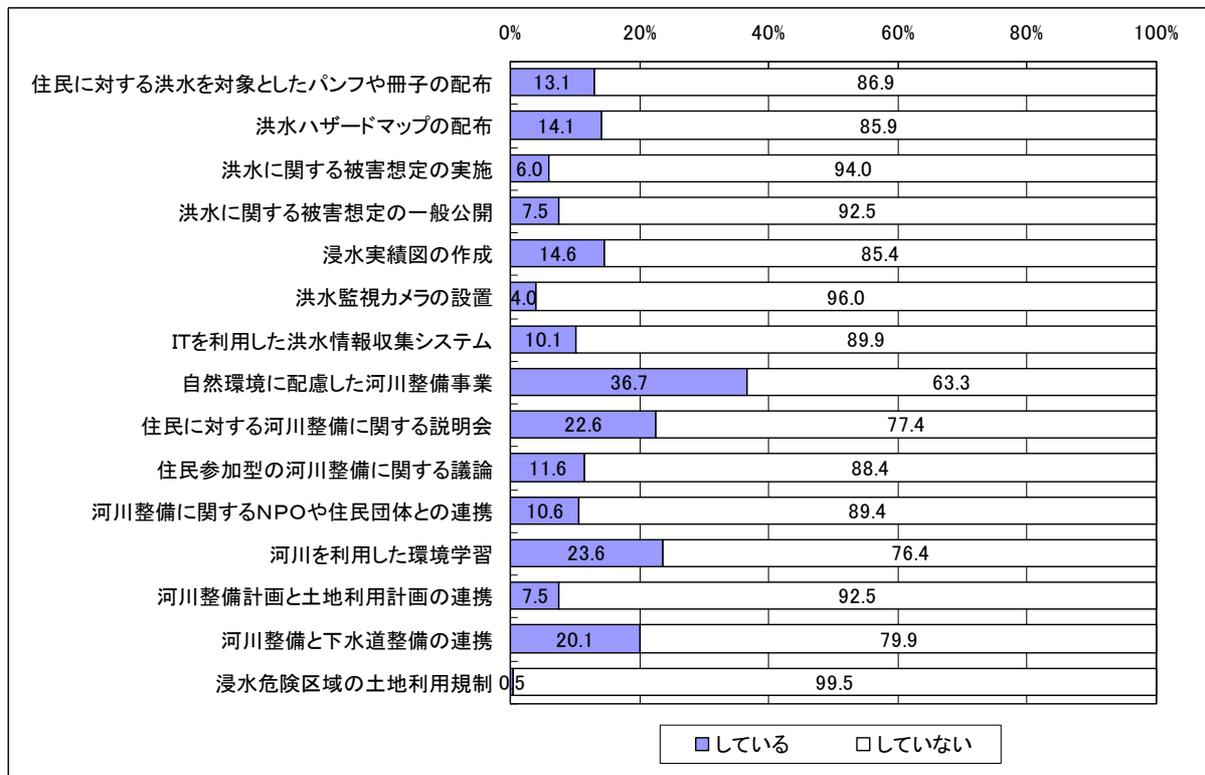
(4)自治体規模別：人口1万人未満 (n=518)



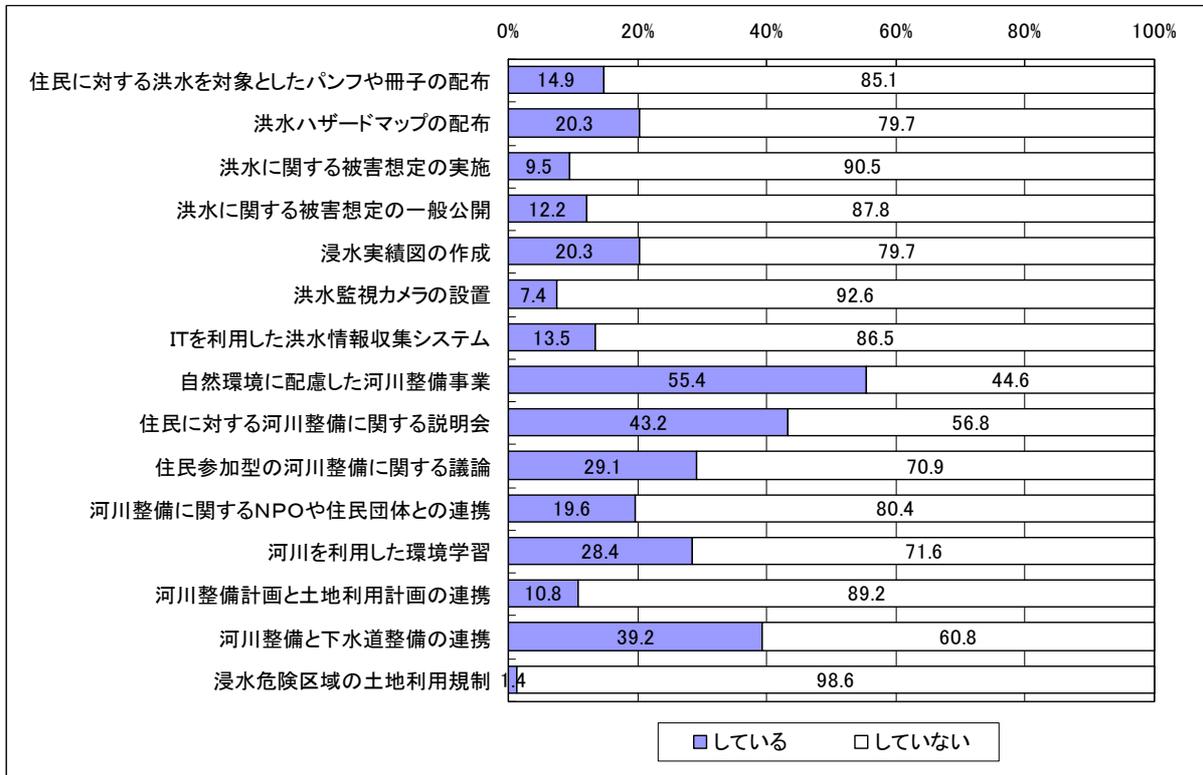
(5)自治体規模別：人口1万～3万人未満 (n=325)



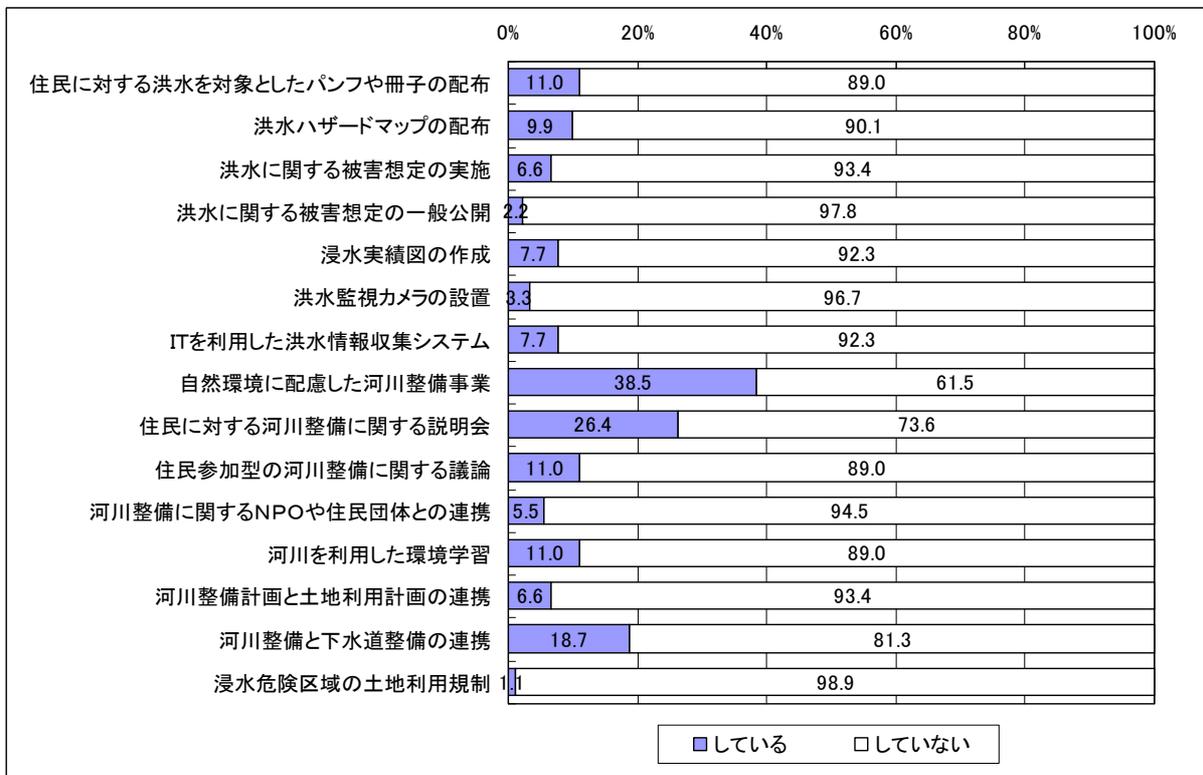
(6)自治体規模別：人口3万～10万人未満 (n=199)



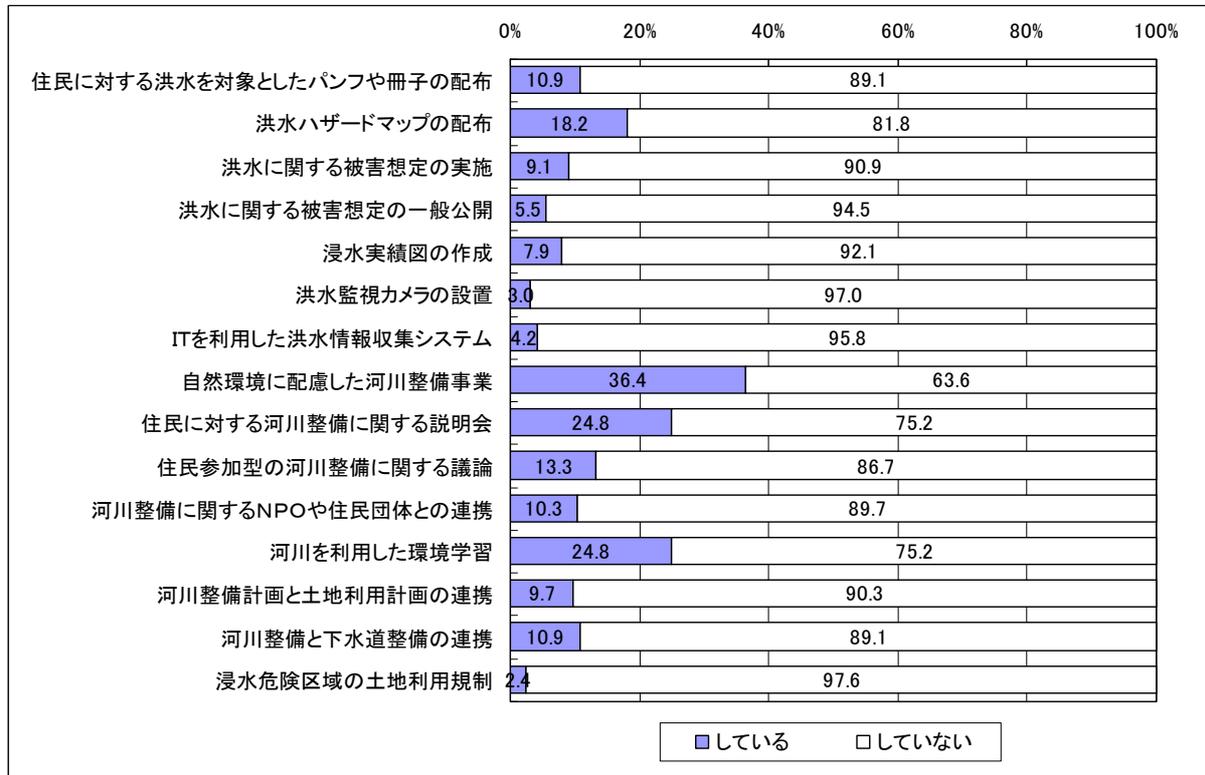
(7)自治体規模別：人口 10 万人以上 (n=148)



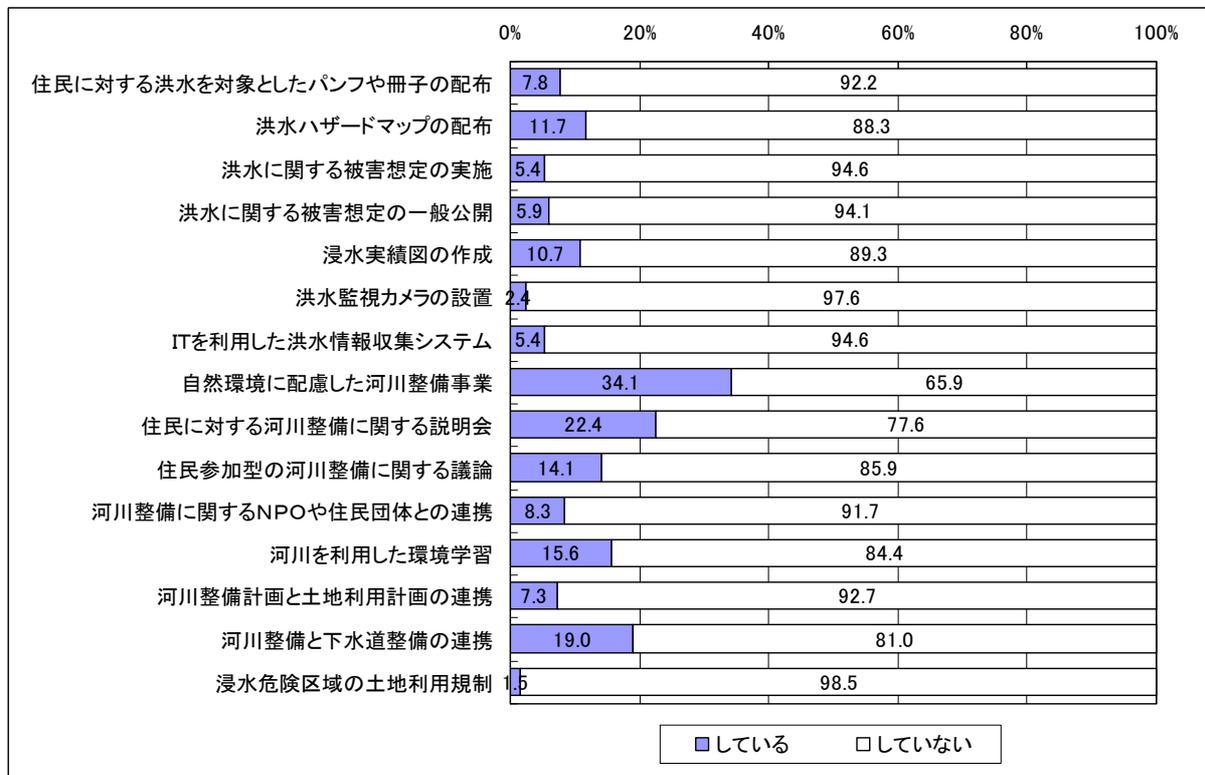
(8)地域別：北海道地方 (n=91)



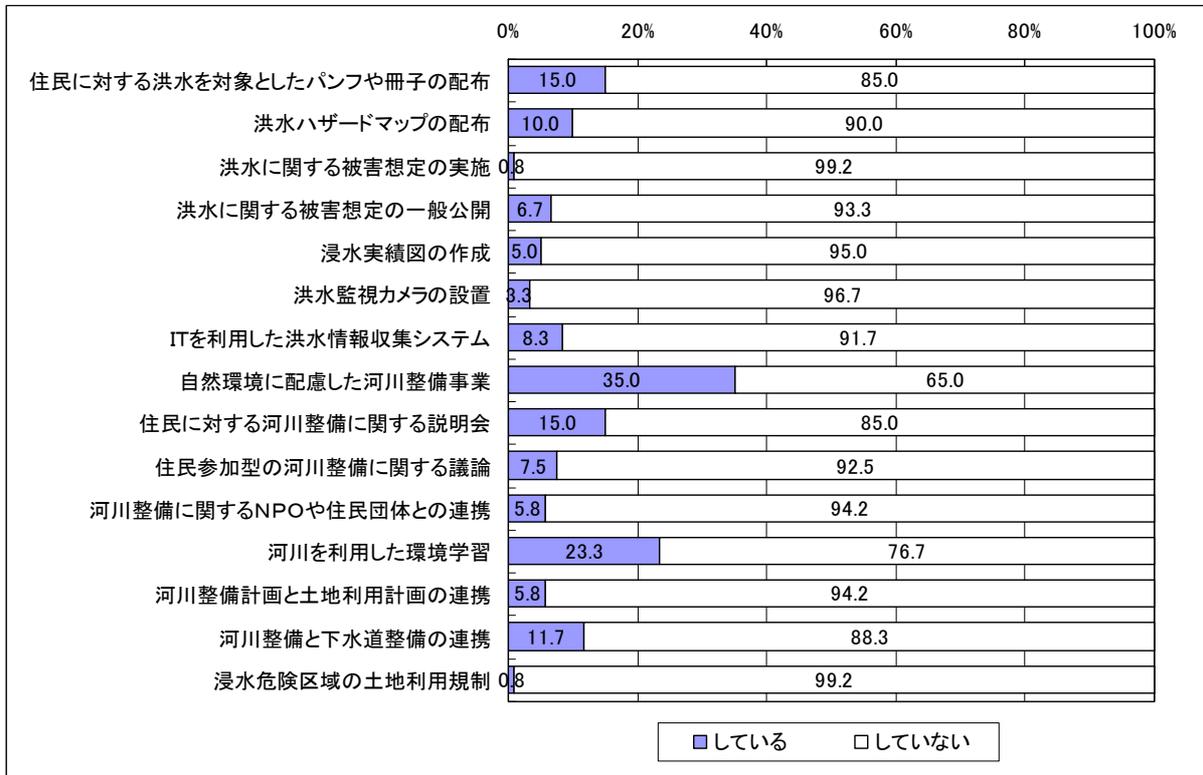
(9)地域別：東北地方 (n=165)



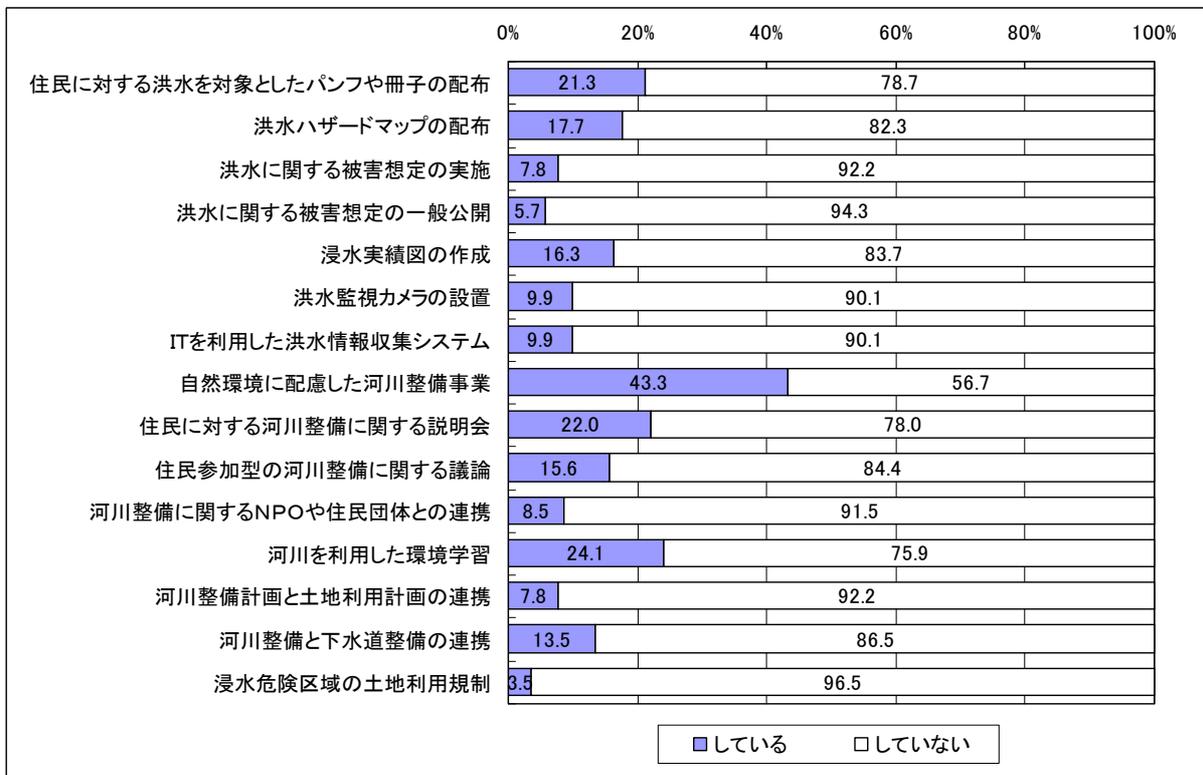
(10)地域別：関東地方 (n=205)



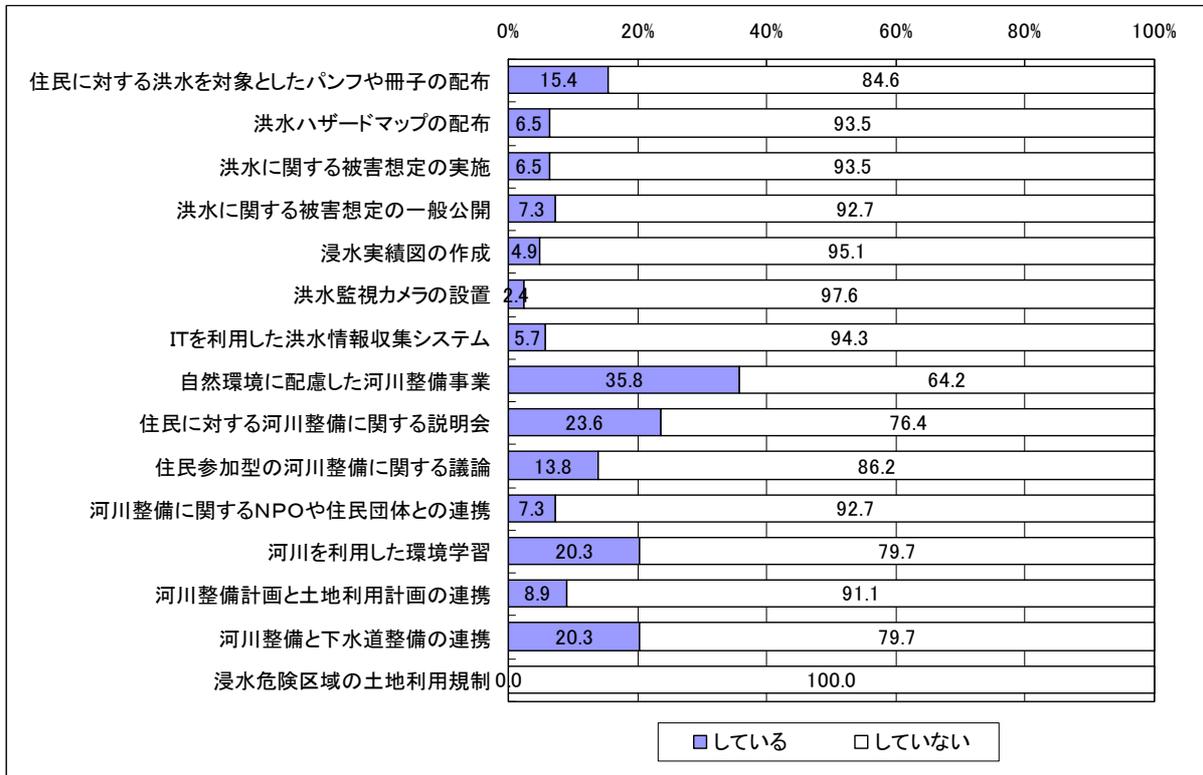
(11)地域別：北陸・信越地方 (n=120)



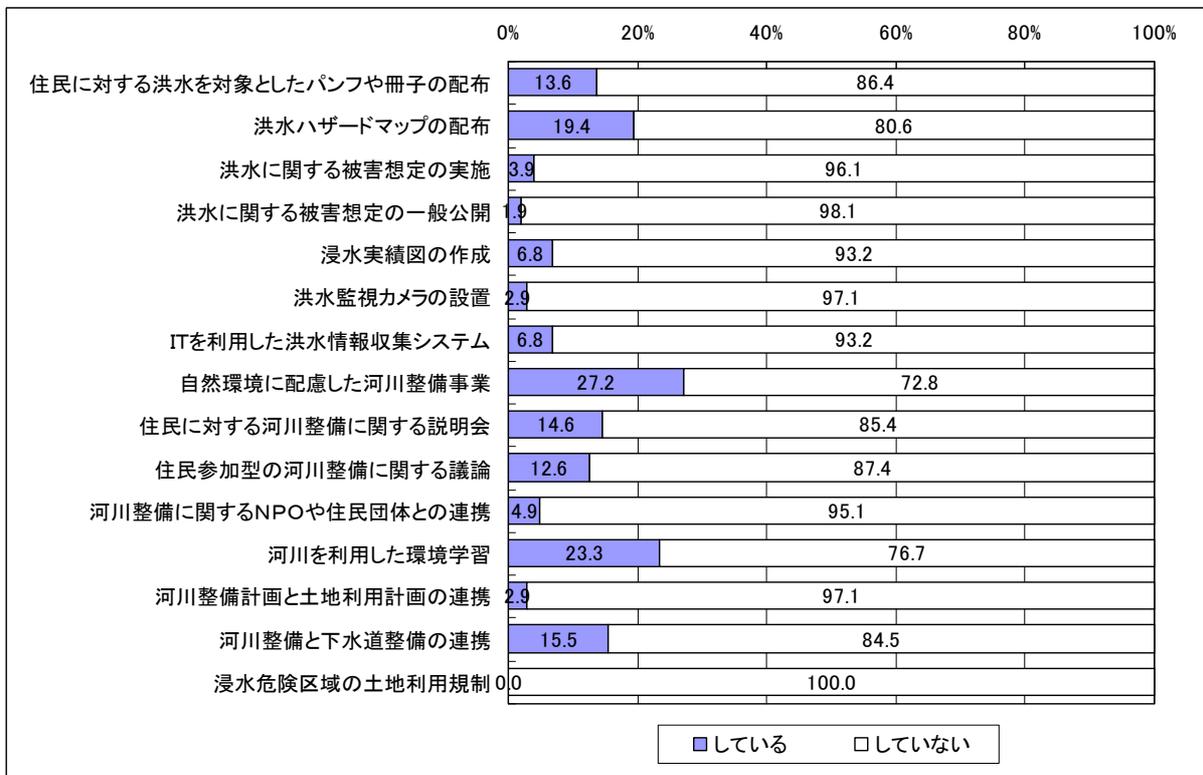
(12)地域別：中部地方 (n=141)



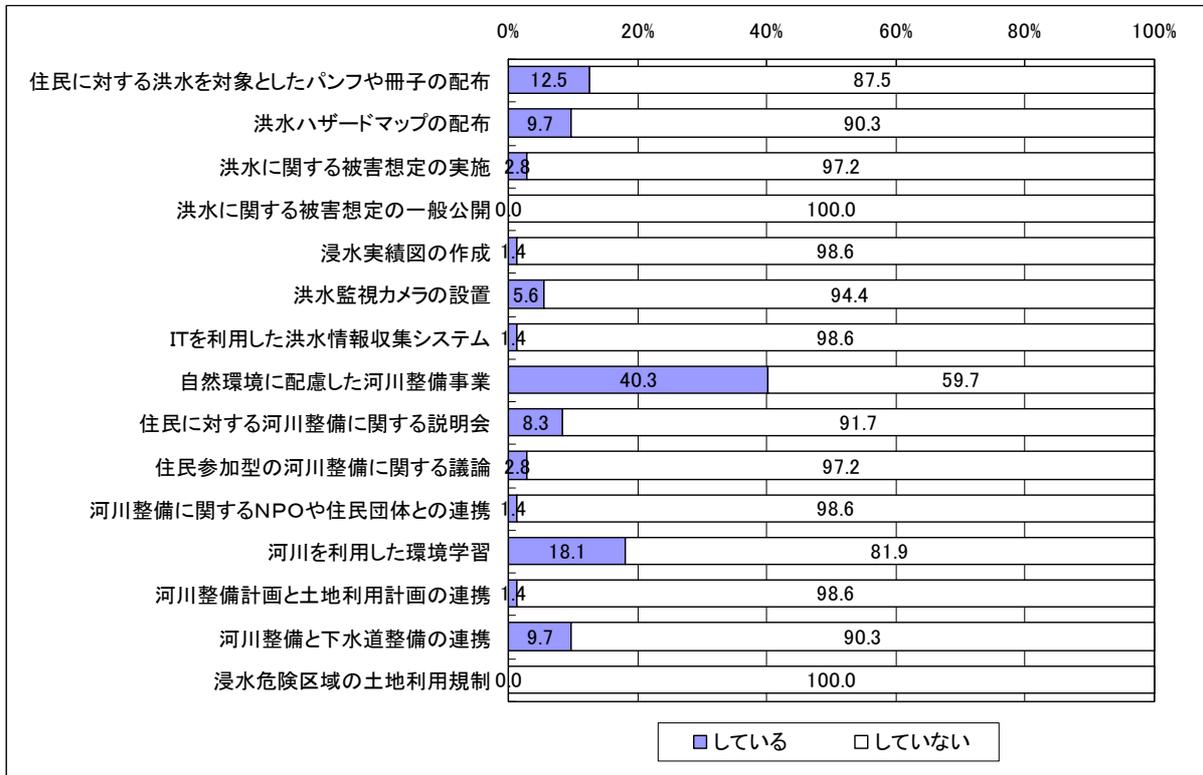
(13)地域別：近畿地方 (n=123)



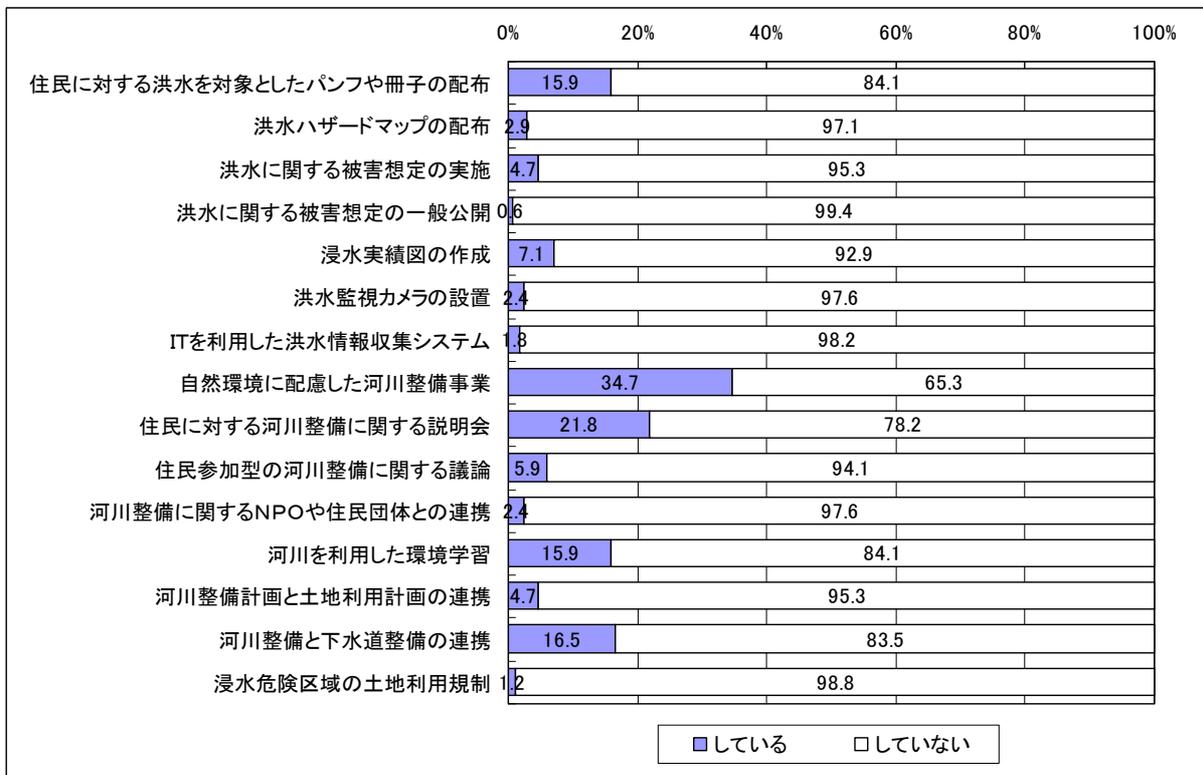
(14)地域別：中国地方 (n=103)



(15)地域別：四国地方 (n=72)

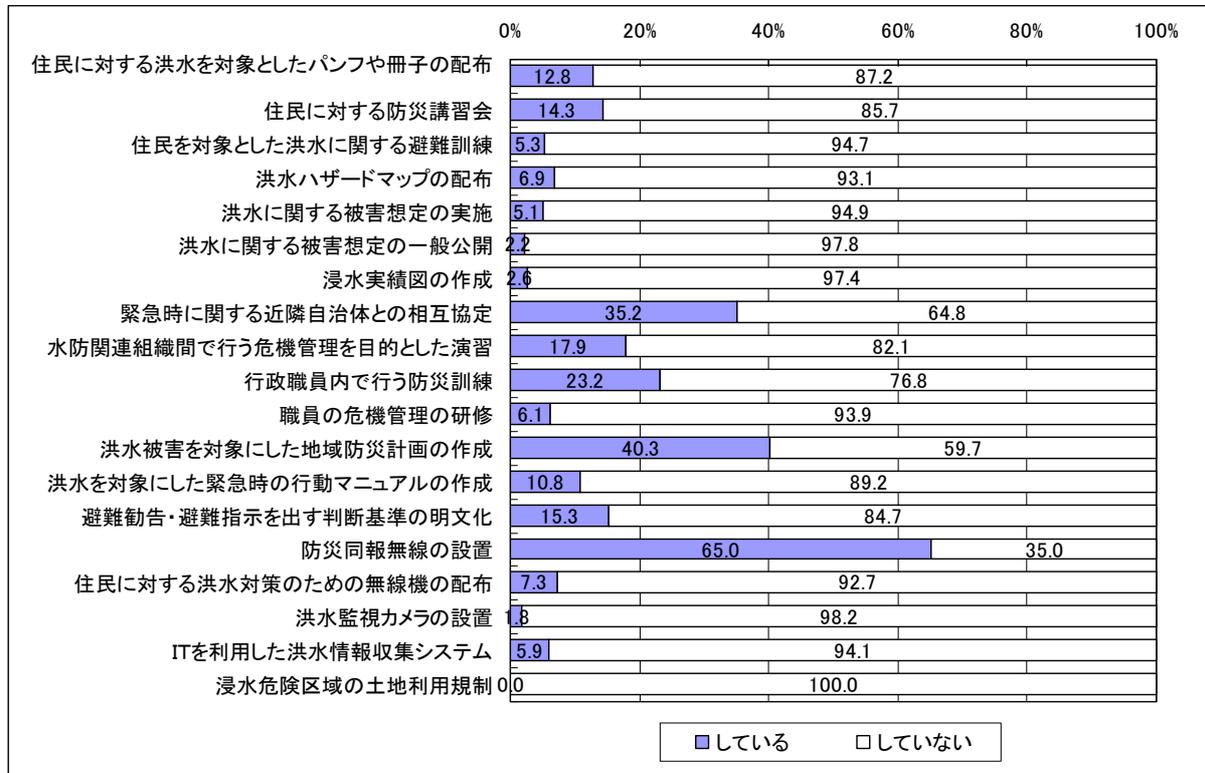


(16)地域別：九州・沖縄地方 (n=170)

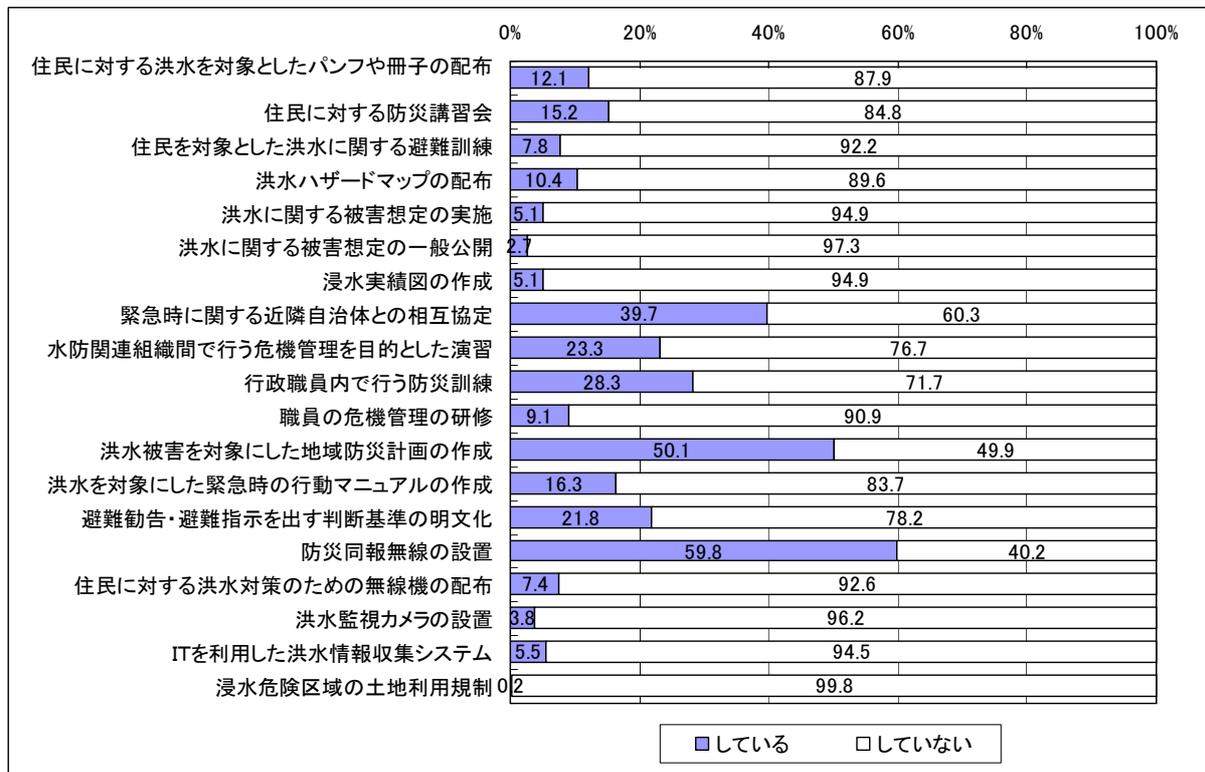


## 2.3 各設問項目の属性別集計結果（危機管理担当部署）

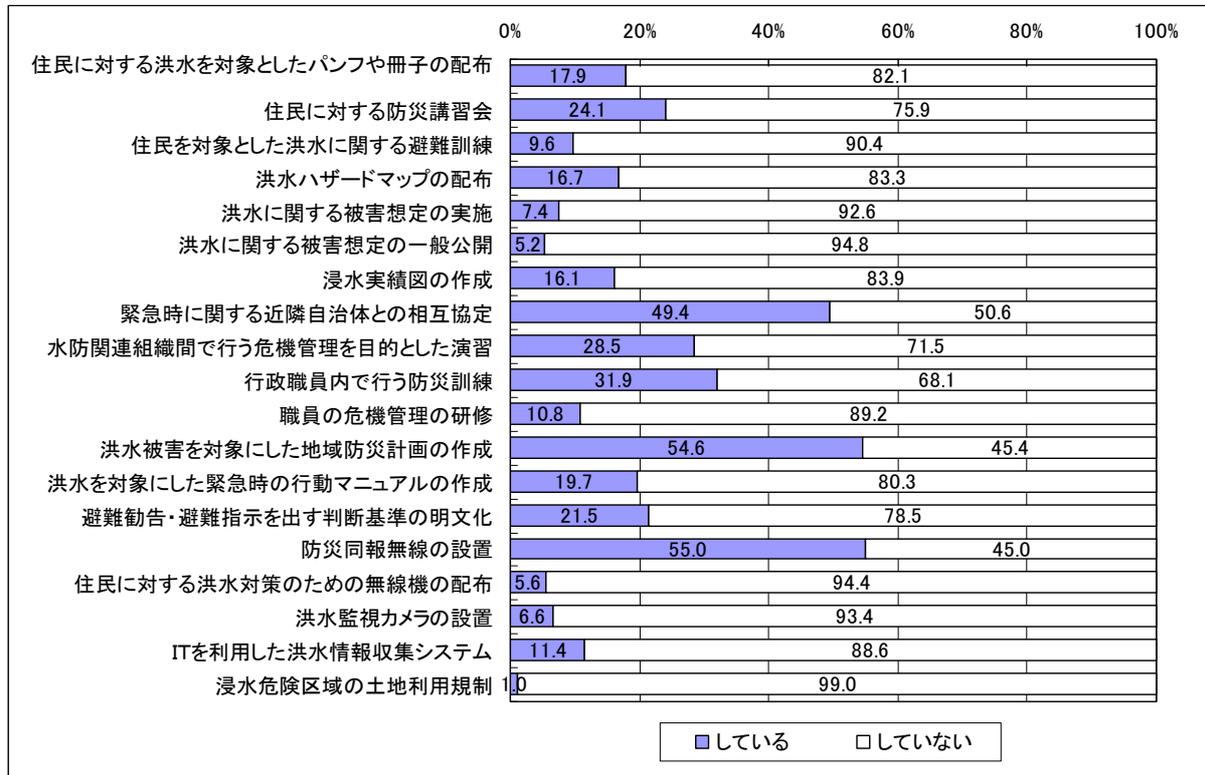
### (1)被災実績別：0回（n=509）



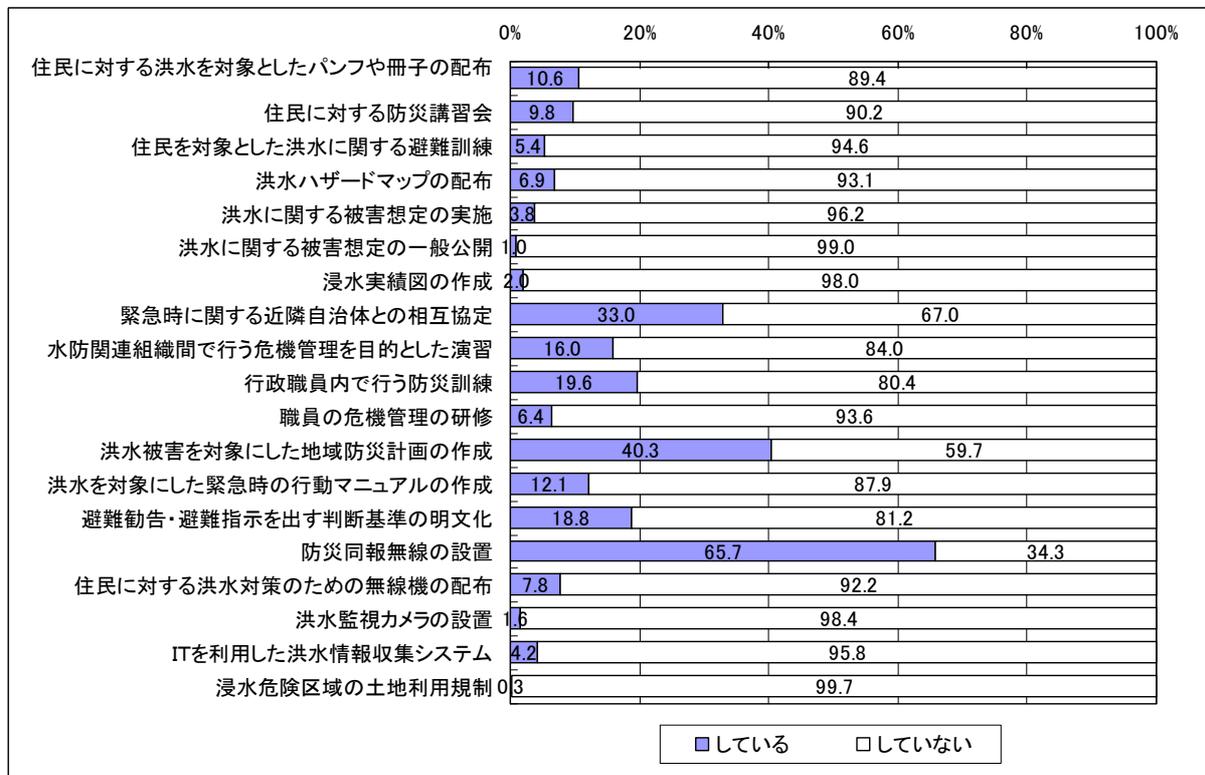
### (2)被災実績別：1回（n=473）



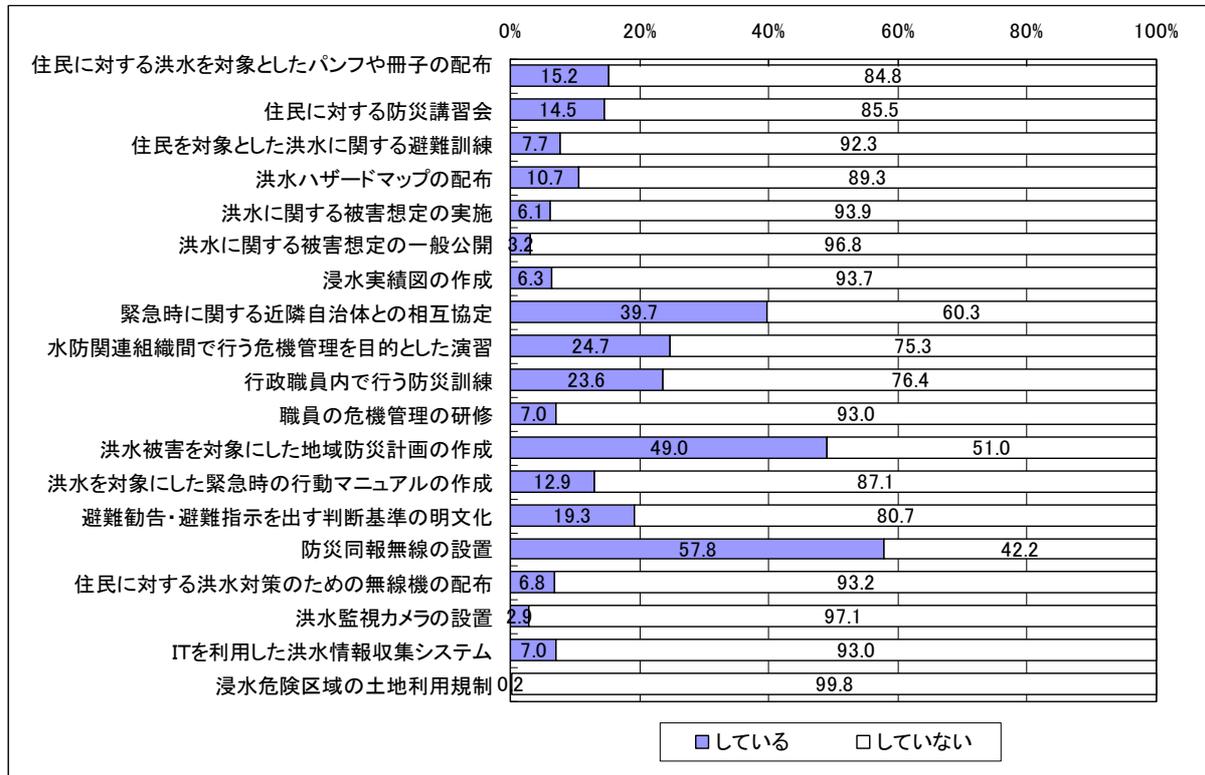
(3)被災実績別：2回以上 (n=498)



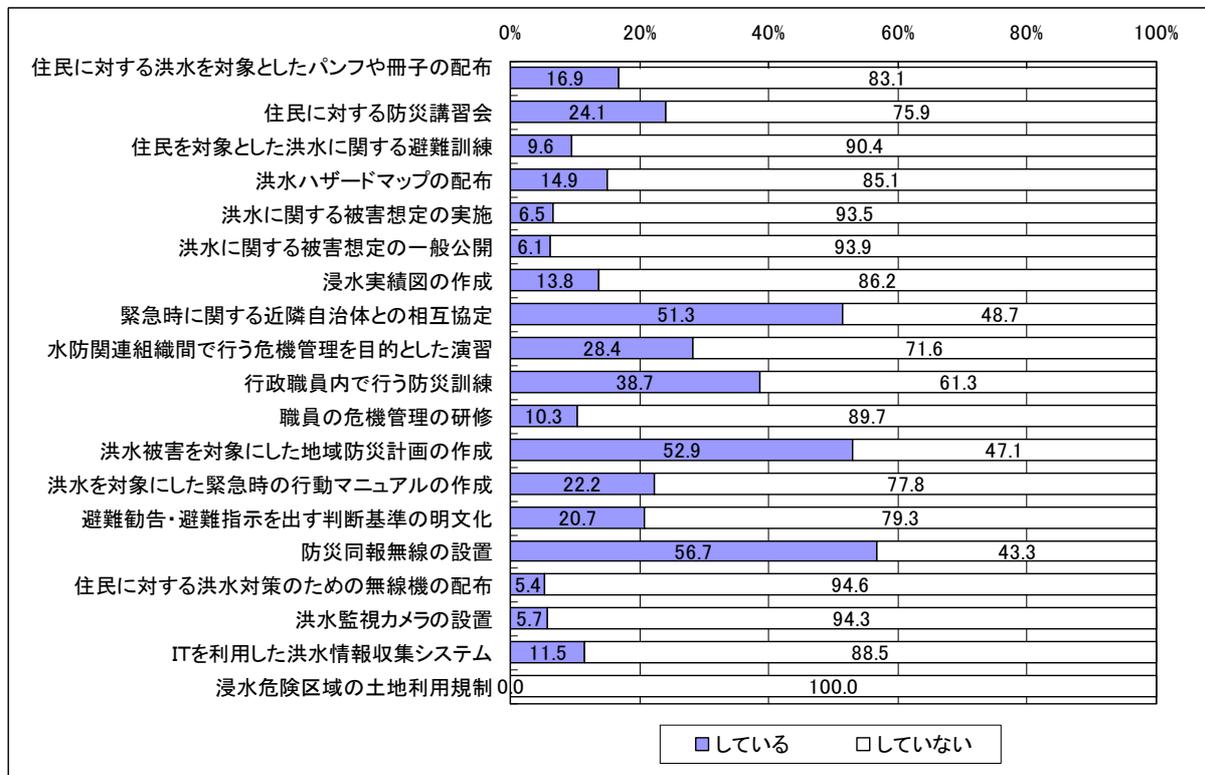
(4)自治体規模別：人口1万人未満 (n=613)



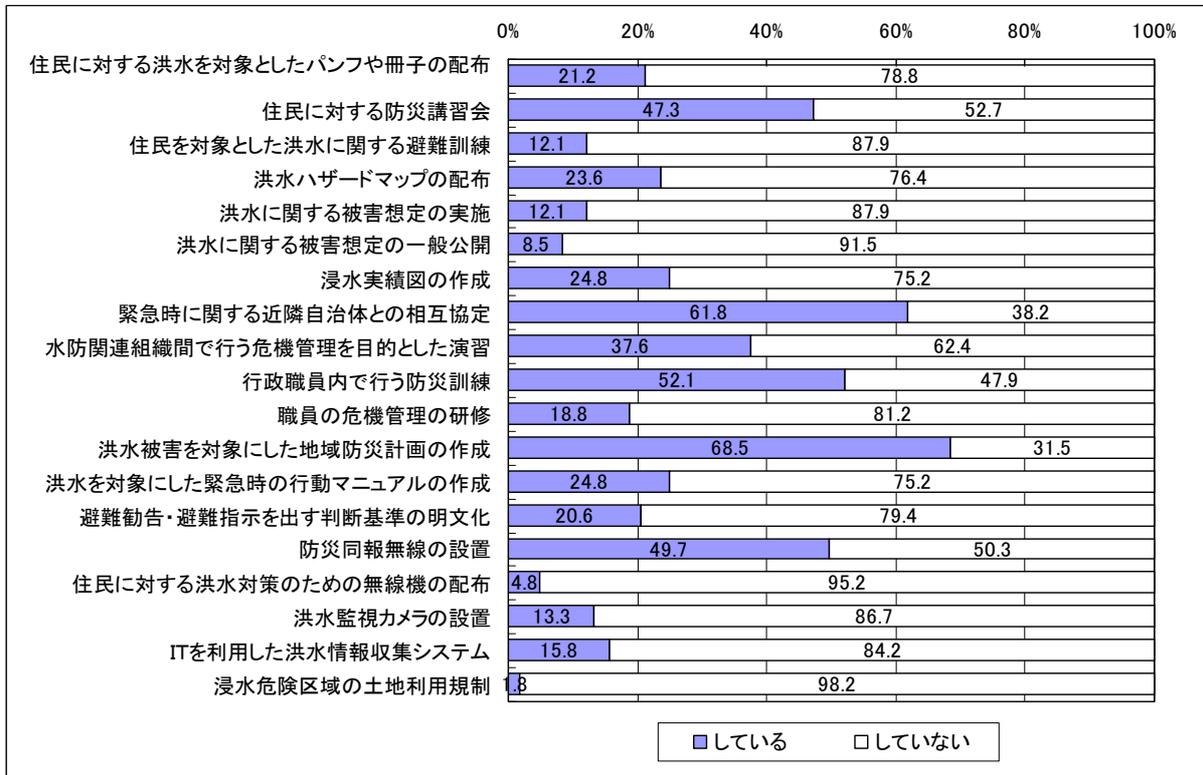
(5)自治体規模別：人口1万～3万人未満 (n=441)



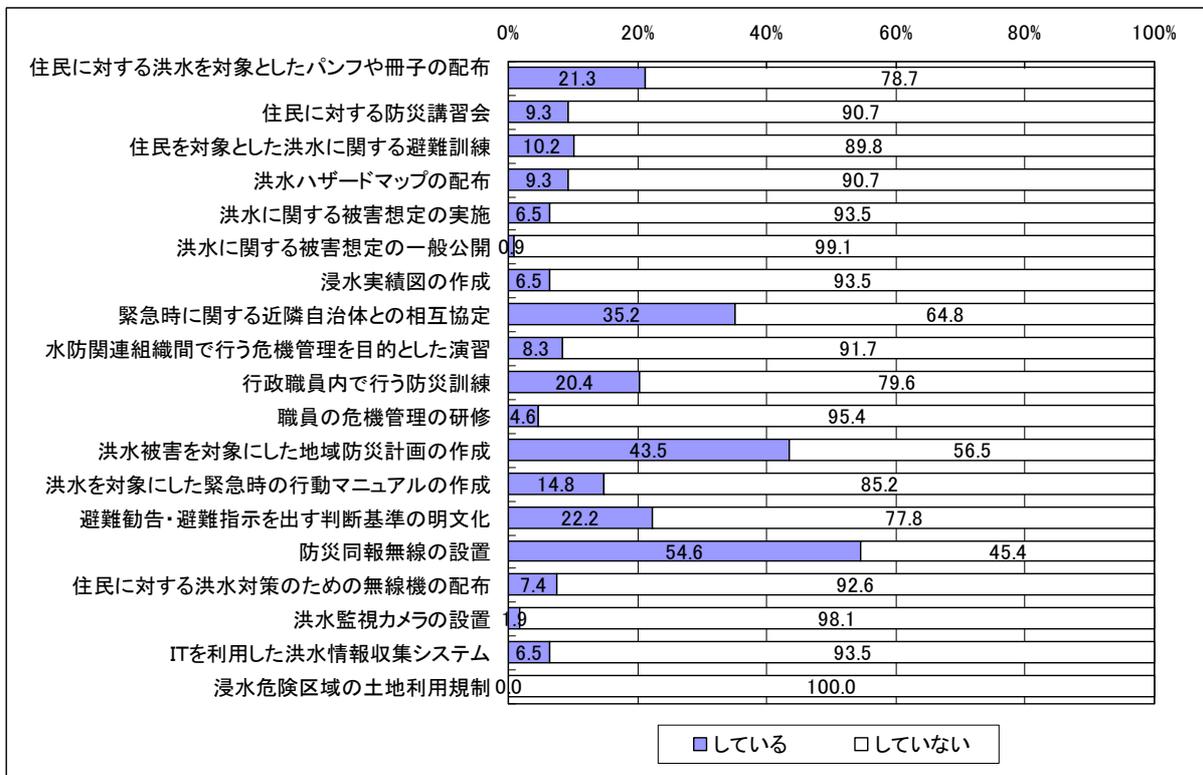
(6)自治体規模別：人口3万～10万人未満 (n=261)



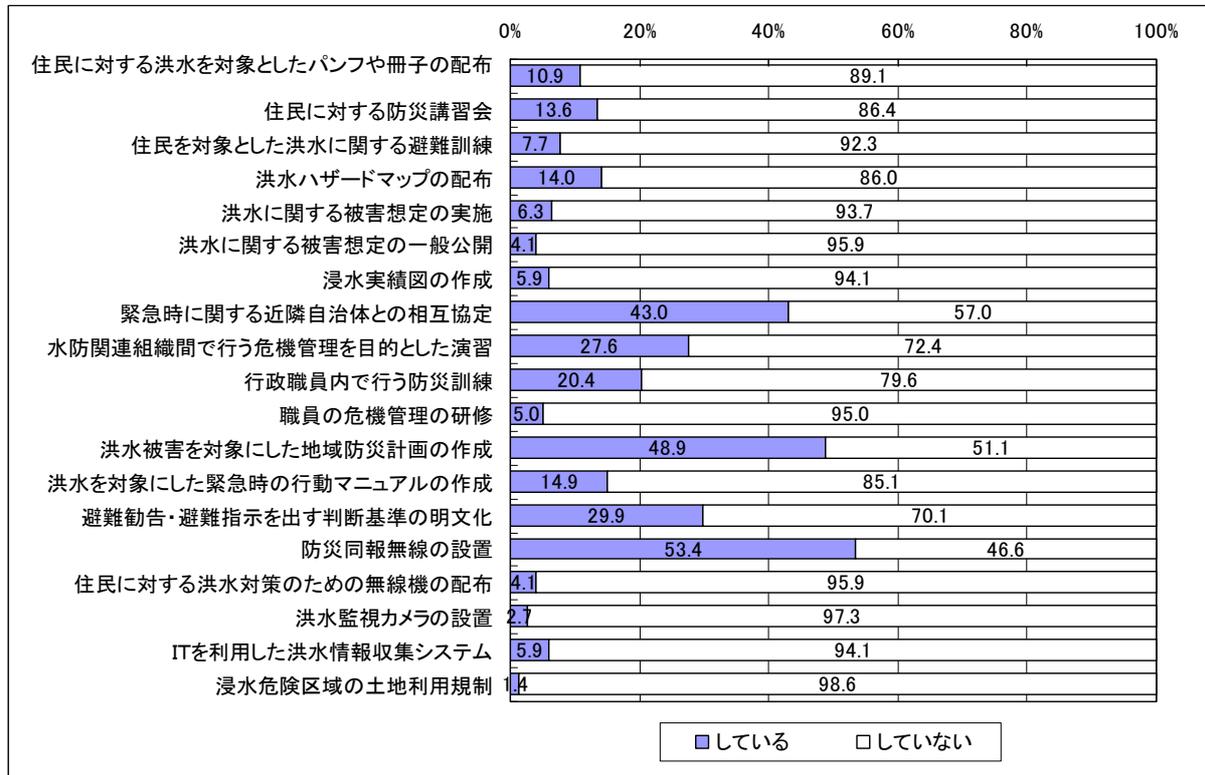
(7)自治体規模別：人口 10 万人以上 (n=165)



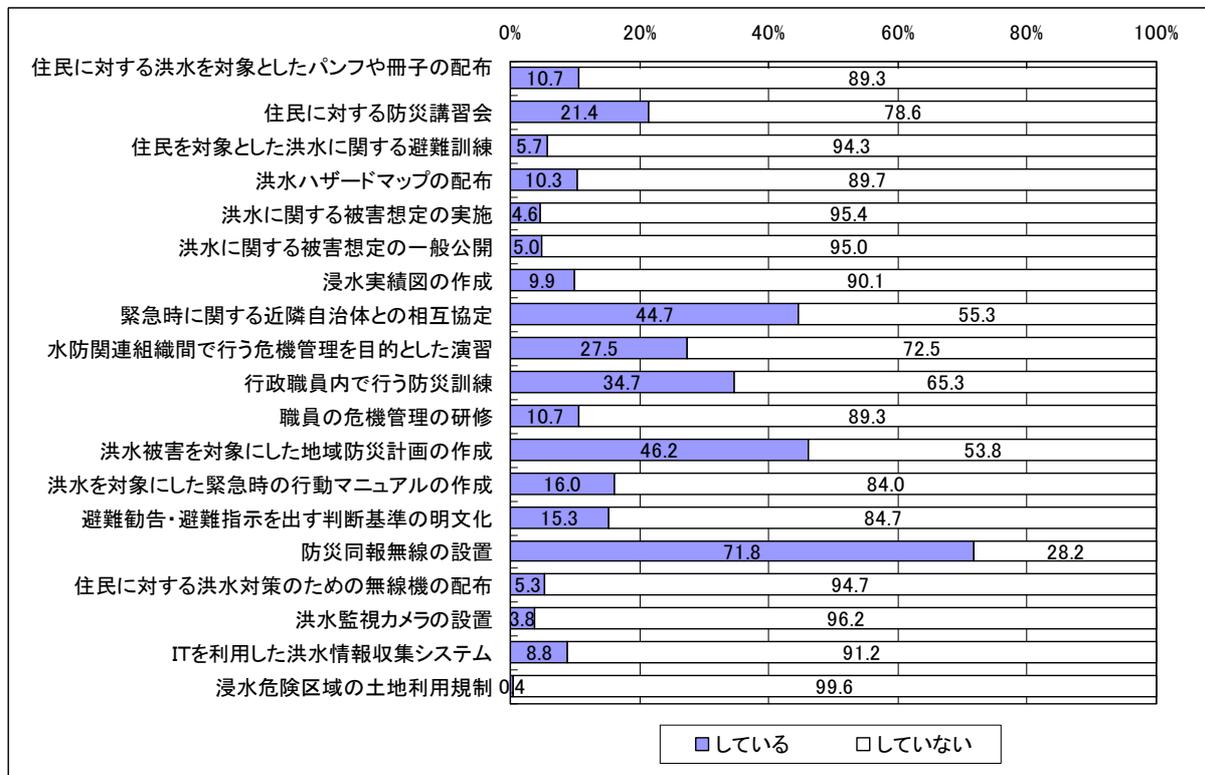
(8)地域別：北海道地方 (n=108)



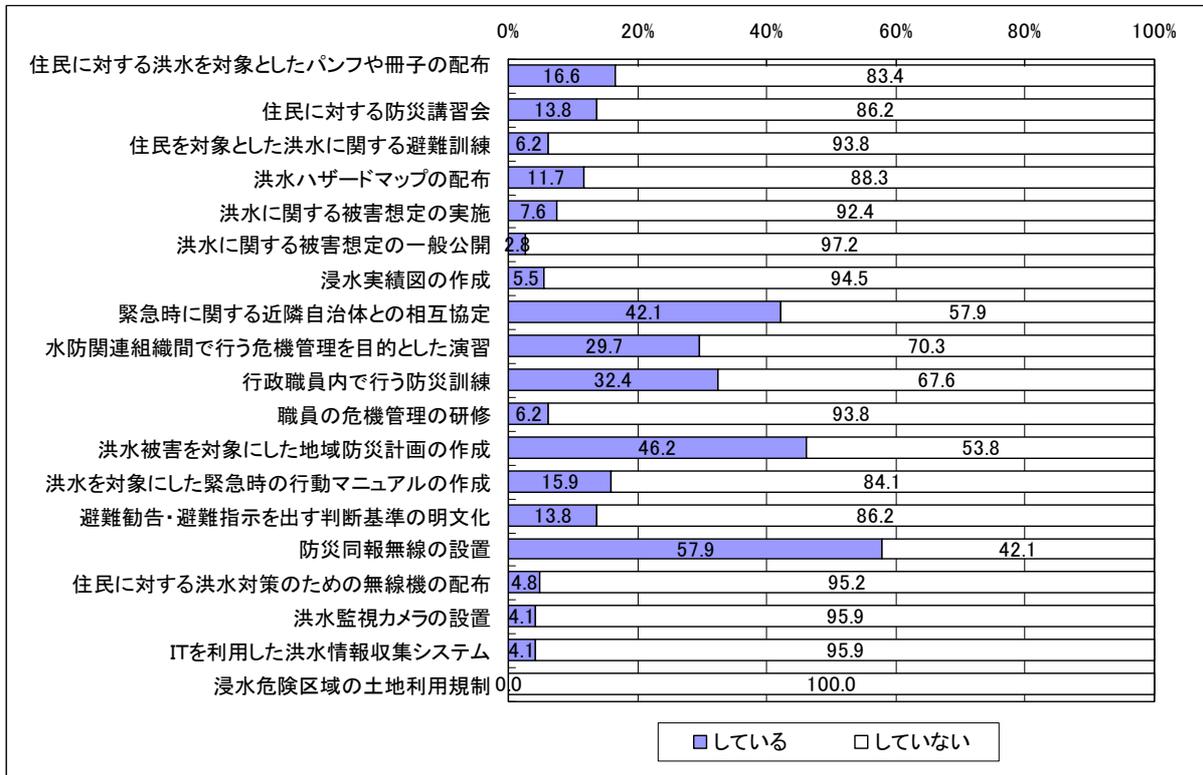
(9)地域別：東北地方 (n=221)



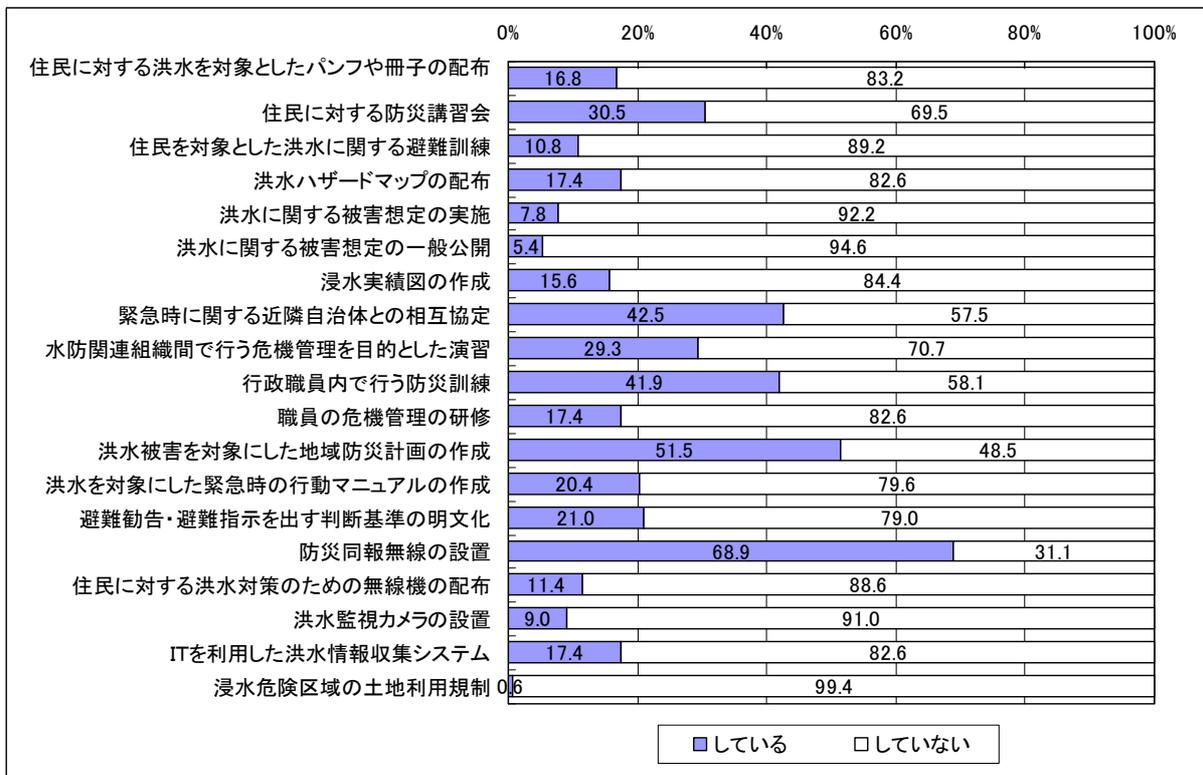
(10)地域別：関東地方 (n=262)



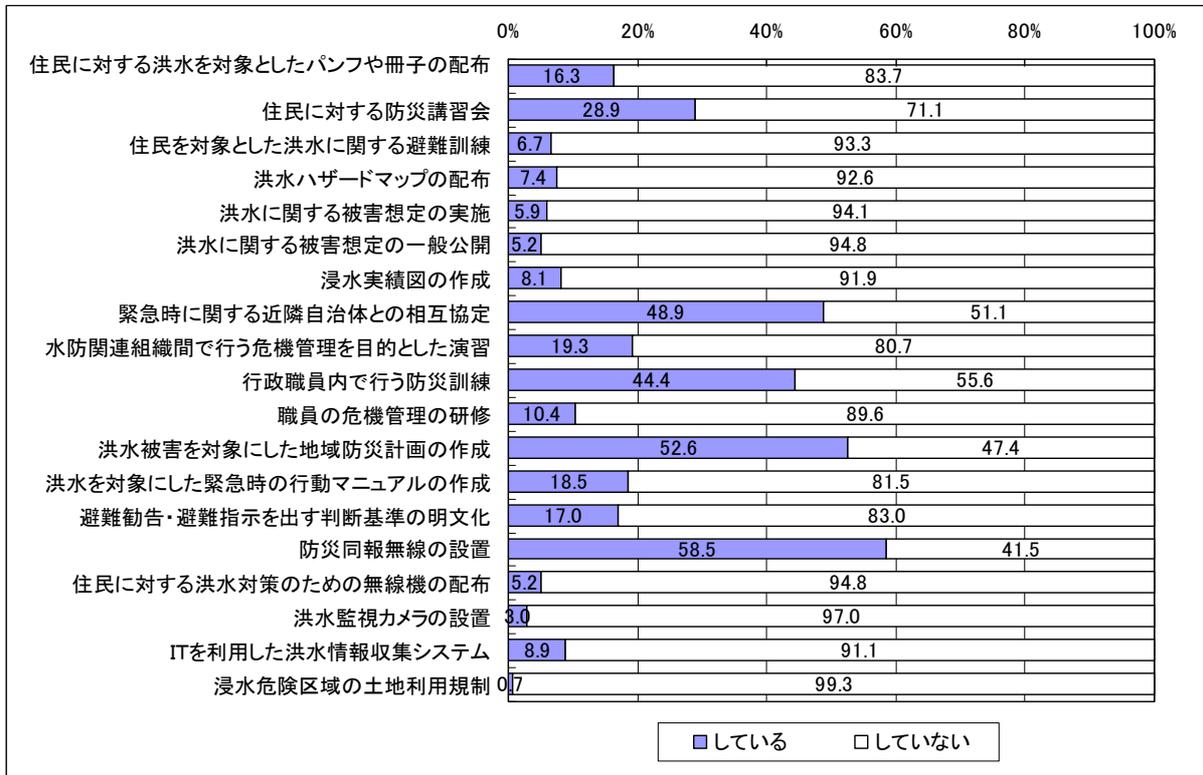
(11)地域別：北陸・信越地方 (n=145)



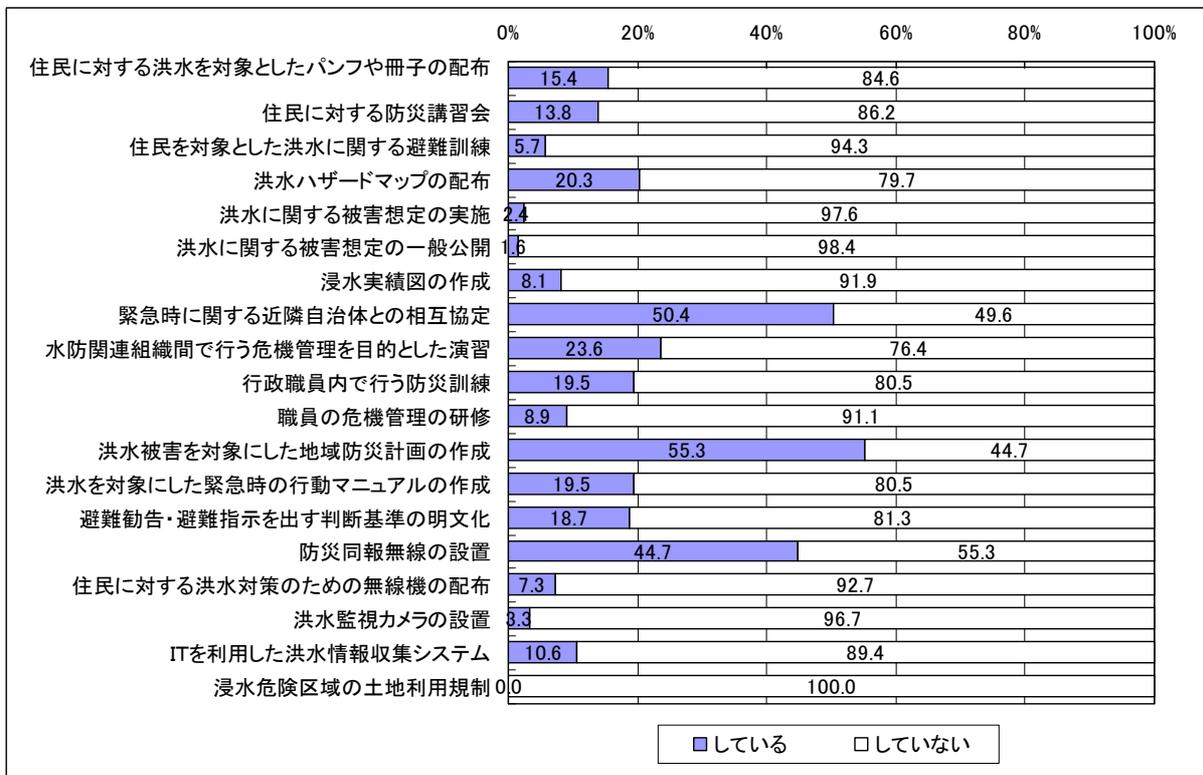
(12)地域別：中部地方 (n=167)



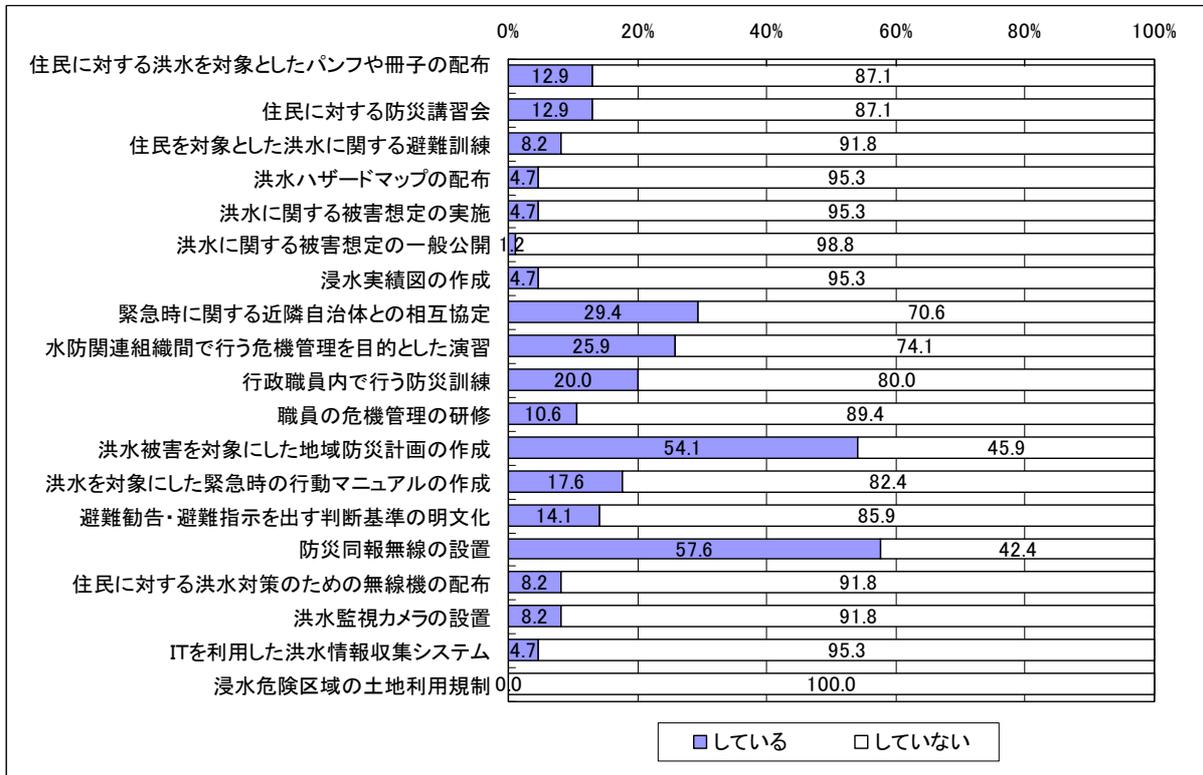
(13)地域別：近畿地方 (n=135)



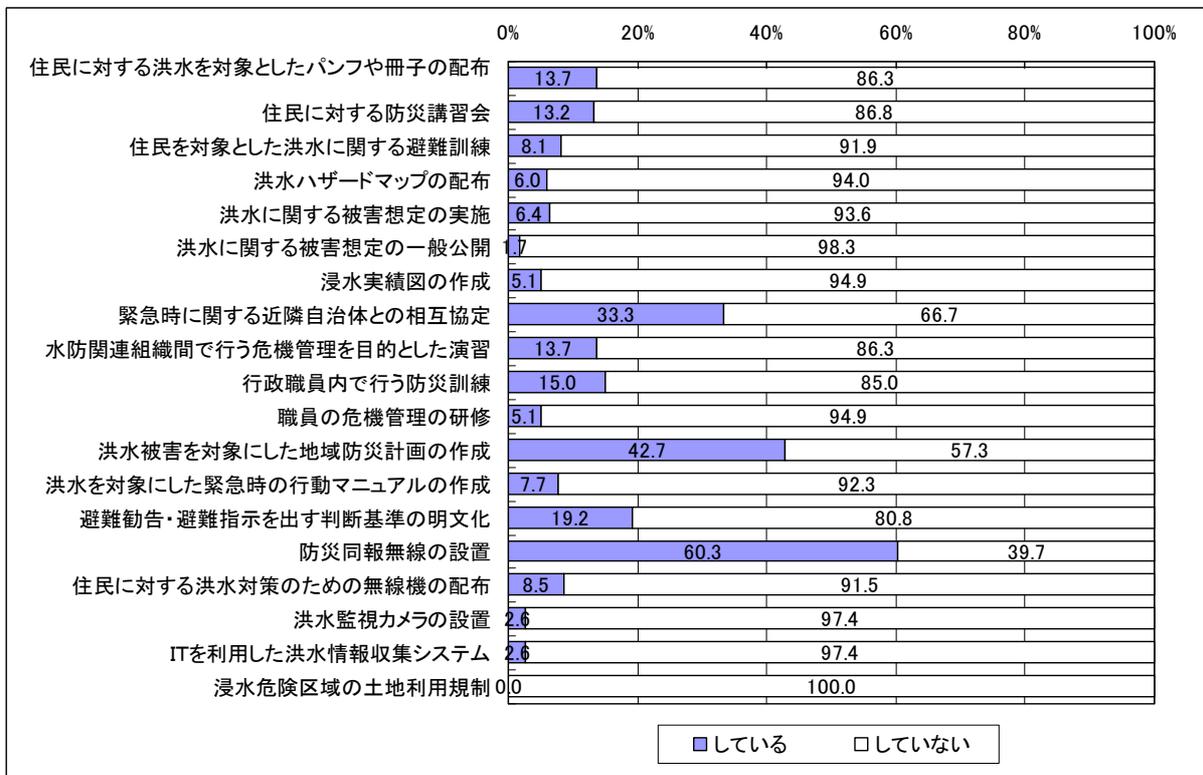
(14)地域別：中国地方 (n=123)



(15)地域別：四国地方 (n=85)



(16)地域別：九州・沖縄地方 (n=234)



### 3. 自治体における洪水対策と河川整備に関する課題に関する集計結果

#### 3.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、河川管理担当部署及び危機管理担当部署の行政職員に共通する内容である（河川管理担当部署対象調査票：問 8、危機管理担当部署対象調査票：問 14 に対応）。各設問項目について、例えば〔1 まったく重要ではないー7 非常に重要である〕のように、それぞれを 7 段階で尋ねている。表 3-1 に設問項目と河川管理担当部署の行政職員の回答の集計結果、表 3-2 に設問項目と危機管理担当部署の行政職員の回答の集計結果を示す。

#### 【設問内容】

以下の項目について、7 段階のスケールで分けた場合にあなた自身の考えとして最もあてはまると思う数字を 1 つずつ選び、○印をつけてください。

表 3-1 洪水対策と河川整備の課題に関する設問項目と集計結果（河川管理担当部署）

設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)あなたの自治体内の治水施設は、あなたの考える必要量と比較して、どの程度整備されていると思いますか。 〔まったく整備されていないー非常に整備されている〕	4.06	1.23	1292
(2)堤防などの構造物に頼らないソフト的な洪水対策は、今後、どの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	4.82	1.30	1291
(3)河川整備において景観面を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	5.20	1.27	1295
(4)あなたの自治体では、内水氾濫による被害の危険性はどの程度あると思いますか。 〔まったく危険性はないー非常に危険性はある〕	4.25	1.61	1296
(5)洪水対策のために行政組織内の危機管理体制を強化することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	5.04	1.36	1291
(6)あなたの自治体では、治水対策にかけている費用に対して、どの程度費用にみあった被害軽減効果があると思いますか。 〔まったく費用にみあった効果はないー非常に費用にみあった効果がある〕	4.46	1.25	1283
(7)住民は、全体的にみて、行政が洪水対策を推進していくことをどの程度望んでいると思いますか。 〔まったく望んでいないー非常に望んでいる〕	4.97	1.39	1294
(8)あなたの自治体は、洪水被害の起こりやすい地域だと思いますか。 〔まったく起こらない地域だー非常に起こりやすい地域だ〕	3.98	1.70	1294
(9)洪水対策のために平常時から住民の洪水に対する意識を啓蒙することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	4.77	1.39	1294

(10)河川整備において生態系への影響を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	5.26	1.25	1296
(11)洪水対策について考えるとき、堤防やダムなどの治水施設の建設と比べて、治水施設に頼らない緊急対応などのソフト的な洪水対策はどの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	4.68	1.28	1291
(12)治水対策を考えるとき、ある程度の洪水被害の危険性なら許容してもよいと思いますか。 [まったく許容すべきでないー非常に許容してもよい]	3.07	1.38	1294
(13)現在のあなたの自治体の治水対策にかけている費用と比べて、今後、どの程度費用をかけていくべきだと思いますか。 [非常に費用を減らすべきー非常に費用をかけるべき]	4.62	1.05	1285
(14)あなたの自治体では、堤防の破堤による洪水被害の危険性はどの程度あると思いますか。 [まったく危険性はないー非常に危険性はある]	3.66	1.55	1293
(15)河川整備において親水性を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	4.93	1.19	1298
(16)豪雨時の危険性に関する情報の収集・伝達に必要な設備を整備することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	5.33	1.28	1290
(17)治水整備に関連する事業を考えるとき、事業に関連する地元への経済効果について、どの程度考慮するべきだと思いますか。 [まったく考慮するべきではないー非常に考慮するべきである]	4.59	1.22	1294
(18)河川整備において環境面を考慮することは、治水対策と比較してどの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	4.85	1.21	1295
(19)治水施設の整備を推進していくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	4.98	1.28	1296
(20)ハード対策・ソフト対策全般に、様々な洪水対策に力を注いでいくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	4.99	1.25	1294
(21)住民は、全体的にみて、「洪水による被害をある程度までなら許容してもよいと思っている」と思いますか。 [住民は「まったく許容すべきでない」と思っているー住民は「非常に許容してもよい」と思っている]	2.60	1.33	1293

表 3-2 洪水対策と河川整備の課題に関する設問項目と集計結果（危機管理担当部署）

設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)あなたの自治体内の治水施設は、あなたの考える必要量と比較して、どの程度整備されていると思いますか。 [まったく整備されていないー非常に整備されている]	4.49	1.23	1499
(2)堤防などの構造物に頼らないソフト的な洪水対策は、今後、どの程度重要だと思いますか。 [まったく重要ではないー非常に重要である]	5.11	1.26	1499

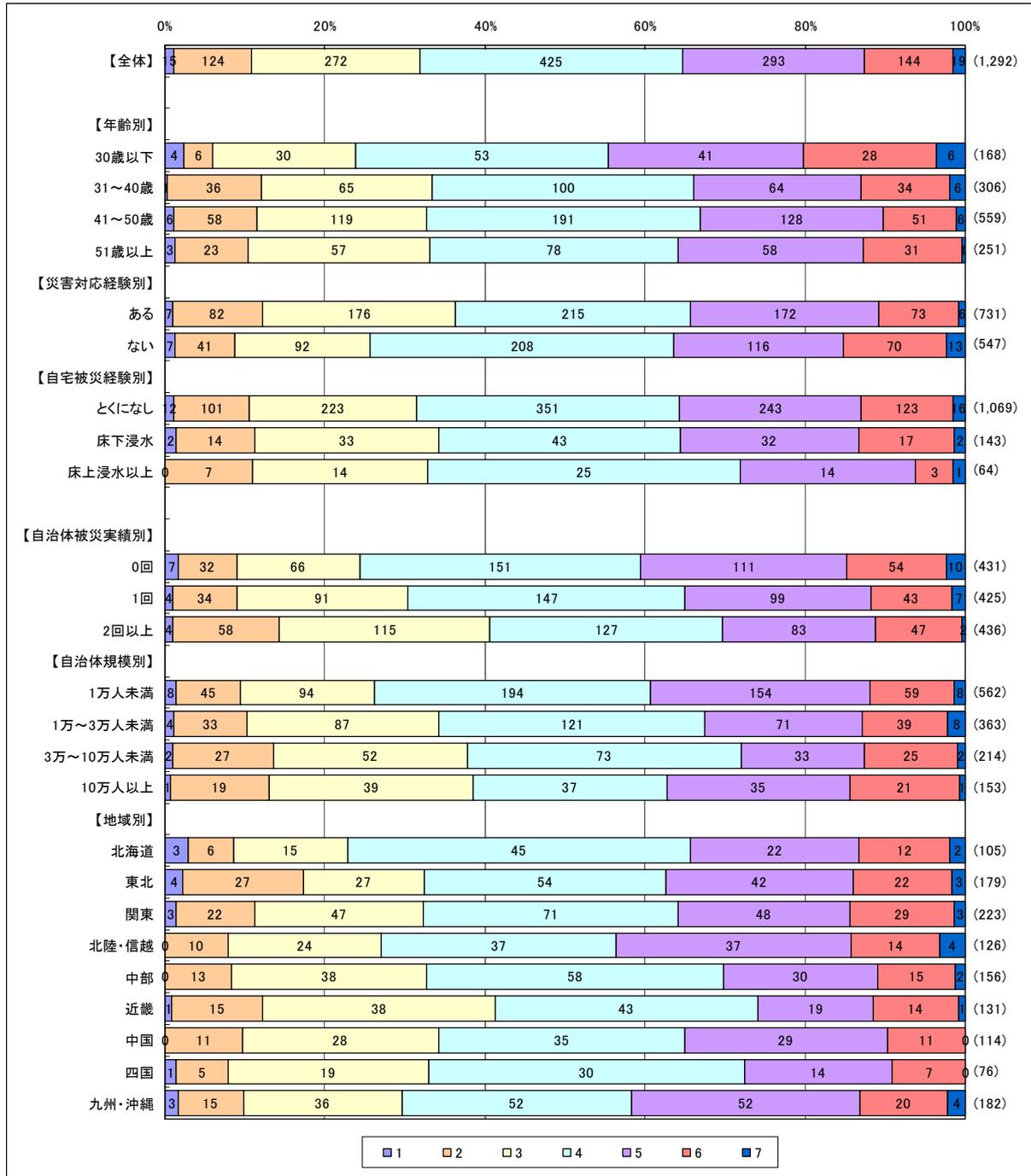
(3)河川整備において景観面を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	5.19	1.30	1501
(4)あなたの自治体では、内水氾濫による被害の危険性はどの程度あると思いますか。 〔まったく危険性はないー非常に危険性はある〕	4.12	1.63	1496
(5)洪水対策のために行政組織内の危機管理体制を強化することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	5.15	1.31	1503
(6)あなたの自治体では、治水対策にかけている費用に対して、どの程度費用にみあった被害軽減効果があると思いますか。 〔まったく費用にみあった効果はないー非常に費用にみあった効果がある〕	4.42	1.17	1494
(7)住民は、全体的にみて、行政が洪水対策を推進していくことをどの程度望んでいると思いますか。 〔まったく望んでいないー非常に望んでいる〕	4.81	1.40	1504
(8)あなたの自治体は、洪水被害の起こりやすい地域だと思いますか。 〔まったく起こらない地域だー非常に起こりやすい地域だ〕	3.68	1.68	1503
(9)洪水対策のために平常時から住民の洪水に対する意識を啓蒙することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	4.84	1.33	1504
(10)河川整備において生態系への影響を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	5.48	1.21	1503
(11)洪水対策について考えるとき、堤防やダムなどの治水施設の建設と比べて、治水施設に頼らない緊急対応などのソフト的な洪水対策はどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	4.90	1.19	1497
(12)治水対策を考えるとき、ある程度の洪水被害の危険性なら許容してもよいと思いますか。 〔まったく許容すべきでないー非常に許容してもよい〕	3.05	1.34	1499
(13)現在のあなたの自治体の治水対策にかけている費用と比べて、今後、どの程度費用をかけていくべきだと思いますか。 〔非常に費用を減らすべきー非常に費用をかけるべき〕	4.47	0.96	1497
(14)あなたの自治体では、堤防の破堤による洪水被害の危険性はどの程度あると思いますか。 〔まったく危険性はないー非常に危険性はある〕	3.46	1.55	1496
(15)河川整備において親水性を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	4.96	1.13	1486
(16)豪雨時の危険性に関する情報の収集・伝達に必要な設備を整備することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	5.54	1.20	1499
(17)治水整備に関連する事業を考えるとき、事業に関連する地元への経済効果について、どの程度考慮するべきだと思いますか。 〔まったく考慮するべきではないー非常に考慮するべきである〕	4.63	1.20	1494
(18)河川整備において環境面を考慮することは、治水対策と比較してどの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	5.13	1.16	1498
(19)治水施設の整備を推進していくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。 〔まったく重要ではないー非常に重要である〕	4.90	1.23	1498

<p>(20)ハード対策・ソフト対策全般に、様々な洪水対策に力を注いでいくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。      [まったく重要ではないー非常に重要である]</p>	4.96	1.22	1500
<p>(21)住民は、全体的にみて、「洪水による被害をある程度までなら許容してもよいと思っている」と思いませんか。      [住民は「まったく許容すべきでない」と思っているー住民は「非常に許容してもよい」と思っている]</p>	2.66	1.33	1496

### 3.2 各設問項目の属性別集計結果（河川管理担当部署）

#### (1) 治水施設の整備状況

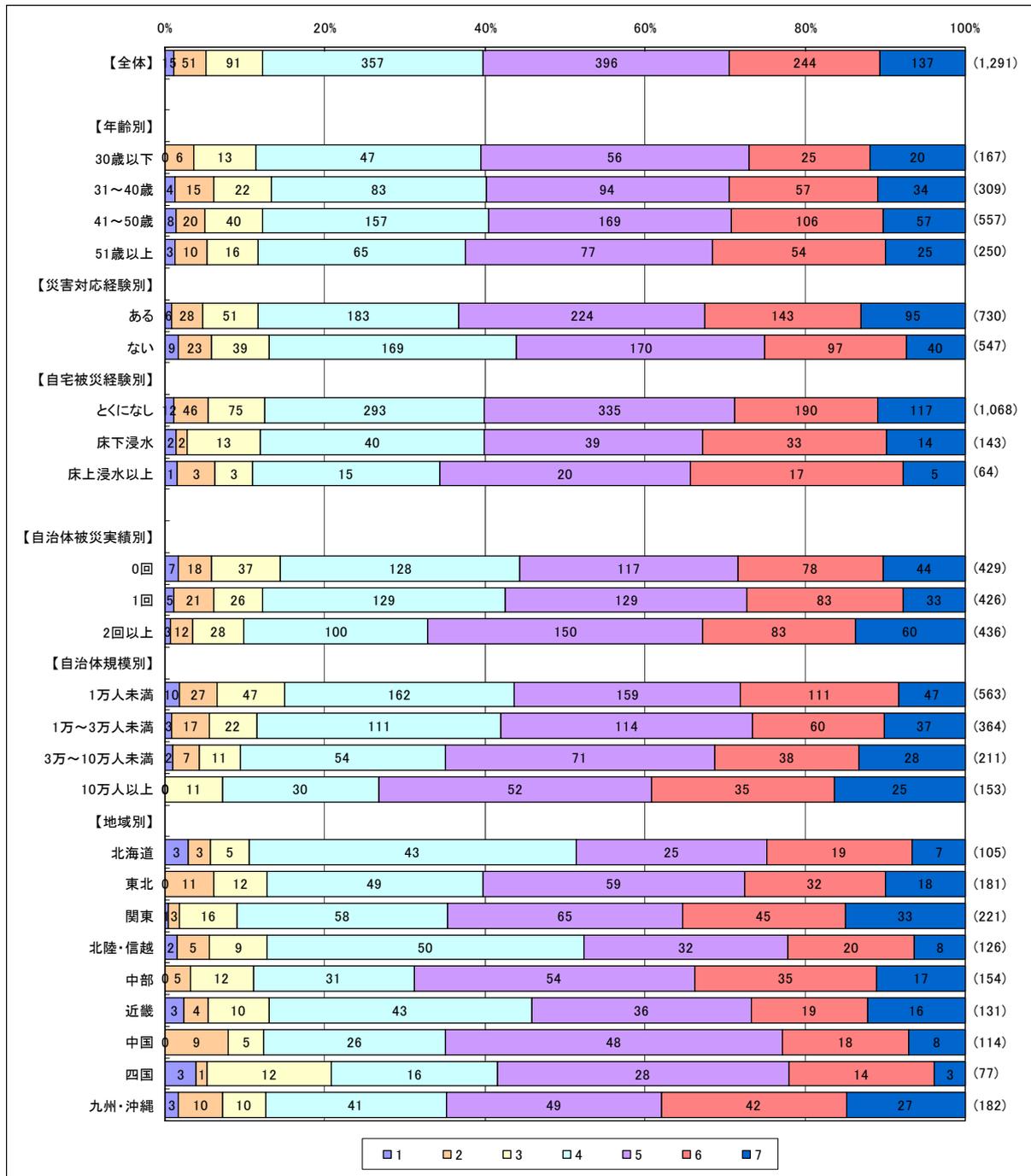
**【設問項目】**  
 あなたの自治体内の治水施設は、あなたの考える必要量と比較して、どの程度整備されていると思いますか。〔1：まったく整備されていないー7：非常に整備されている〕



(2)ソフト対策の推進の重要性

【設問項目】

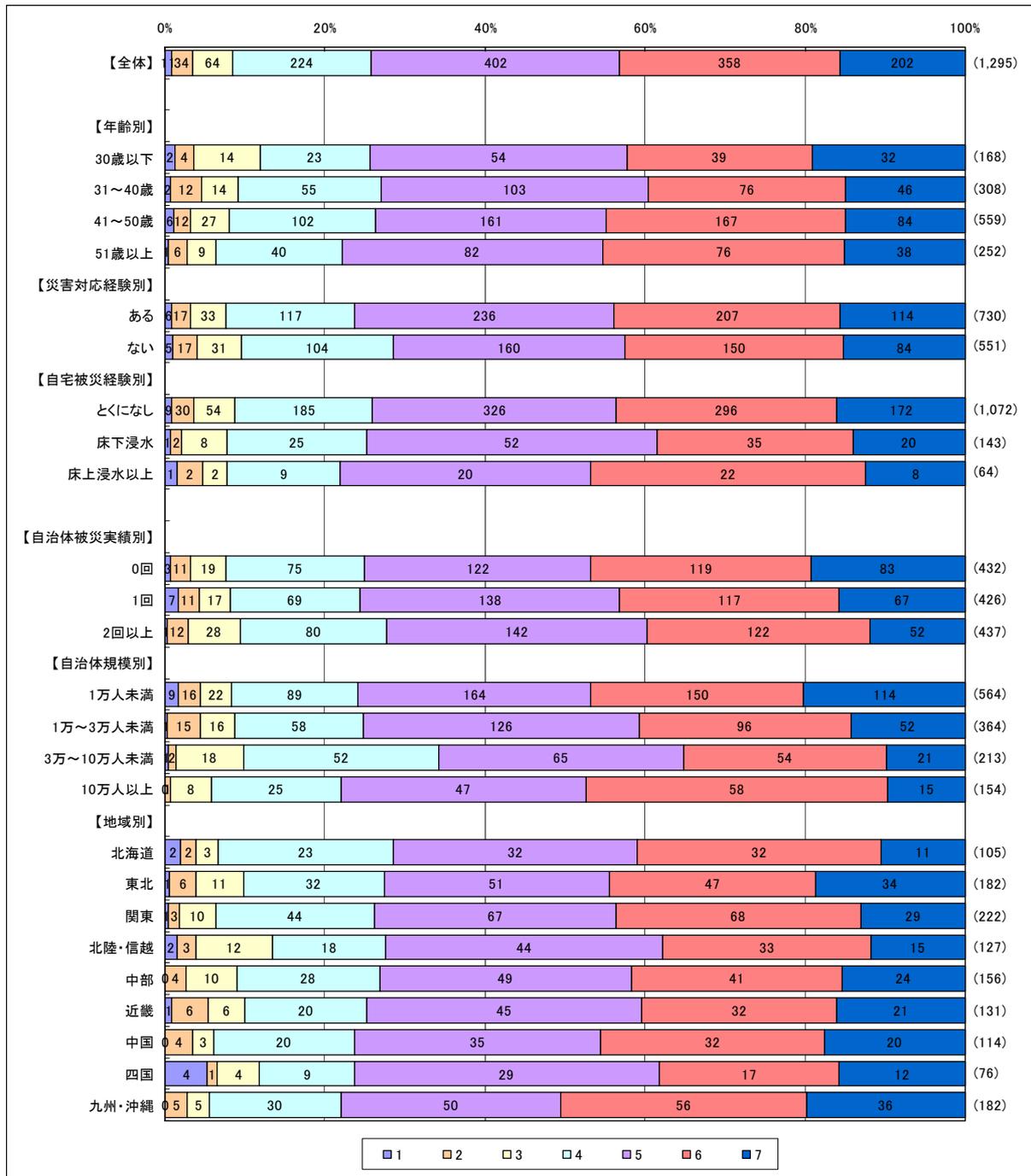
堤防などの構造物に頼らないソフト的な洪水対策は、今後、どの程度重要だと思いますか。  
〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕



(3)河川整備における景観面の考慮の重要性

【設問項目】

河川整備において景観面を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。  
〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

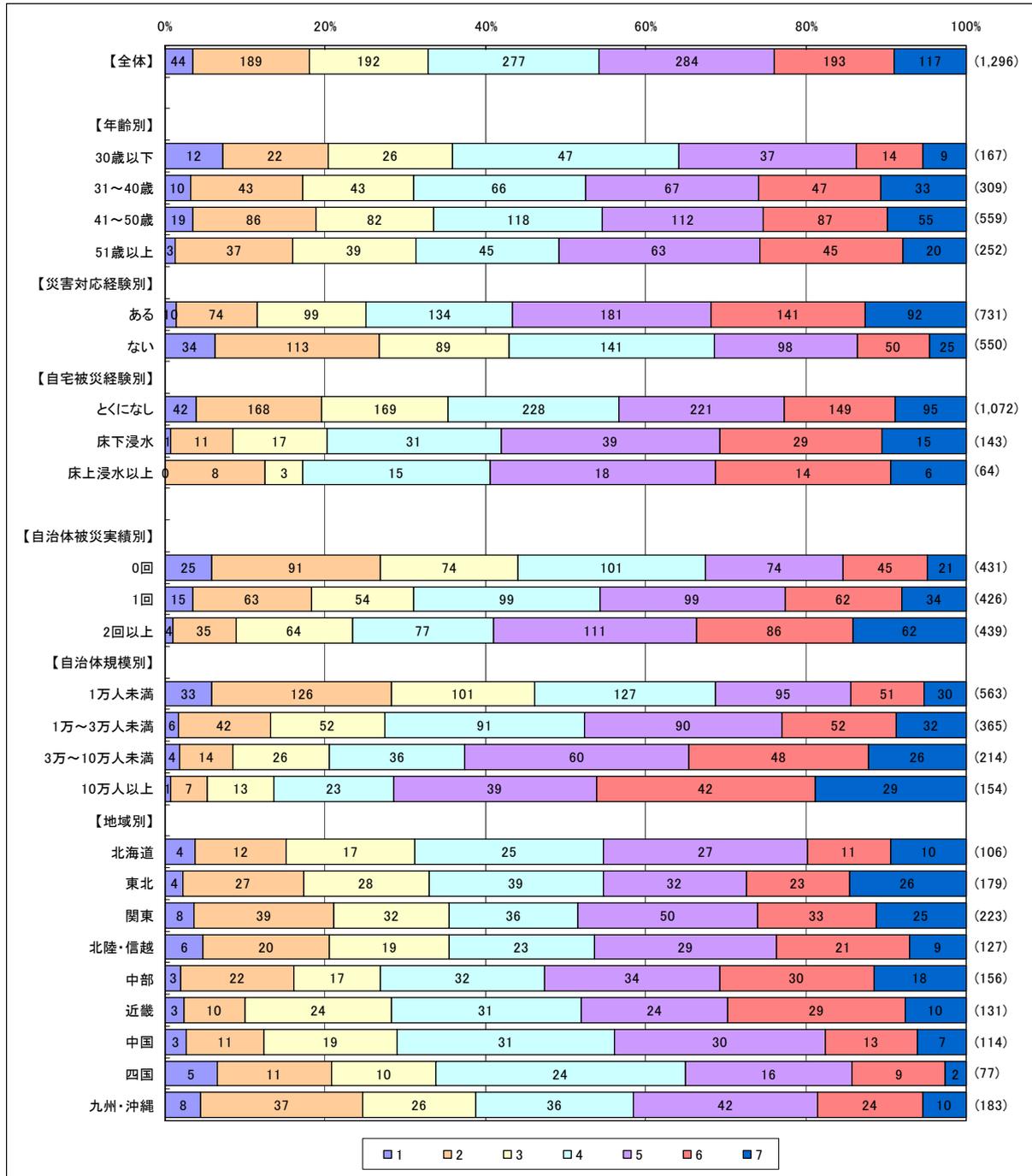


(4)内水氾濫による被害の危険性

【設問項目】

あなたの自治体では、内水氾濫による被害の危険性はどの程度あると思いますか。

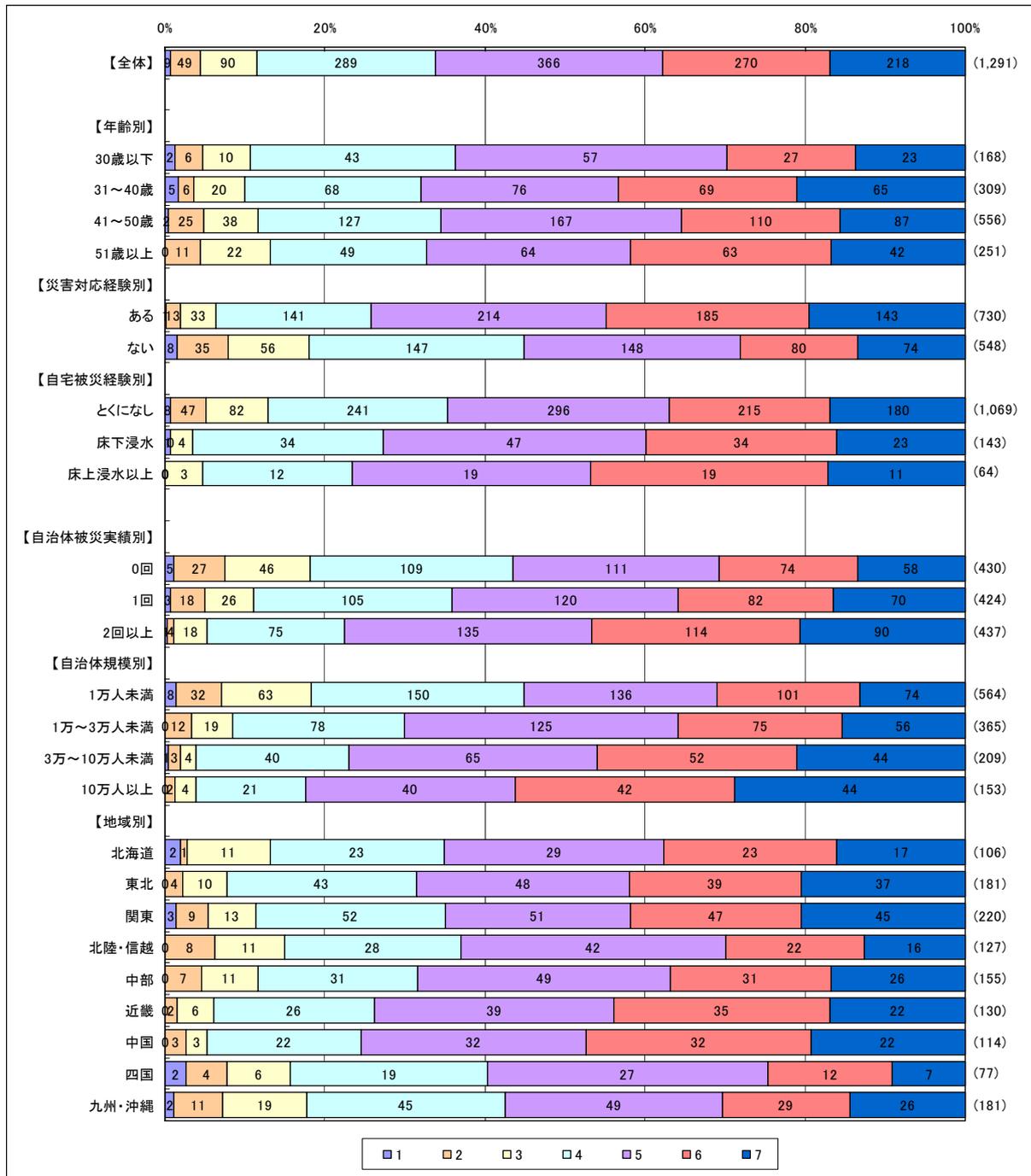
〔1：まったく危険性はないー7：非常に危険性はある〕



(5)行政組織内の危機管理体制の強化の重要性

【設問項目】

洪水対策のために行政組織内の危機管理体制を強化することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

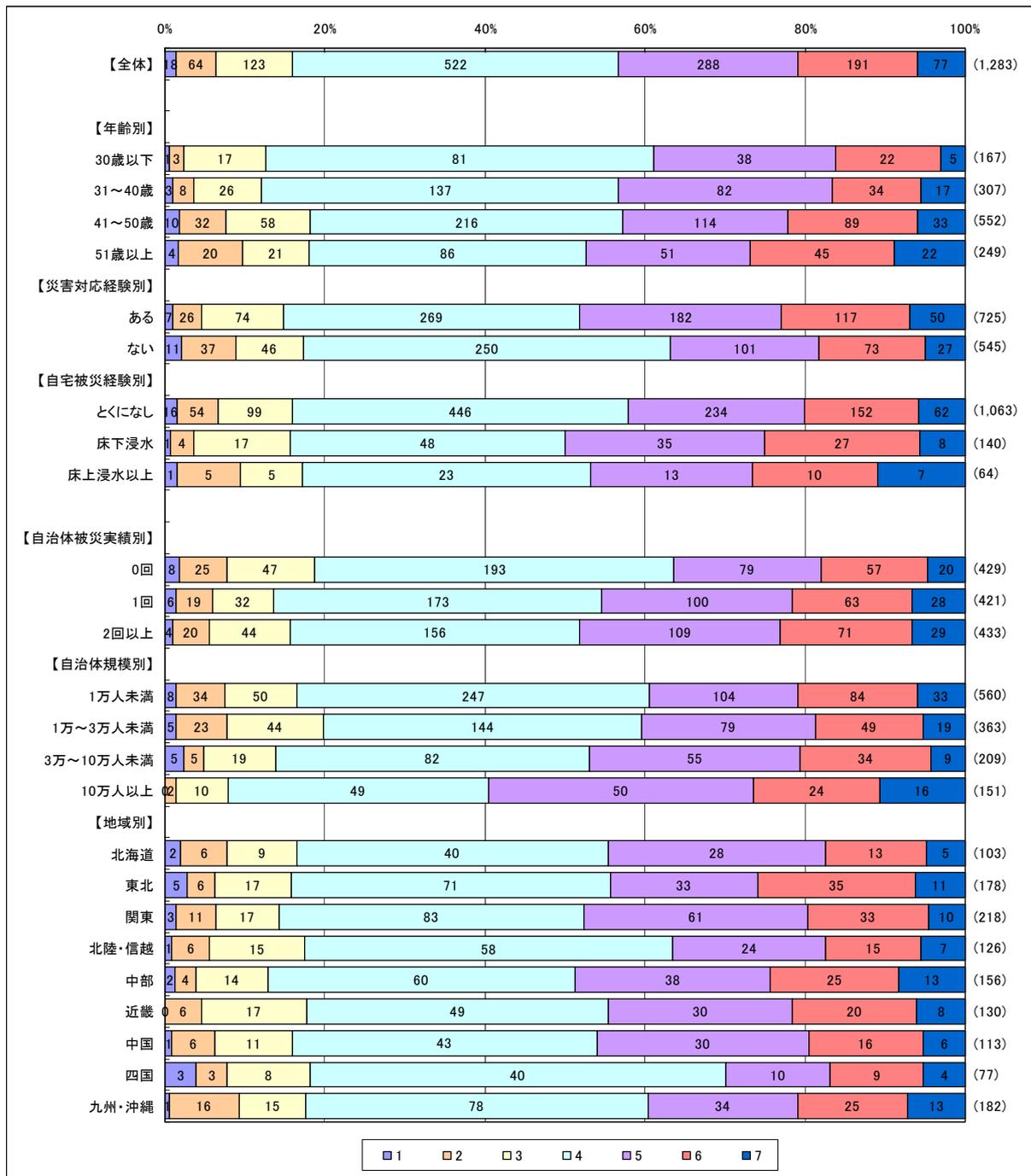


(6)治水対策の実施効果

【設問項目】

あなたの自治体では、治水対策にかけている費用に対して、どの程度費用にみあった被害軽減効果があると思いますか。

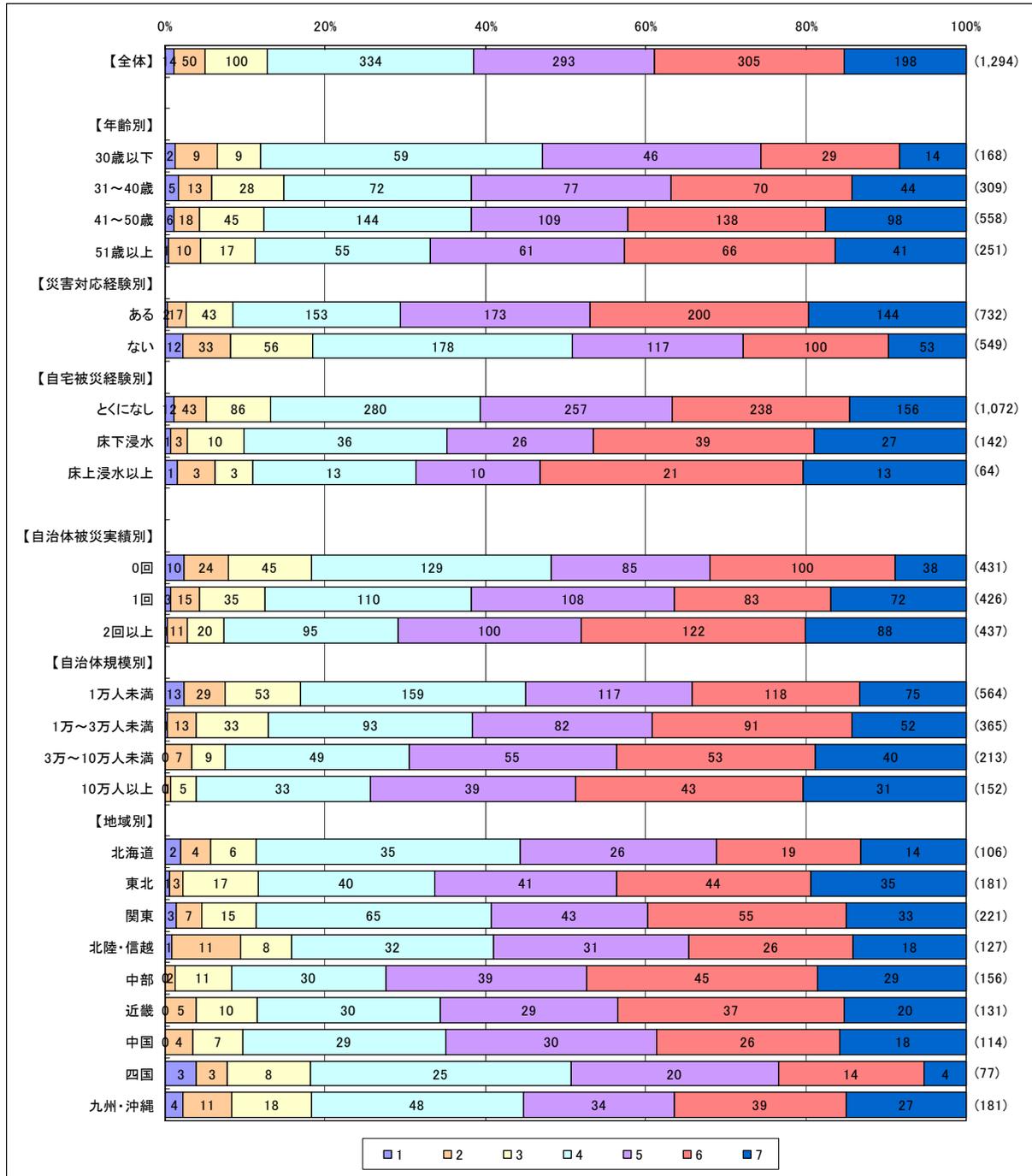
〔1：まったく費用にみあった効果はないー7：非常に費用にみあった効果がある〕



(7)住民の洪水対策の需要度

【設問項目】

住民は、全体的にみて、行政が洪水対策を推進していくことをどの程度望んでいると思いますか。  
 [1：まったく望んでいないー7：非常に望んでいる]

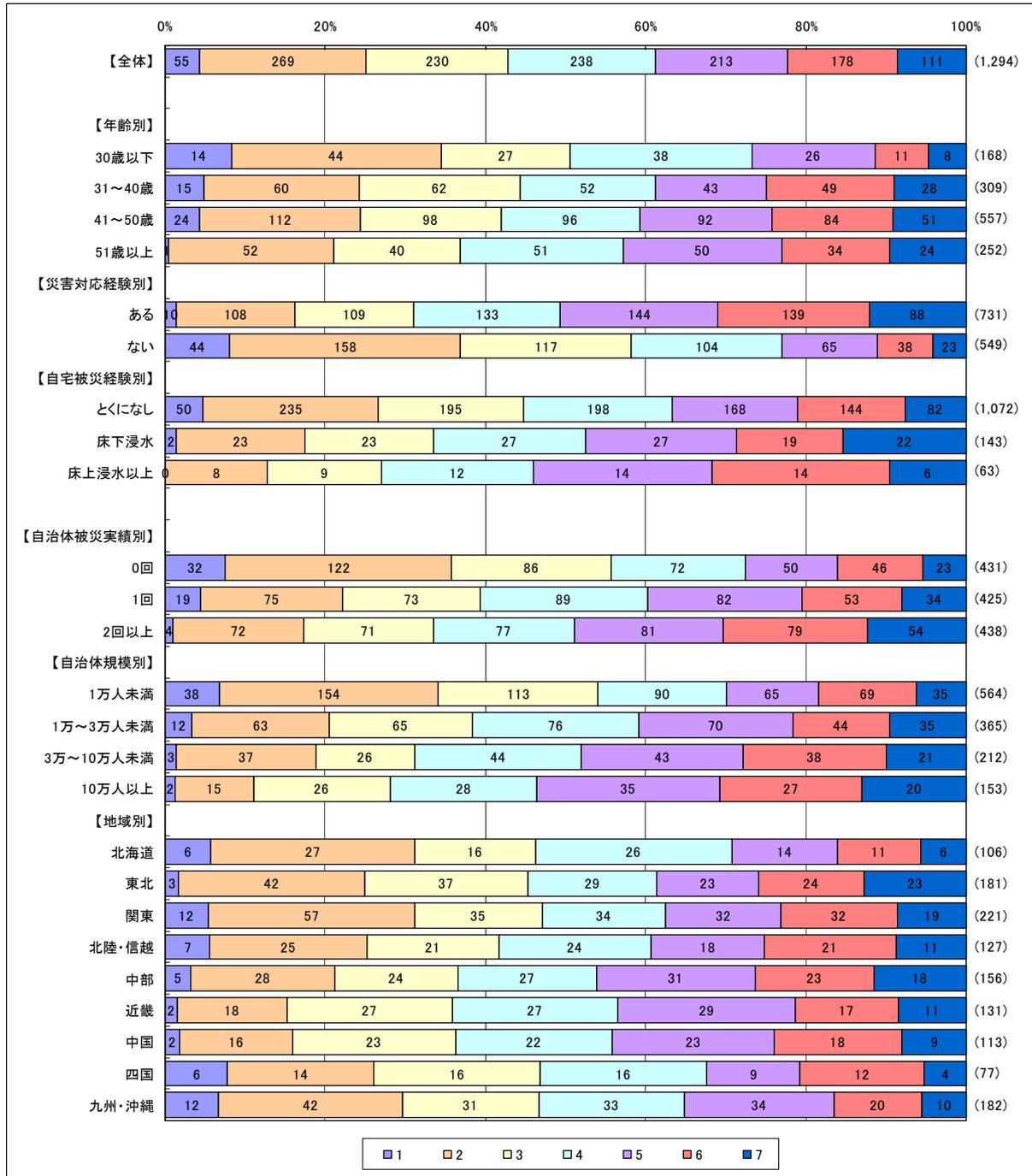


(8)洪水被害の危険性

【設問項目】

あなたの自治体は、洪水被害の起こりやすい地域だと思いますか。

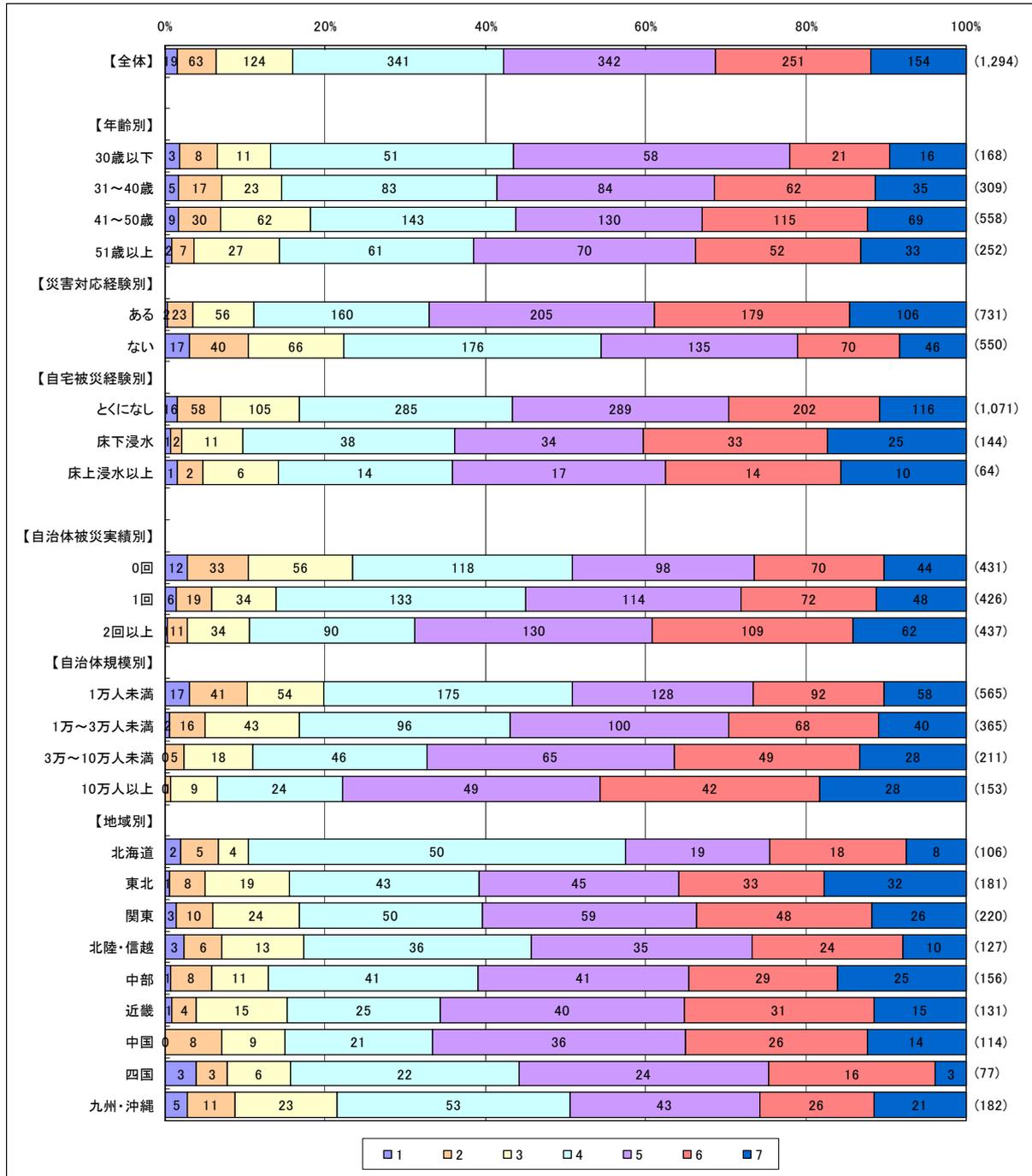
[1：まったく起こらない地域だー7：非常に起こりやすい地域だ]



(9)住民の防災意識の向上の重要性

【設問項目】

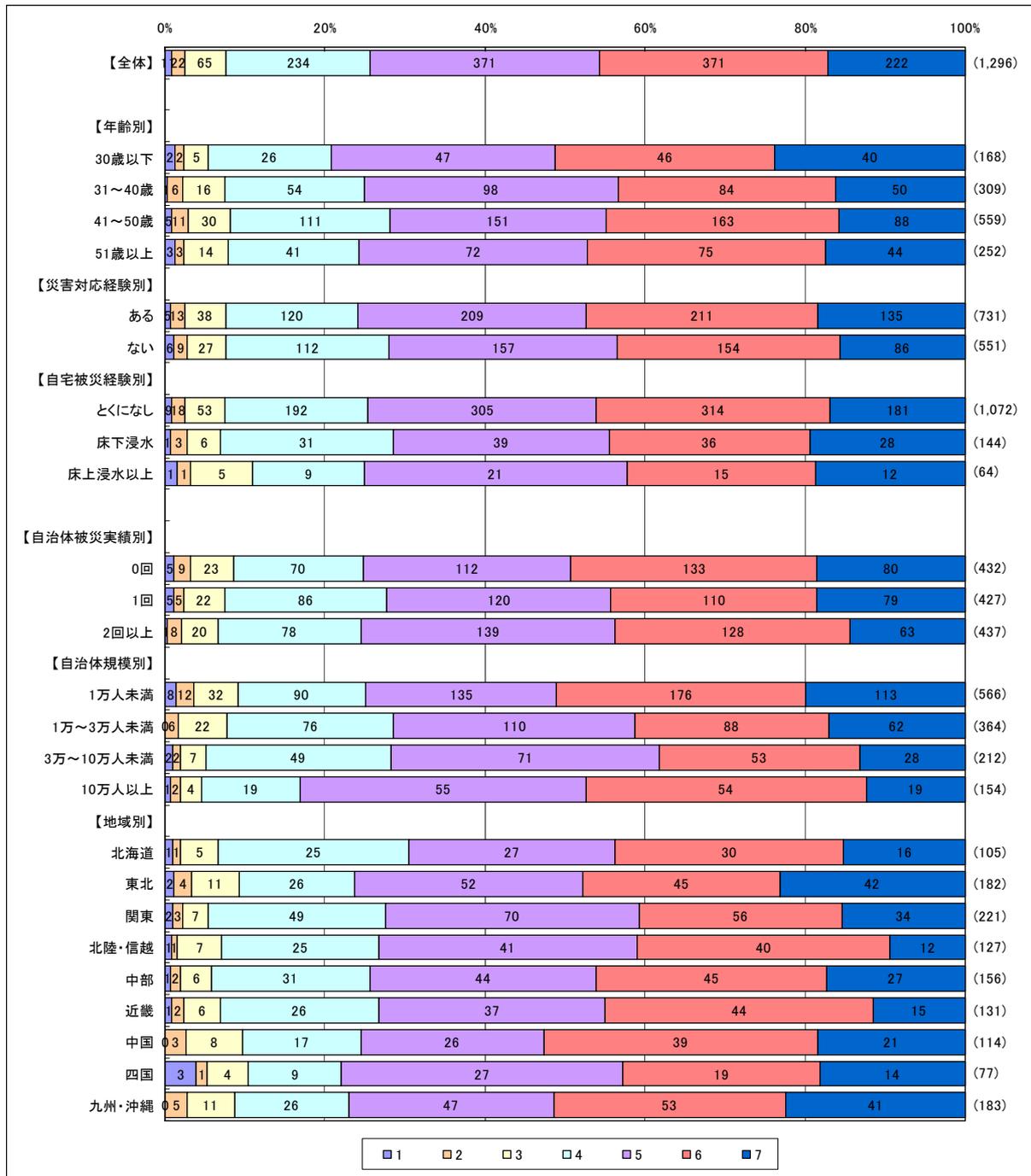
洪水対策のために平常時から住民の洪水に対する意識を啓蒙することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕



(10)河川整備における生態系の考慮の重要性

【設問項目】

河川整備において生態系への影響を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

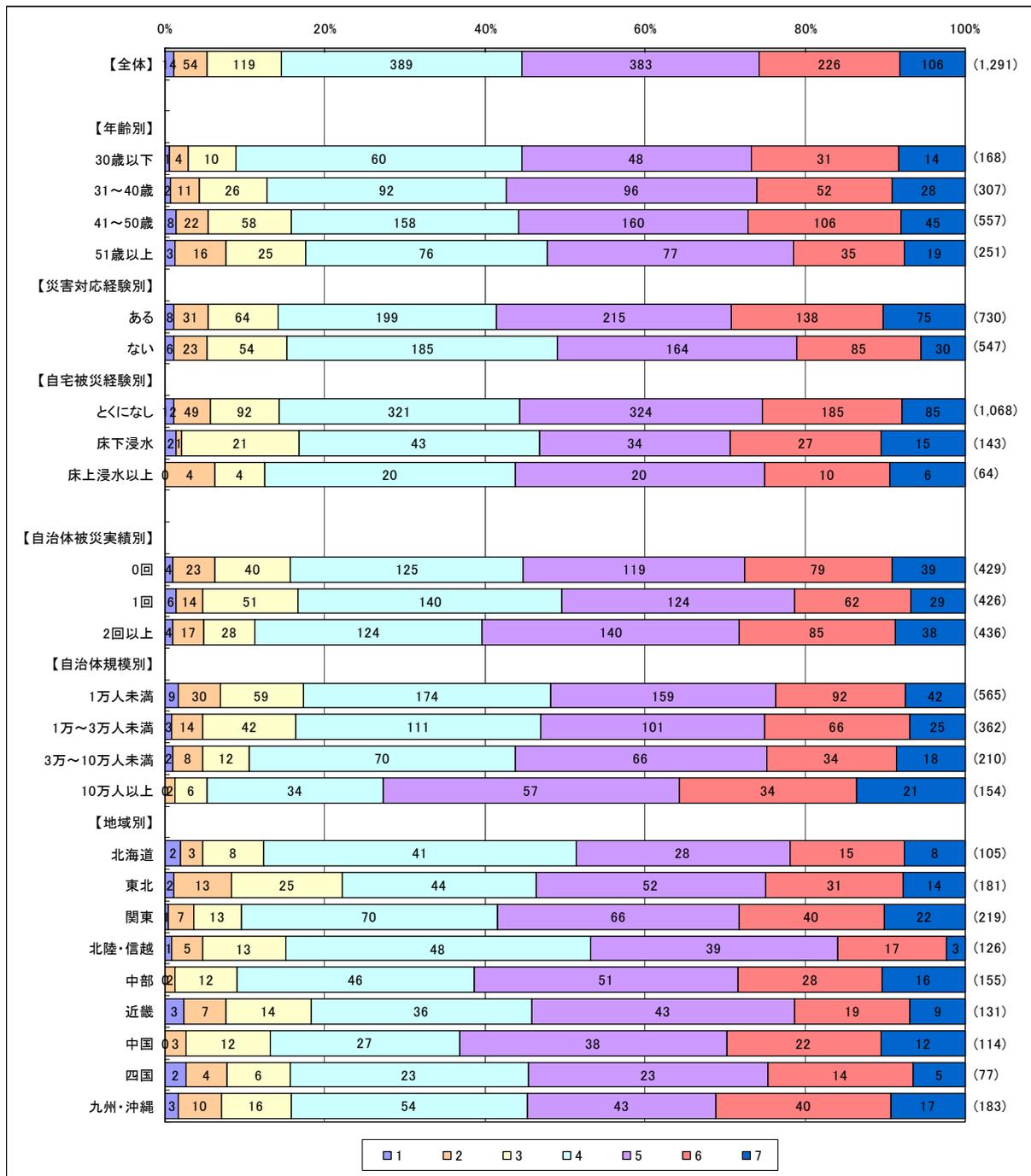


(11)ハード対策とソフト対策の比較

【設問項目】

洪水対策について考えるとき、堤防やダムなどの治水施設の建設と比べて、治水施設に頼らない緊急対応などのソフト的な洪水対策はどの程度重要だと思いますか。

〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

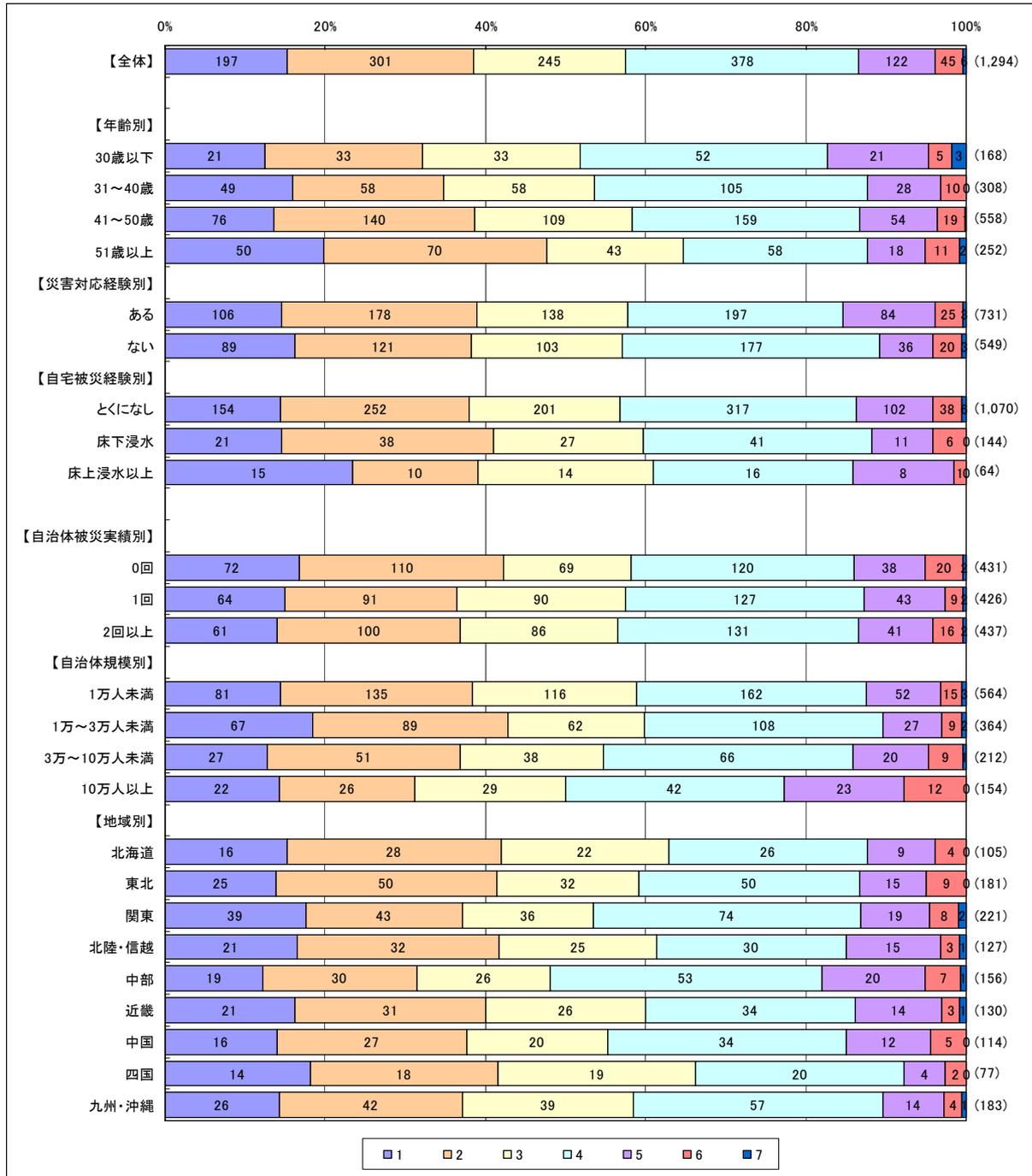


(12)氾濫による被害の受容度

【設問項目】

治水対策を考えると、ある程度の洪水被害の危険性なら許容してもよいと思いますか。

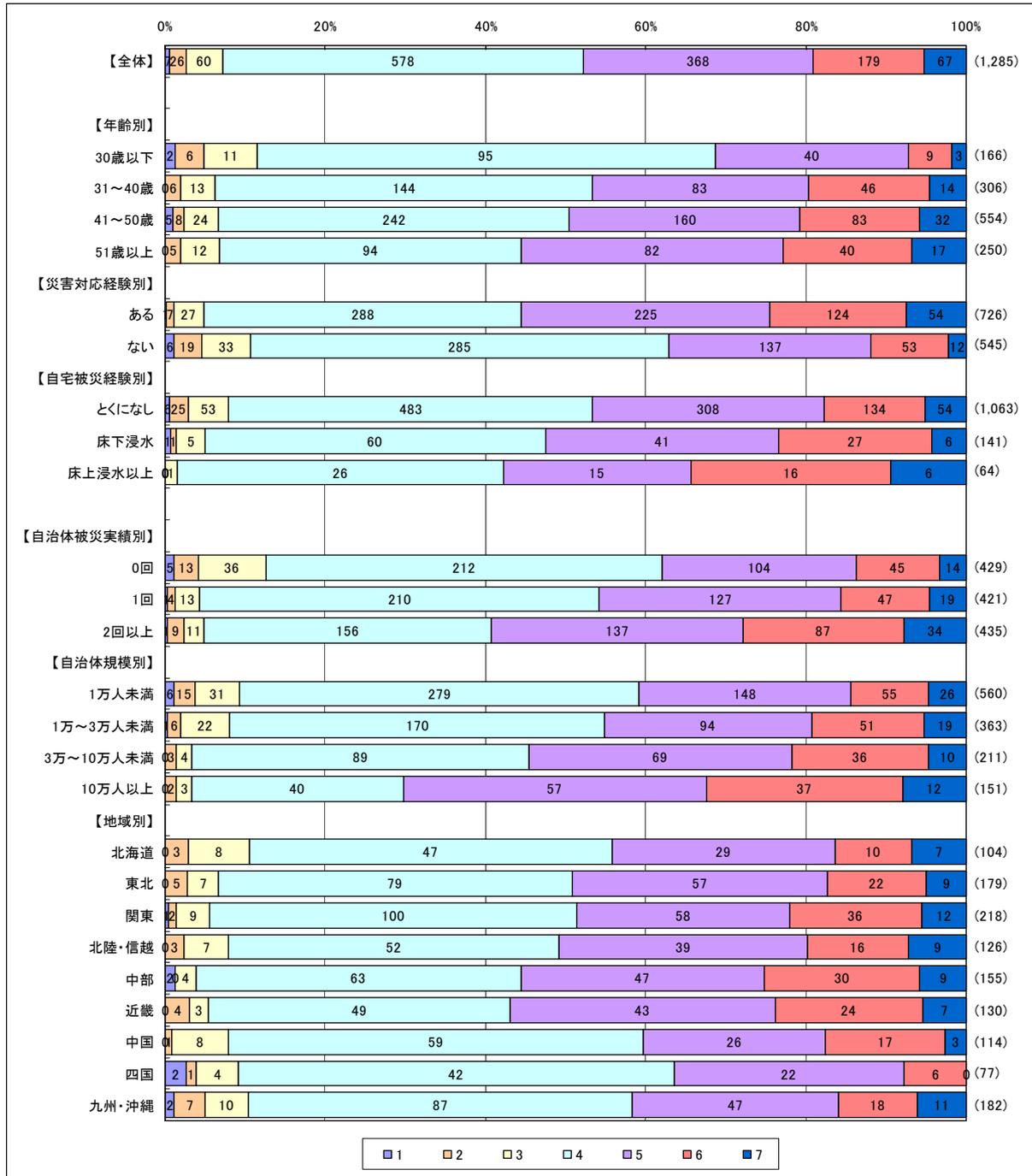
〔1：まったく許容すべきでないー7：非常に許容してもよい〕



(13)治水対策への費用の投入

【設問項目】

現在のあなたの自治体の治水対策にかけている費用と比べて、今後、どの程度費用をかけていくべきだと思いますか。〔1：非常に費用を減らすべき－7：非常に費用をかけるべき〕

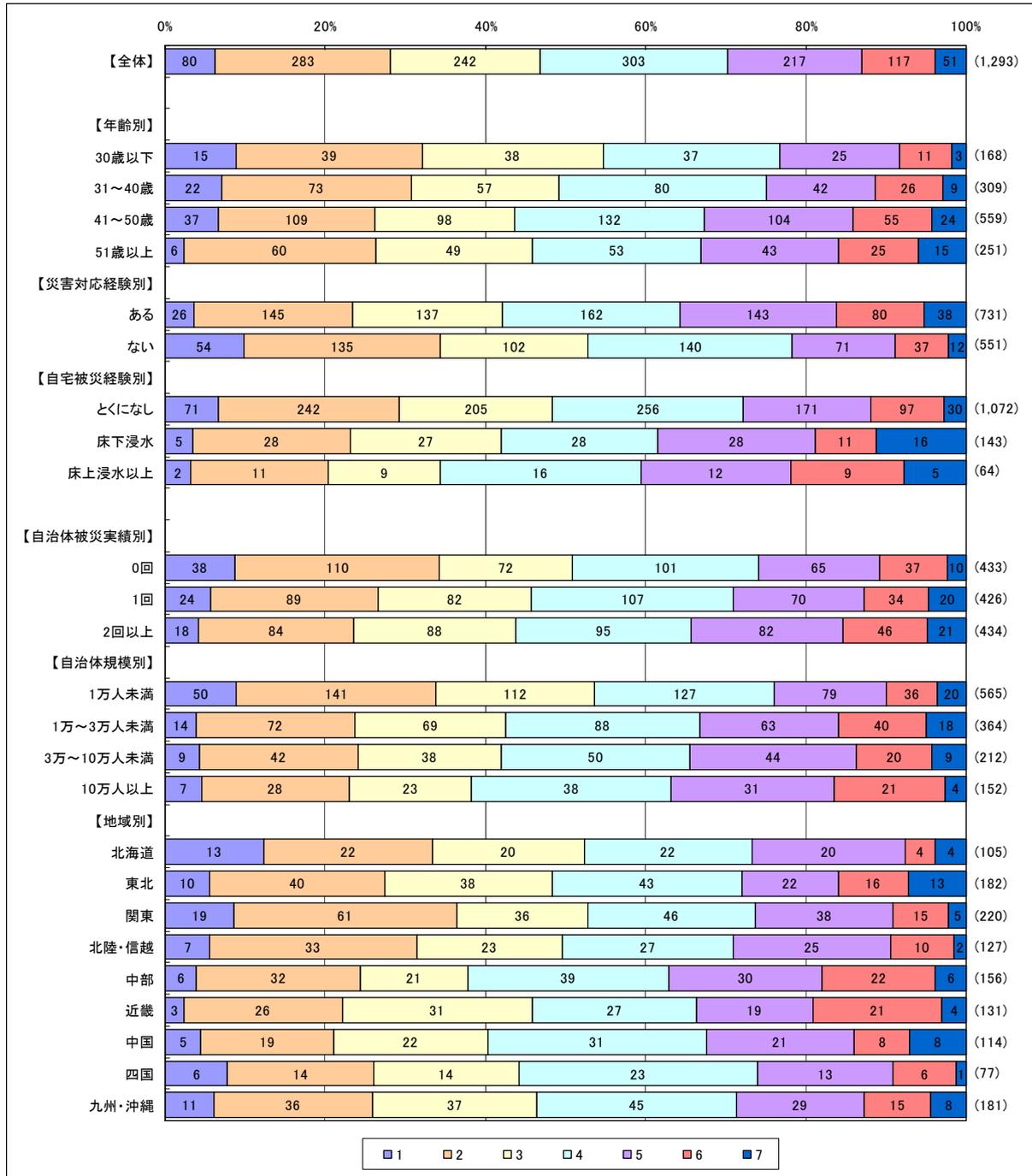


(14)堤防の破堤によって発生する被害の危険性

【設問項目】

あなたの自治体では、堤防の破堤による洪水被害の危険性はどの程度あると思いますか。

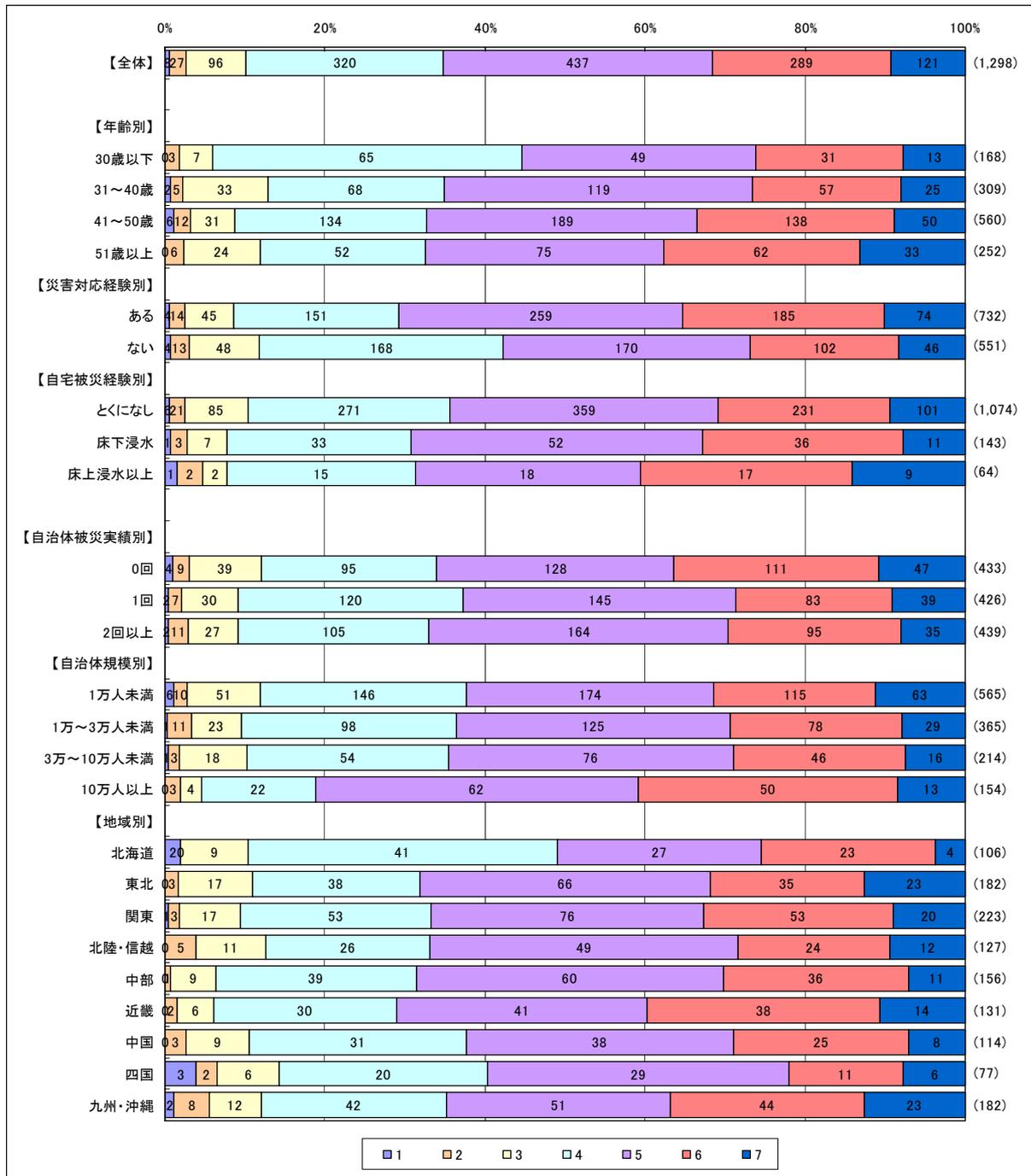
〔1：まったく危険性はないー7：非常に危険性はある〕



(15)河川整備における親水性の考慮の重要性

【設問項目】

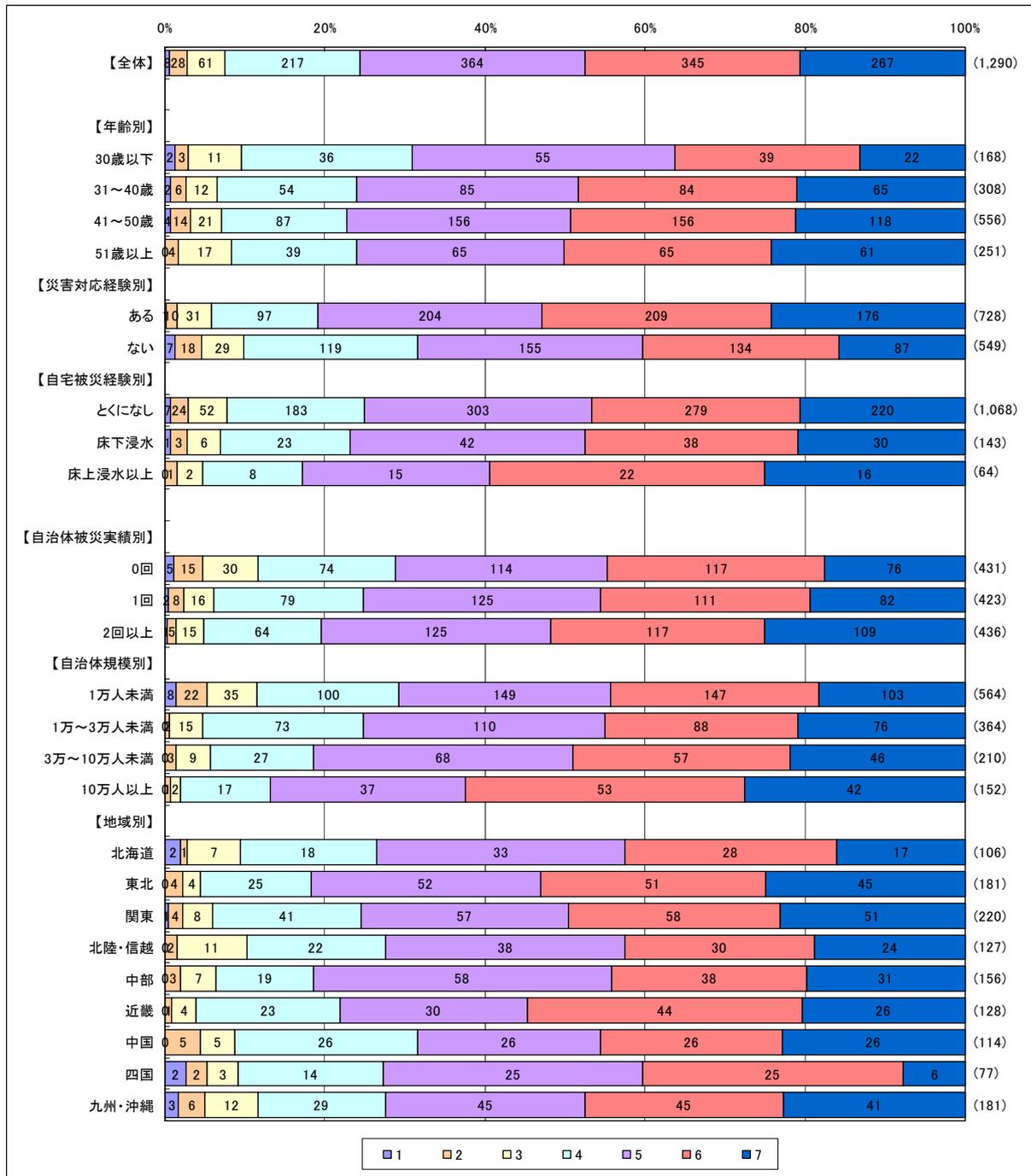
河川整備において親水性を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。  
〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕



(16)水害対策のための情報伝達設備の整備の重要性

【設問項目】

豪雨時の危険性に関する情報の収集・伝達に必要な設備を整備することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

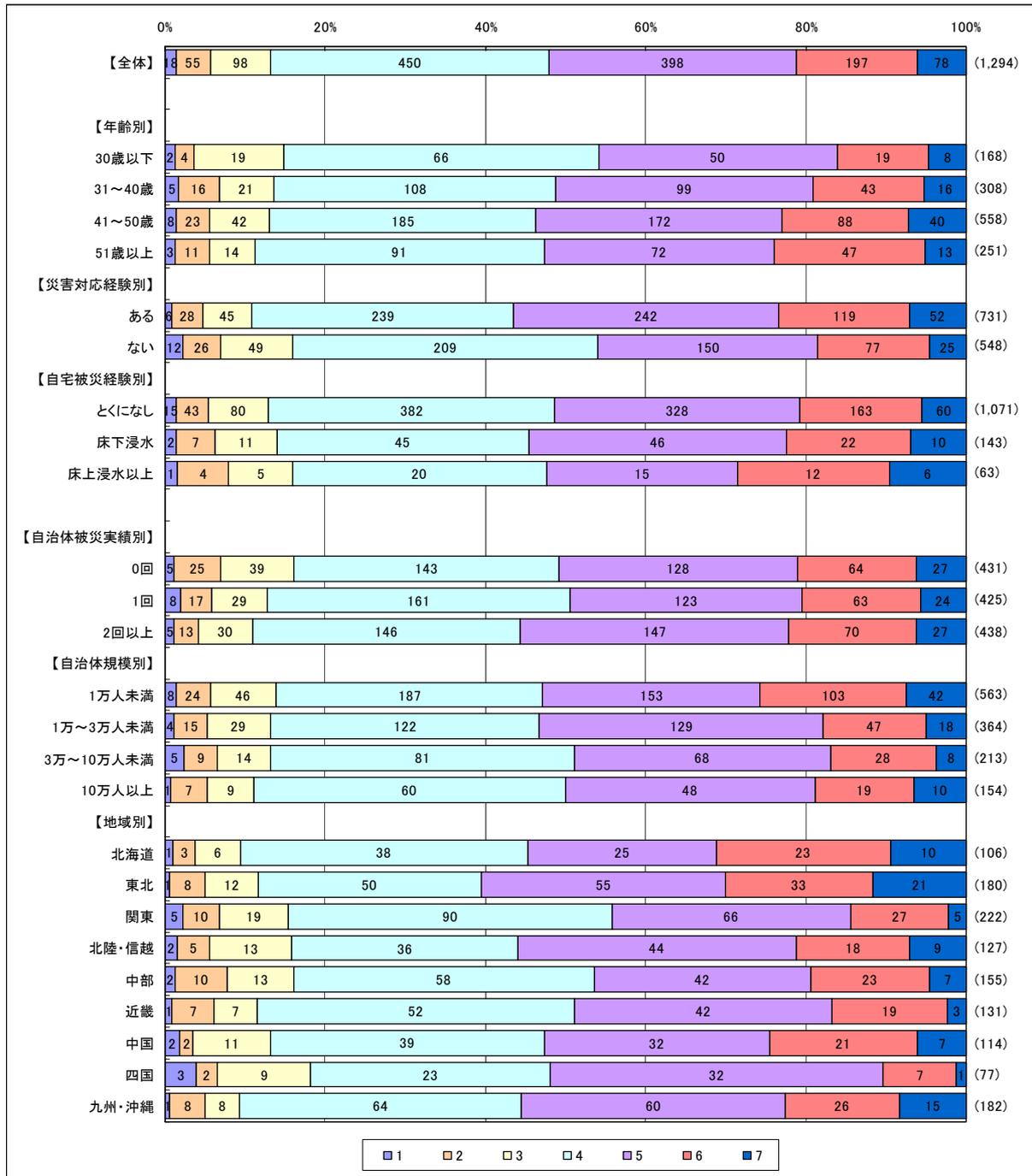


(17)治水整備の経済効果

【設問項目】

治水整備に関連する事業を考えると、事業に関連する地元への経済効果について、どの程度考慮すべきだと思いますか。

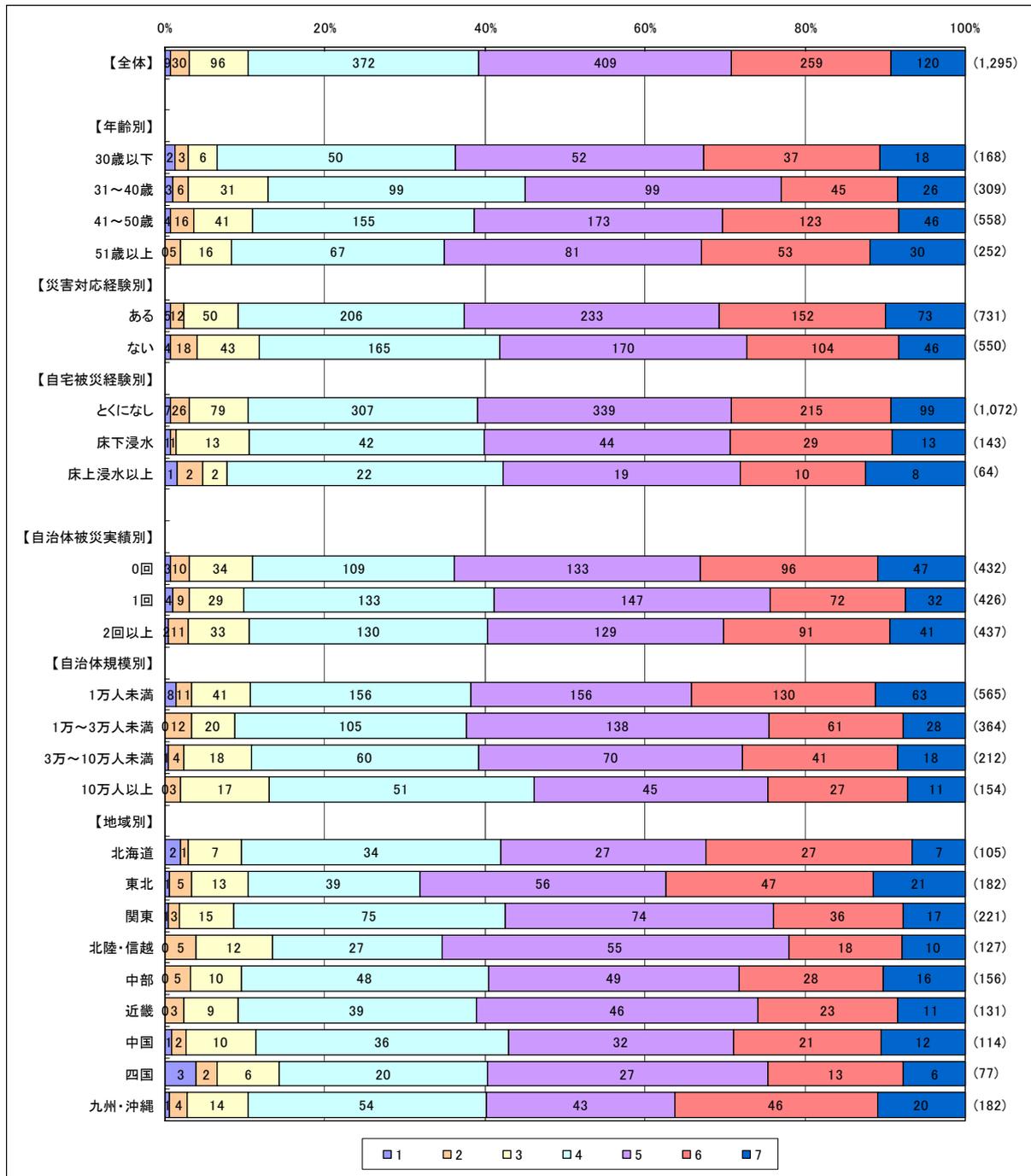
[1：まったく考慮するべきではないー7：非常に考慮するべきである]



(18)河川整備における環境の考慮の重要性

【設問項目】

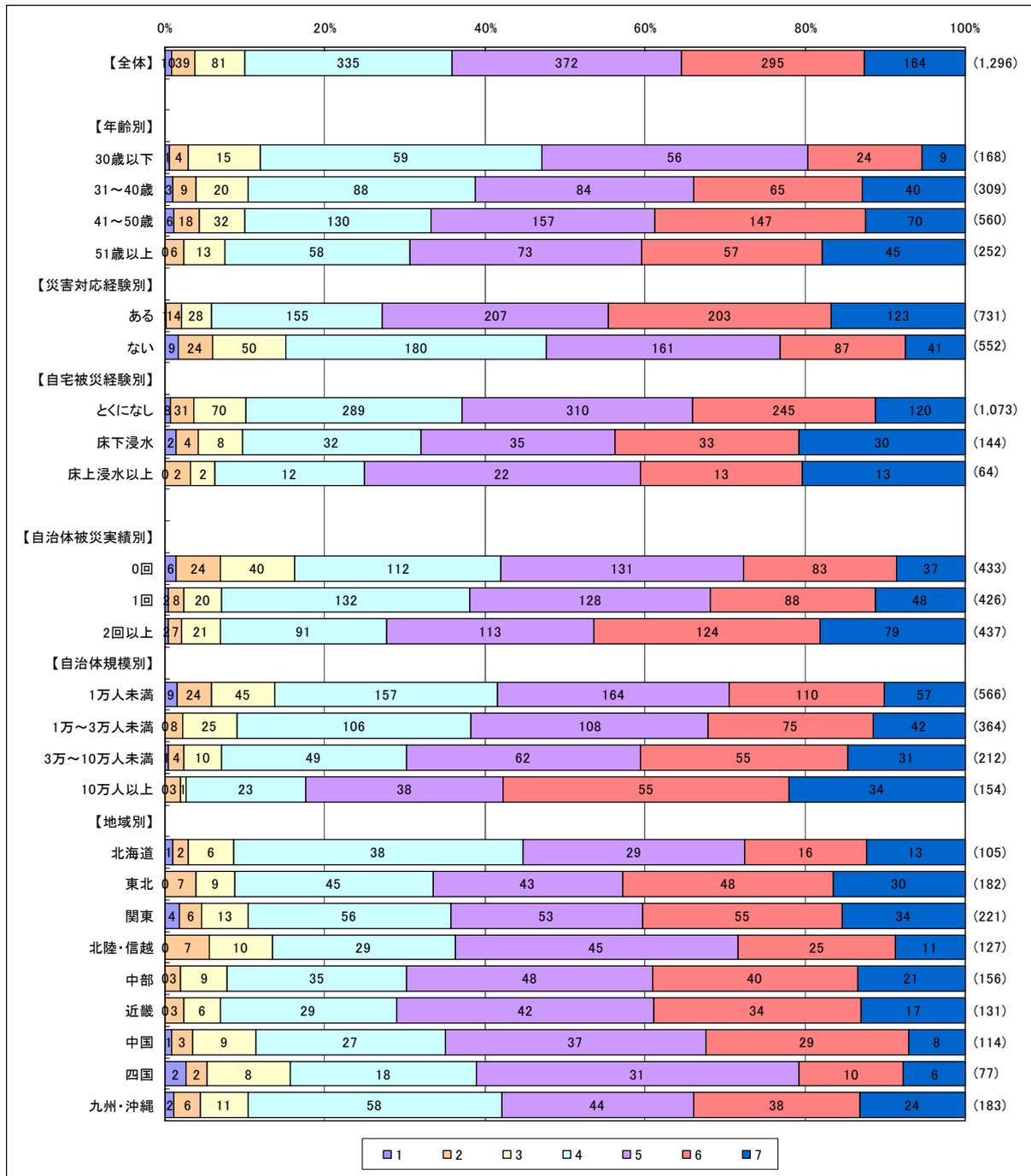
河川整備において環境面を考慮することは、治水対策と比較してどの程度重要だと思いますか。  
 [1：まったく重要ではないー7：非常に重要である]



(19)ハード対策の推進の重要性

【設問項目】

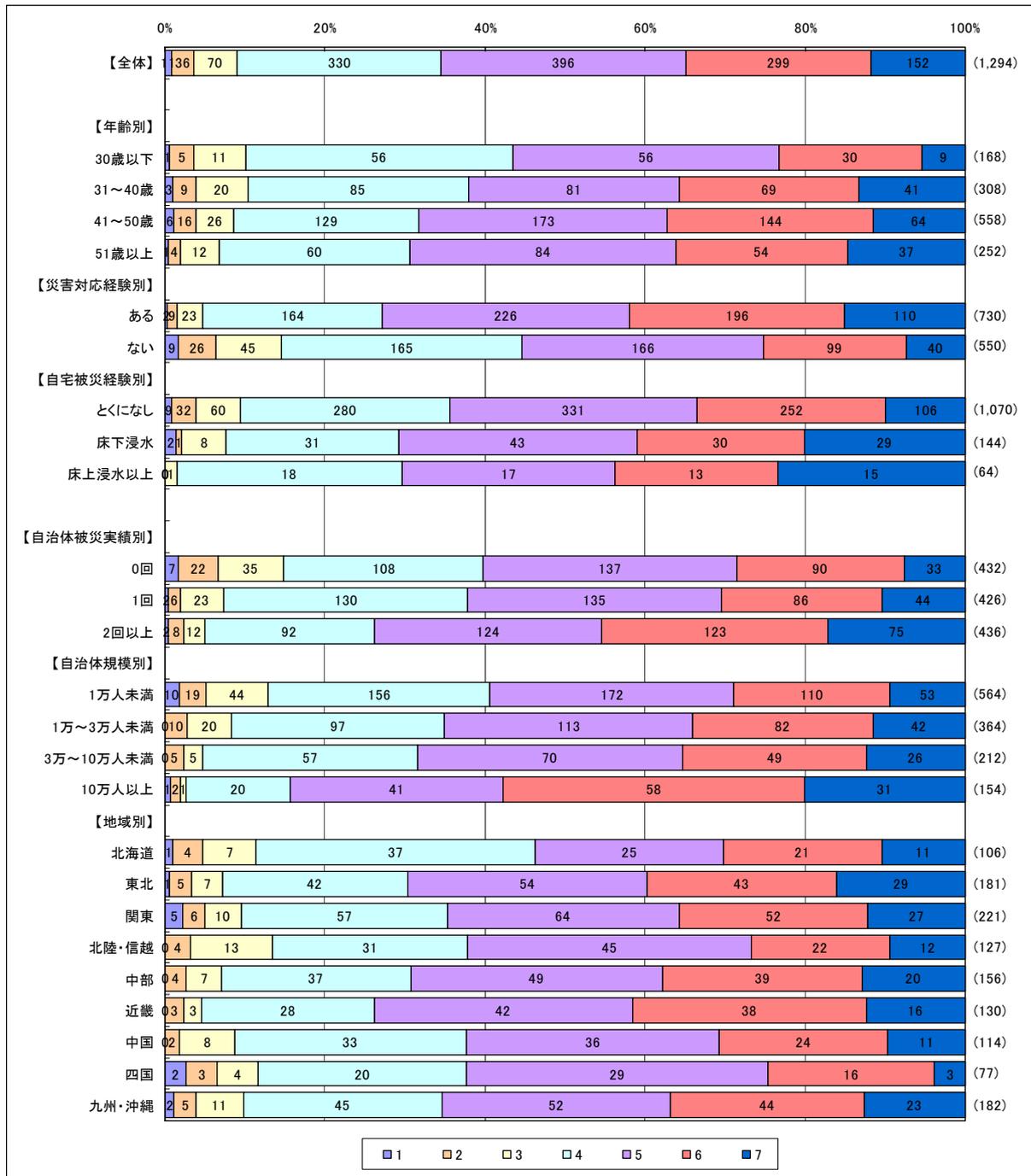
治水施設の整備を推進していくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕



(20)洪水対策の推進の重要性

【設問項目】

ハード対策・ソフト対策全般に、様々な洪水対策に力を注いでいくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

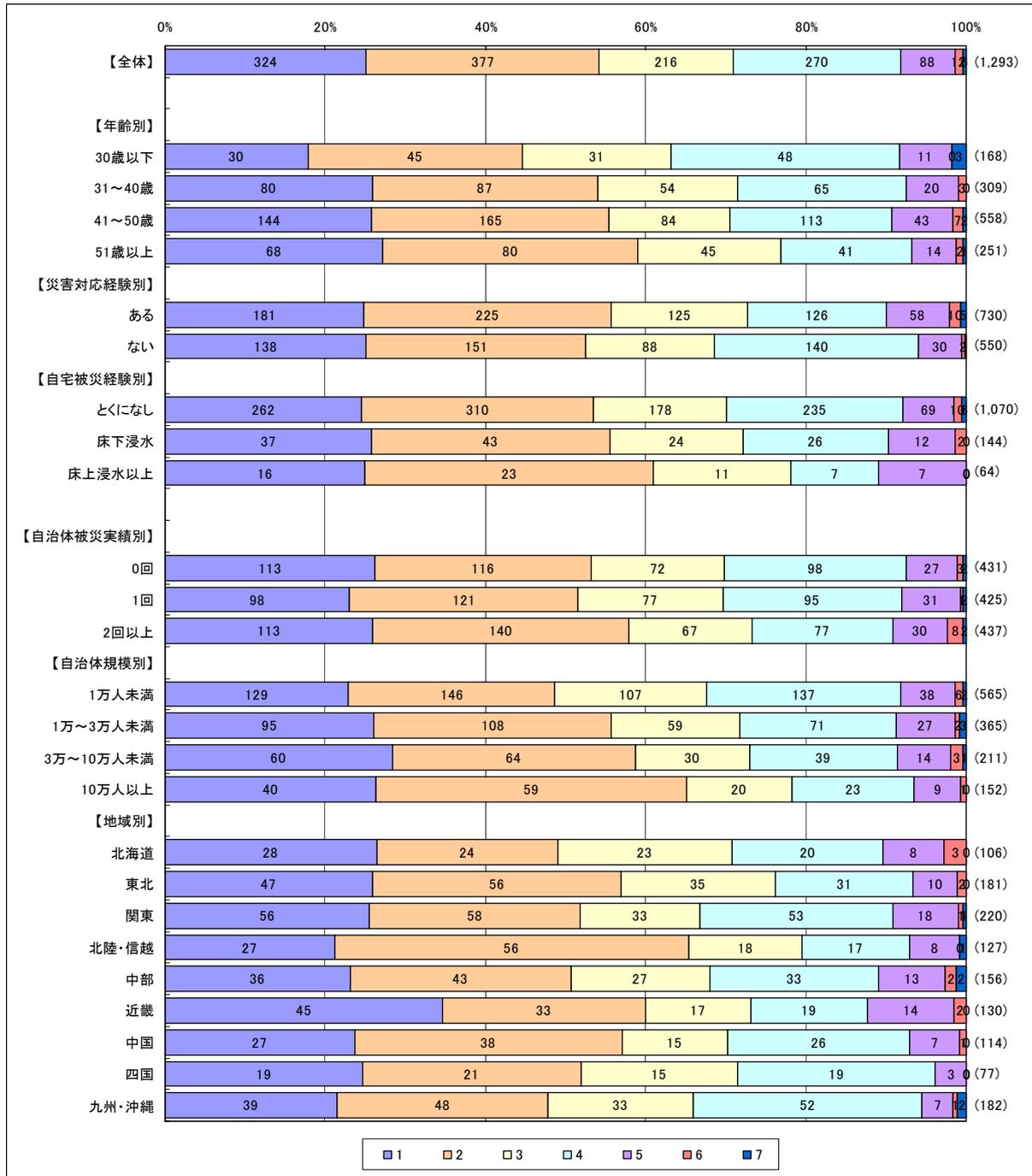


(21)住民の氾濫被害の受容度

【設問項目】

住民は、全体的にみて、「洪水による被害をある程度までなら許容してもよいと思っている」と思いますか。

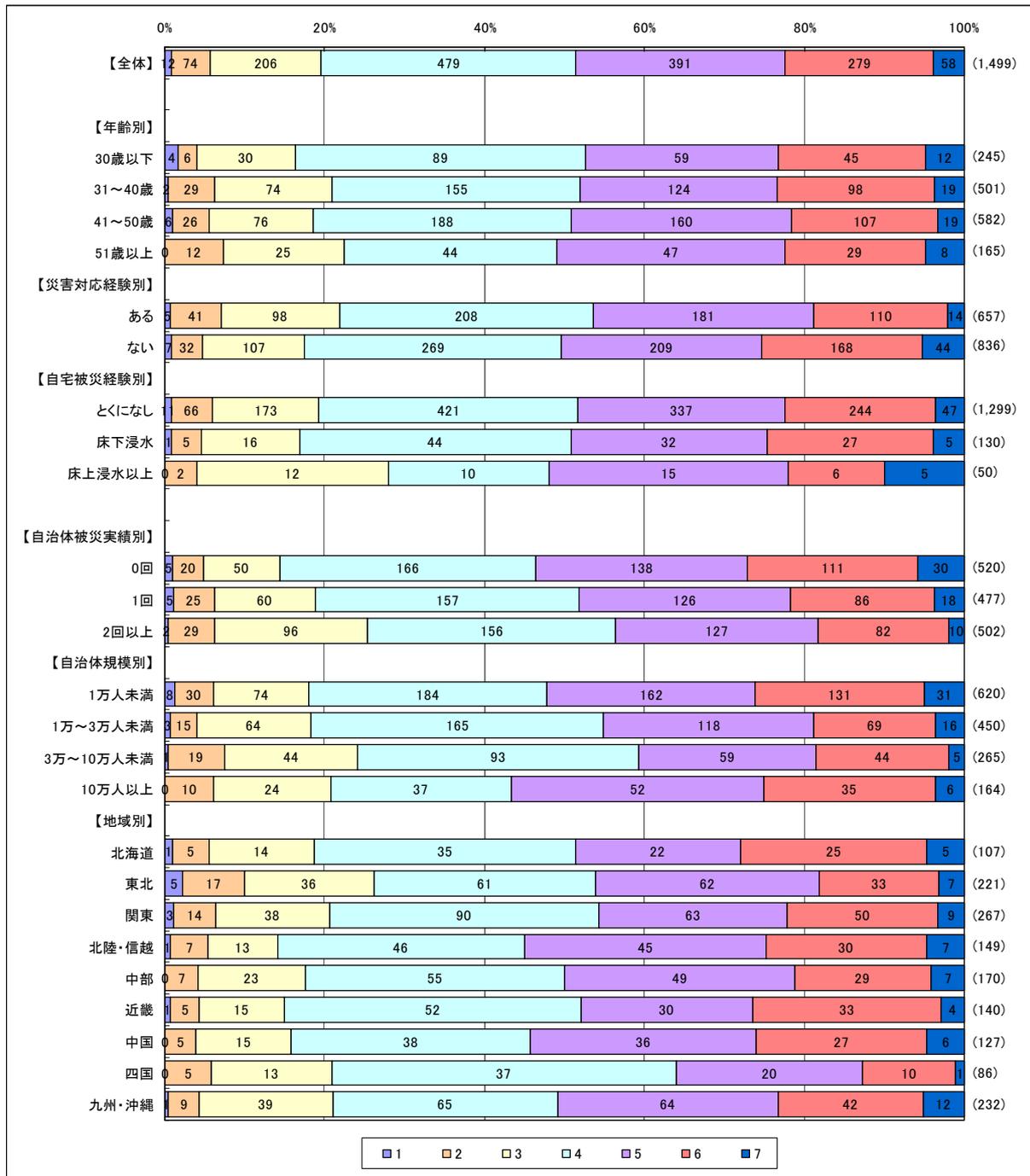
〔1：住民は「まったく許容すべきでない」と思っている－7：住民は「非常に許容してもよい」と思っている〕



### 3.3 各設問項目の属性別集計結果（危機管理担当部署）

#### (1) 治水施設の整備状況

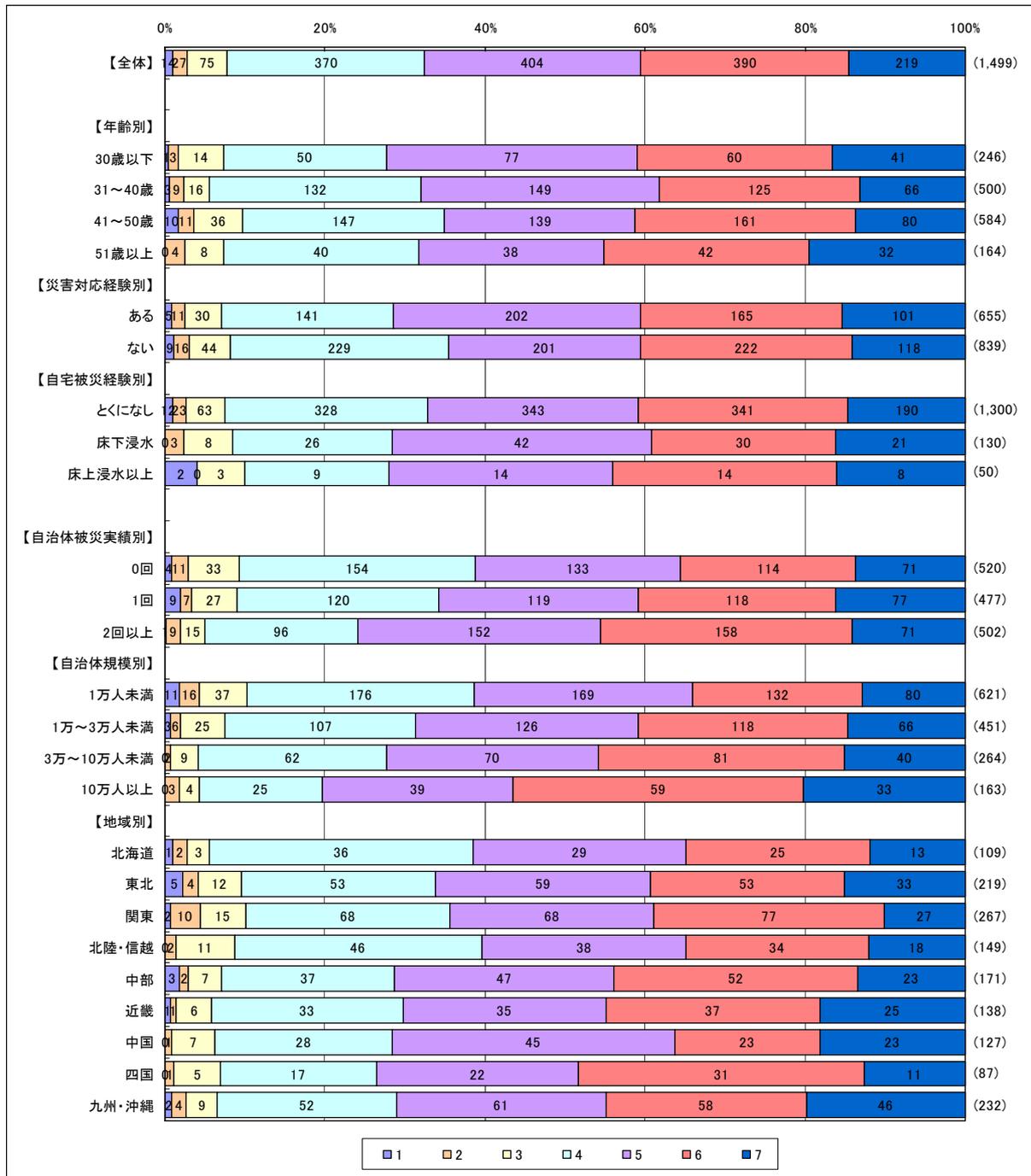
**【設問項目】**  
 あなたの自治体内の治水施設は、あなたの考える必要量と比較して、どの程度整備されていると思いますか。〔1：まったく整備されていないー7：非常に整備されている〕



(2)ソフト対策の推進の重要性

【設問項目】

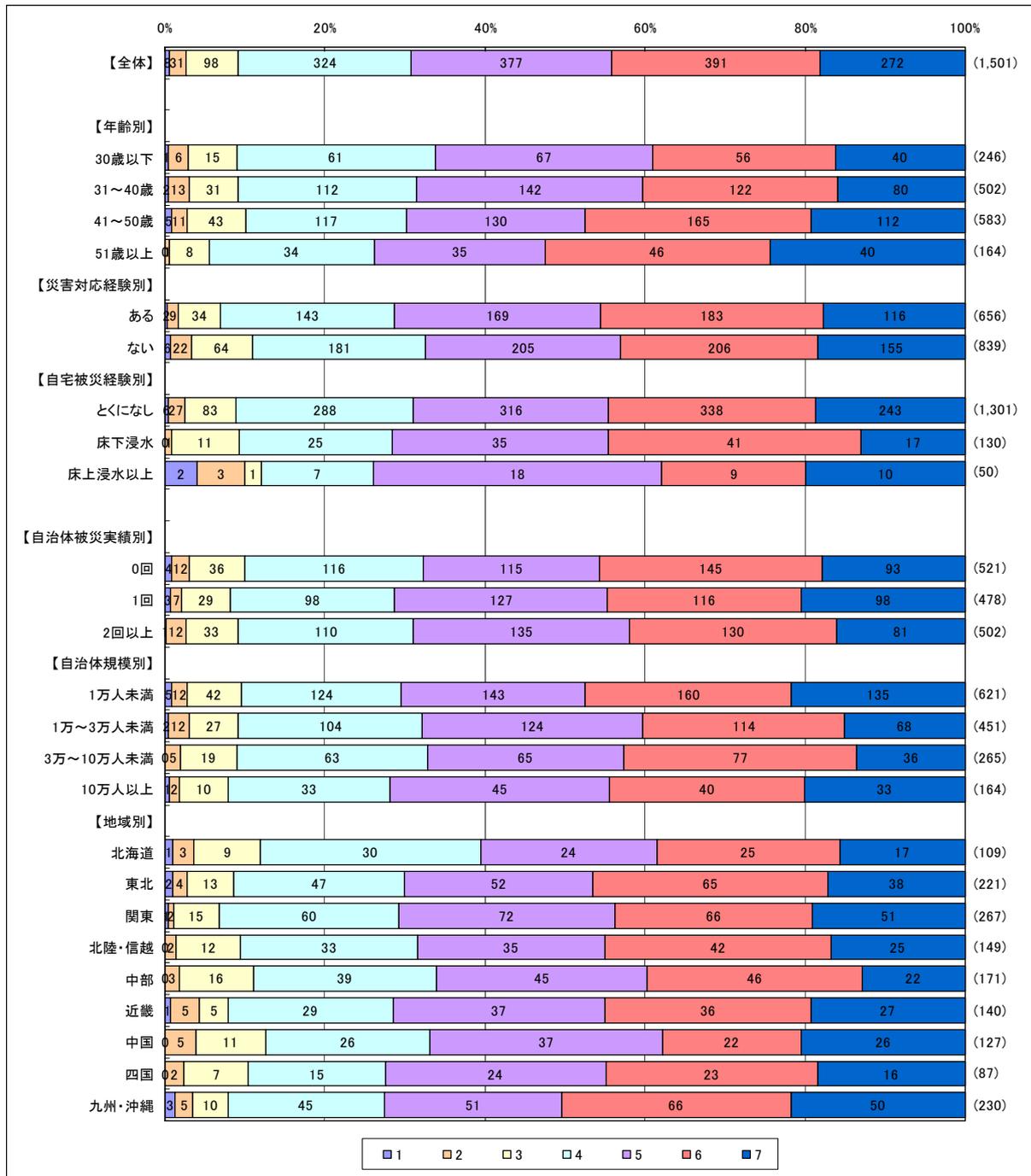
堤防などの構造物に頼らないソフト的な洪水対策は、今後、どの程度重要だと思いますか。  
〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕



(3)河川整備における景観面の考慮の重要性

【設問項目】

河川整備において景観面を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。  
〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

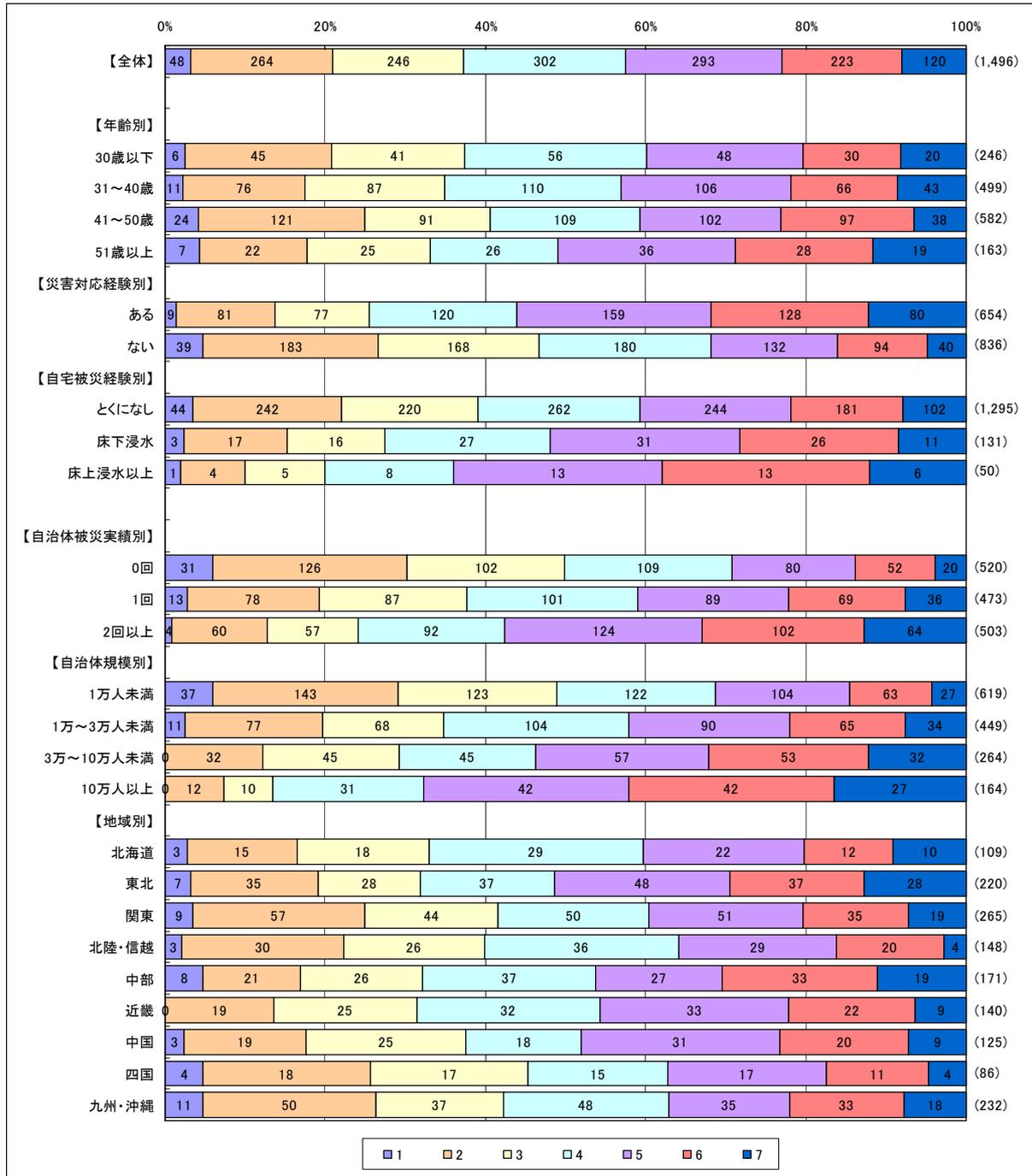


(4)内水氾濫による被害の危険性

【設問項目】

あなたの自治体では、内水氾濫による被害の危険性はどの程度あると思いますか。

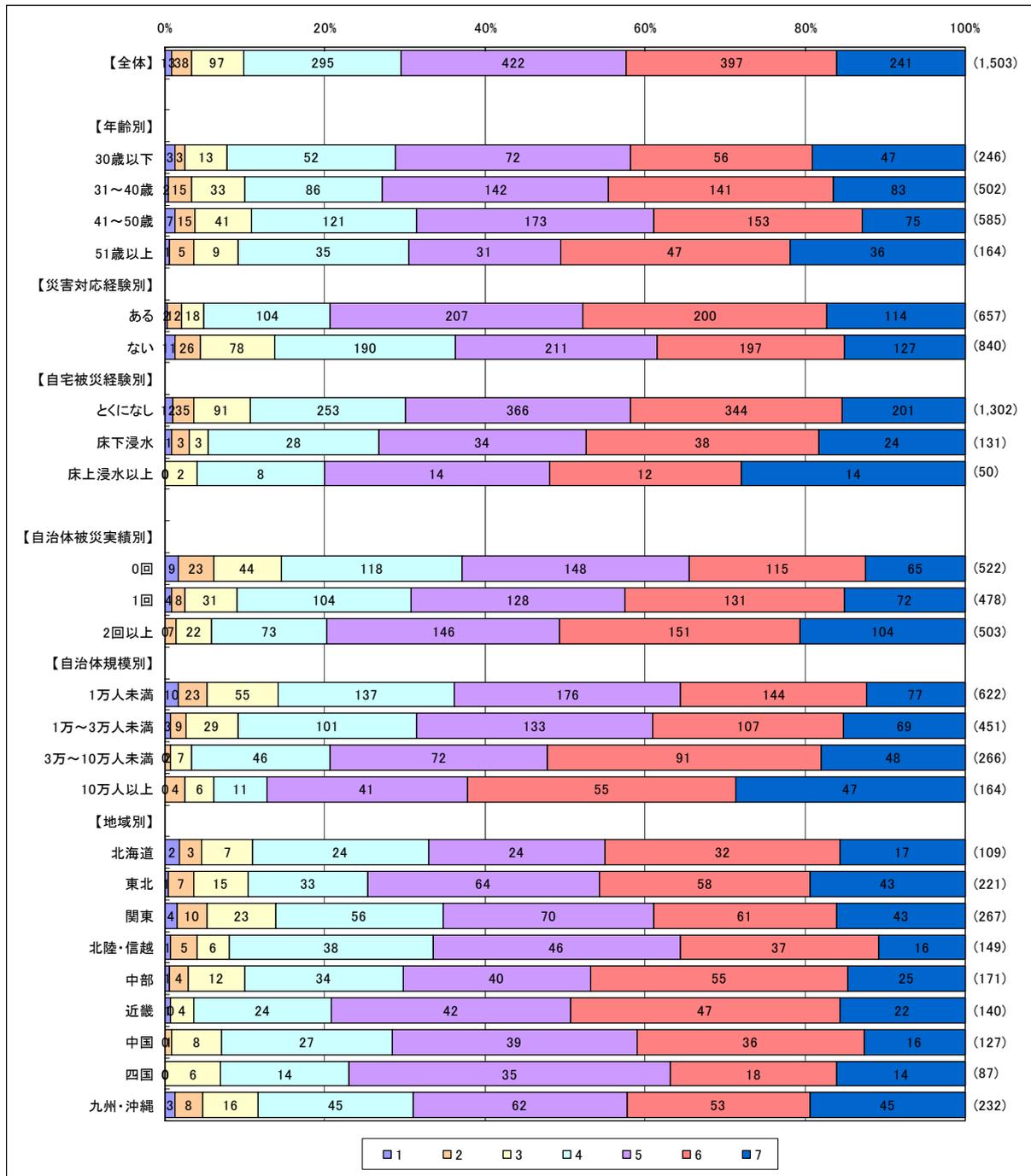
〔1：まったく危険性はないー7：非常に危険性はある〕



(5)行政組織内の危機管理体制の強化の重要性

【設問項目】

洪水対策のために行政組織内の危機管理体制を強化することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

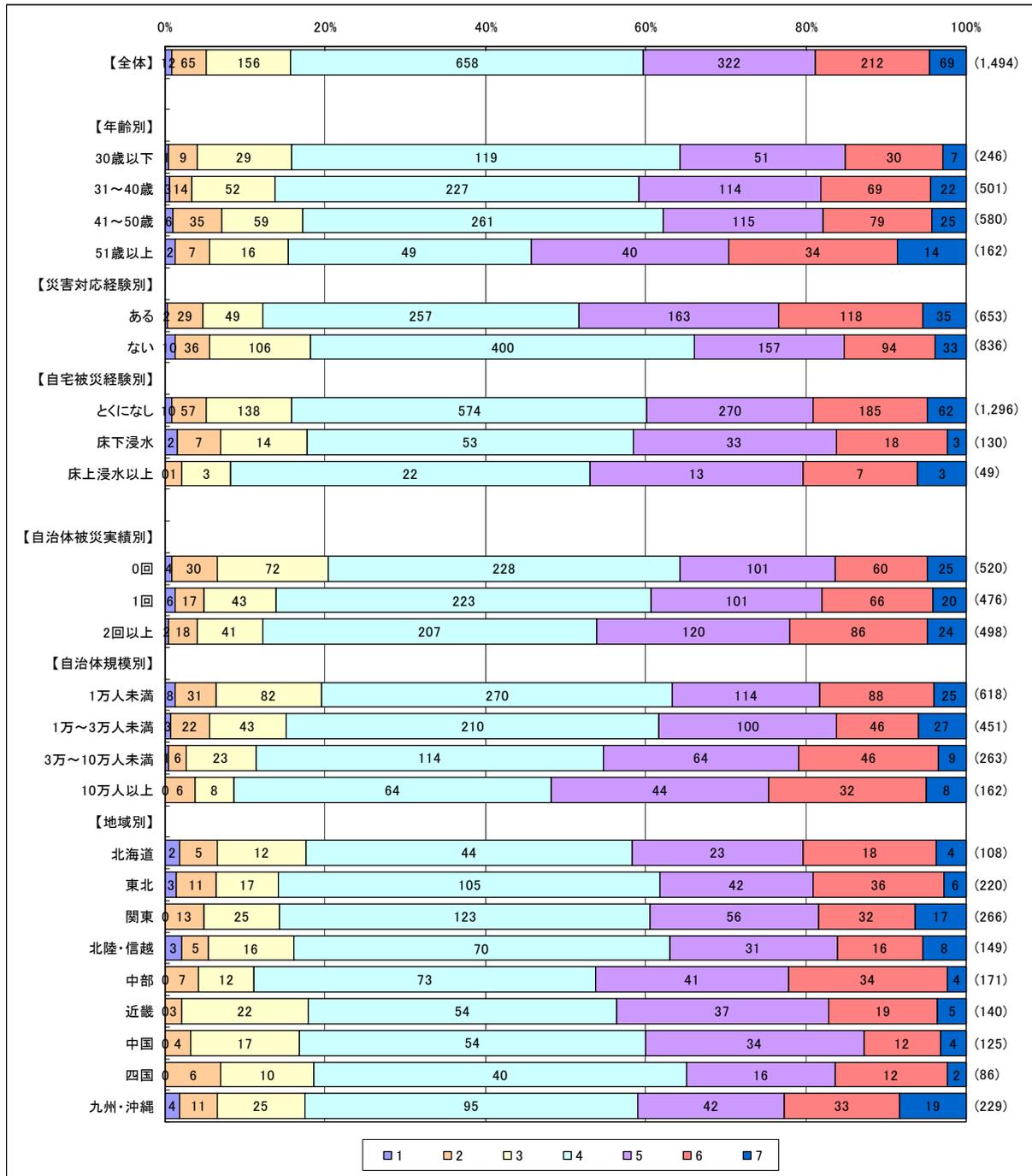


(6)治水対策の実施効果

【設問項目】

あなたの自治体では、治水対策にかけている費用に対して、どの程度費用にみあった被害軽減効果があると思いますか。

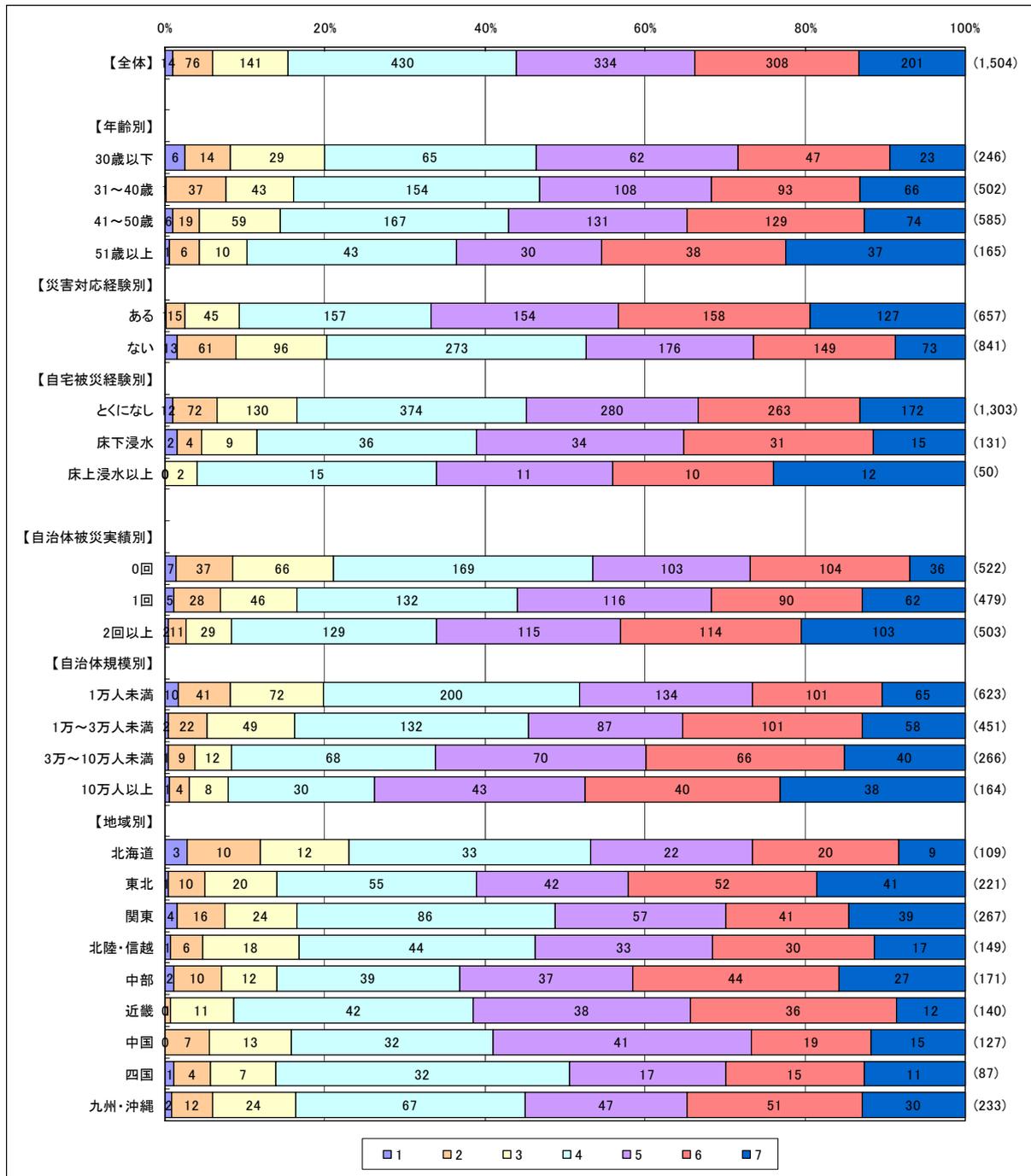
[1：まったく費用にみあった効果はないー7：非常に費用にみあった効果がある]



(7)住民の洪水対策の需要度

【設問項目】

住民は、全体的にみて、行政が洪水対策を推進していくことをどの程度望んでいると思いますか。  
 [1：まったく望んでいないー7：非常に望んでいる]

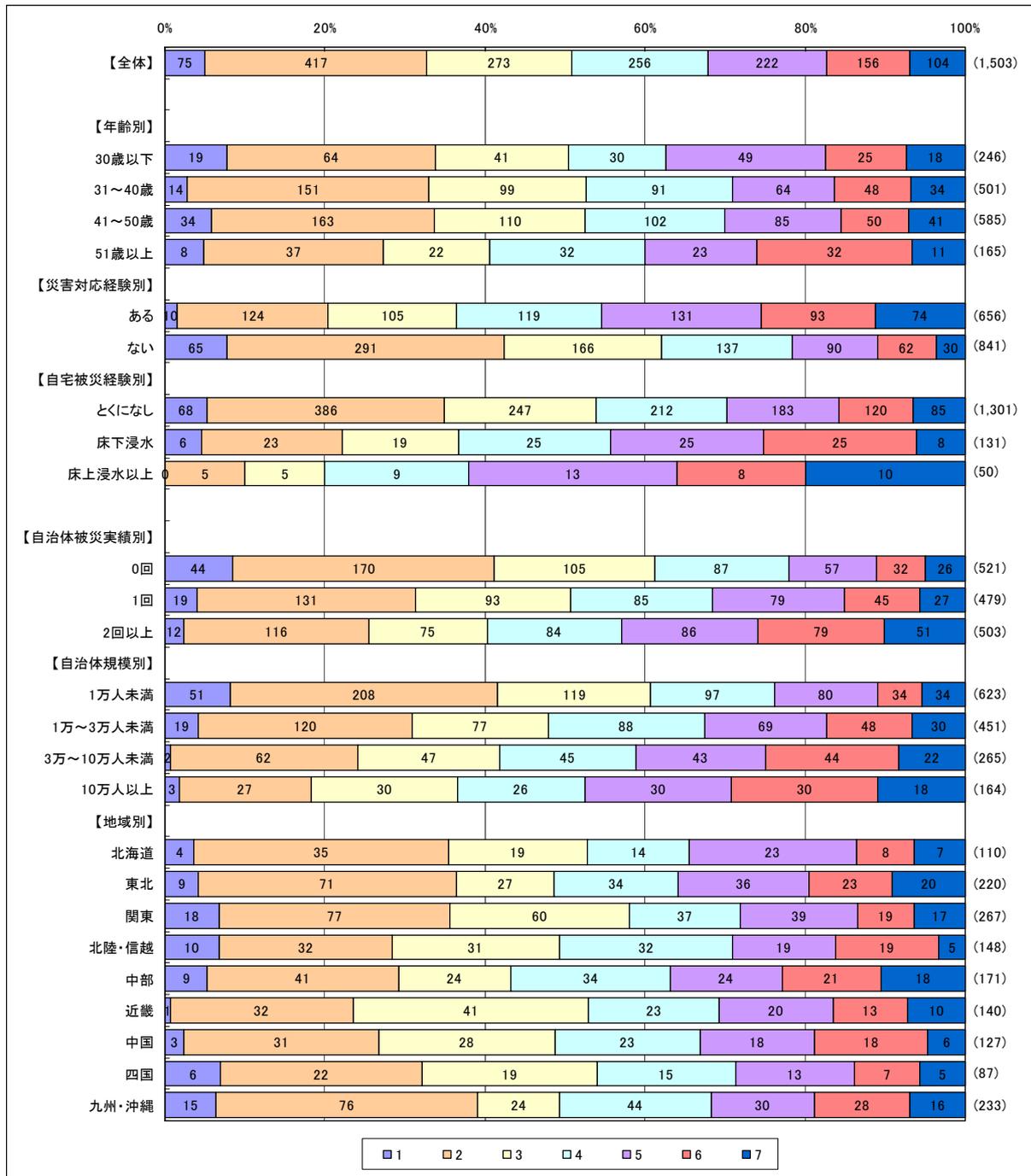


(8)洪水被害の危険性

【設問項目】

あなたの自治体は、洪水被害の起こりやすい地域だと思いますか。

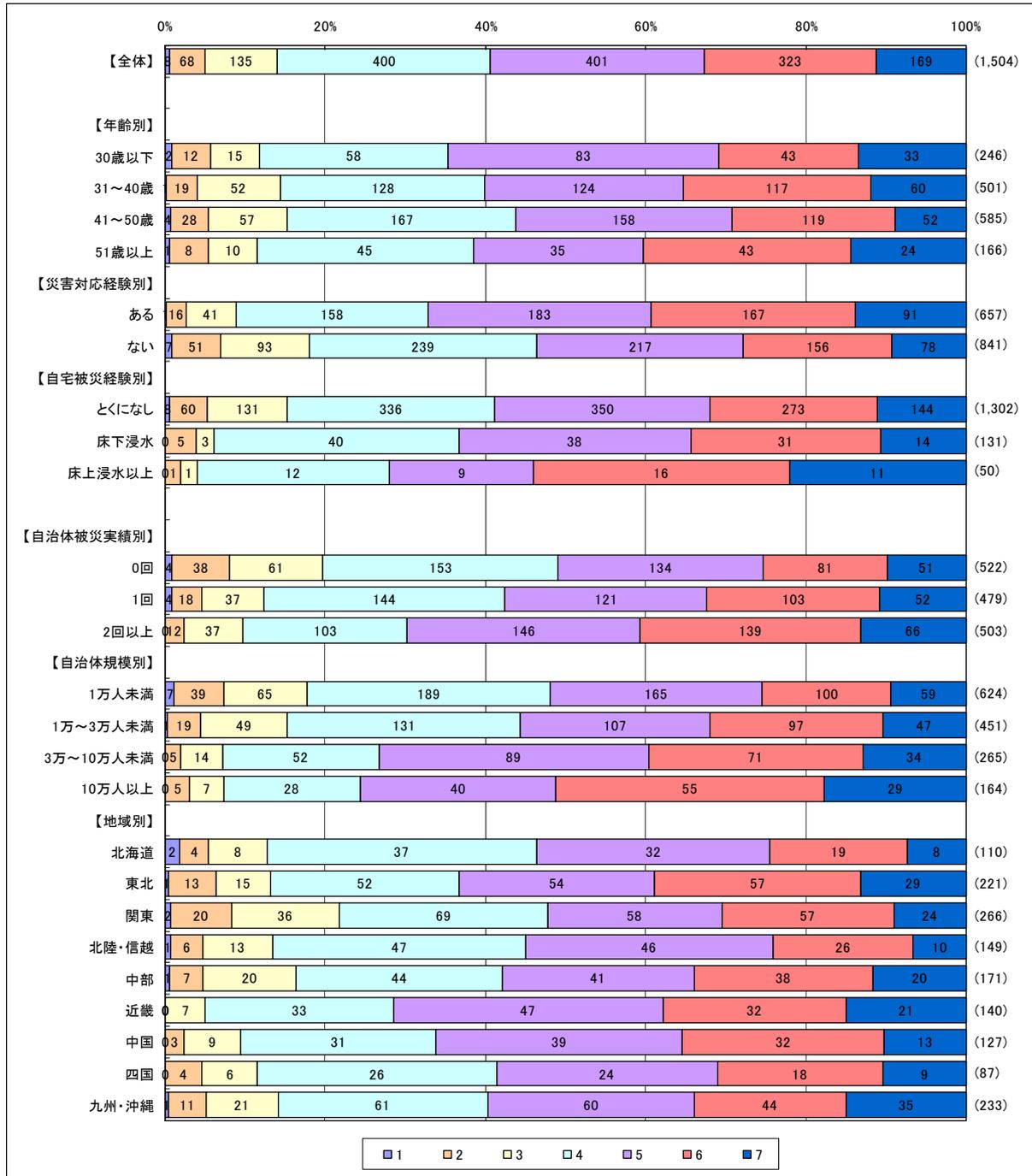
[1：まったく起こらない地域だー7：非常に起こりやすい地域だ]



(9)住民の防災意識の向上の重要性

【設問項目】

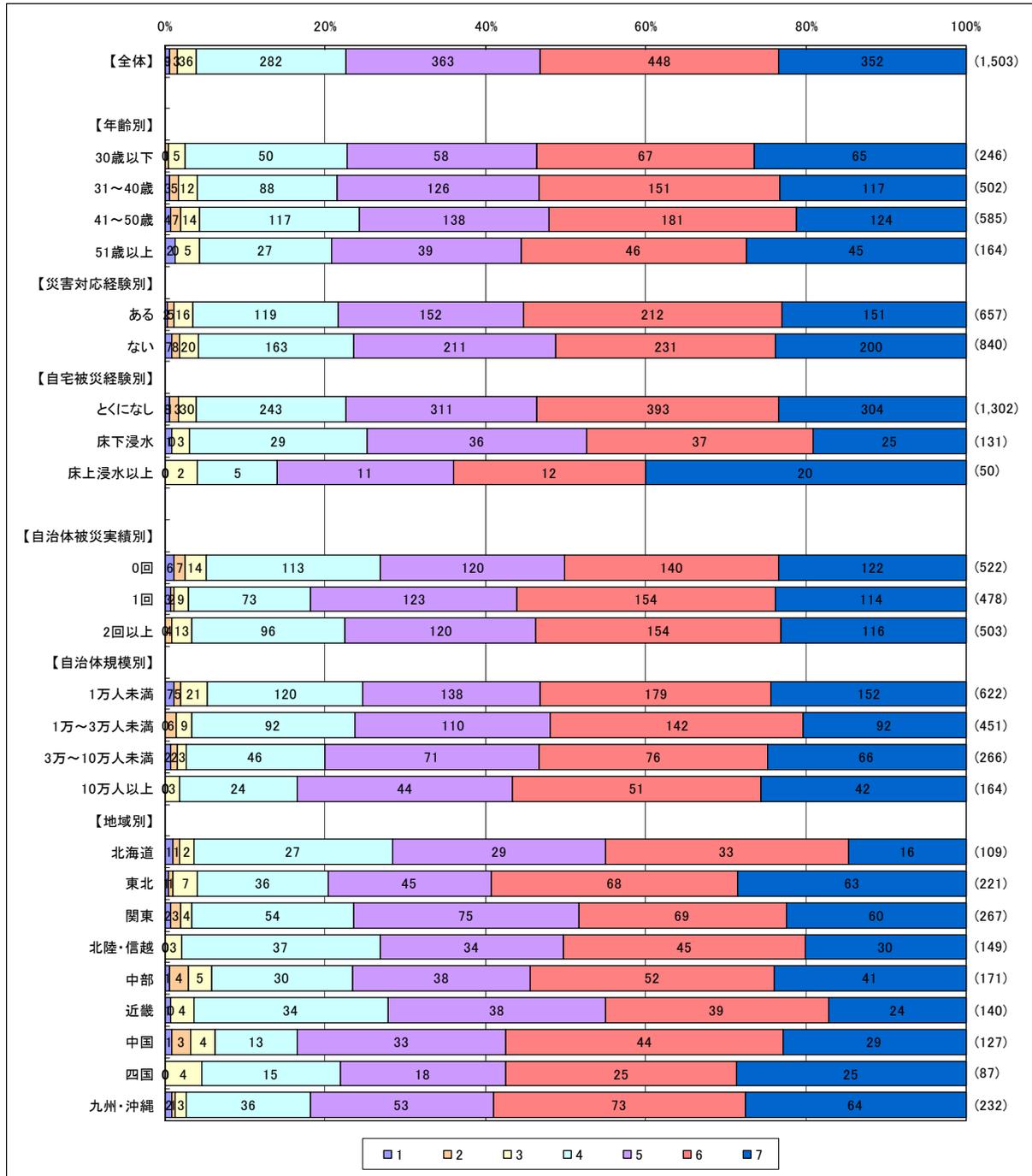
洪水対策のために平常時から住民の洪水に対する意識を啓蒙することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕



(10)河川整備における生態系の考慮の重要性

【設問項目】

河川整備において生態系への影響を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

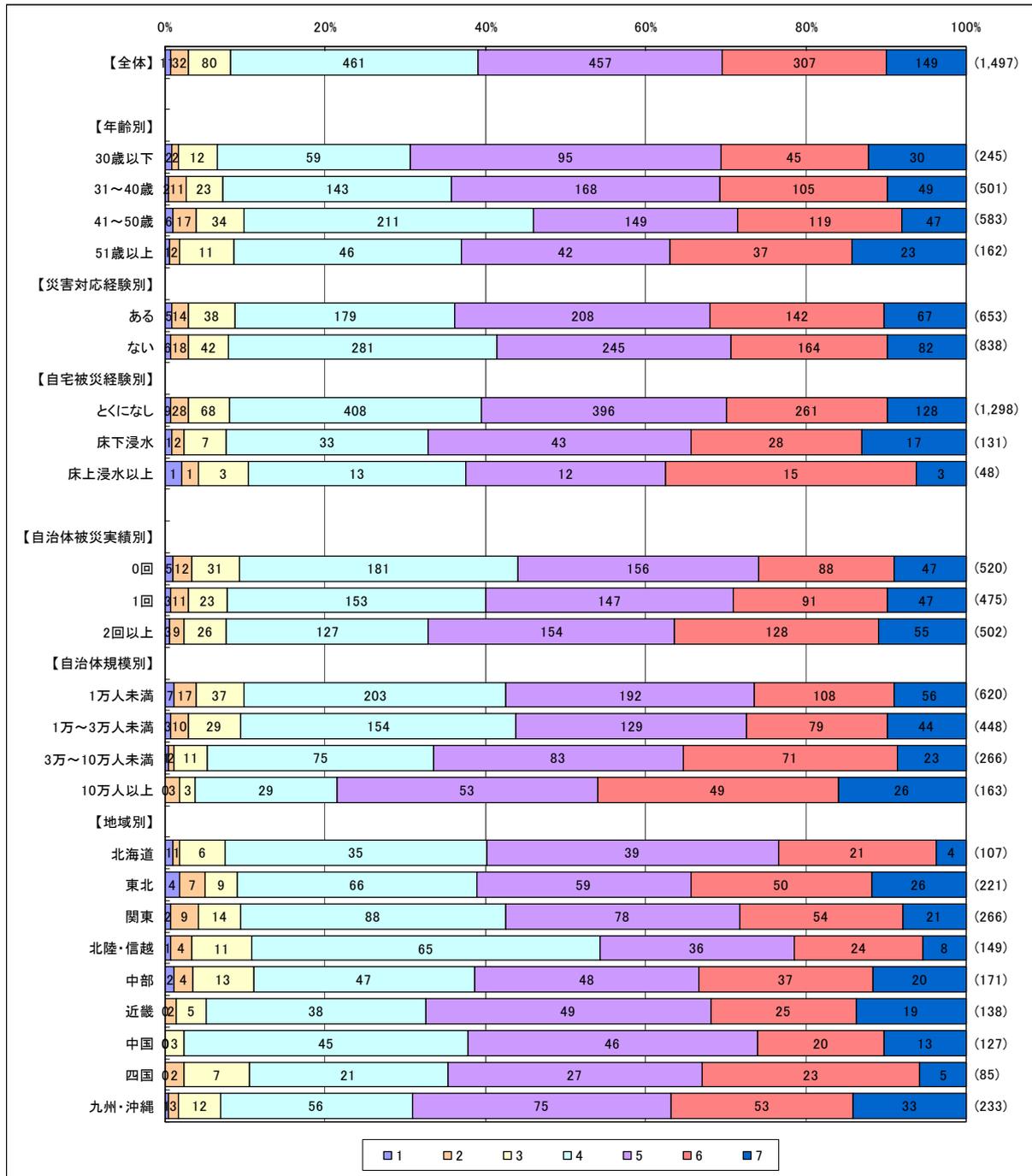


(11)ハード対策とソフト対策の比較

【設問項目】

洪水対策について考えるとき、堤防やダムなどの治水施設の建設と比べて、治水施設に頼らない緊急対応などのソフト的な洪水対策はどの程度重要だと思いますか。

[1：まったく重要ではないー7：非常に重要である]

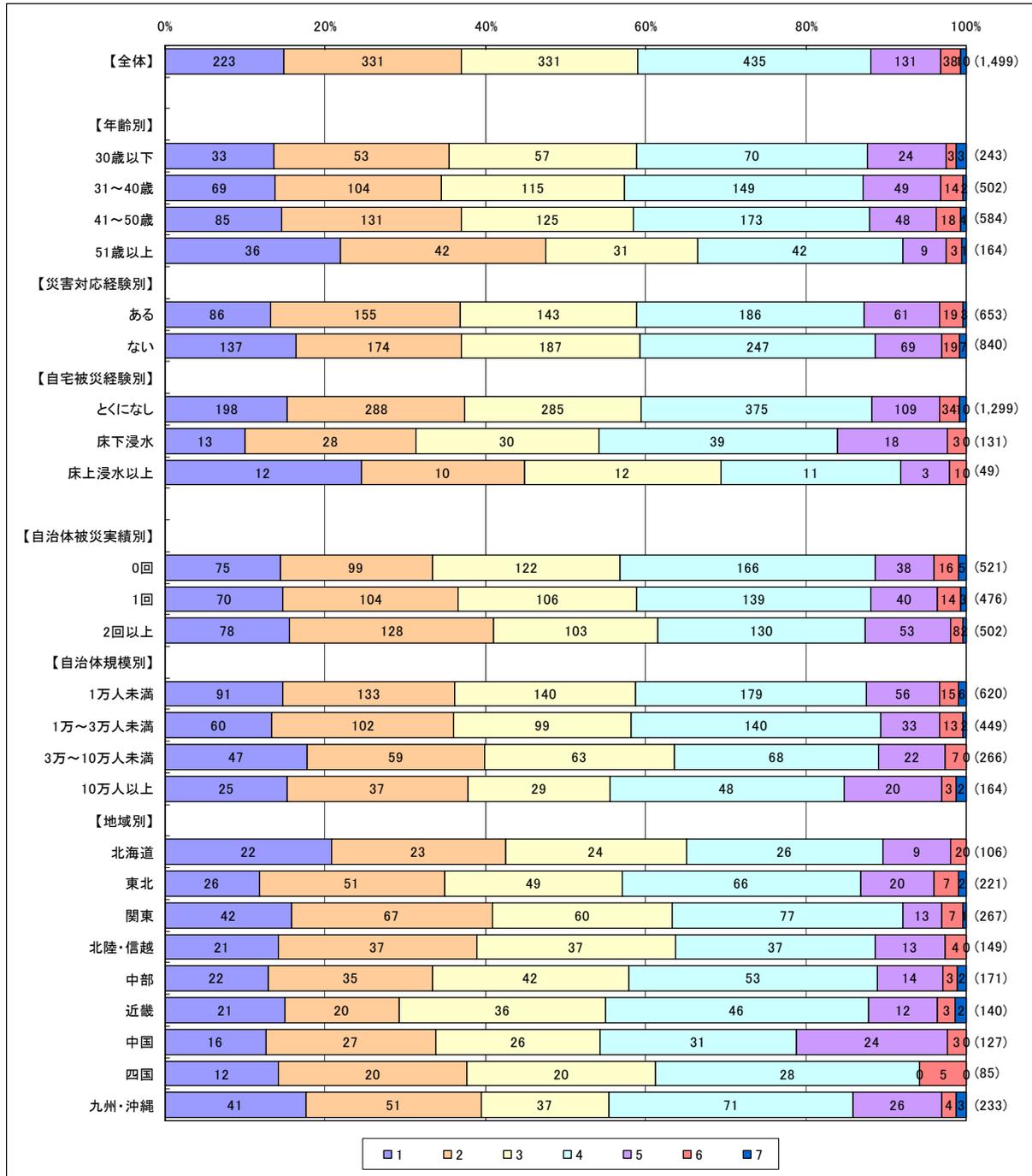


(12)氾濫による被害の受容度

【設問項目】

治水対策を考えると、ある程度の洪水被害の危険性なら許容してもよいと思いますか。

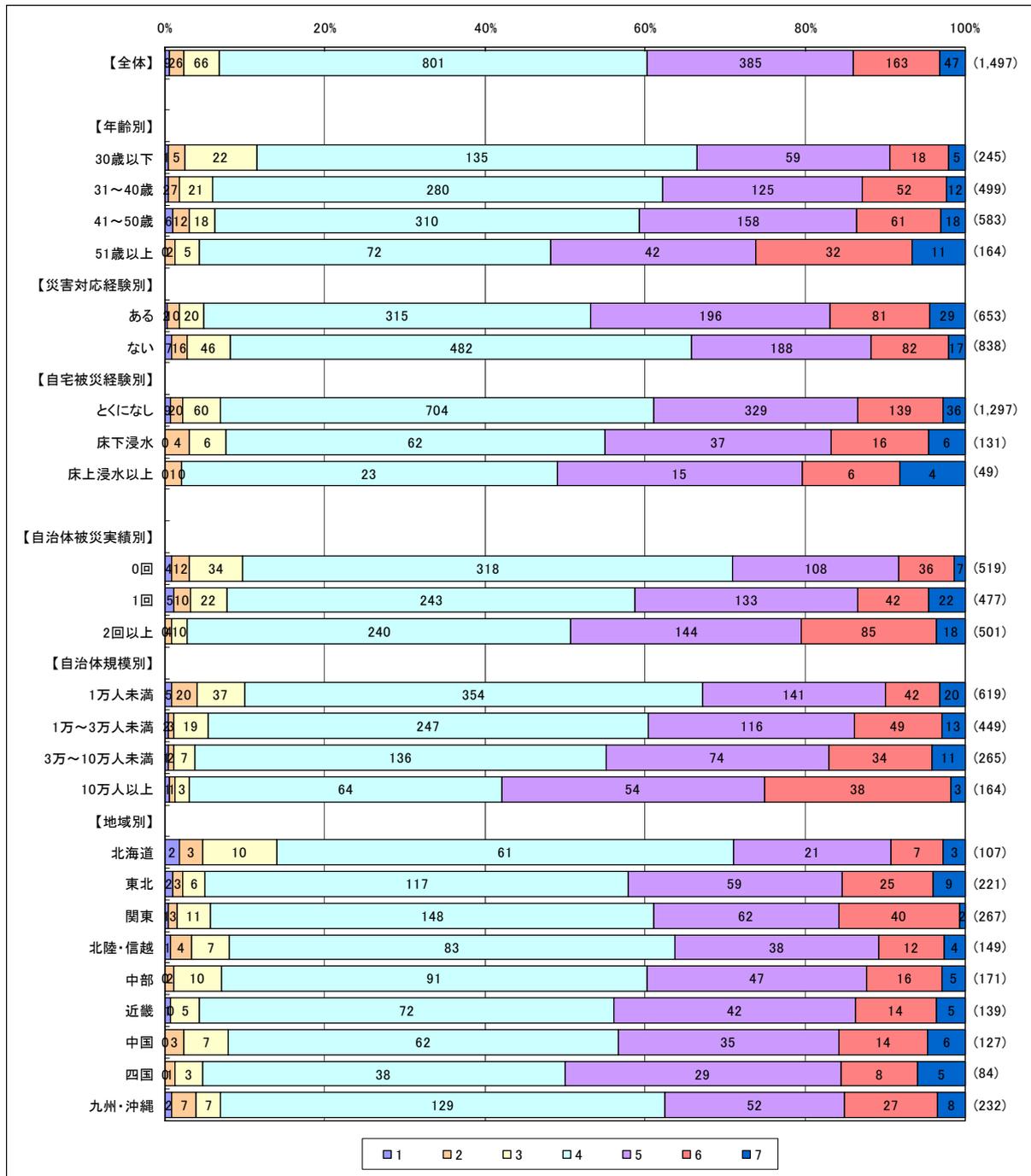
〔1：まったく許容すべきでないー7：非常に許容してもよい〕



(13)治水対策への費用の投入

【設問項目】

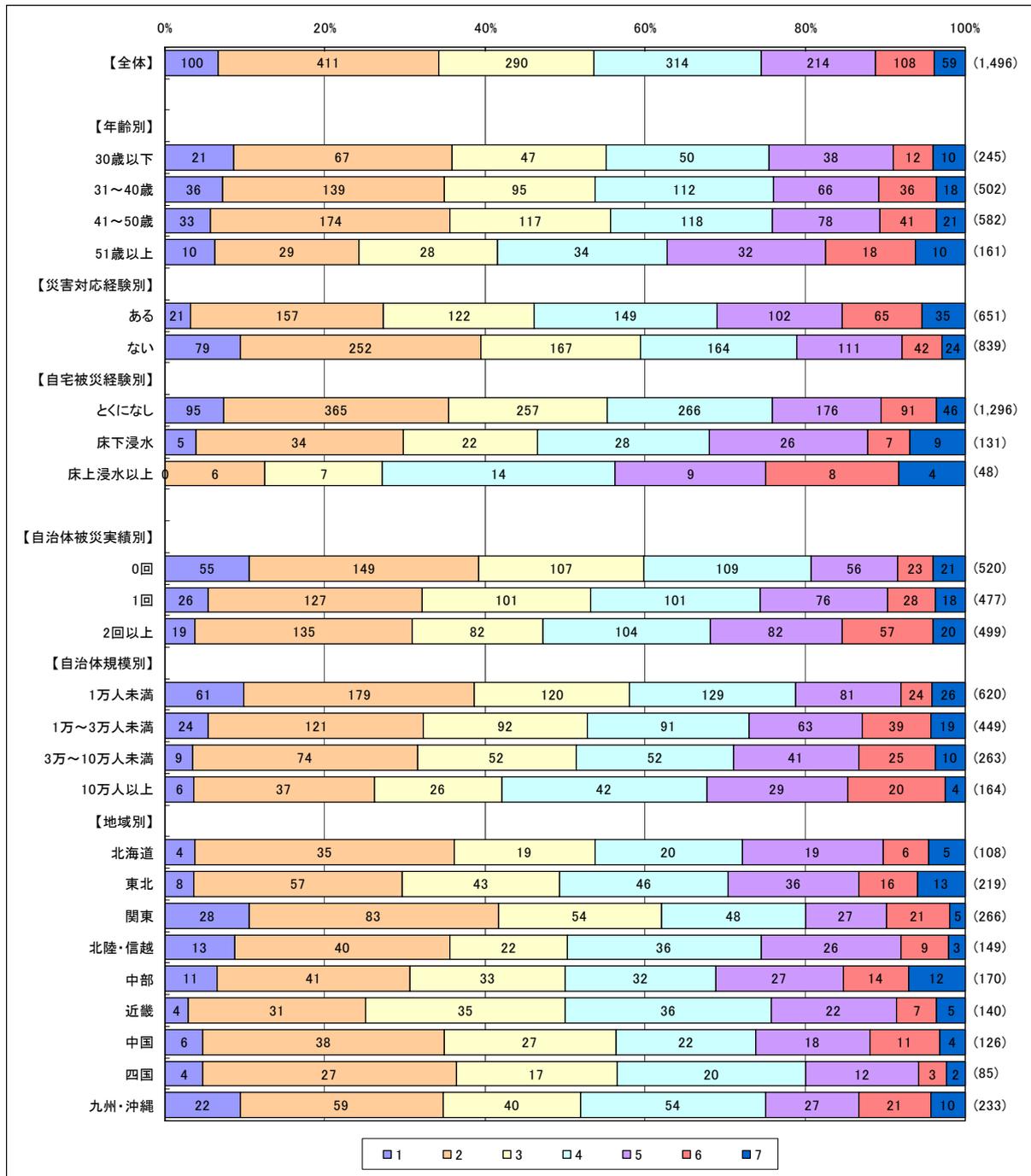
現在のあなたの自治体の治水対策にかけている費用と比べて、今後、どの程度費用をかけていくべきだと思いますか。〔1：非常に費用を減らすべき－7：非常に費用をかけるべき〕



(14) 堤防の破堤によって発生する被害の危険性

【設問項目】

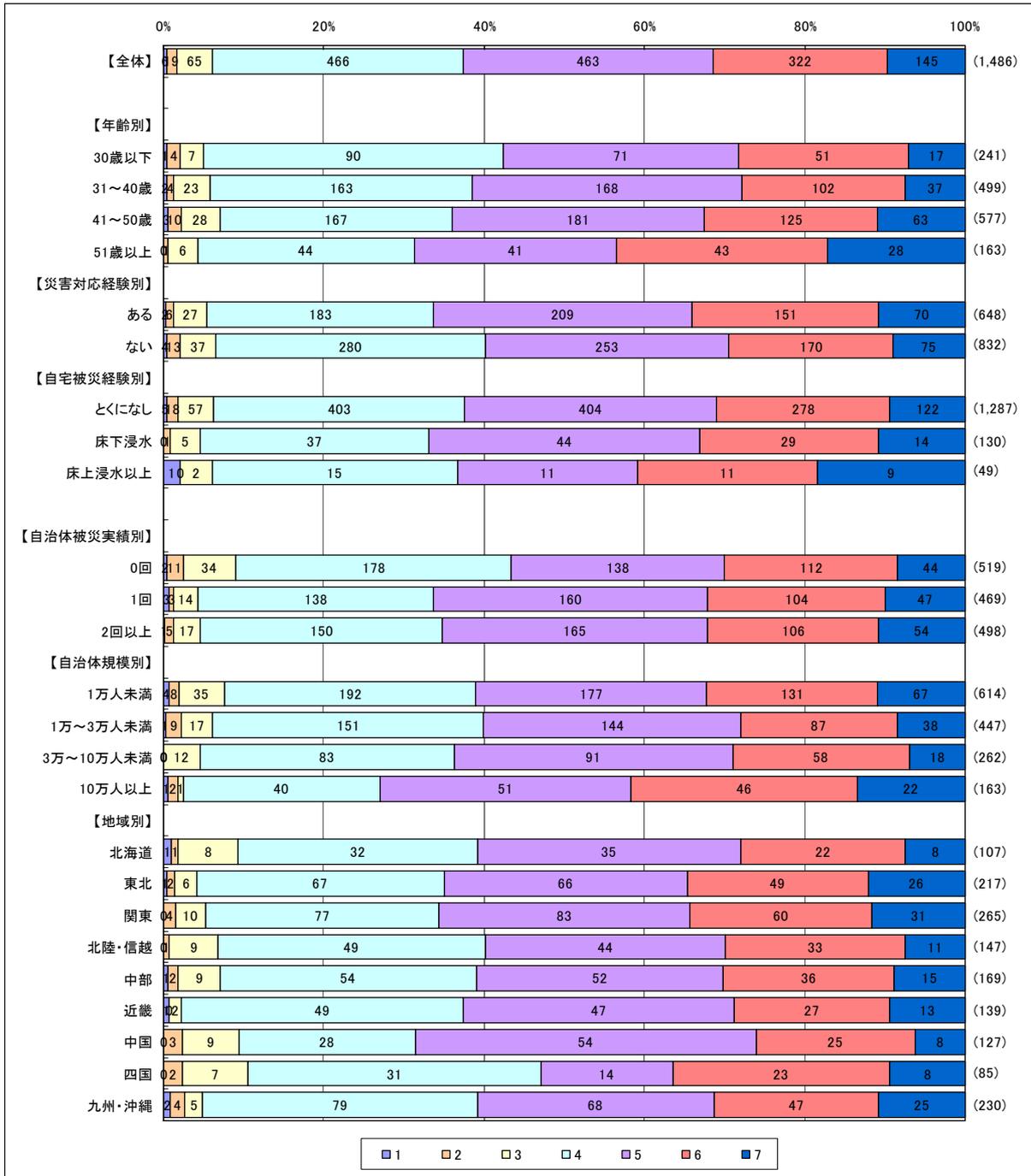
あなたの自治体では、堤防の破堤による洪水被害の危険性はどの程度あると思いますか。  
〔1：まったく危険性はないー7：非常に危険性はある〕



(15)河川整備における親水性の考慮の重要性

【設問項目】

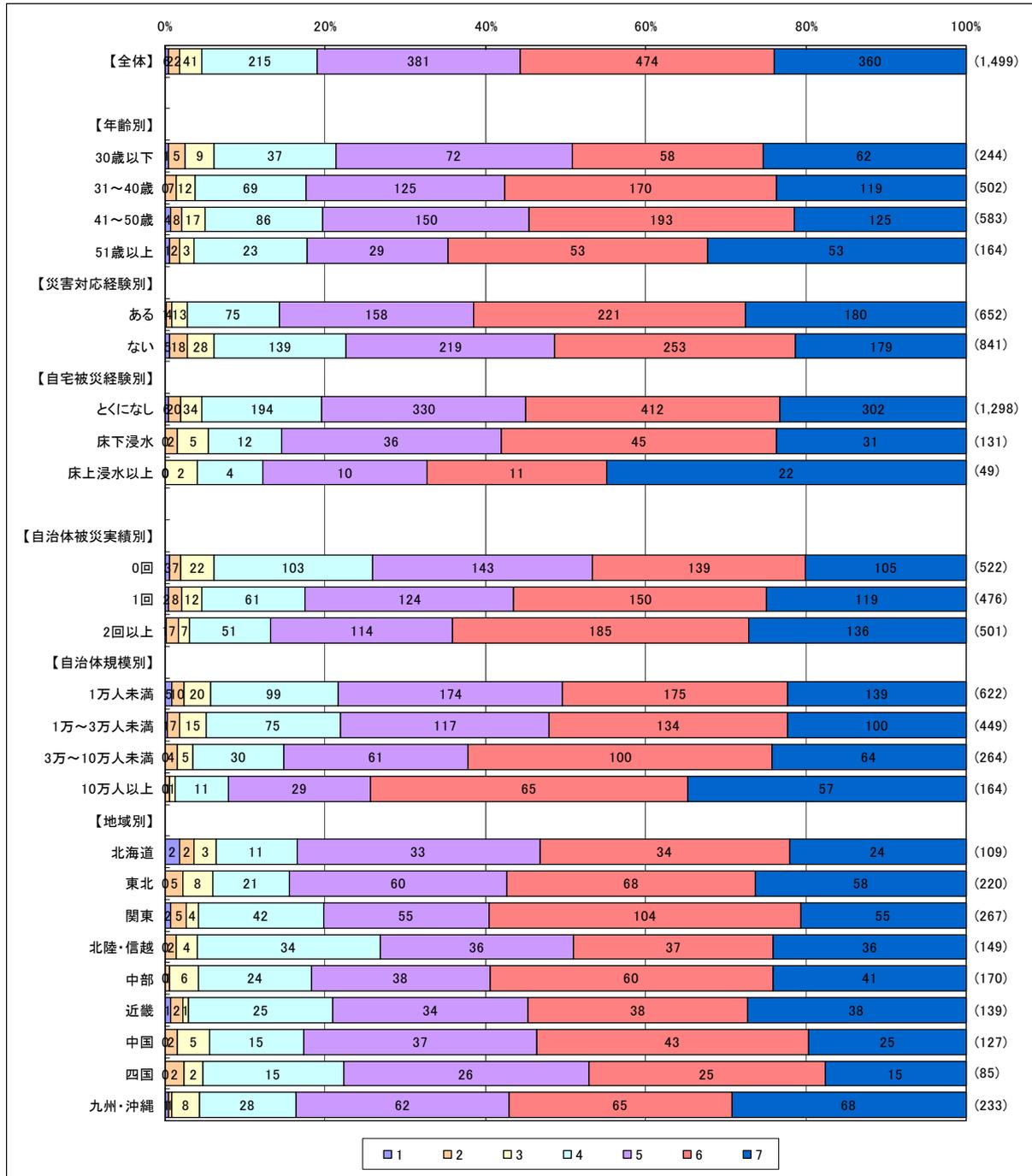
河川整備において親水性を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。  
 [1：まったく重要ではないー7：非常に重要である]



(16)水害対策のための情報伝達設備の整備の重要性

【設問項目】

豪雨時の危険性に関する情報の収集・伝達に必要な設備を整備することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

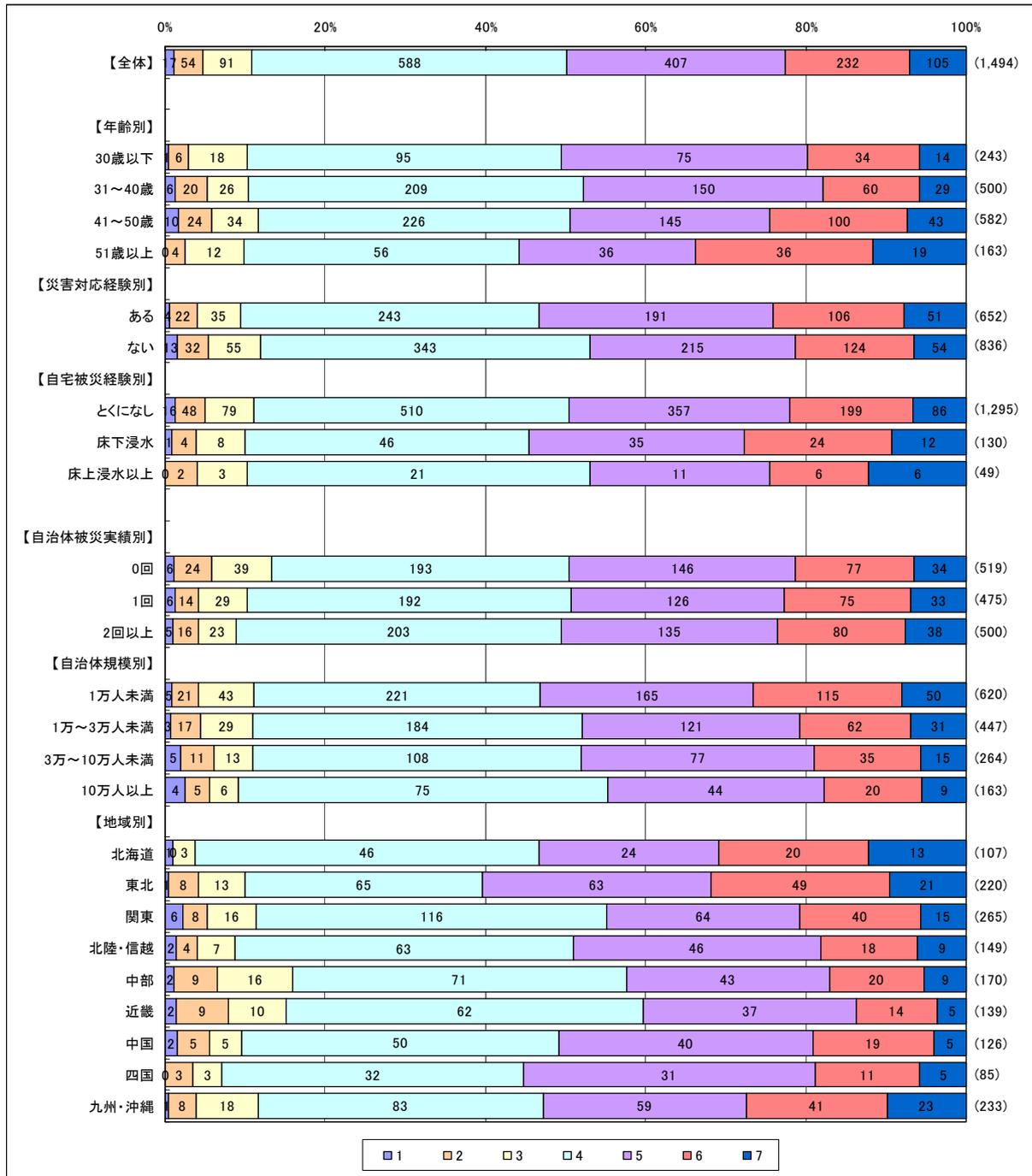


(17)治水整備の経済効果

【設問項目】

治水整備に関連する事業を考えると、事業に関連する地元への経済効果について、どの程度考慮すべきだと思いますか。

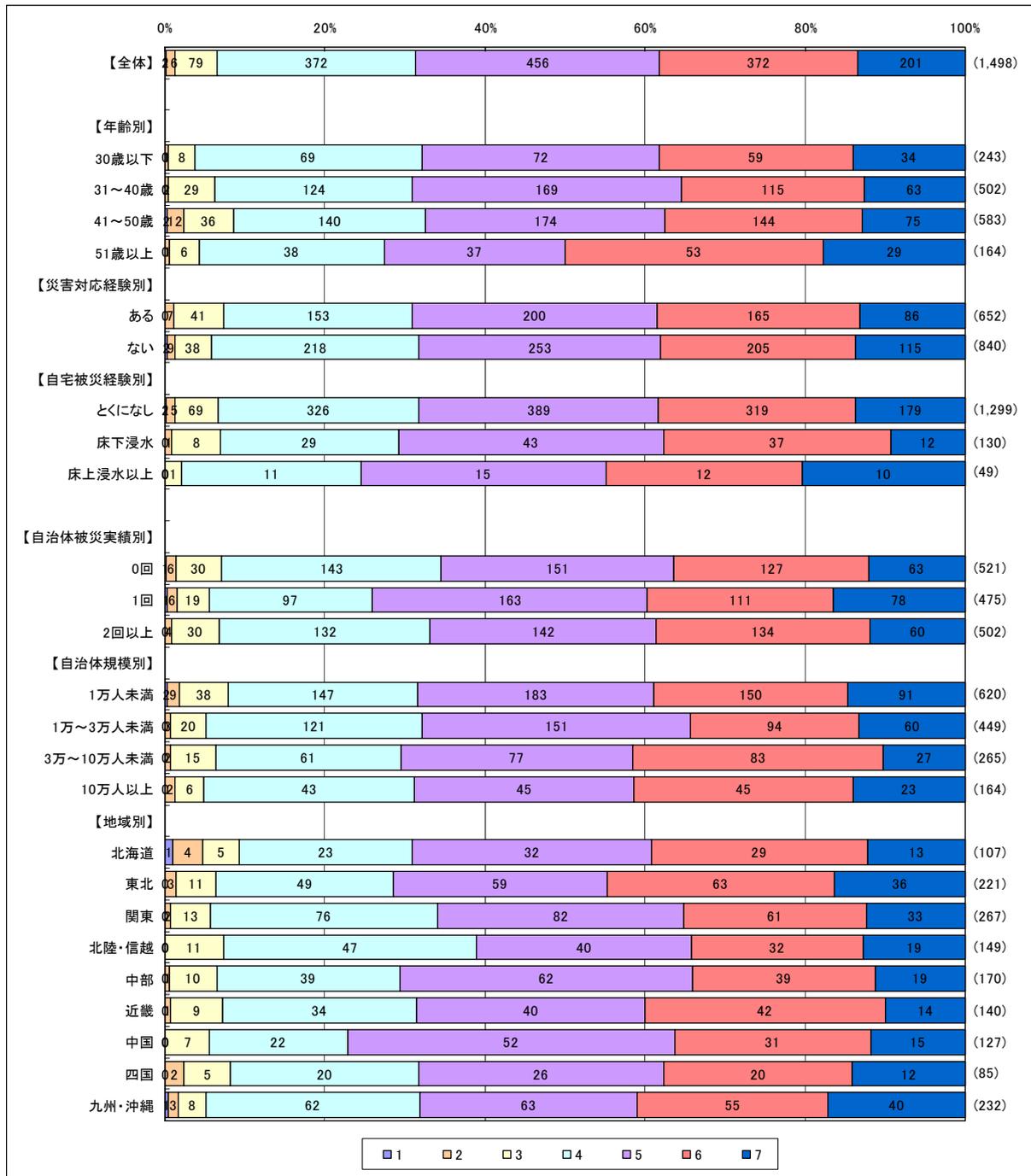
[1：まったく考慮すべきではないー7：非常に考慮すべきである]



(18)河川整備における環境の考慮の重要性

【設問項目】

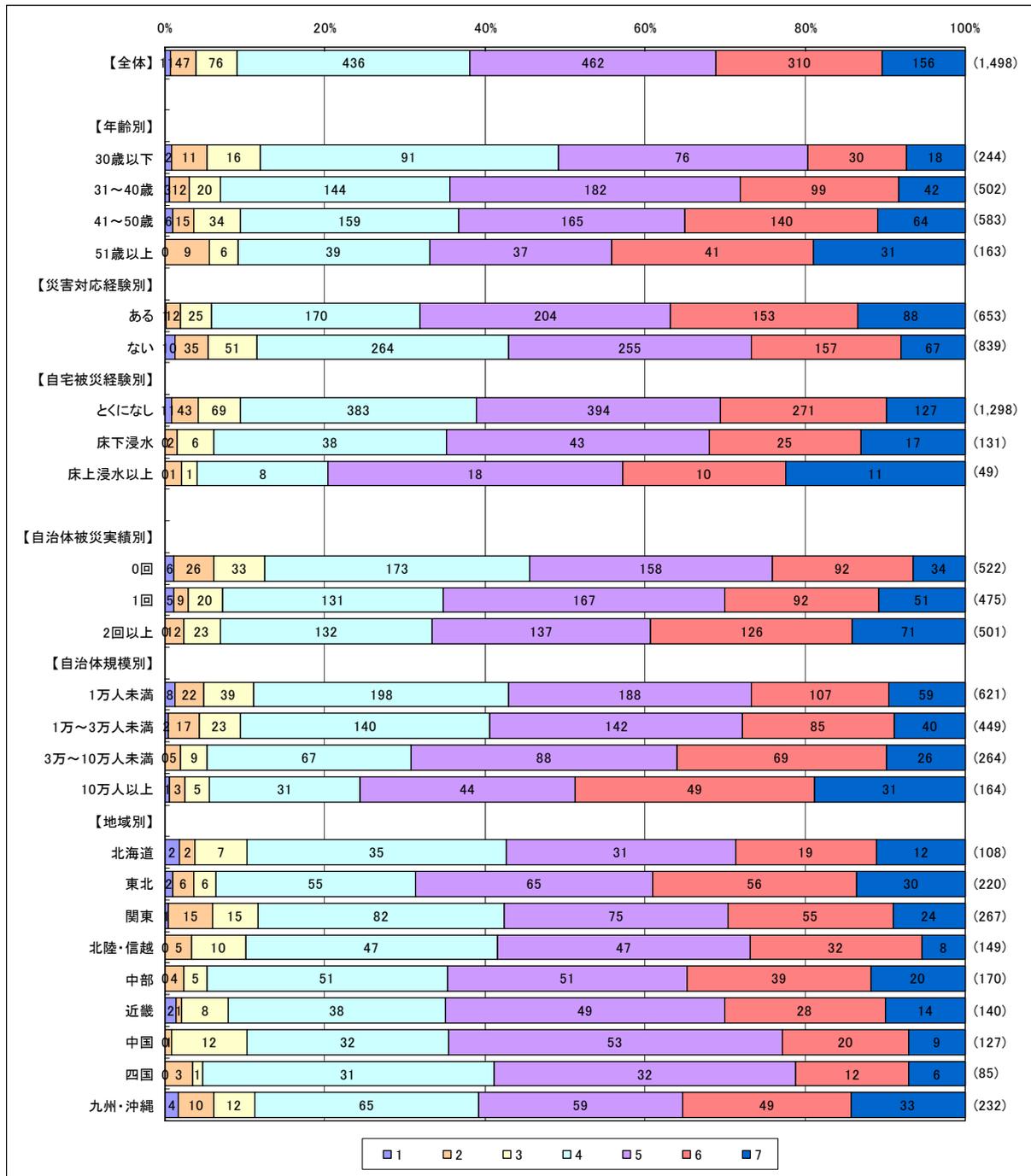
河川整備において環境面を考慮することは、治水対策と比較してどの程度重要だと思いますか。  
 [1：まったく重要ではないー7：非常に重要である]



(19)ハード対策の推進の重要性

【設問項目】

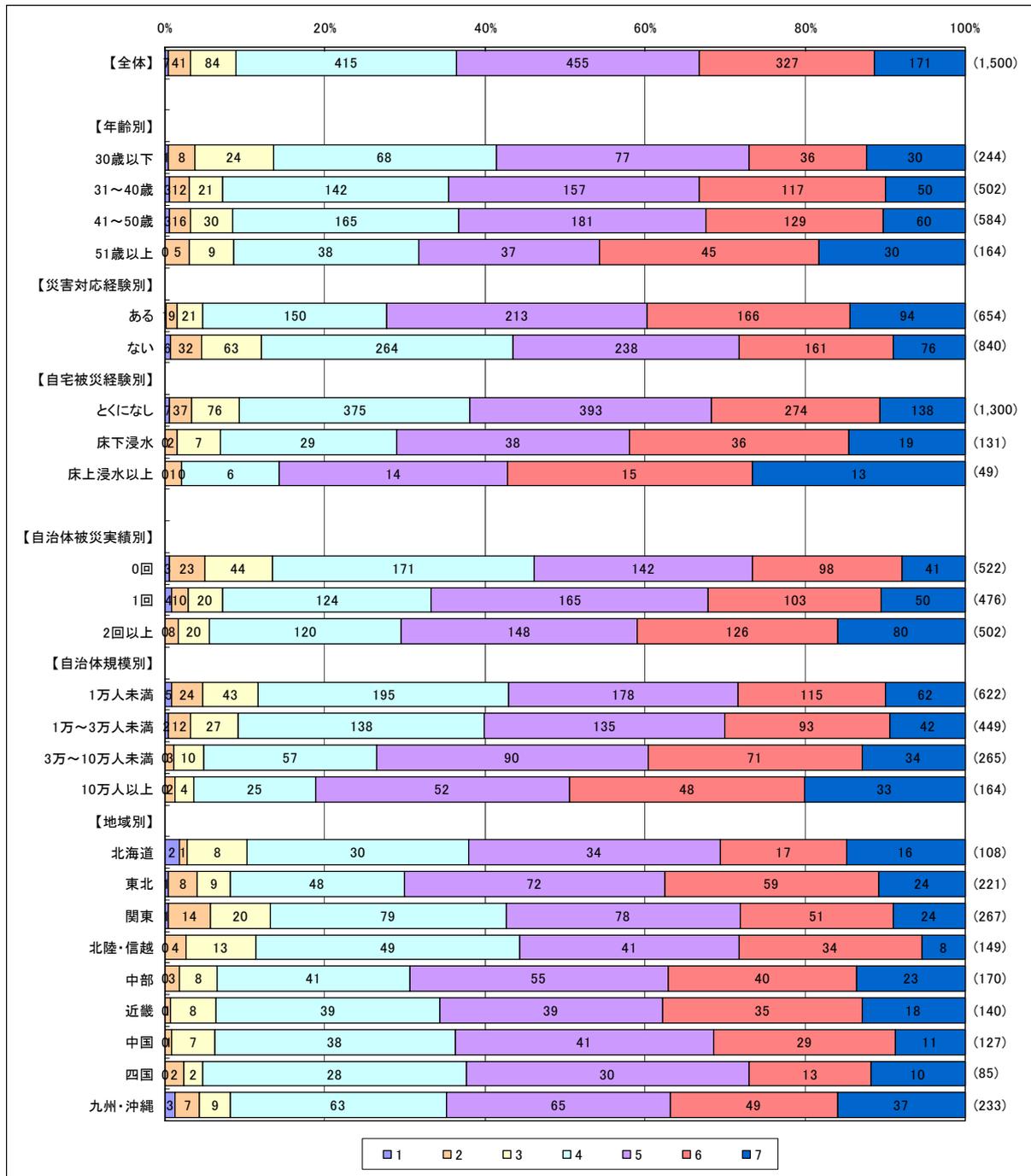
治水施設の整備を推進していくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕



(20)洪水対策の推進の重要性

【設問項目】

ハード対策・ソフト対策全般に、様々な洪水対策に力を注いでいくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。〔1：まったく重要ではないー7：非常に重要である〕

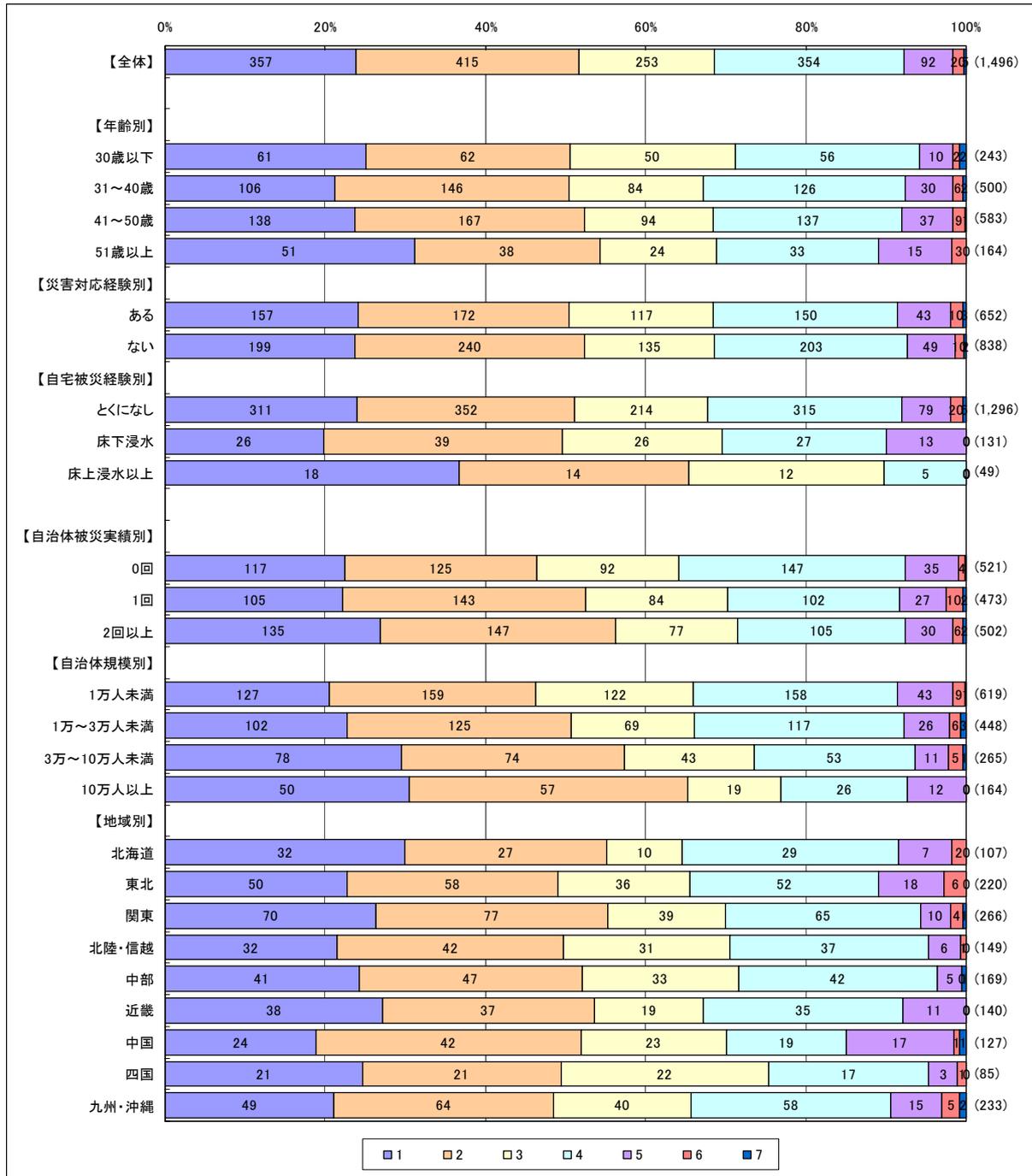


(21)住民の氾濫被害の受容度

【設問項目】

住民は、全体的にみて、「洪水による被害をある程度までなら許容してもよいと思っている」と思いますか。

〔1：住民は「まったく許容すべきでない」と思っている－7：住民は「非常に許容してもよい」と思っている〕



## 4. 治水施策の課題に関する集計結果

### 4.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、河川管理担当部署及び危機管理担当部署の行政職員に共通する内容である（河川管理担当部署対象調査票：問9、危機管理担当部署対象調査票：問15に対応）。各設問項目について、「1まったく必要ではない」から「7非常に必要である」の7段階で尋ねている。表4-1に設問項目と河川管理担当部署の行政職員の回答の集計結果、表4-2に設問項目と危機管理担当部署の行政職員の回答の集計結果を示す。

<p><b>【設問内容】</b></p> <p>以下の項目に関する対策は、行政機関としてどの程度実施していく必要があると思いますか。(1)～(8)のそれぞれの項目について、「1まったく必要ではない」から「7非常に必要である」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。</p>
---

表 4-1 治水施策の課題に関する設問項目と集計結果（河川管理担当部署）

設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)被災時に、国や自治体などの公的機関が被災者に対して被害の補償のために税金を投入すること	5.08	1.41	1296
(2)洪水に対する危険性を減らすために、浸水危険区域にある建物に対して、建築の構造（耐水壁、土盛り、高床式建物等）や用途を規制すること	4.88	1.32	1296
(3)「自分の生命・財産は自分で守る」という、住民の自己責任意識を向上させること	5.66	1.11	1295
(4)浸水危険区域内の不動産取引において、土地や建物の売り手（貸し手）が買い手（借り手）に対して、浸水の危険性のある土地であるという情報を提供しなければならないことを義務づけること	5.28	1.35	1299
(5)これまでに浸水被害を受けたことのある区域や将来浸水するおそれのある区域をハザードマップなどのかたちで公表していくこと	5.41	1.23	1298
(6)基礎自治体における河川整備全般に対する権限を拡充していくこと	4.71	1.17	1297
(7)河川整備計画に関して、住民が計画策定に参加し、住民主導型で計画を策定していくこと	4.57	1.18	1297
(8)洪水対策について、住民と行政と専門家が協働で考えていくことを可能にするような計画策定支援に関するインターフェース機能を整備すること	4.67	1.13	1296

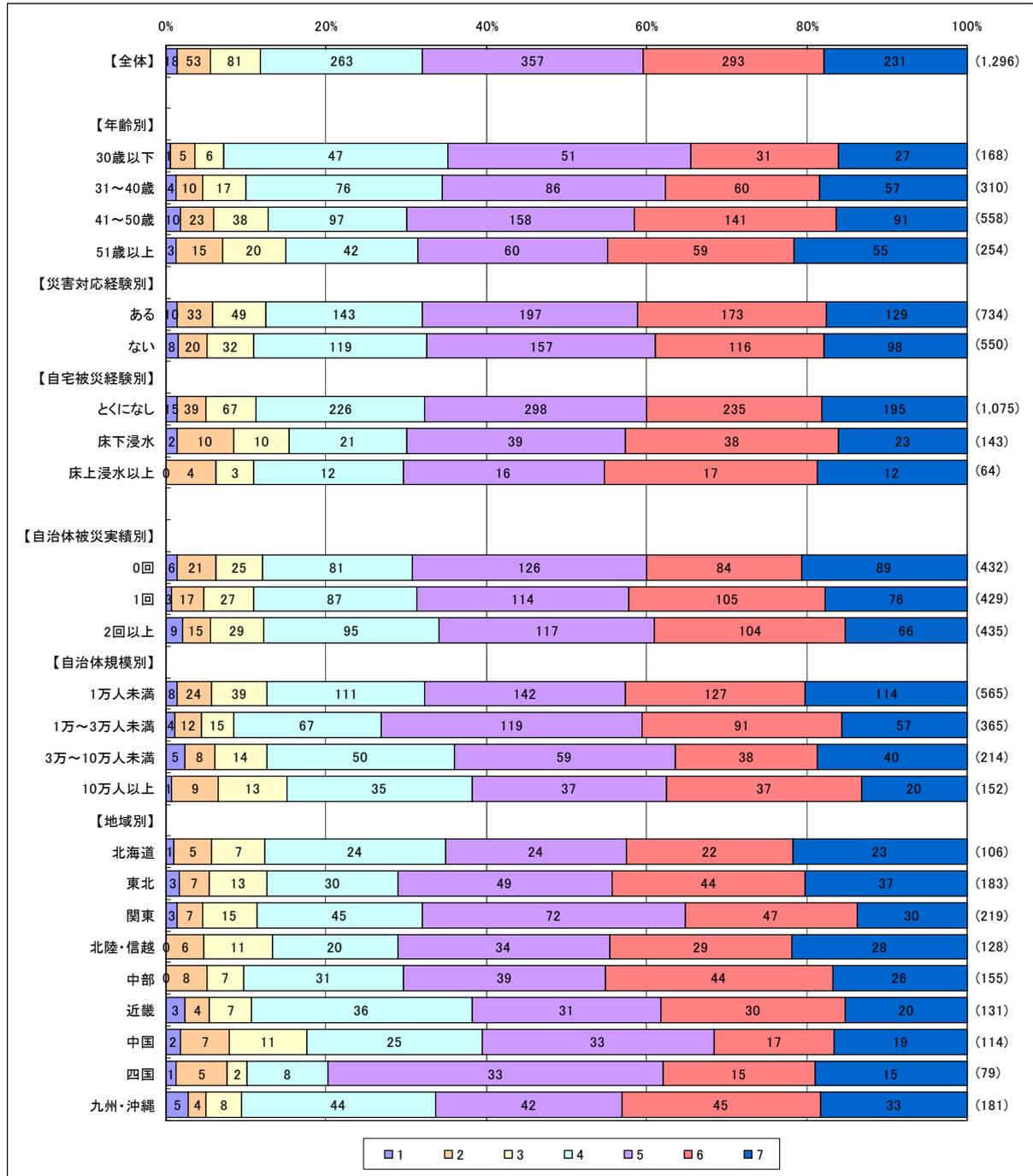
表 4-2 治水施策の課題に関する設問項目と集計結果（危機管理担当部署）

設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)被災時に、国や自治体などの公的機関が被災者に対して被害の補償のために税金を投入すること	5.23	1.26	1506
(2)洪水に対する危険性を減らすために、浸水危険区域にある建物に対して、建築の構造（耐水壁、土盛り、高床式建物等）や用途を規制すること	4.85	1.19	1506
(3)「自分の生命・財産は自分で守る」という、住民の自己責任意識を向上させること	5.87	1.09	1506
(4)浸水危険区域内の不動産取引において、土地や建物の売り手（貸し手）が買い手（借り手）に対して、浸水の危険性のある土地であるという情報を提供しなければならないことを義務づけること	5.27	1.27	1506
(5)これまでに浸水被害を受けたことのある区域や将来浸水するおそれのある区域をハザードマップなどのかたちで公表していくこと	5.41	1.18	1505
(6)基礎自治体における河川整備全般に対する権限を拡充していくこと	4.70	1.11	1498
(7)河川整備計画に関して、住民が計画策定に参加し、住民主導型で計画を策定していくこと	4.59	1.13	1499
(8)洪水対策について、住民と行政と専門家が協働で考えていくことを可能にするような計画策定支援に関するインターフェース機能を整備すること	4.74	1.10	1503

## 4.2 各設問項目の属性別集計結果（河川管理担当部署）

### (1)被災者への公的資金の投入

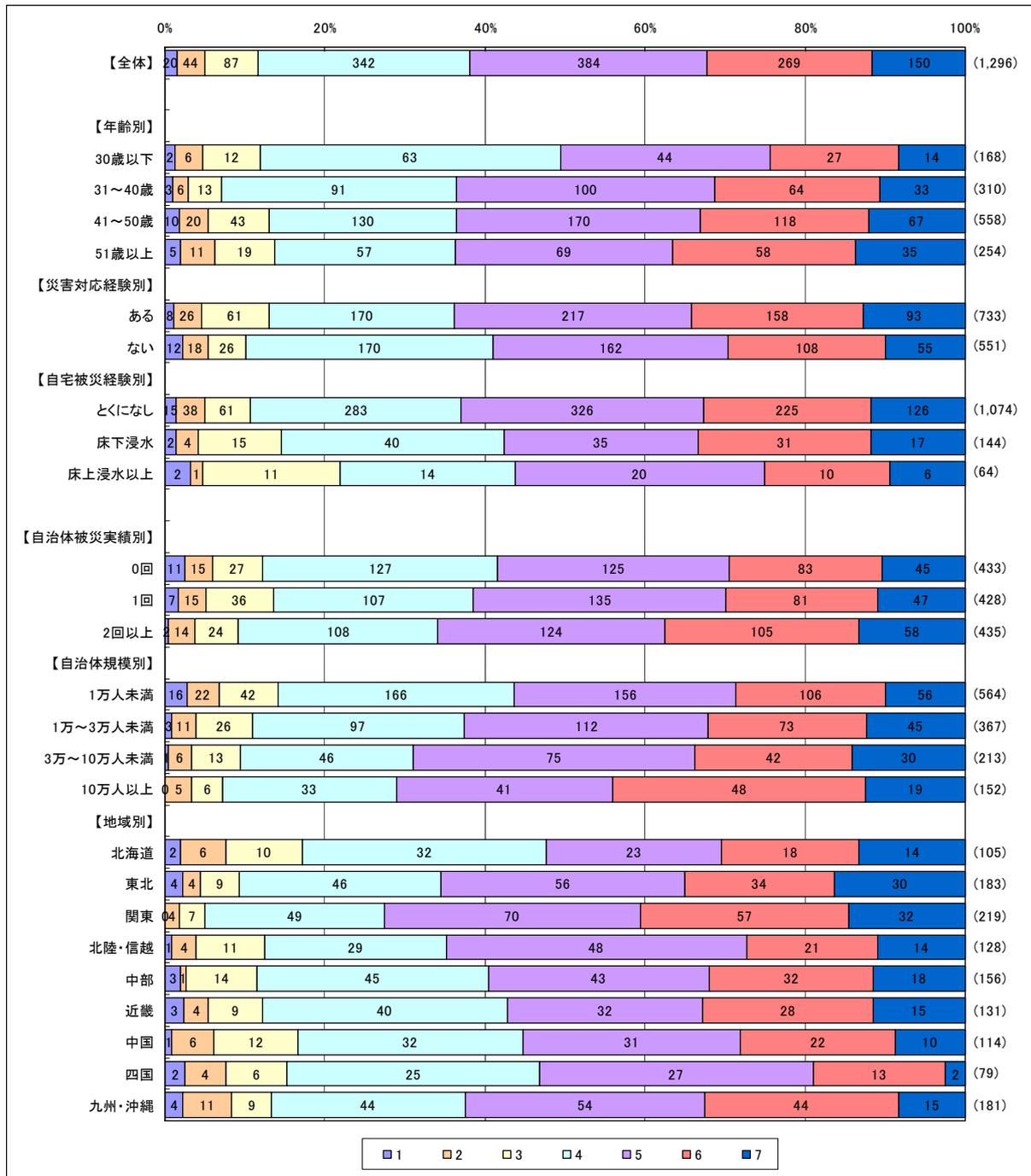
【設問項目】  
被災時に、国や自治体などの公的機関が被災者に対して被害の補償のために税金を投入すること



(2)浸水危険区域の建築規制

【設問項目】

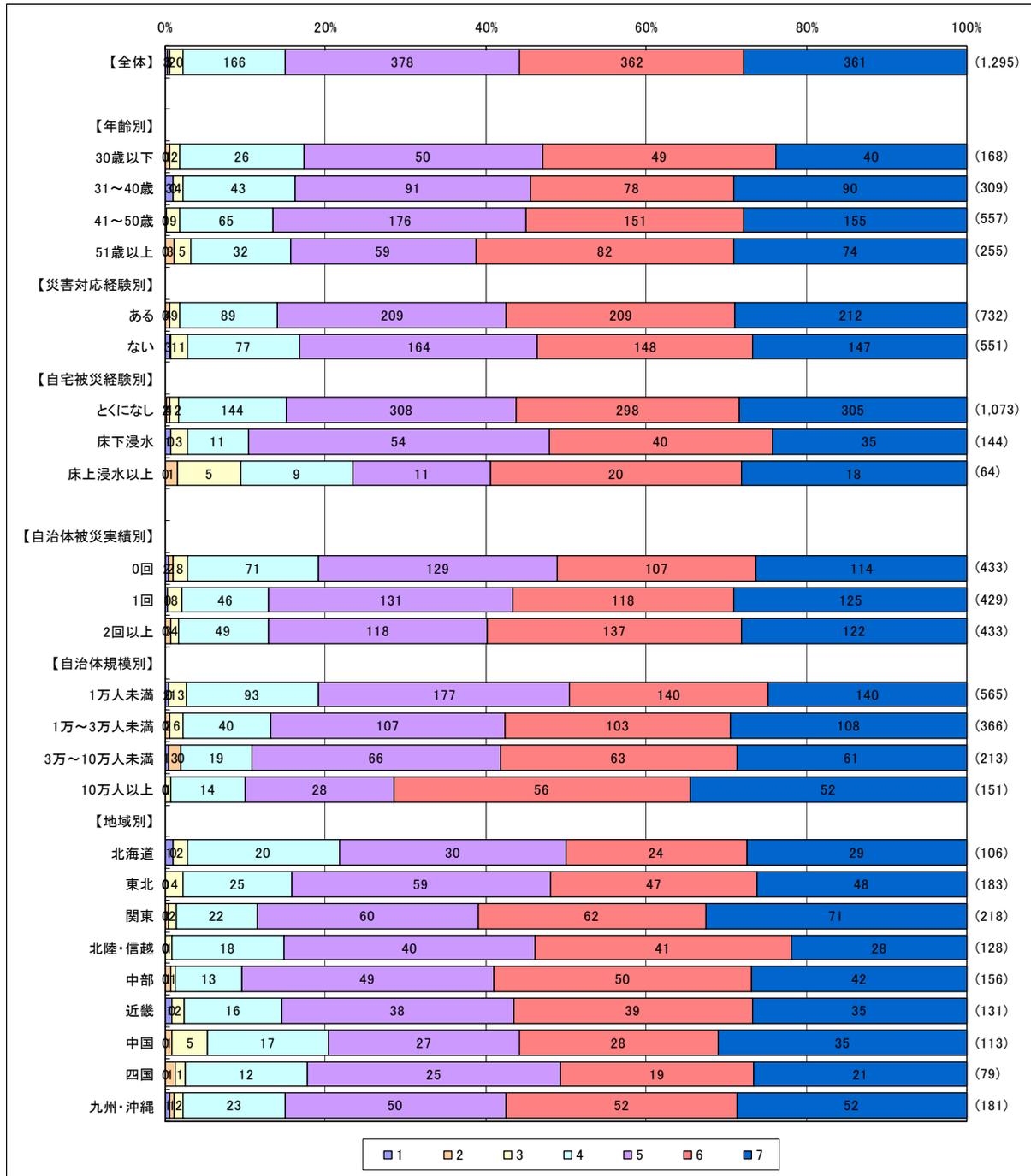
洪水に対する危険性を減らすために、浸水危険区域にある建物に対して、建築の構造（耐水壁、土盛り、高床式建物等）や用途を規制すること



### (3)住民の自己責任意識の向上

#### 【設問項目】

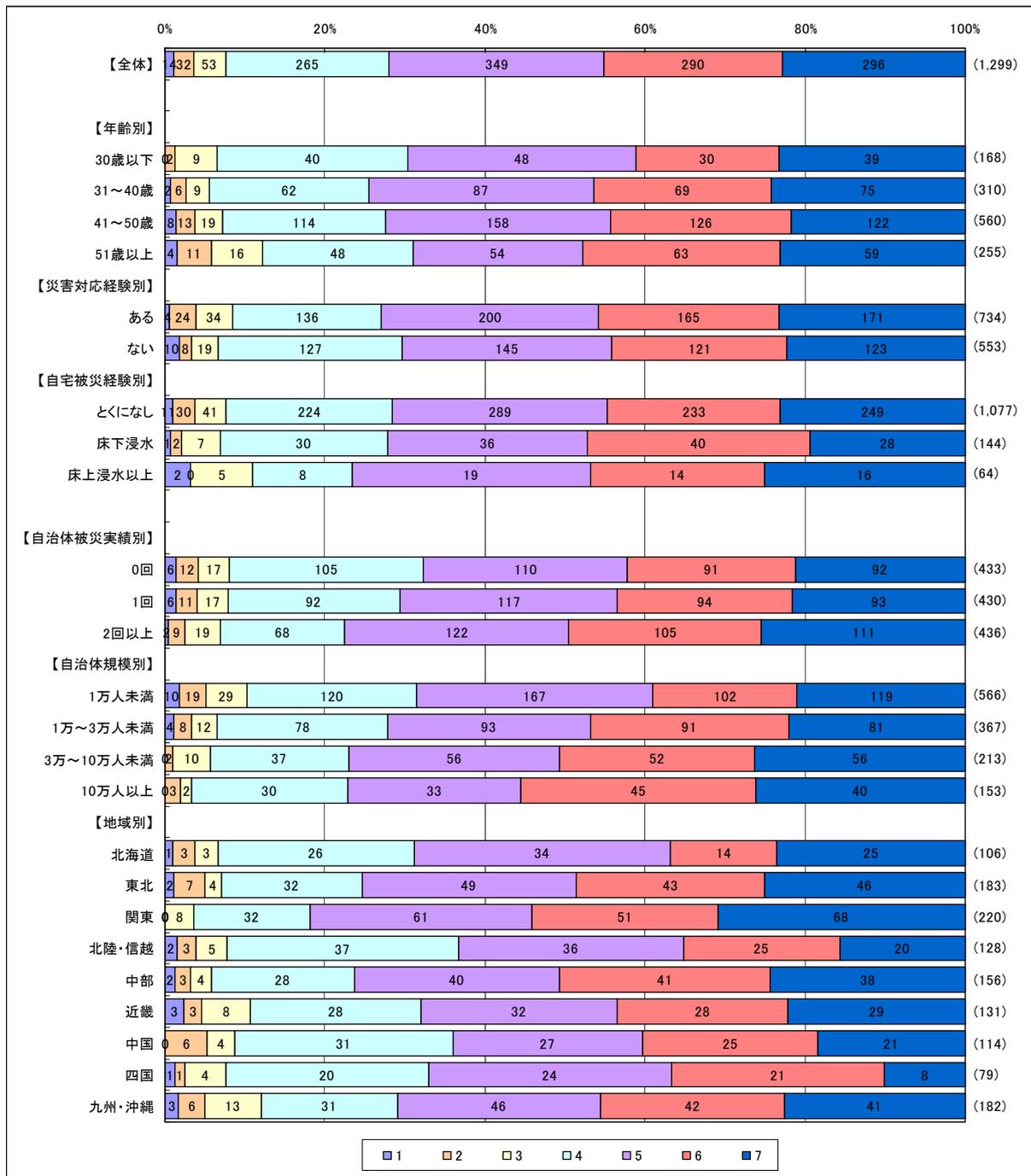
「自分の生命・財産は自分で守る」という、住民の自己責任意識を向上させること



(4)不動産取引時における危険情報の提供義務

【設問項目】

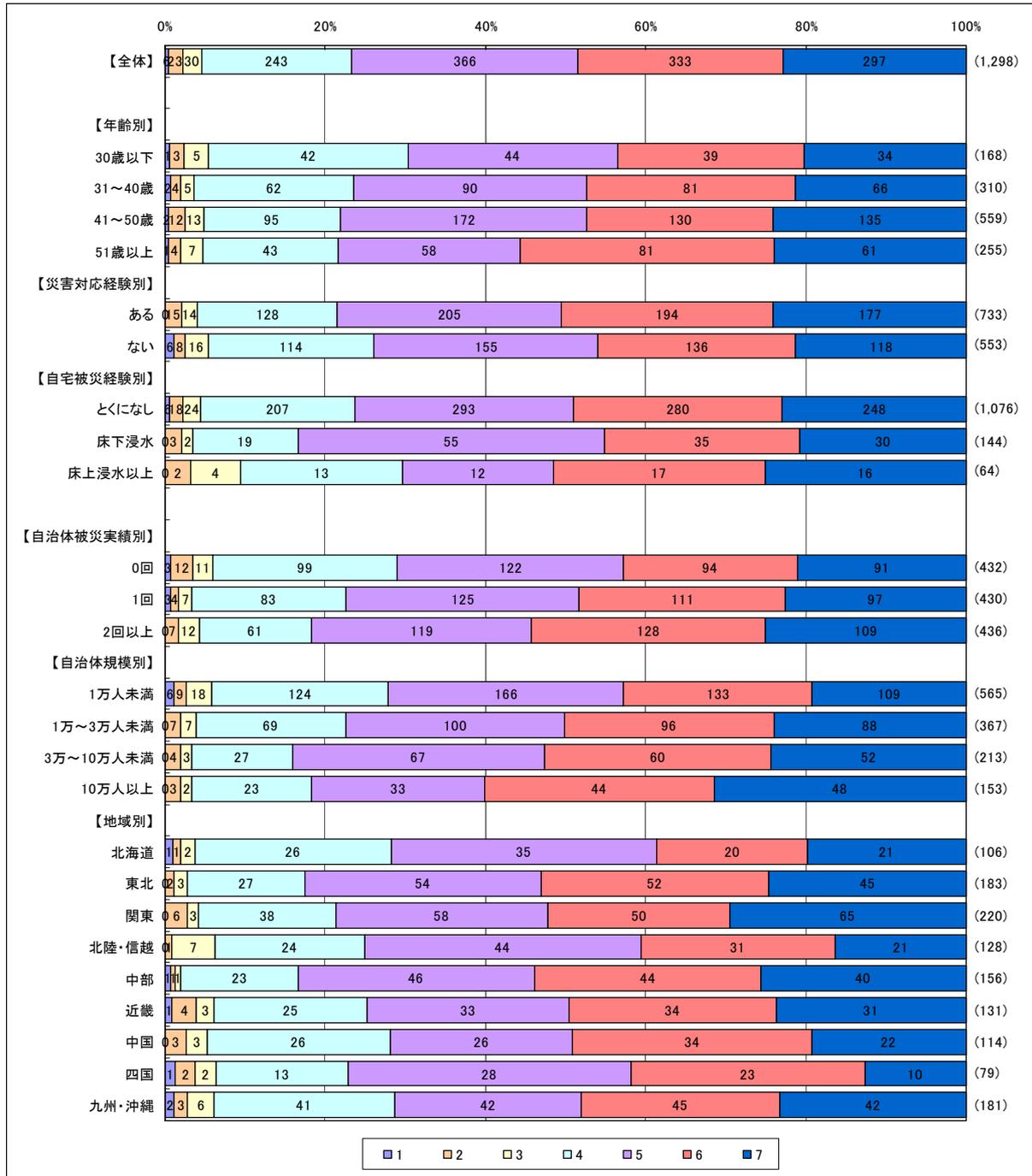
浸水危険区域内の不動産取引において、土地や建物の売り手（貸し手）が買い手（借り手）に対して、浸水の危険性のある土地であるという情報を提供しなければならないことを義務づけること



(5)浸水危険区域の公表

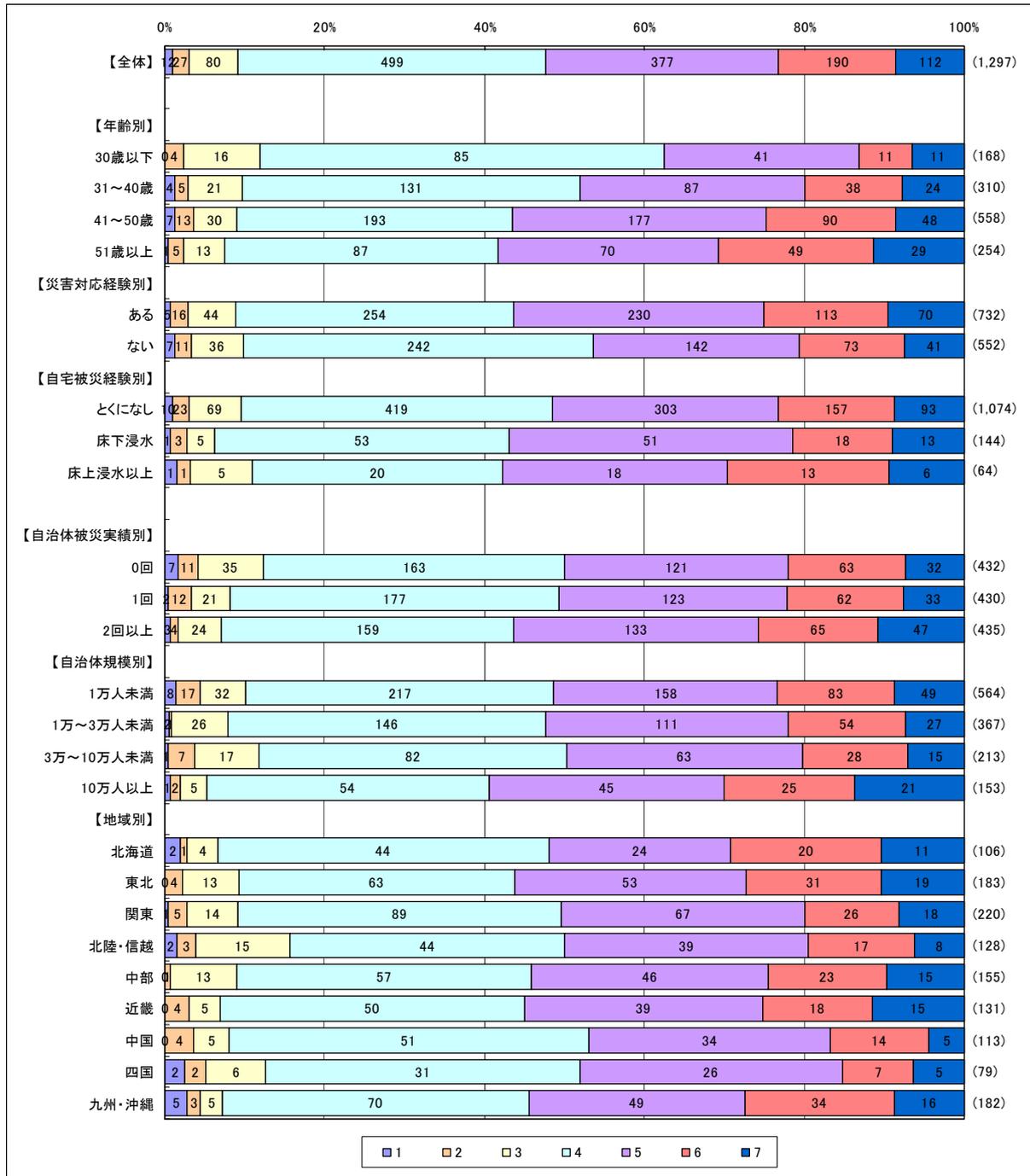
【設問項目】

これまでに浸水被害を受けたことのある区域や将来浸水するおそれのある区域をハザードマップなどのかたちで公表していくこと



(6)基礎自治体の権限拡充

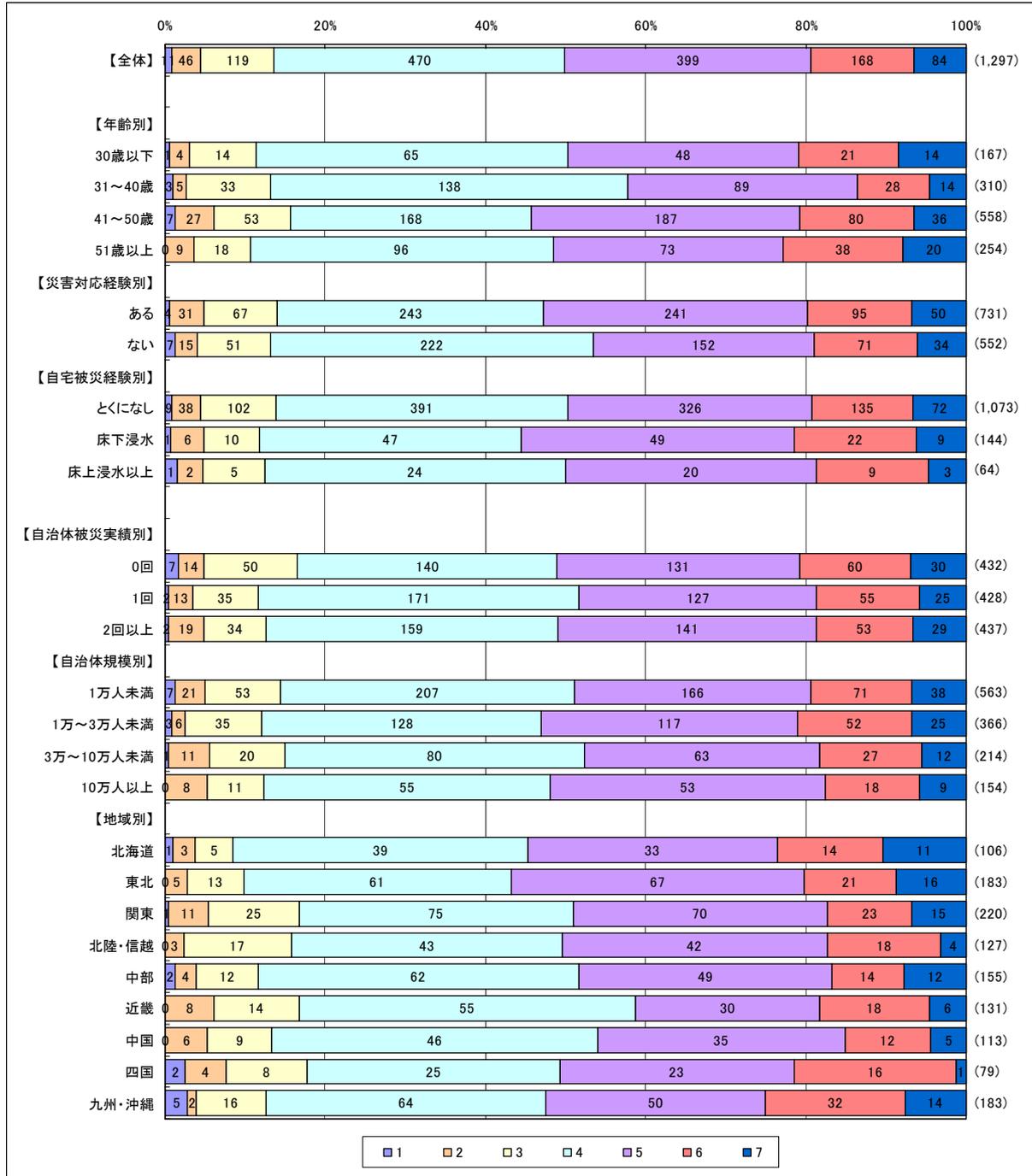
【設問項目】  
基礎自治体における河川整備全般に対する権限を拡充していくこと



(7)河川整備計画の策定における住民参加

【設問項目】

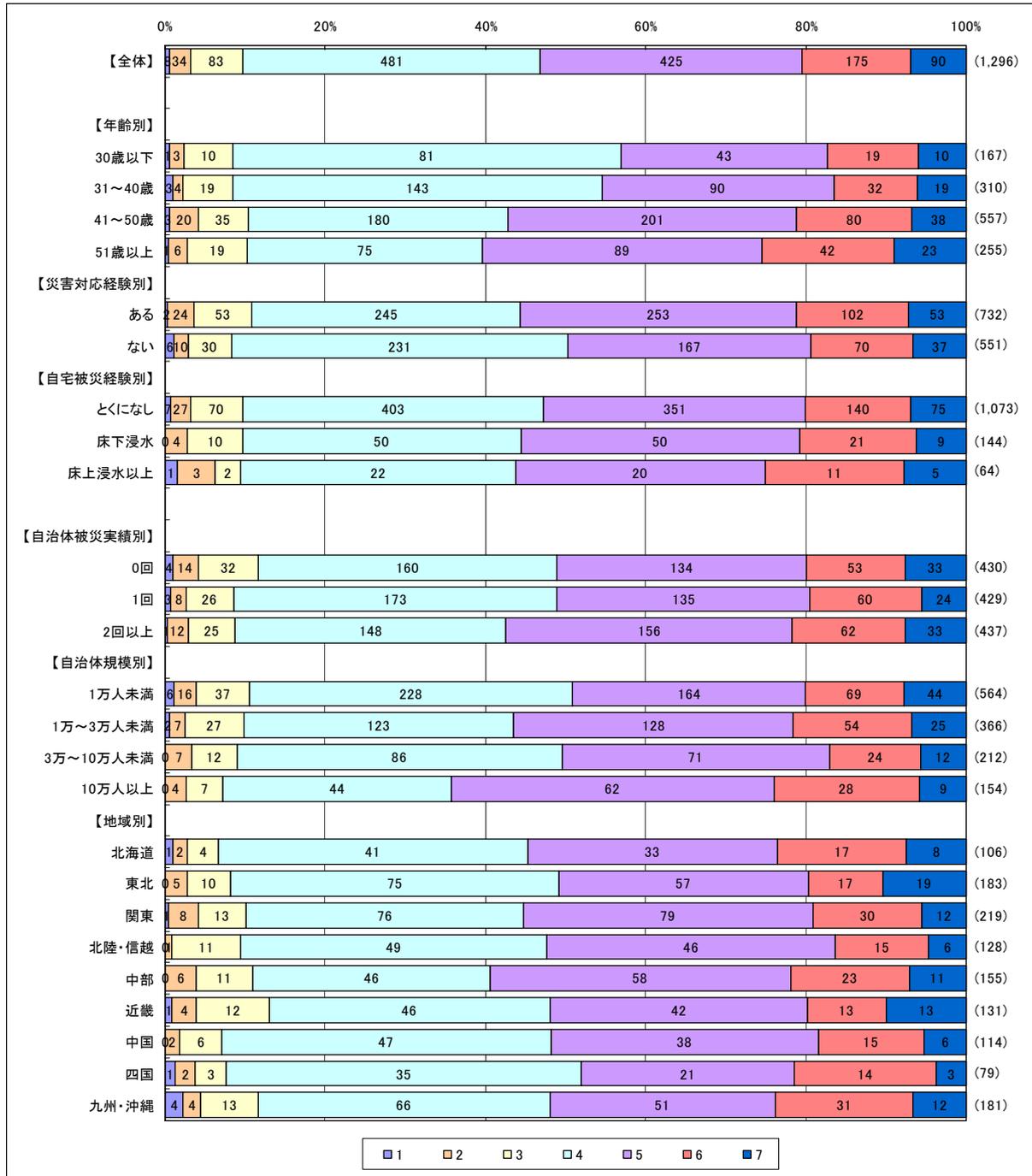
河川整備計画に関して、住民が計画策定に参加し、住民主導型で計画を策定していくこと



(8)計画策定支援のためのインターフェース機能の整備

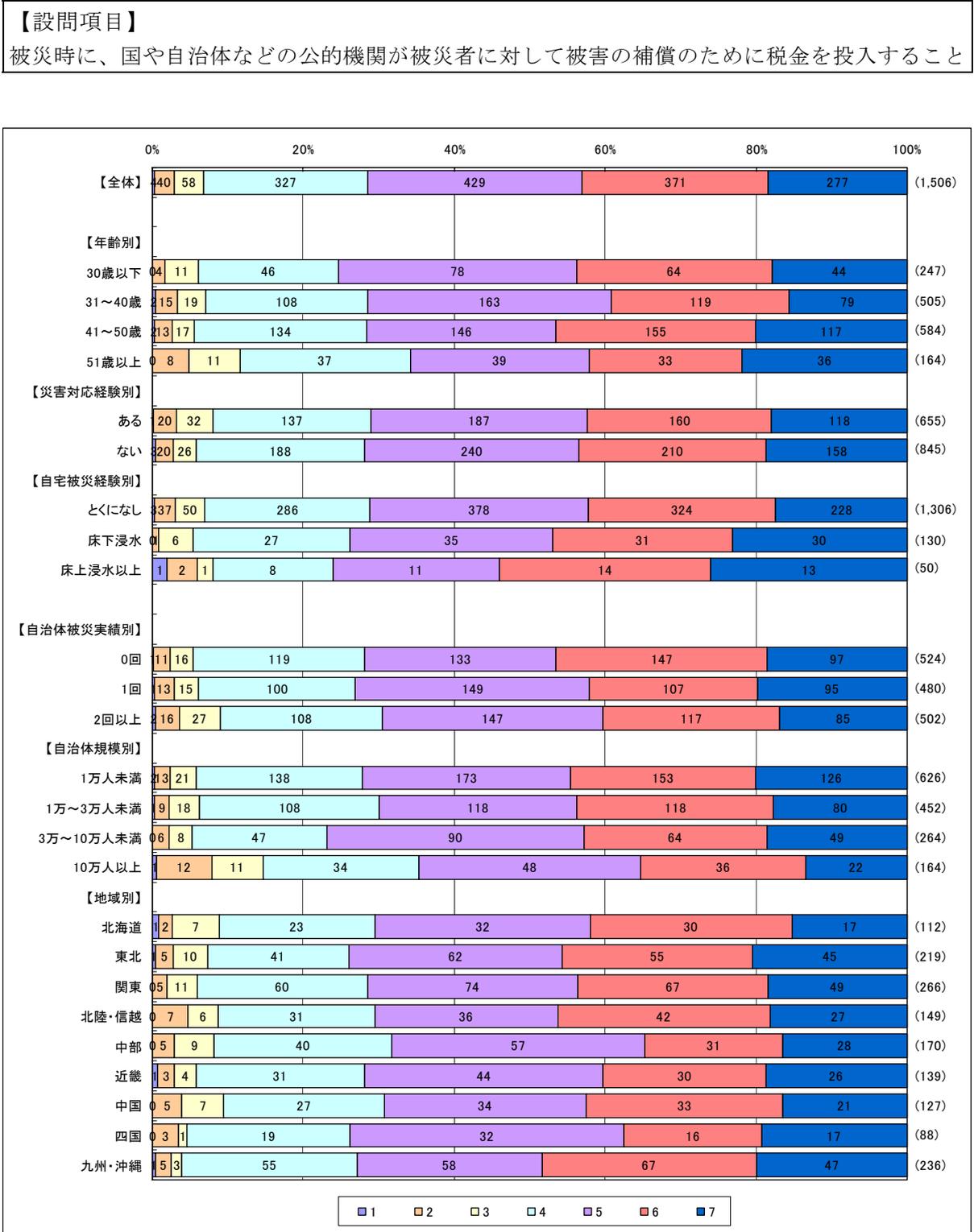
【設問項目】

洪水対策について、住民と行政と専門家が協働で考えていくことを可能にするような計画策定支援に関するインターフェース機能を整備すること



### 4.3 各設問項目の属性別集計結果（危機管理担当部署）

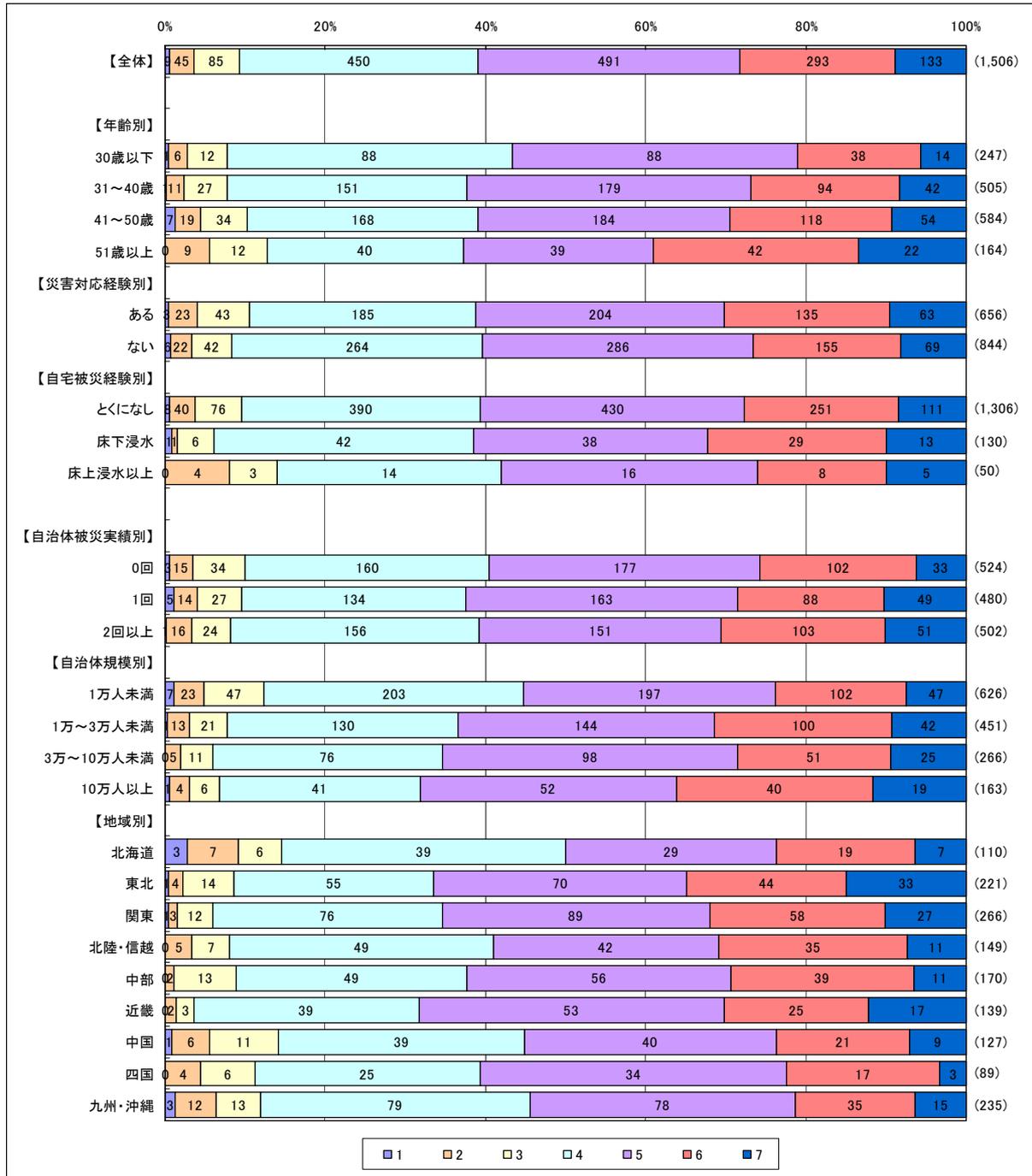
#### (1)被災者への公的資金の投入



(2)浸水危険区域の建築規制

【設問項目】

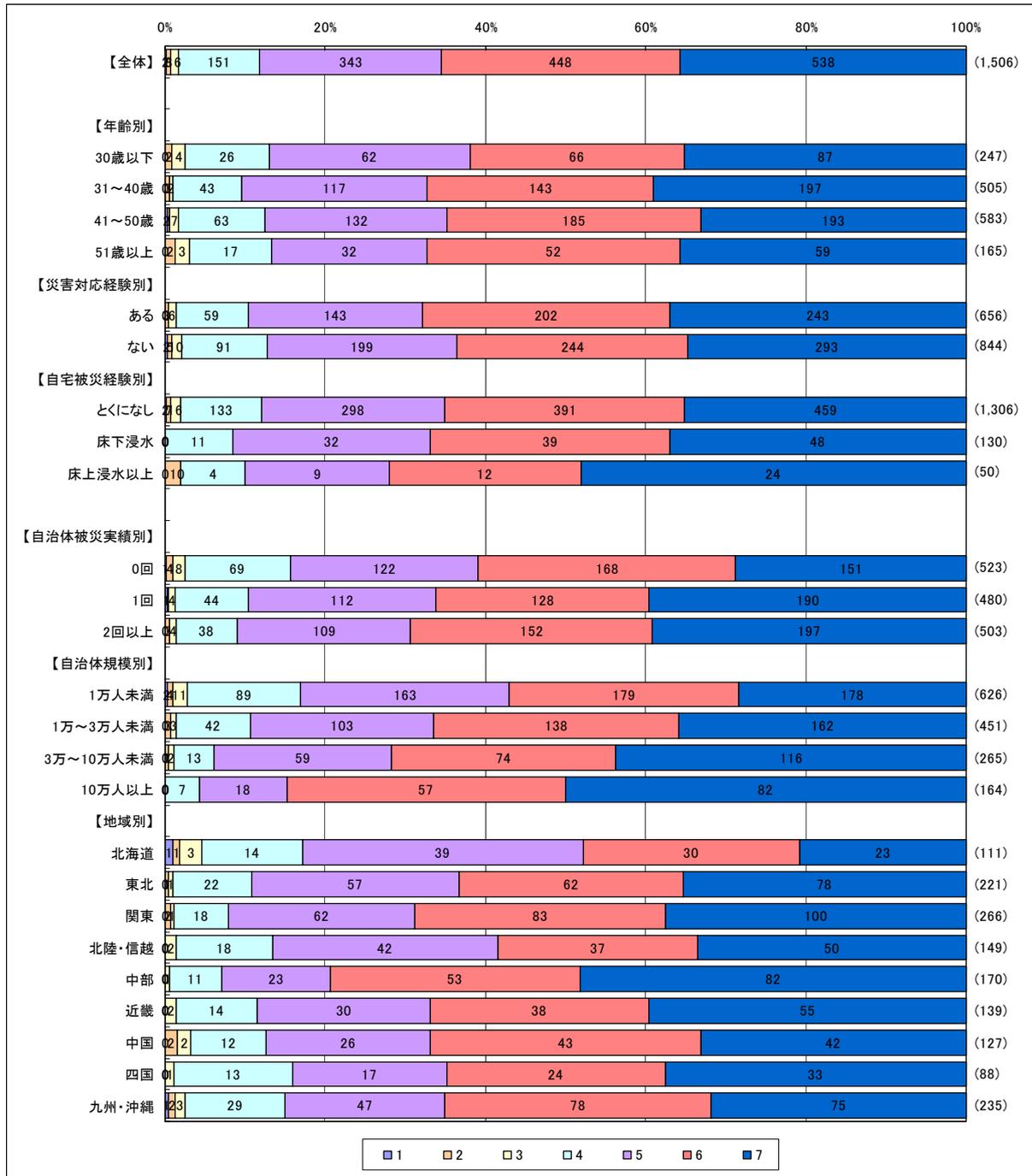
洪水に対する危険性を減らすために、浸水危険区域にある建物に対して、建築の構造（耐水壁、土盛り、高床式建物等）や用途を規制すること



(3)住民の自己責任意識の向上

【設問項目】

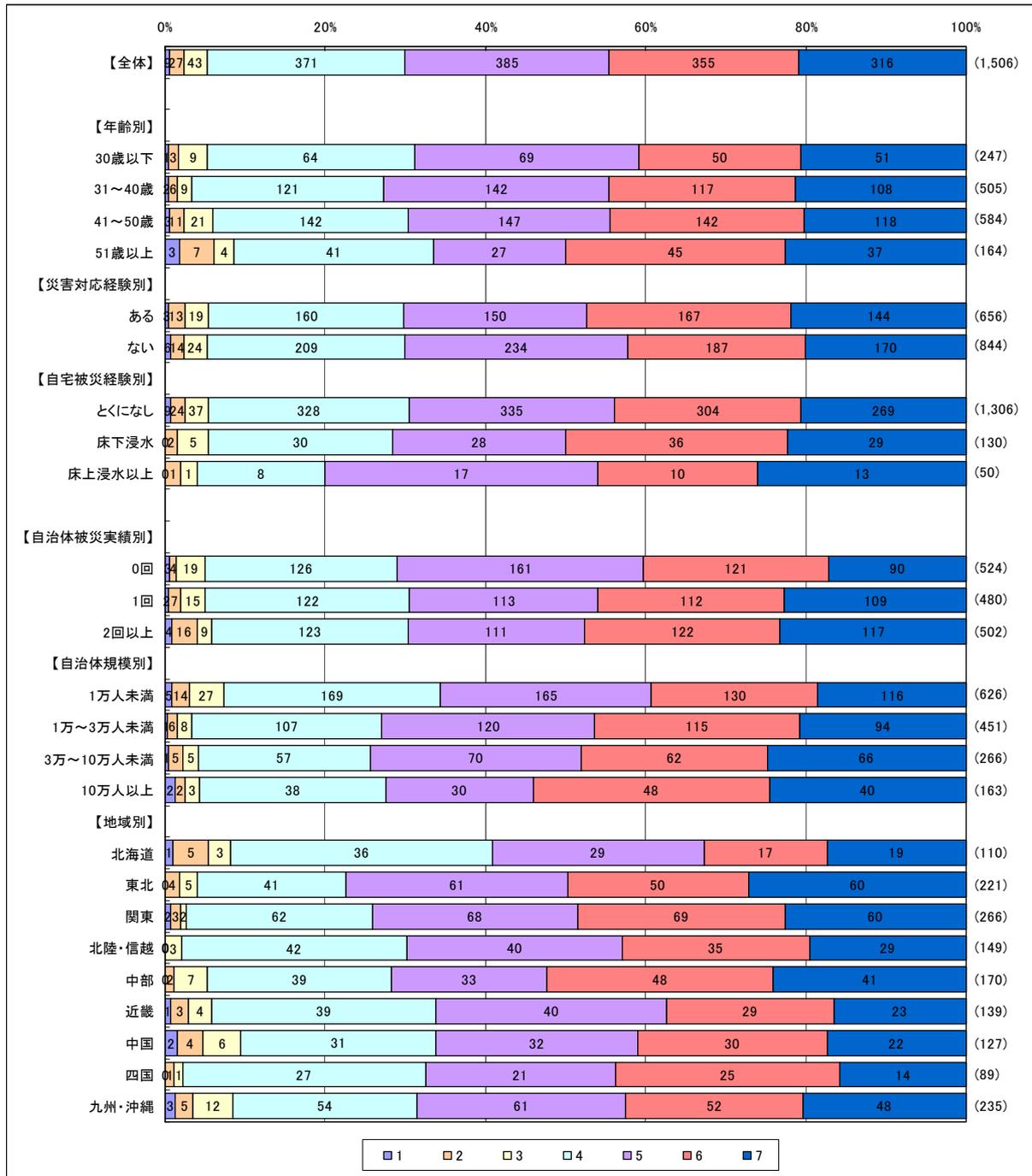
「自分の生命・財産は自分で守る」という、住民の自己責任意識を向上させること



(4)不動産取引時における危険情報の提供義務

【設問項目】

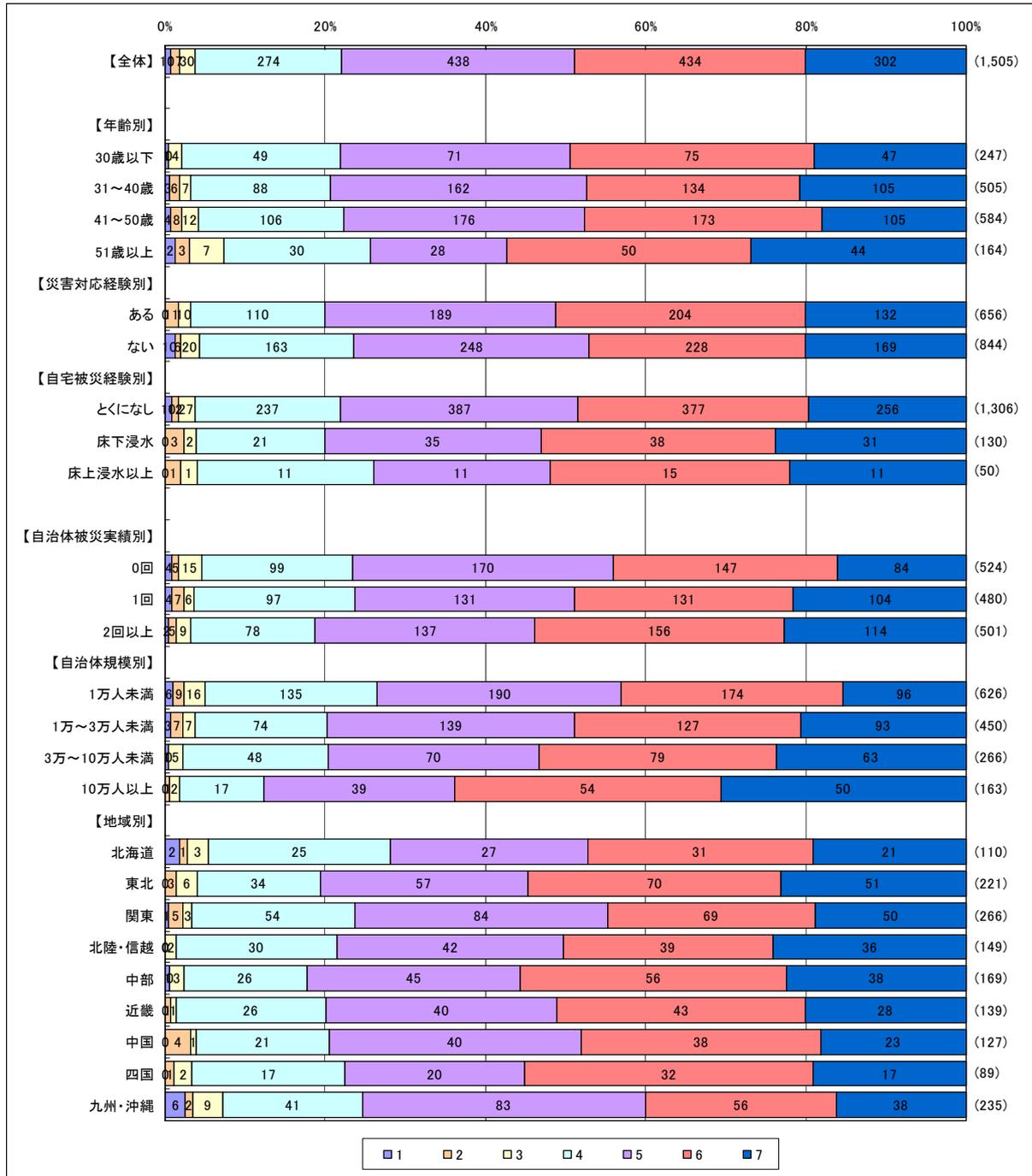
浸水危険区域内の不動産取引において、土地や建物の売り手（貸し手）が買い手（借り手）に対して、浸水の危険性のある土地であるという情報を提供しなければならないことを義務づけること



(5) 浸水危険区域の公表

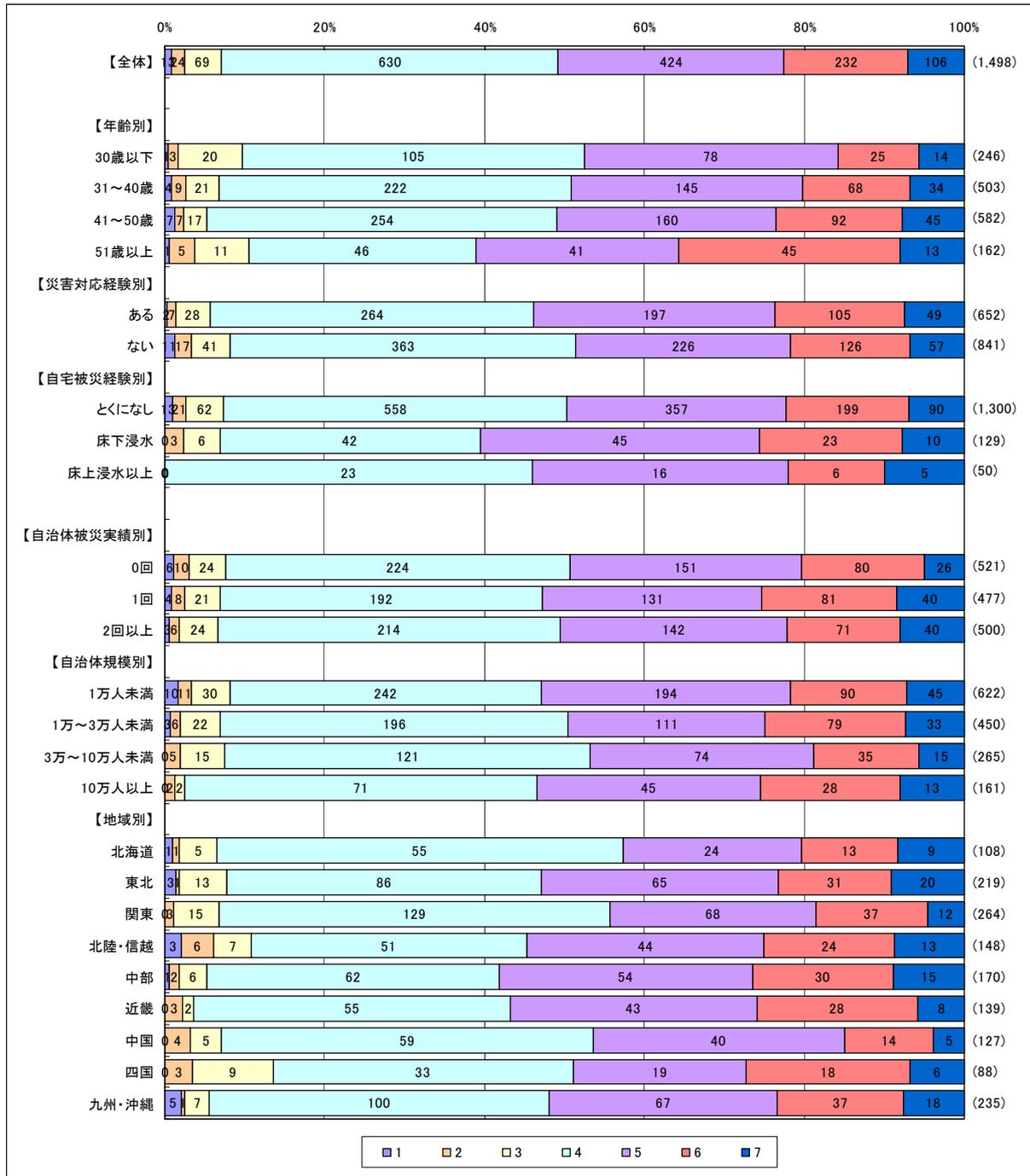
【設問項目】

これまでに浸水被害を受けたことのある区域や将来浸水するおそれのある区域をハザードマップなどのかたちで公表していくこと



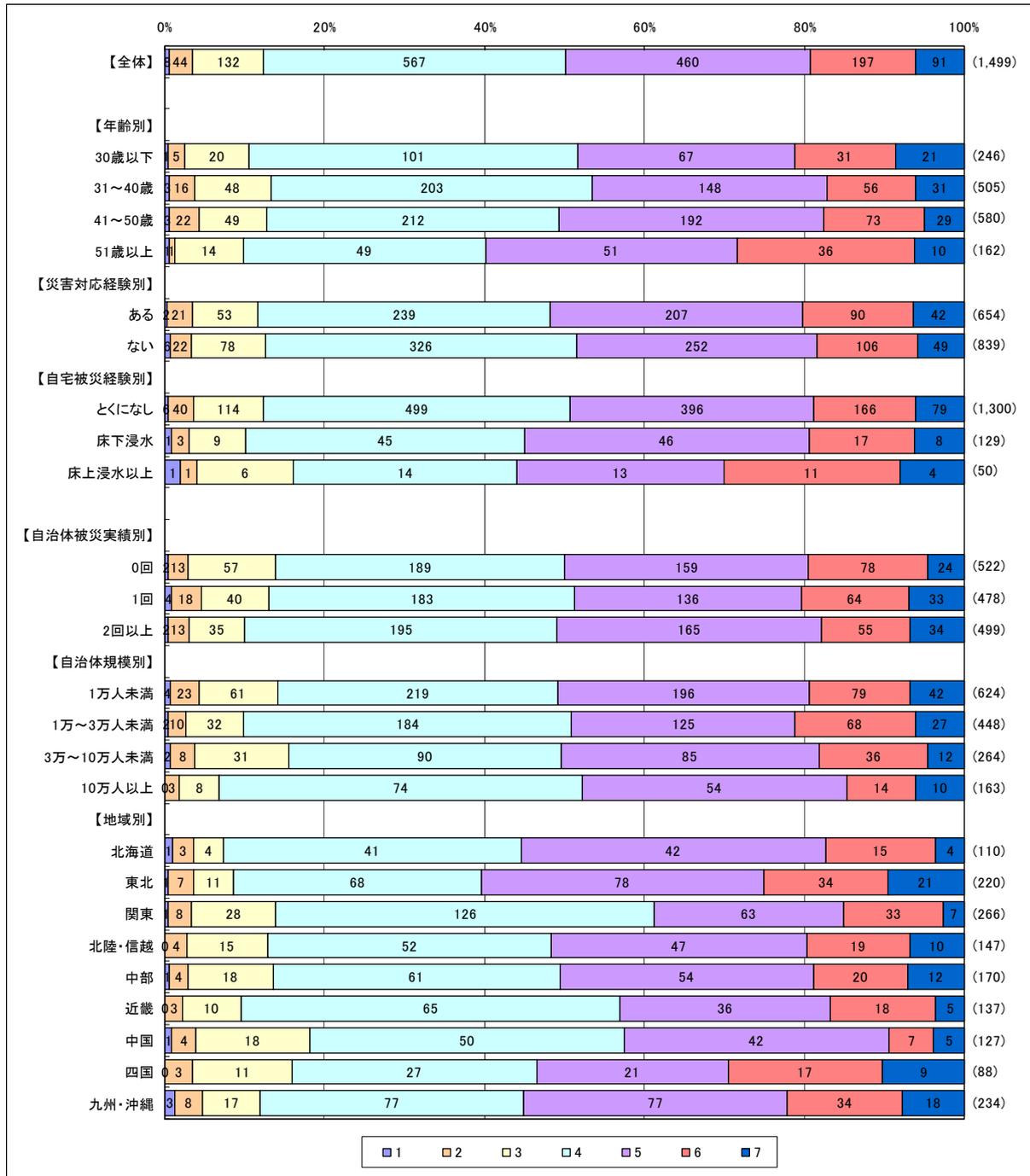
(6)基礎自治体の権限拡充

【設問項目】  
基礎自治体における河川整備全般に対する権限を拡充していくこと



(7)河川整備計画の策定における住民参加

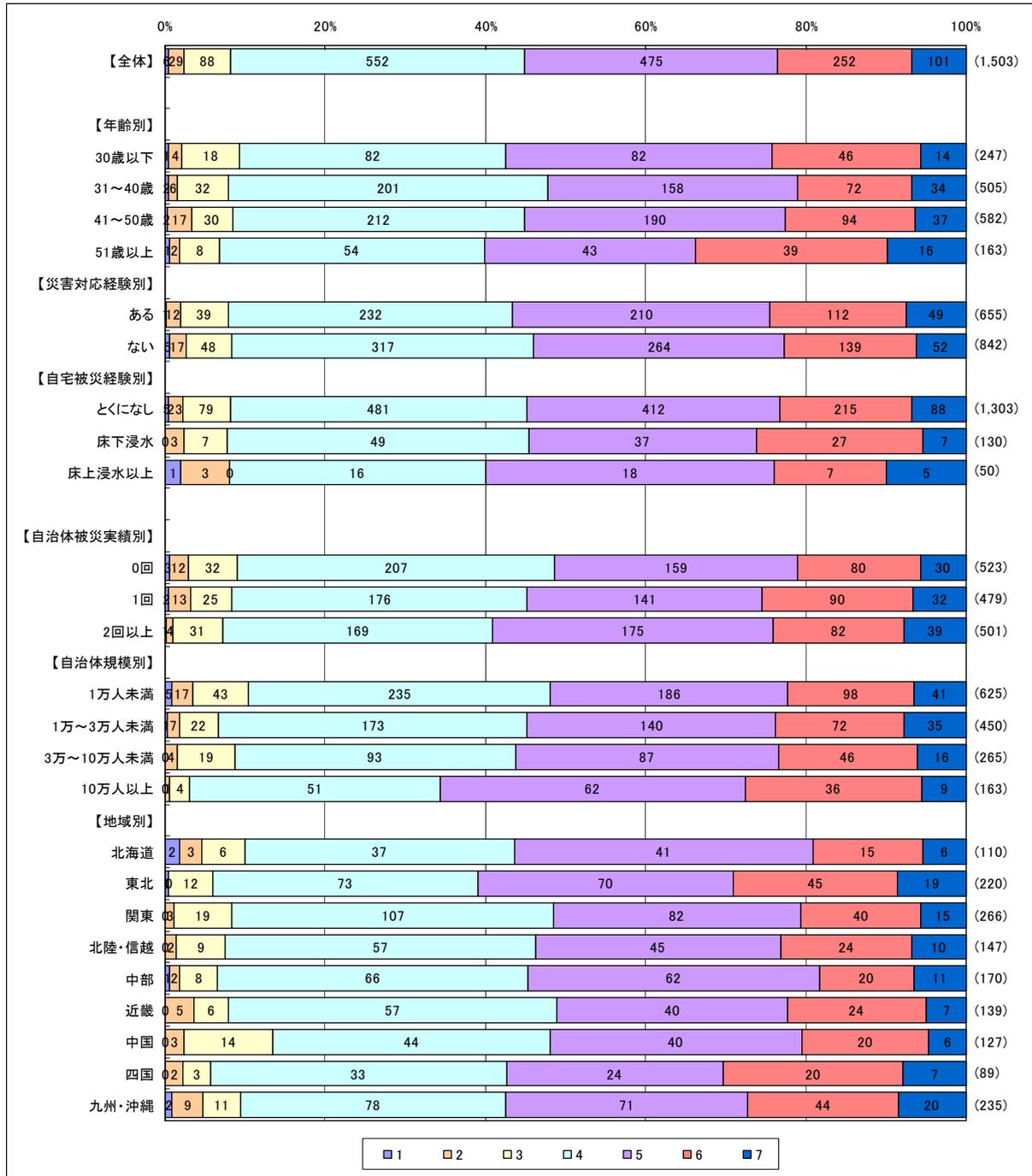
【設問項目】  
河川整備計画に関して、住民が計画策定に参加し、住民主導型で計画を策定していくこと



(8)計画策定支援のためのインターフェース機能の整備

【設問項目】

洪水対策について、住民と行政と専門家が協働で考えていくことを可能にするような計画策定支援に関するインターフェース機能を整備すること



## 5. 自治体における河川行政上の課題に関する集計結果

### 5.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、河川管理担当部署の行政職員を対象とした内容である（河川管理担当部署対象調査票：問6に対応）。各設問項目について、「1まったく問題ではない」から「7非常に問題がある」の7段階で尋ねている。表5-1に設問項目と回答の集計結果を示す。

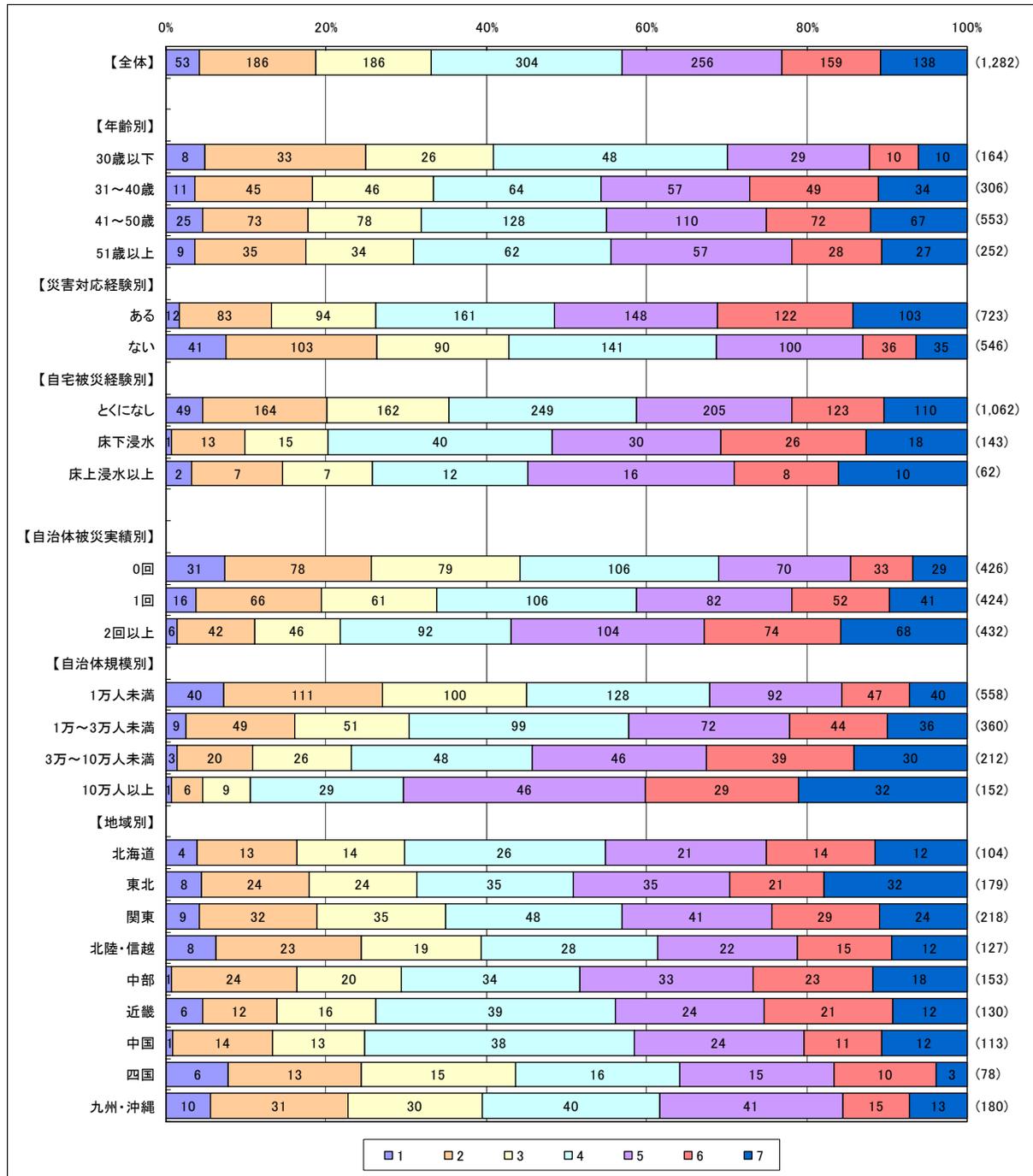
<b>【設問内容】</b>
あなたの自治体の河川整備や洪水対策に関連する全般的なことについて、以下の項目は現在、どの程度問題があると思いますか。(1)～(25)のそれぞれの項目について、「1まったく問題ではない」から「7非常に問題がある」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。

表 5-1 河川管理の課題に関する設問項目と集計結果

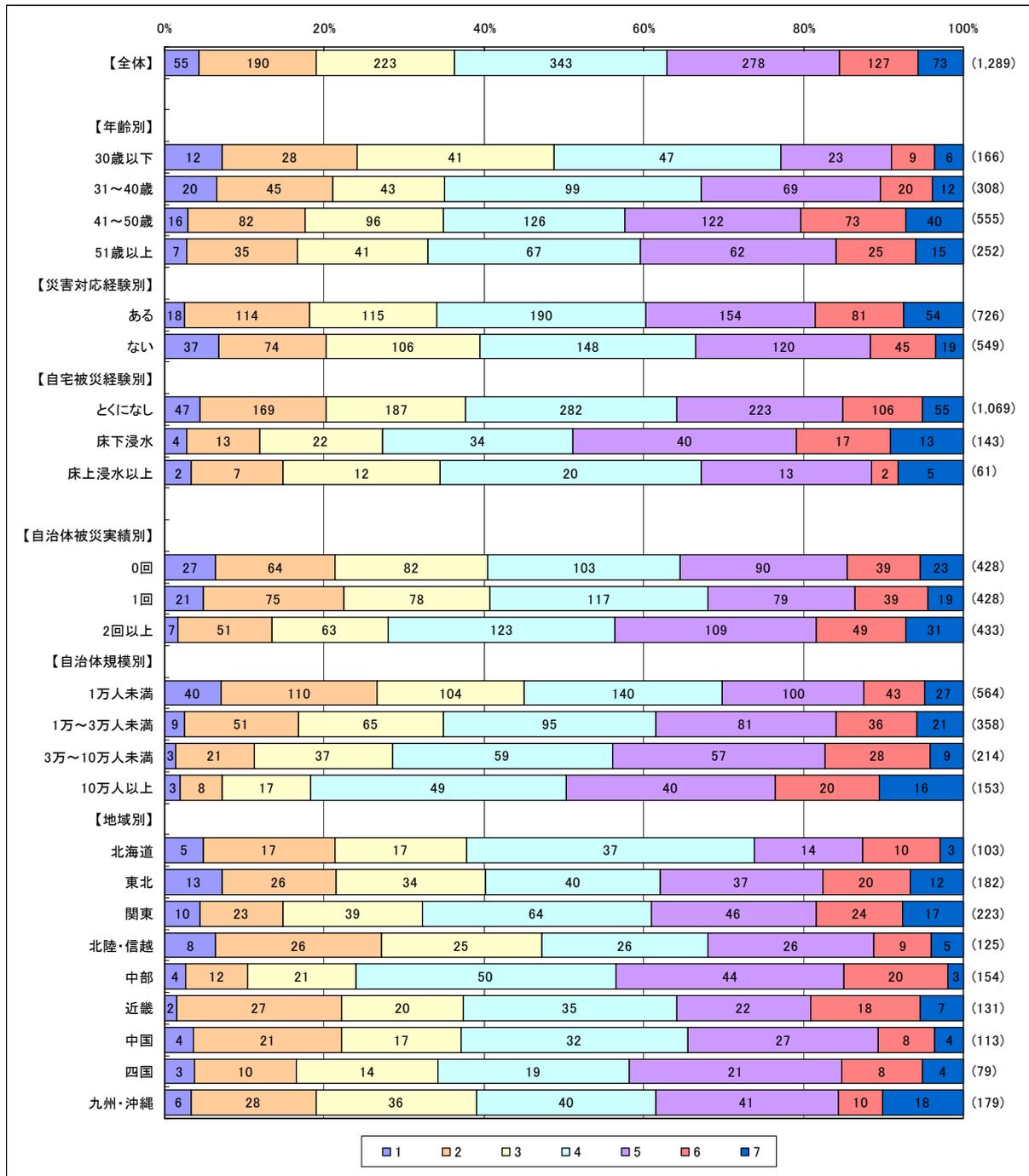
設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)豪雨時における内水氾濫の危険性	4.21	1.65	1282
(2)河川の水質の汚濁	3.99	1.51	1289
(3)洪水被害軽減に対する住民の関心の低さ	3.83	1.23	1278
(4)自治体組織内の河川整備に対する連携	3.58	1.24	1281
(5)河川整備事業による河川周辺景観への影響	3.47	1.28	1280
(6)山林開発にともなう洪水流出への影響	3.73	1.65	1277
(7)住民の意見を反映させた河川整備の実施状況	3.63	1.20	1289
(8)河川整備事業による河川周辺の遊び場の消失	3.34	1.49	1291
(9)河川整備計画に対する住民の参画意欲	3.77	1.25	1287
(10)化学物質の河川への流出	3.34	1.57	1284
(11)都市・地域開発にともなう内水処理能力への影響	3.61	1.62	1285
(12)河川整備計画に関する住民への情報の提供状況	3.64	1.24	1288
(13)河川周辺のゴミの散乱	4.80	1.46	1297
(14)河川環境の保全に対する住民の関心の度合い	4.05	1.25	1288
(15)河川整備事業による周辺の生態系への影響	3.91	1.38	1291
(16)豪雨時における外水氾濫の危険性	4.03	1.52	1283
(17)河川流域の各自治体との連携	3.44	1.37	1287
(18)河川整備事業による漁獲量の低下	3.07	1.53	1277
(19)河川の現状に関連する十分なデータ量	4.06	1.32	1285
(20)河川の悪臭	3.35	1.48	1294
(21)住民の河川整備に対する関心の低さ	3.76	1.17	1293
(22)河川整備事業による河川周辺の歴史的環境の消失	3.22	1.34	1291
(23)治水整備に関する予算額の十分な確保	4.66	1.45	1286
(24)河川整備に関する住民参加型の議論の実施状況	3.98	1.21	1283
(25)河川整備に関する国や都道府県との連携	3.70	1.34	1289

## 5.2 各設問項目の属性別集計結果

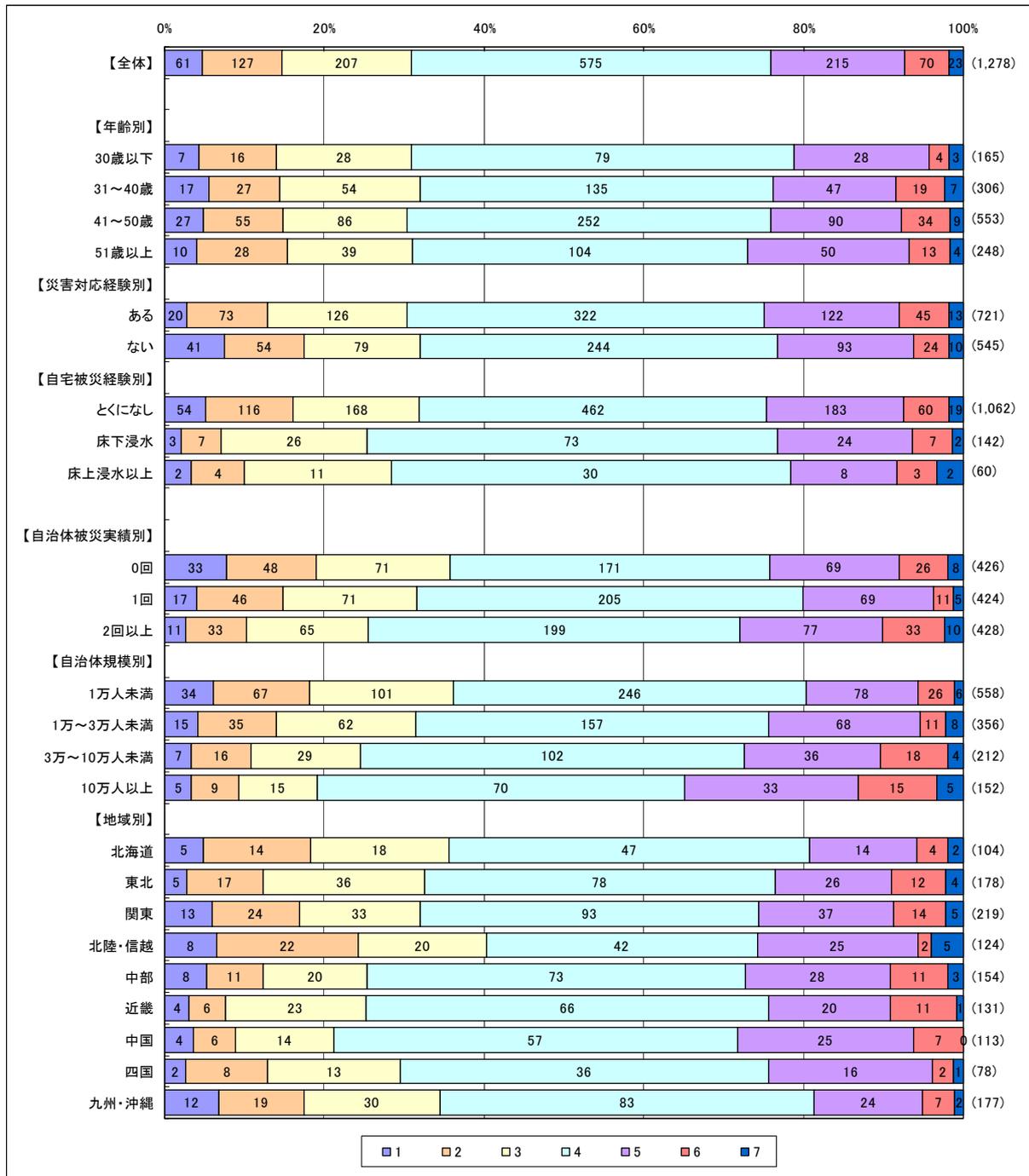
### (1) 豪雨時における内水氾濫の危険性



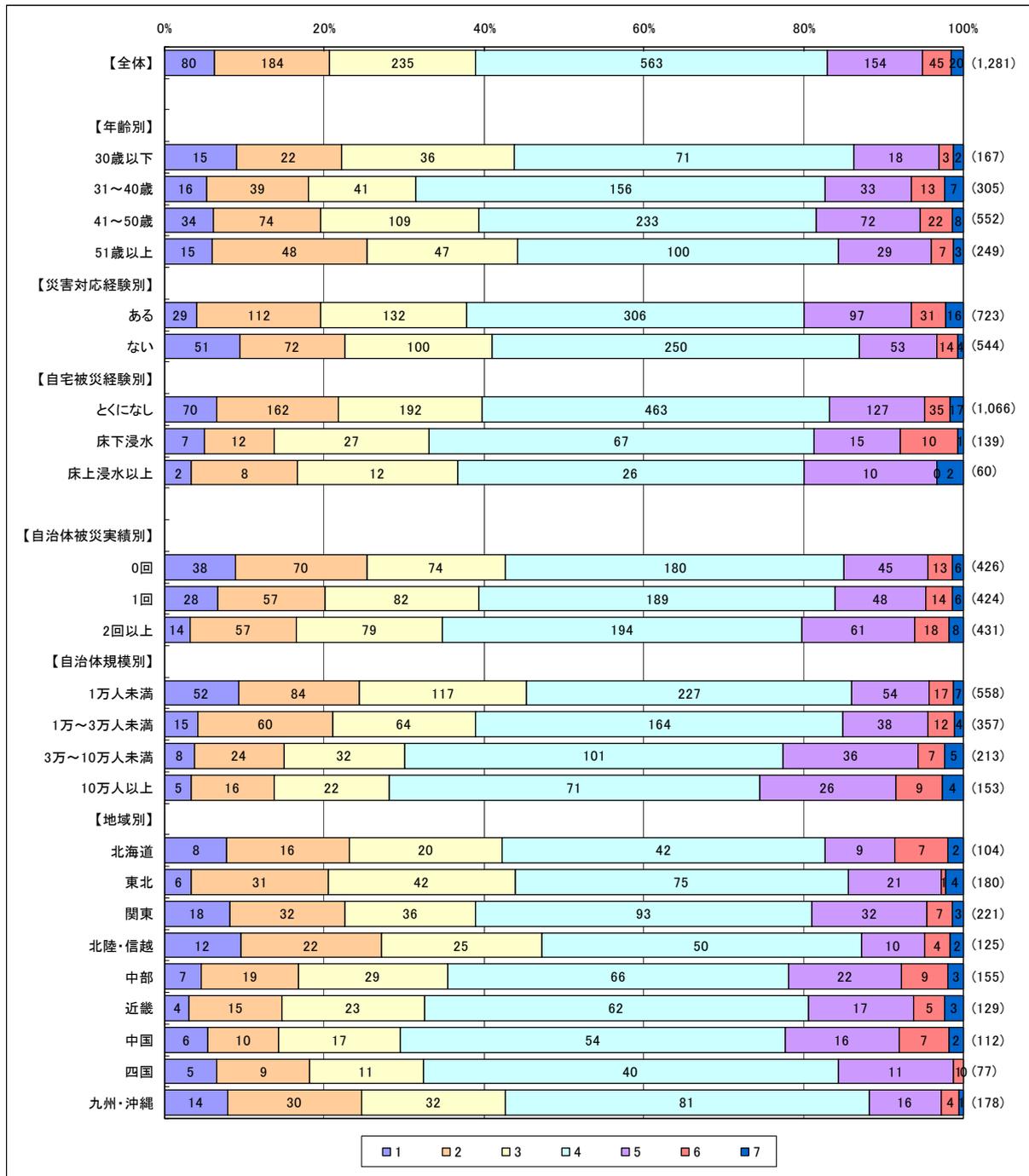
(2)河川の水質の汚濁



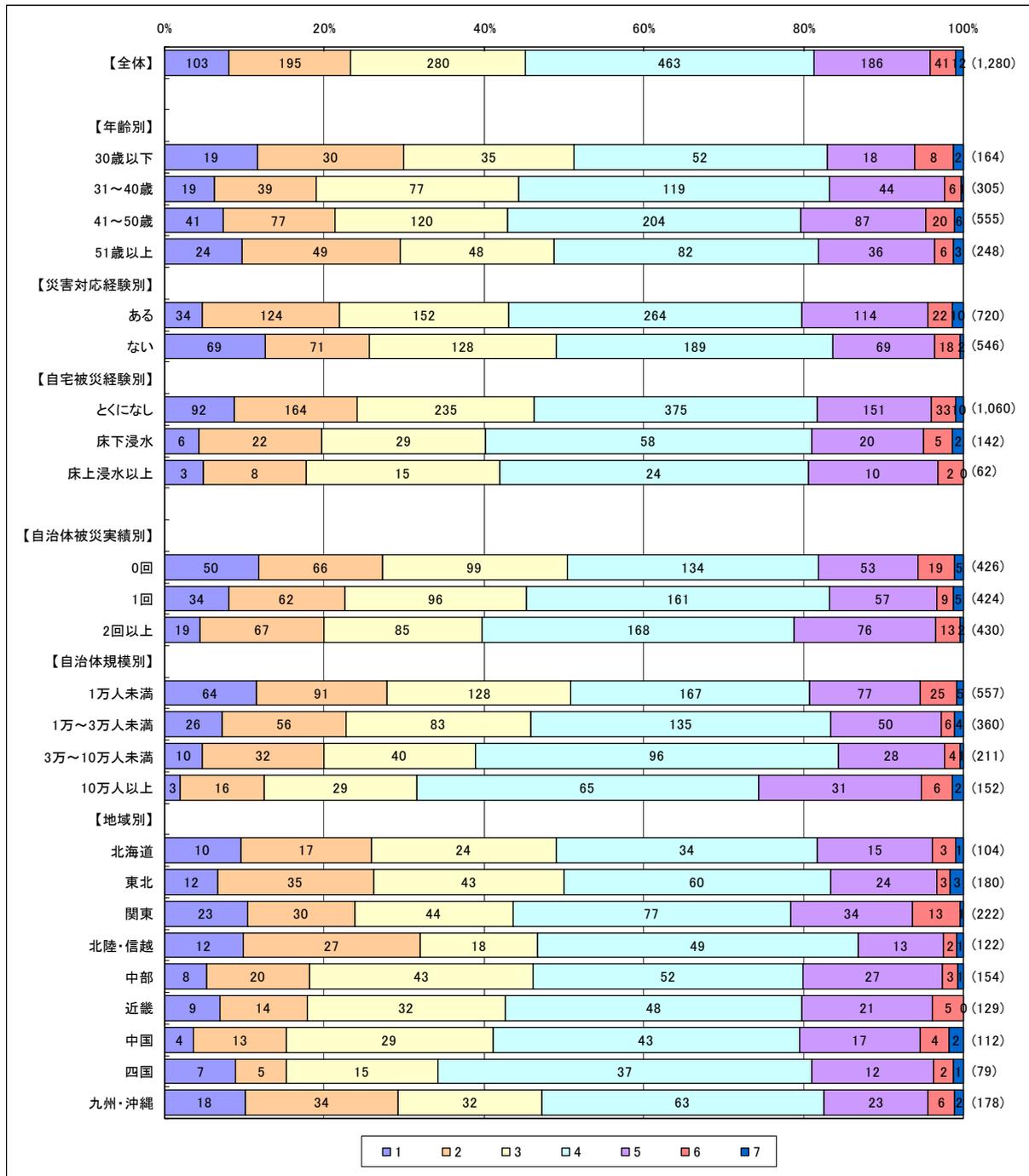
(3)洪水被害軽減に対する住民の関心の低さ



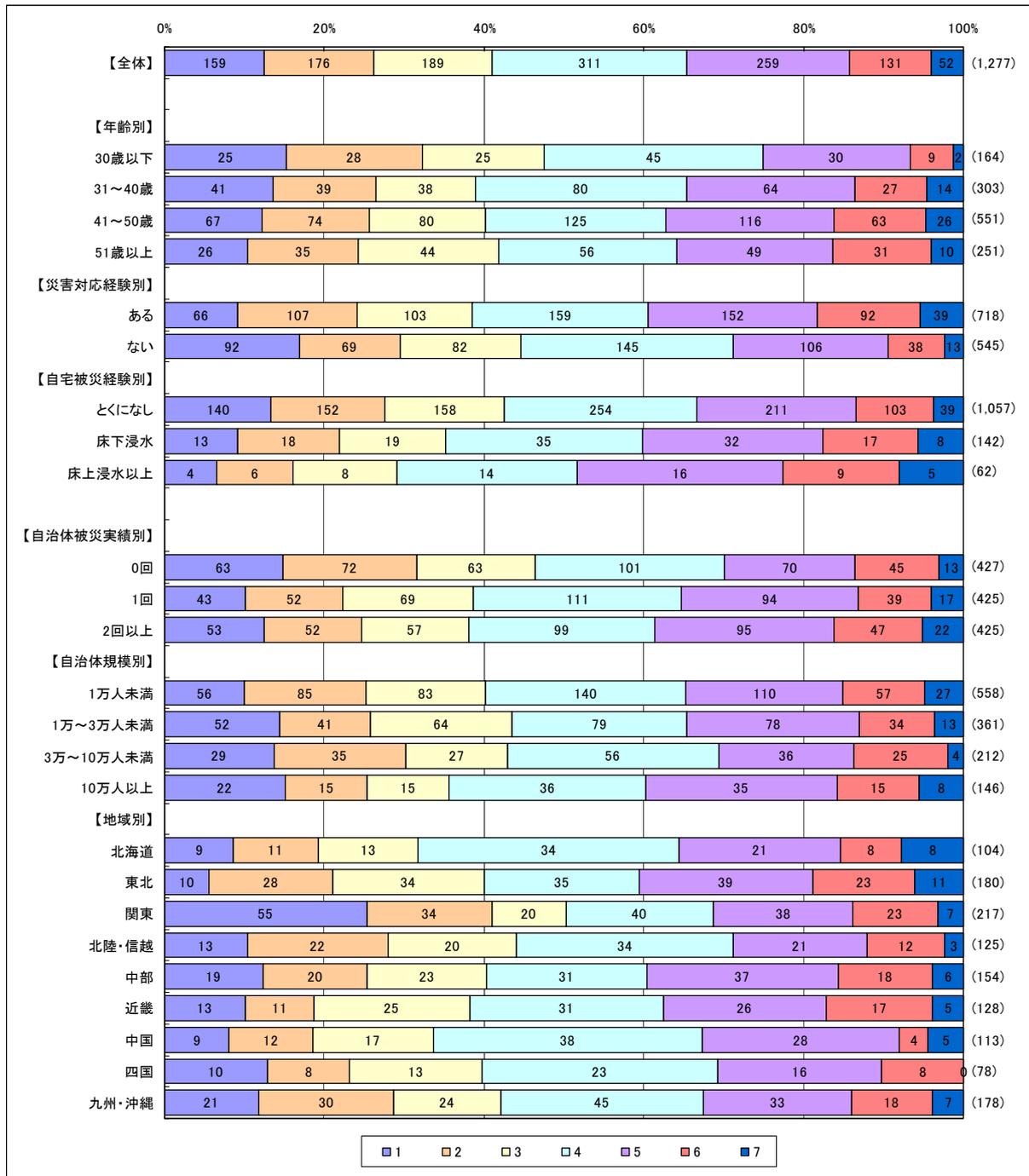
(4)自治体組織内の河川整備に対する連携



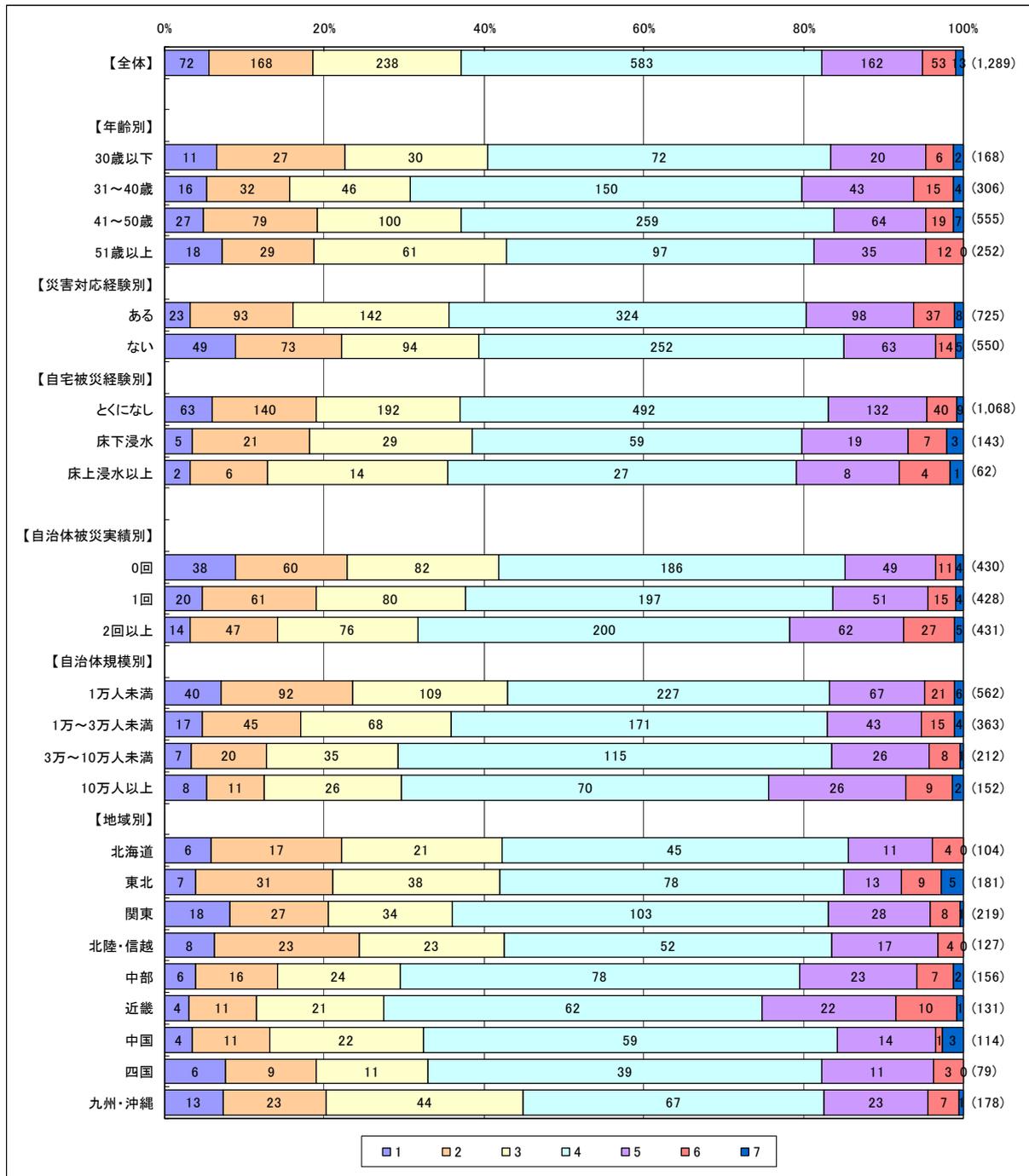
(5)河川整備事業による河川周辺景観への影響



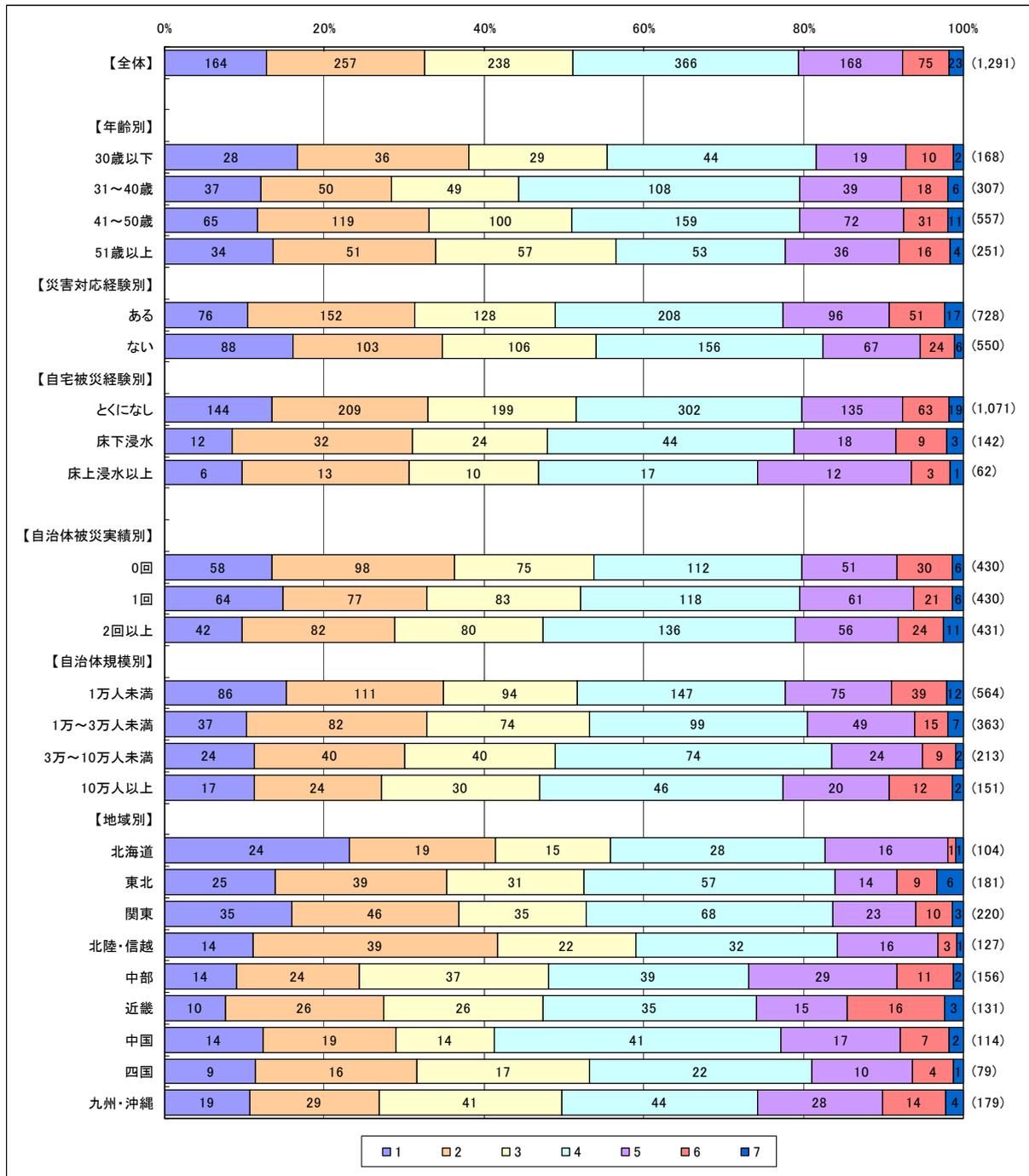
(6)山林開発にともなう洪水流出への影響



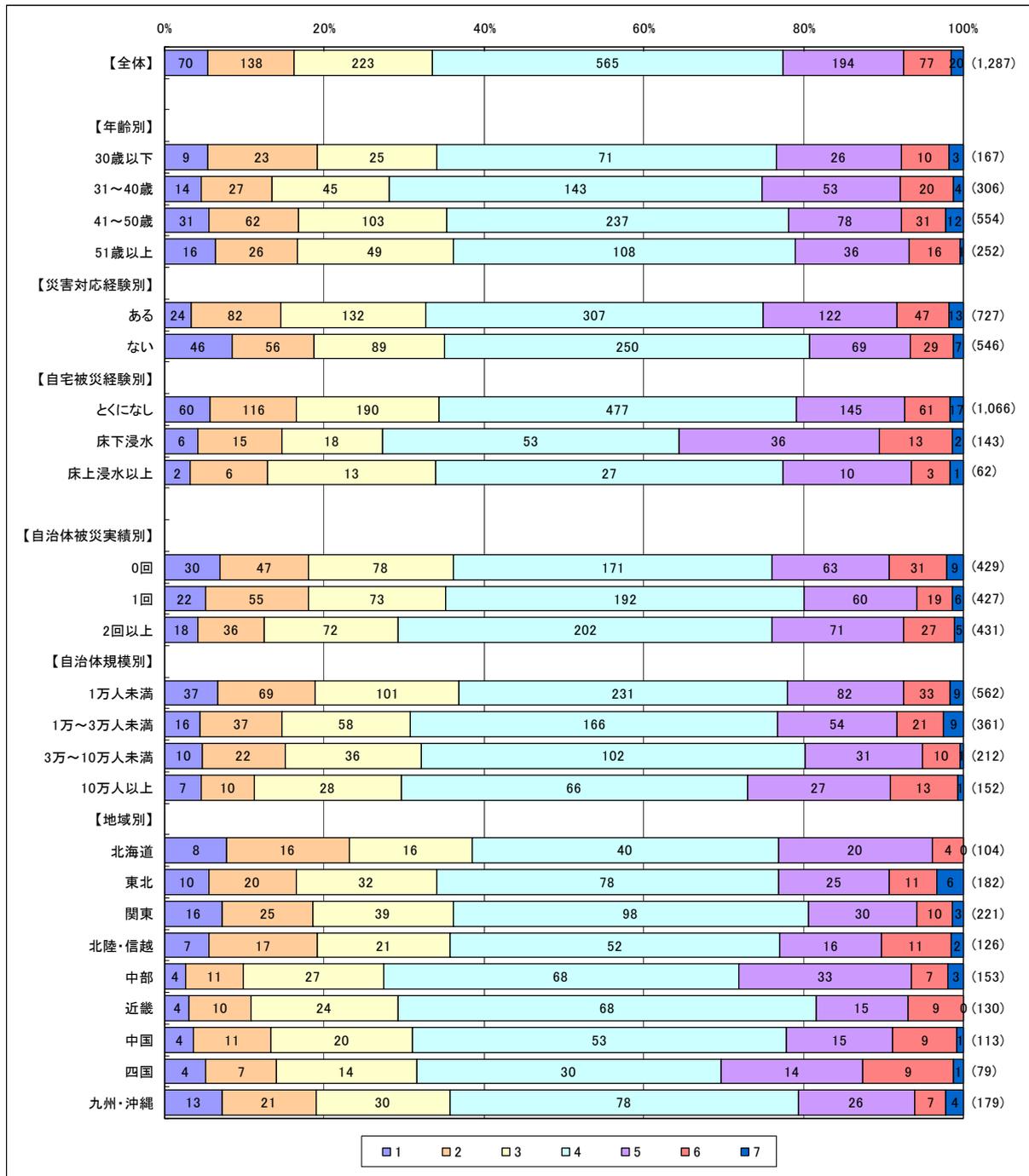
(7)住民の意見を反映させた河川整備の実施状況



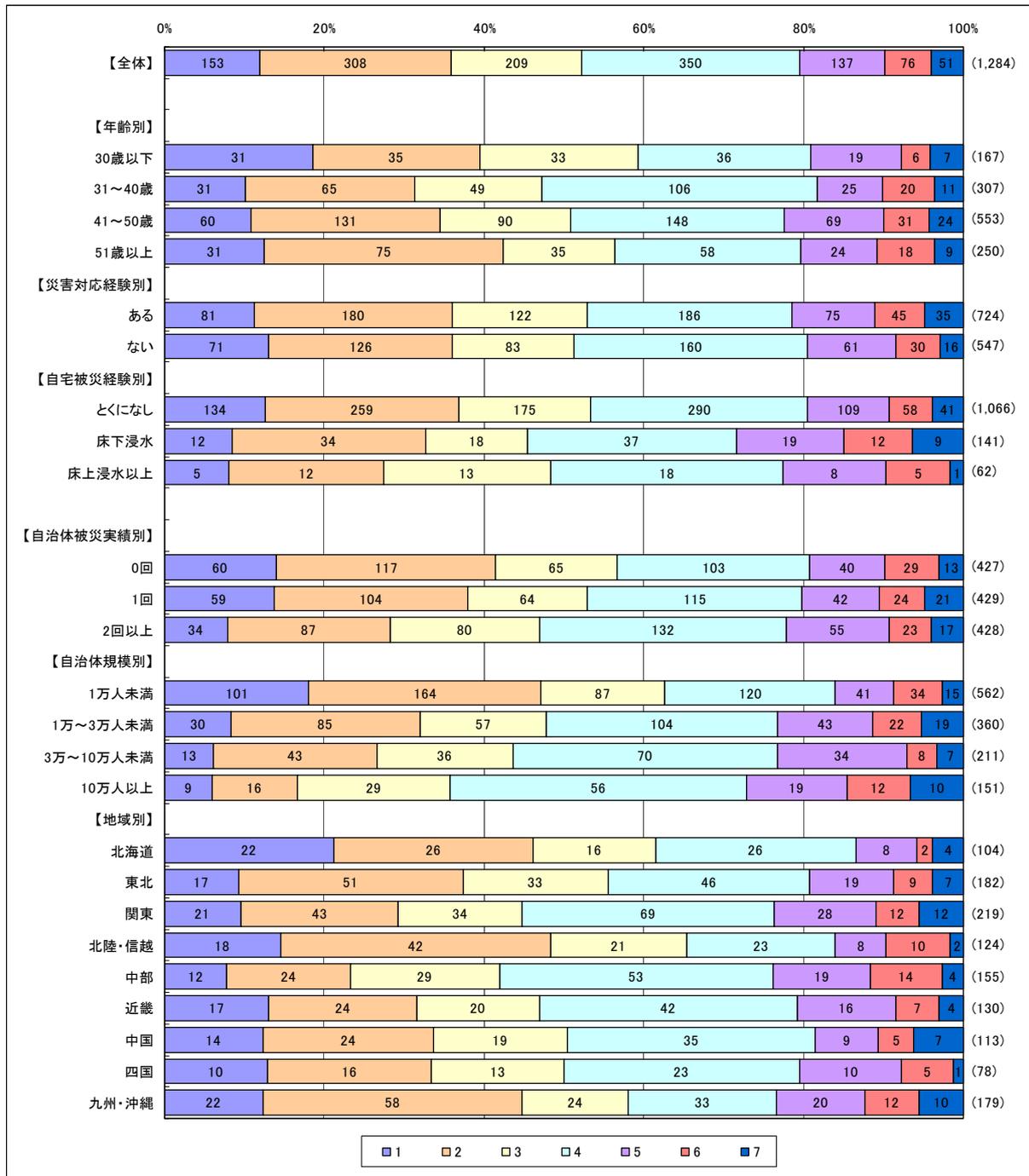
(8)河川整備事業による河川周辺の遊び場の消失



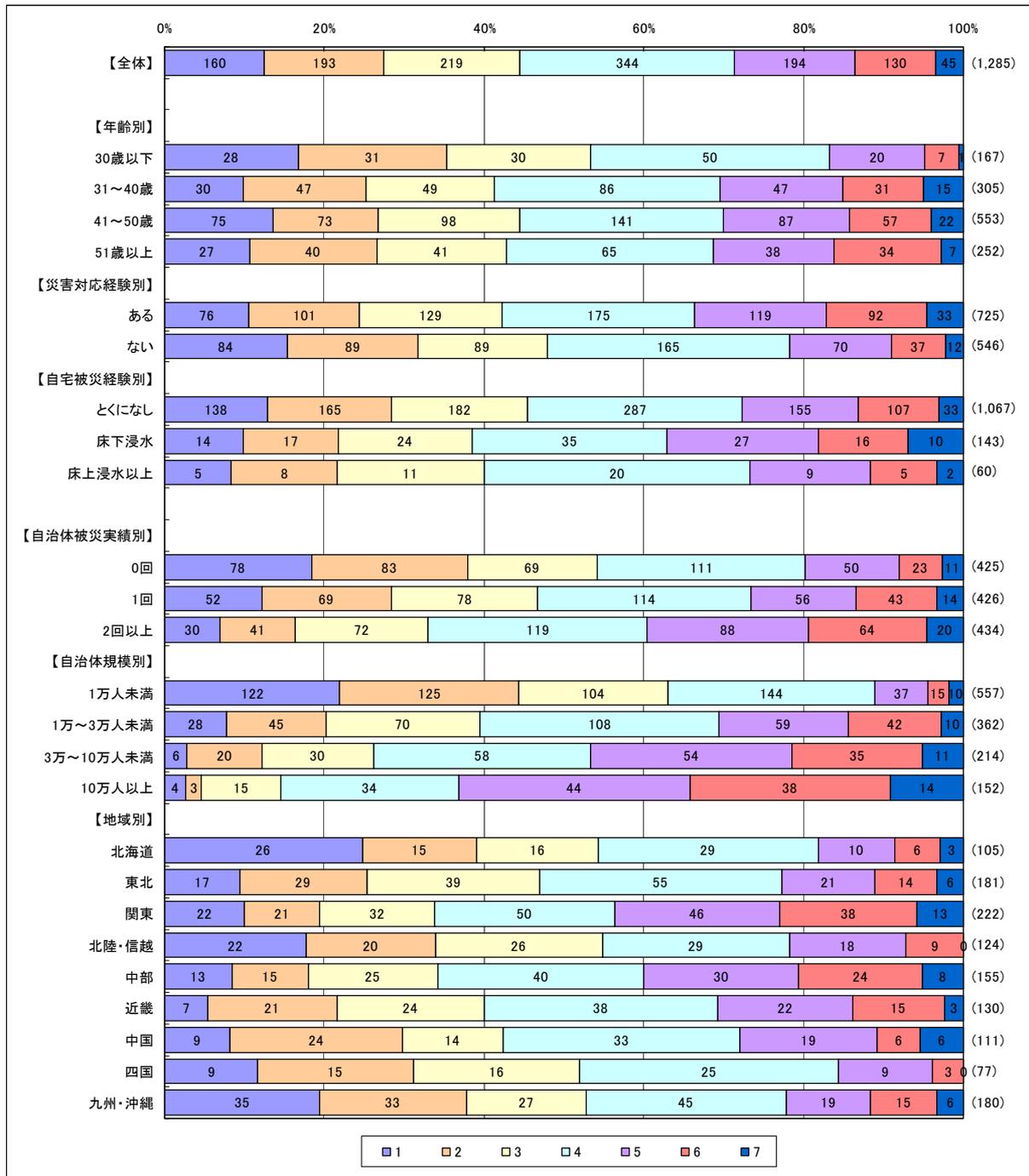
(9)河川整備計画に対する住民の参画意欲



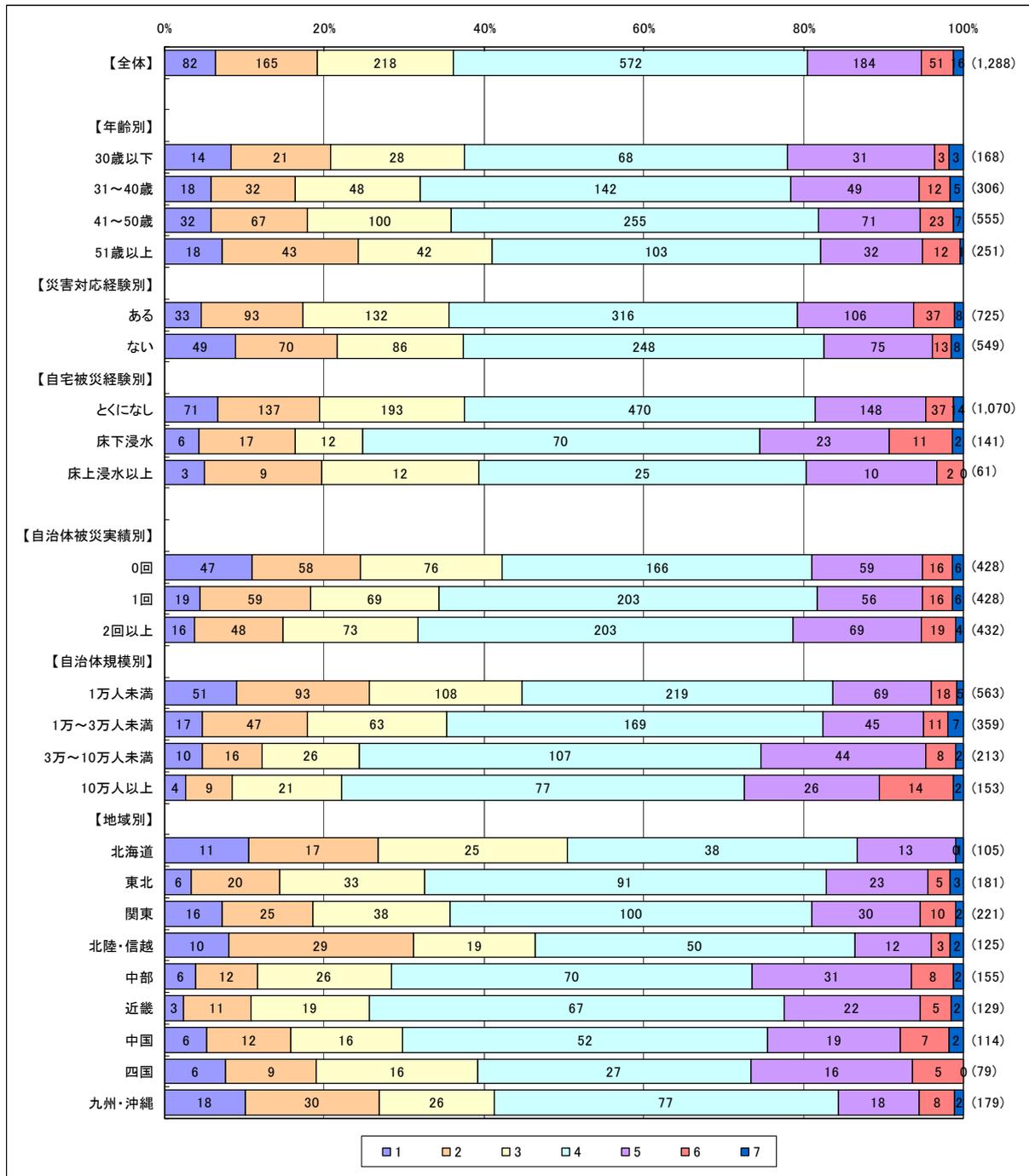
(10)化学物質の河川への流出



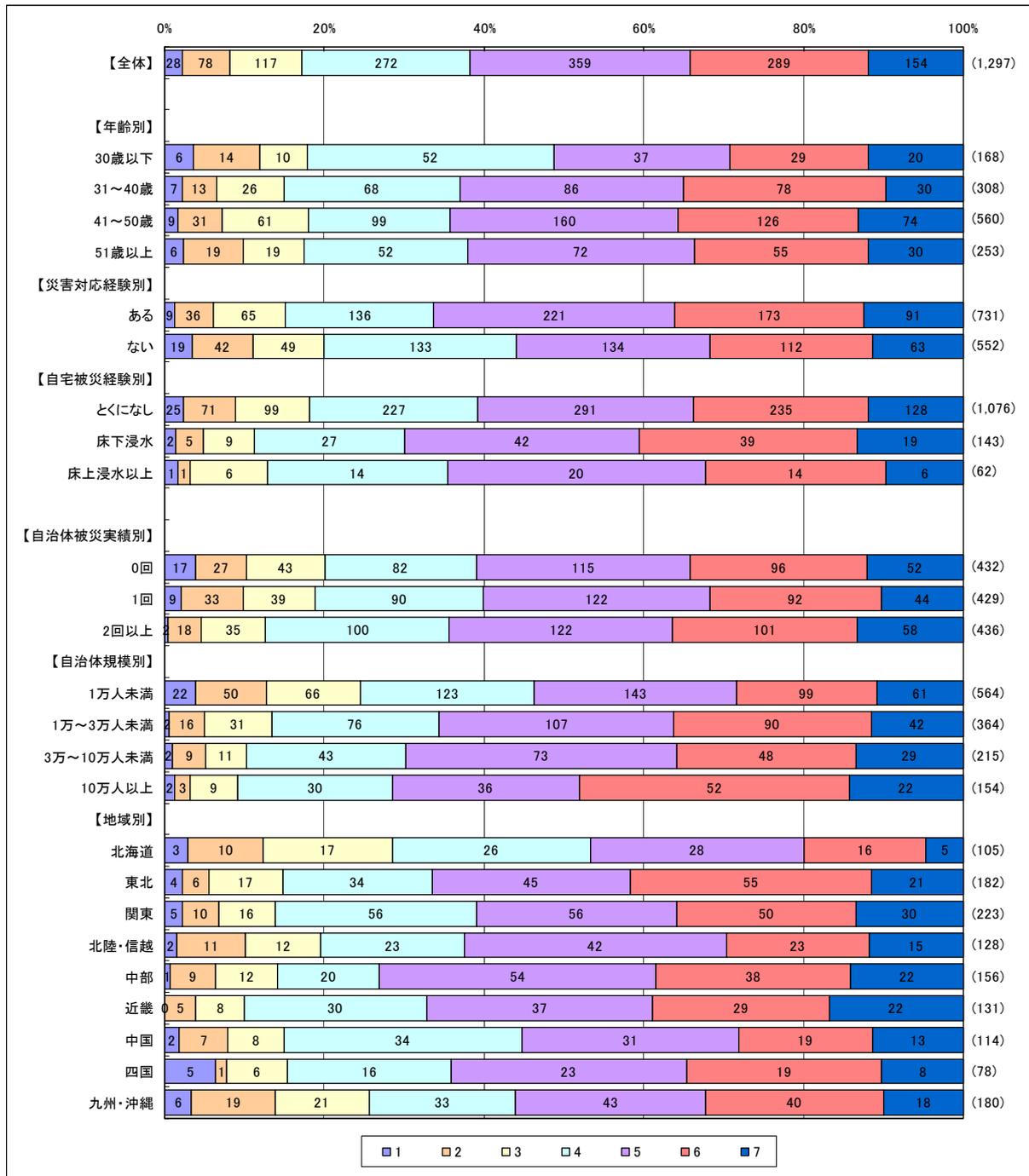
(11)都市・地域開発にともなう内水処理能力への影響



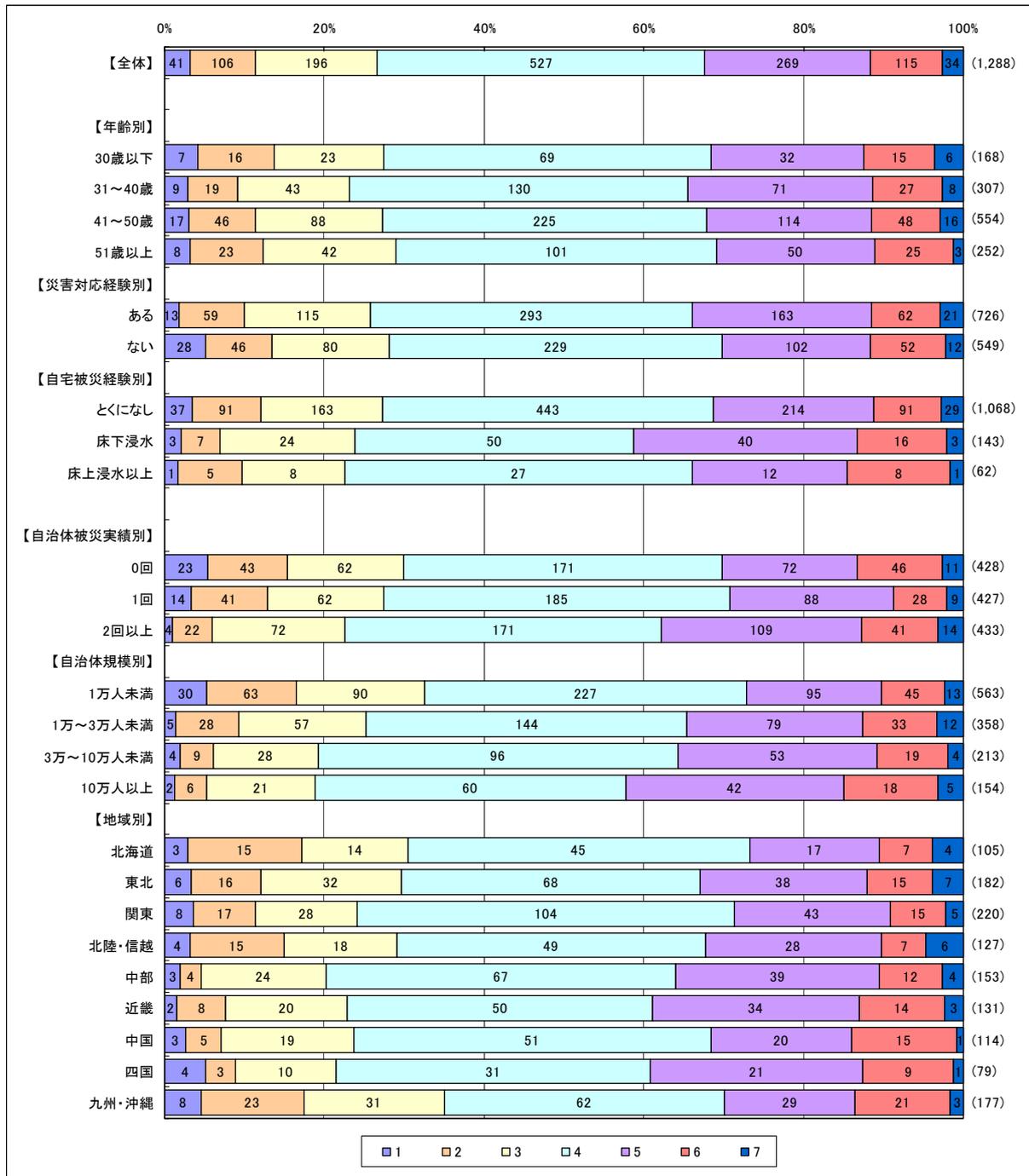
(12)河川整備計画に関する住民への情報の提供状況



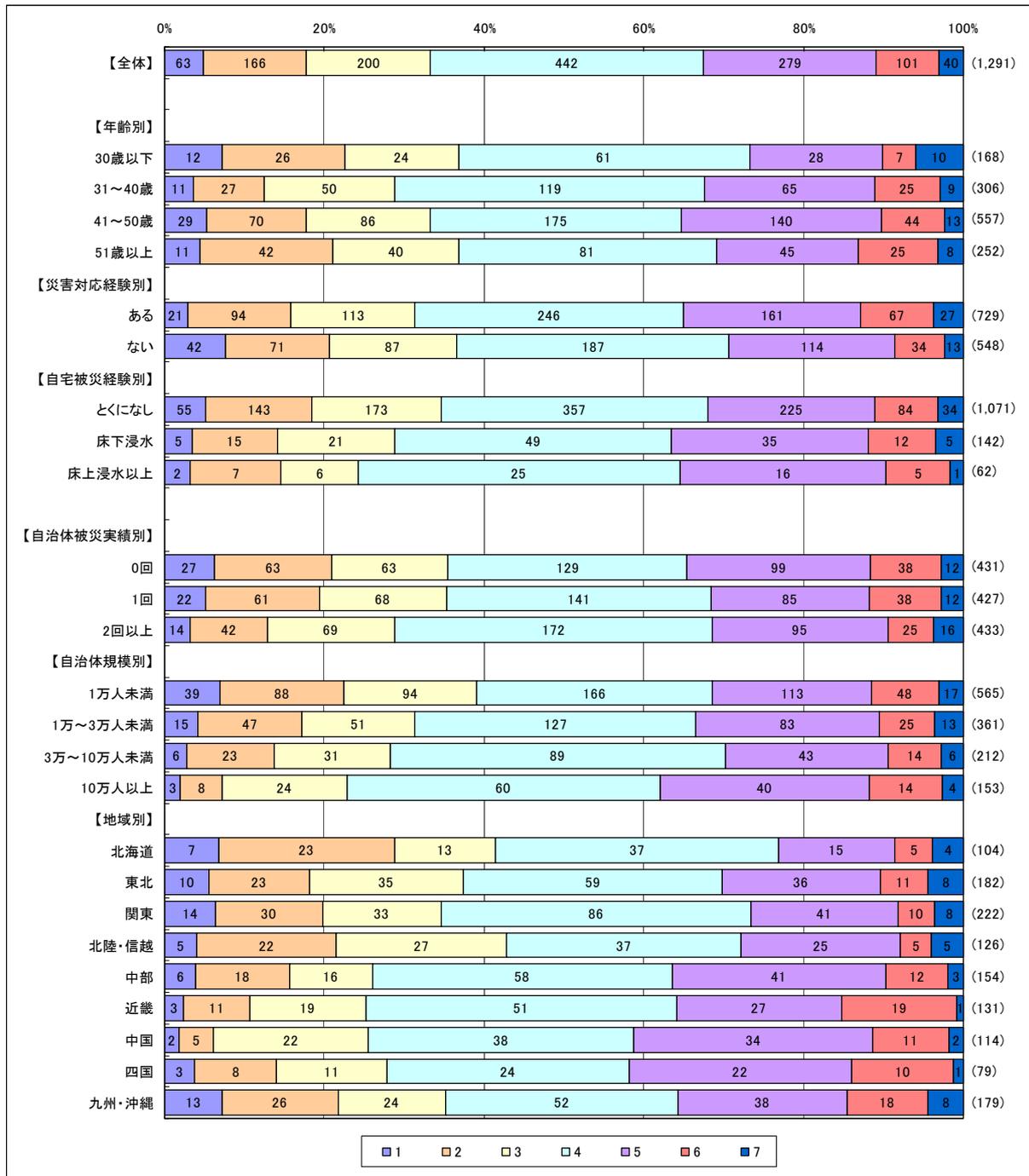
(13)河川周辺のゴミの散乱



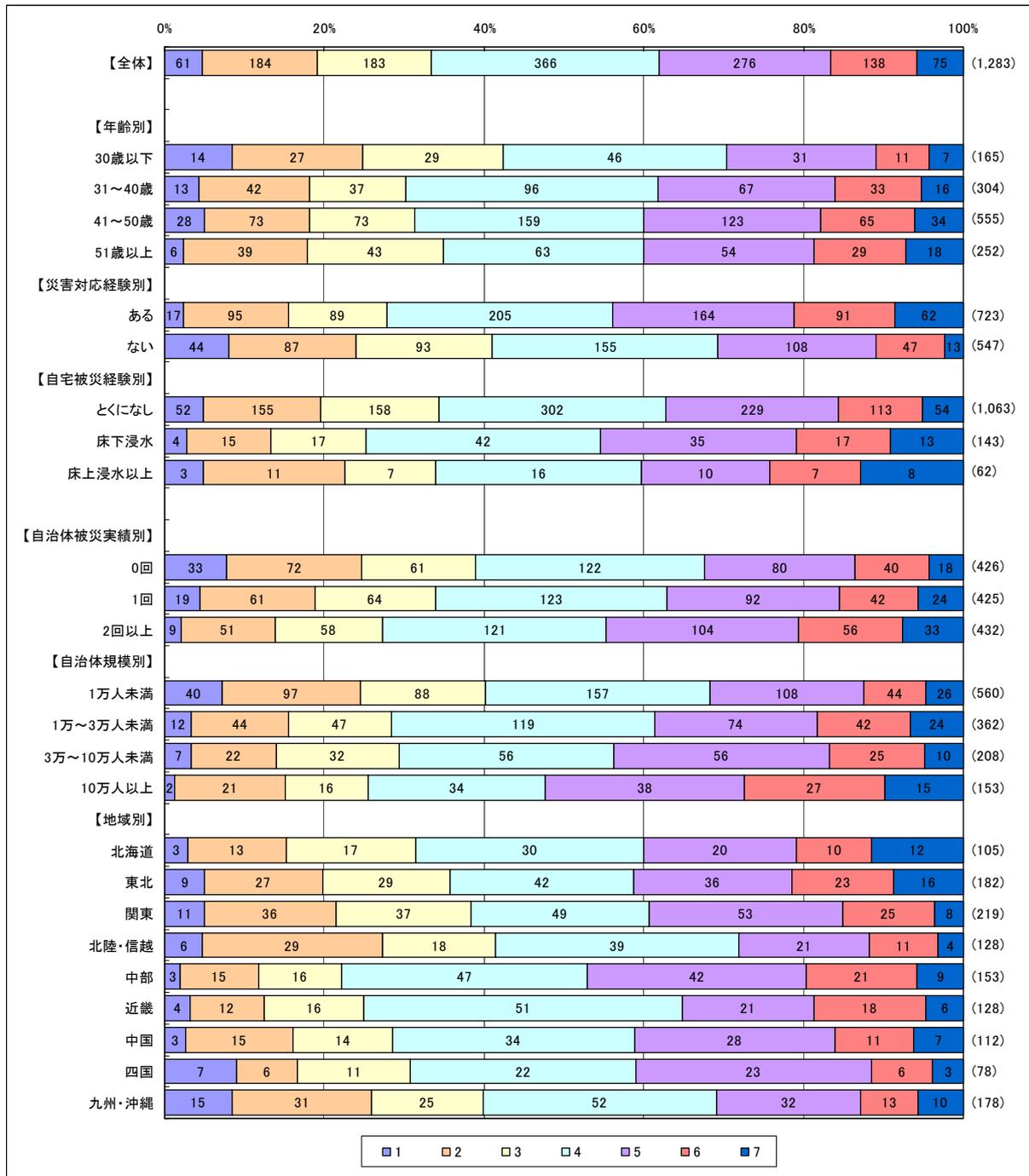
(14)河川環境の保全に対する住民の関心の度合い



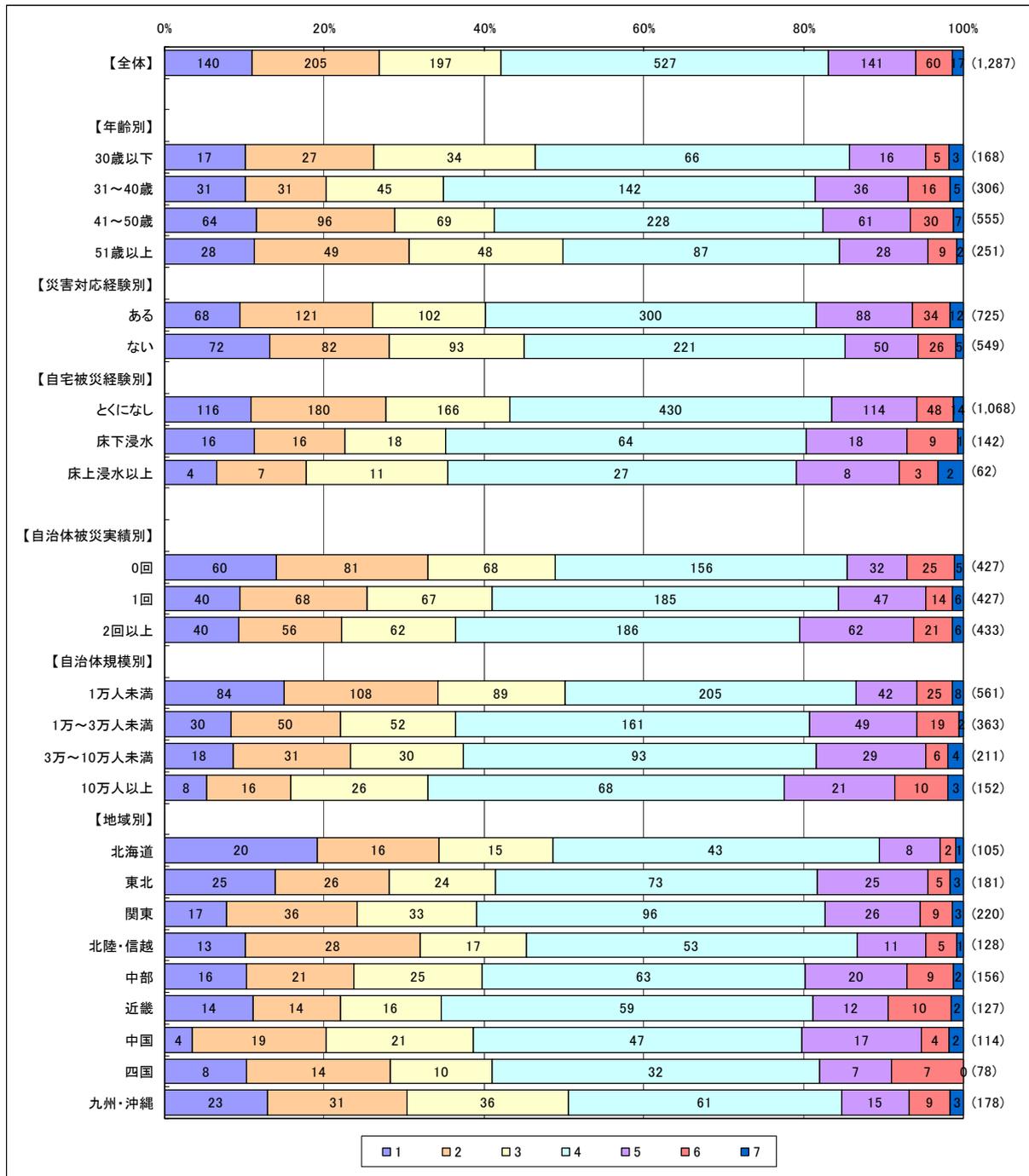
(15)河川整備事業による周辺の生態系への影響



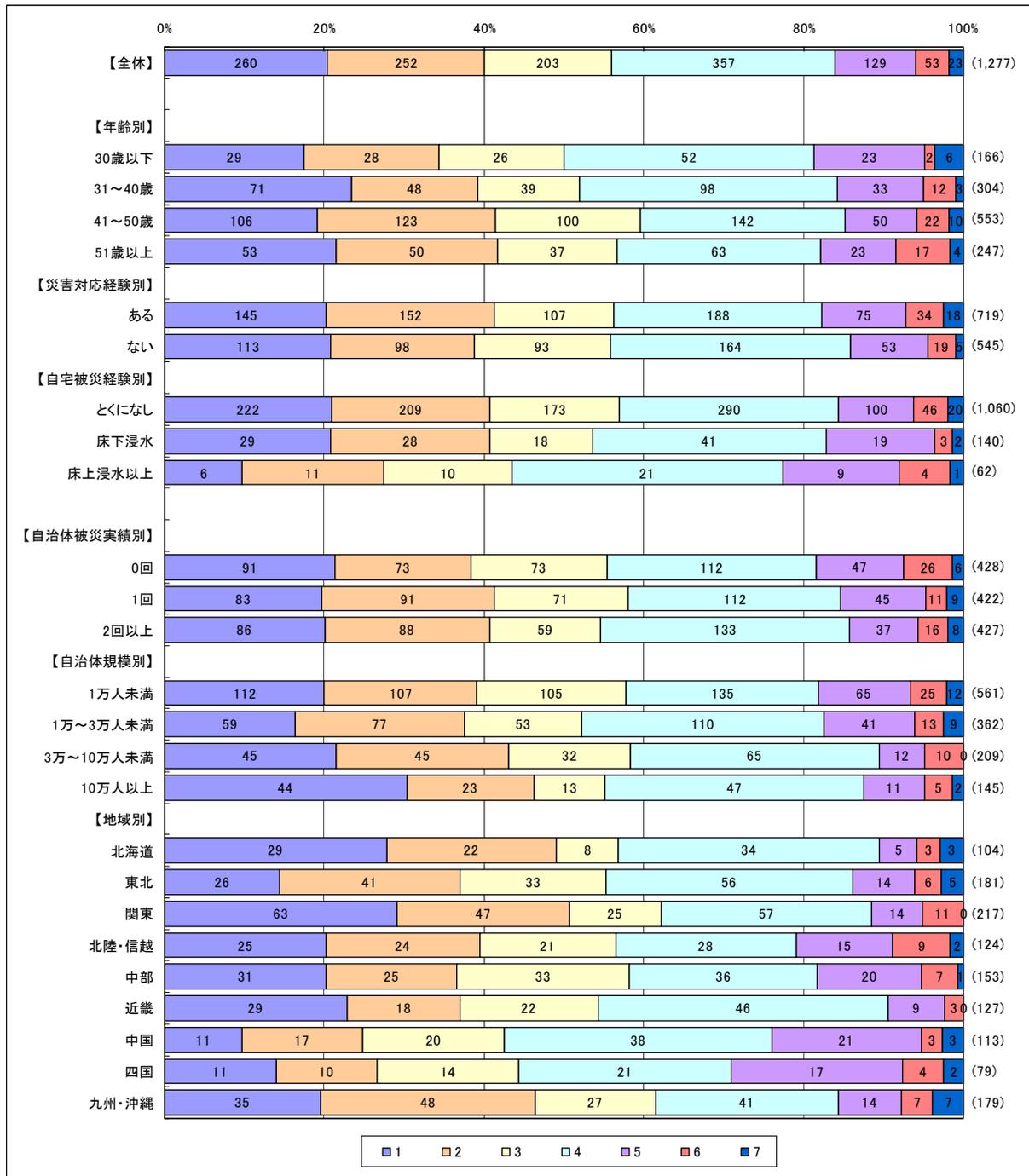
(16)豪雨時における外水氾濫の危険性



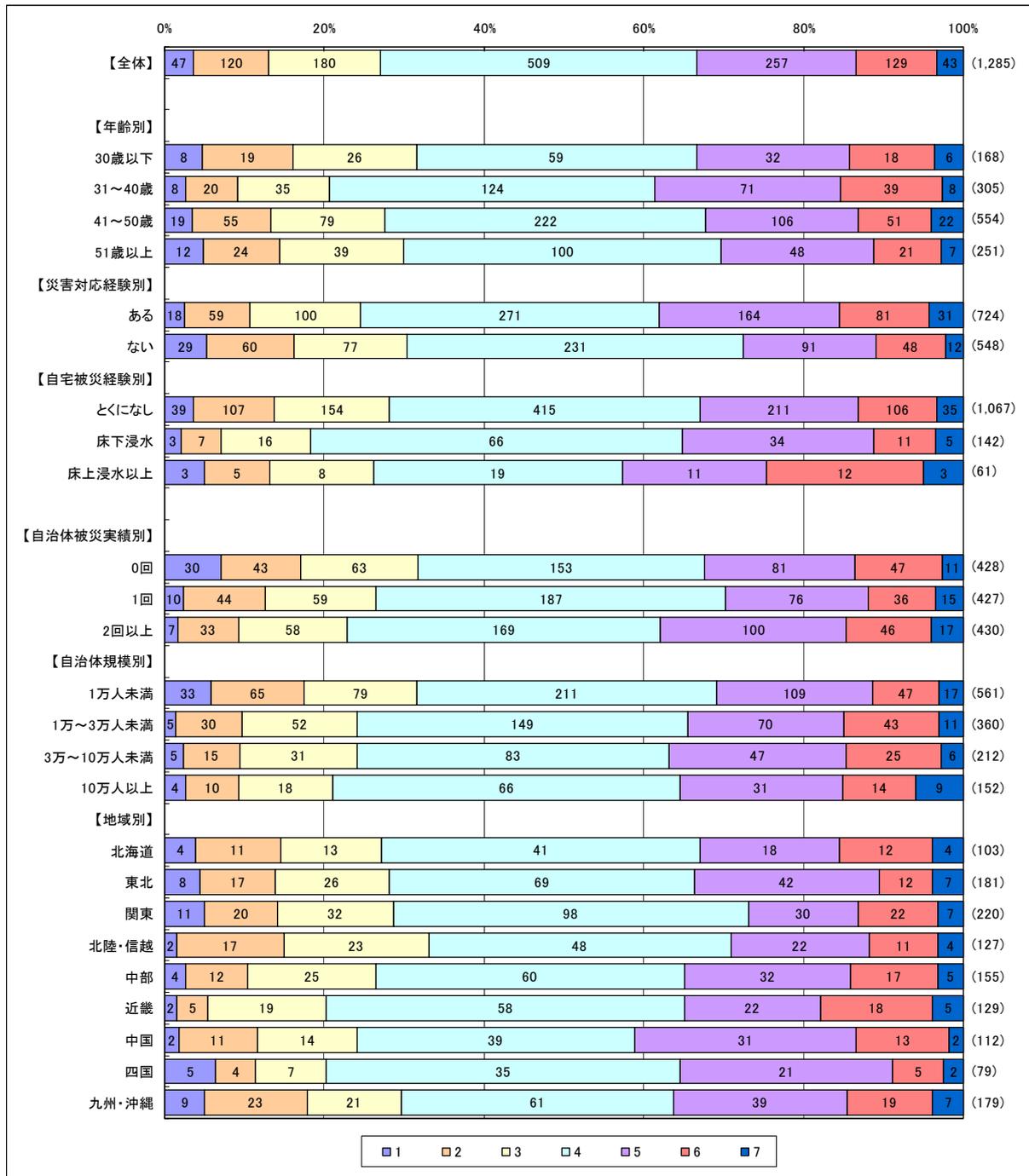
(17)河川流域の各自治体との連携



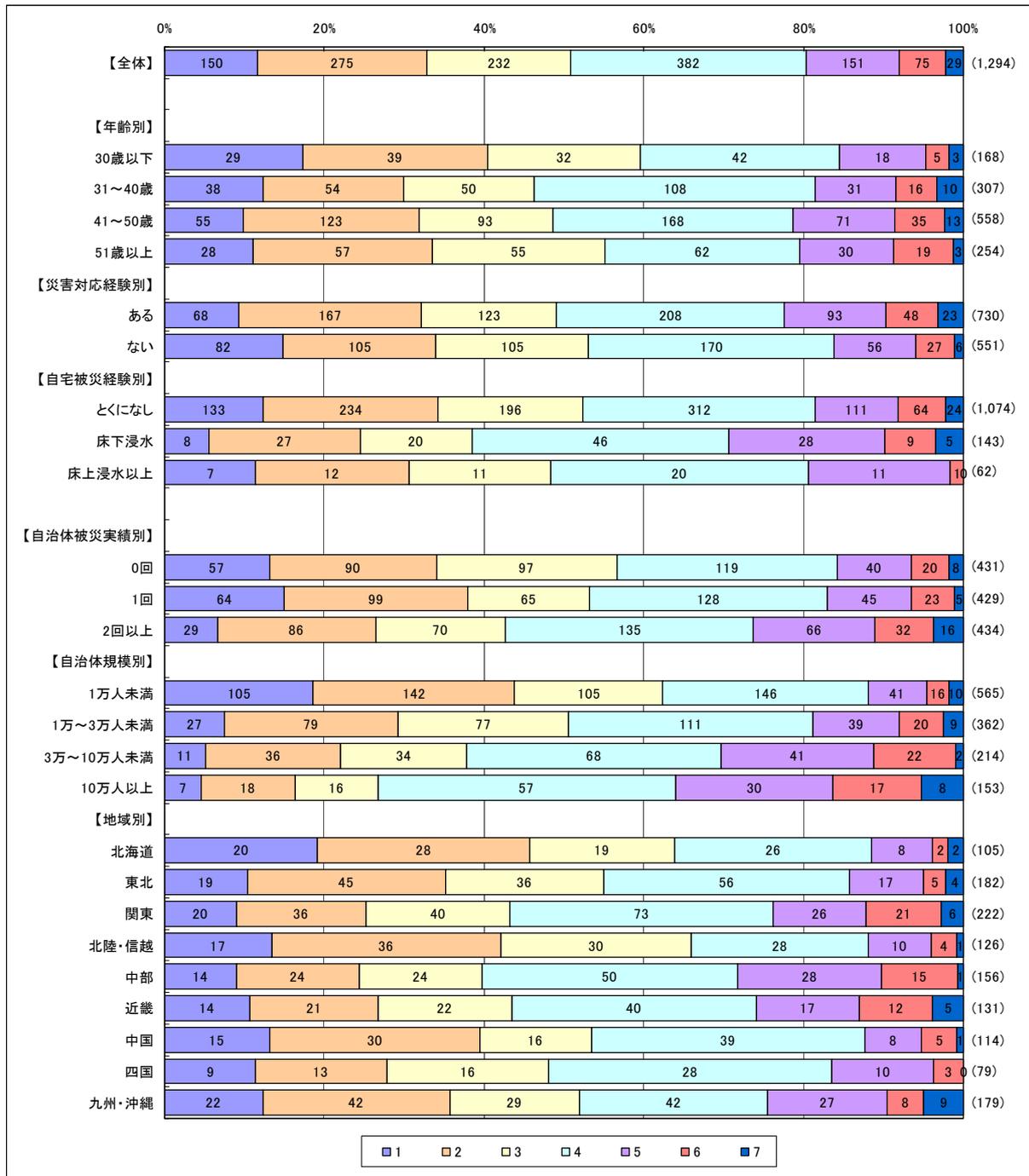
(18)河川整備事業による漁獲量の低下



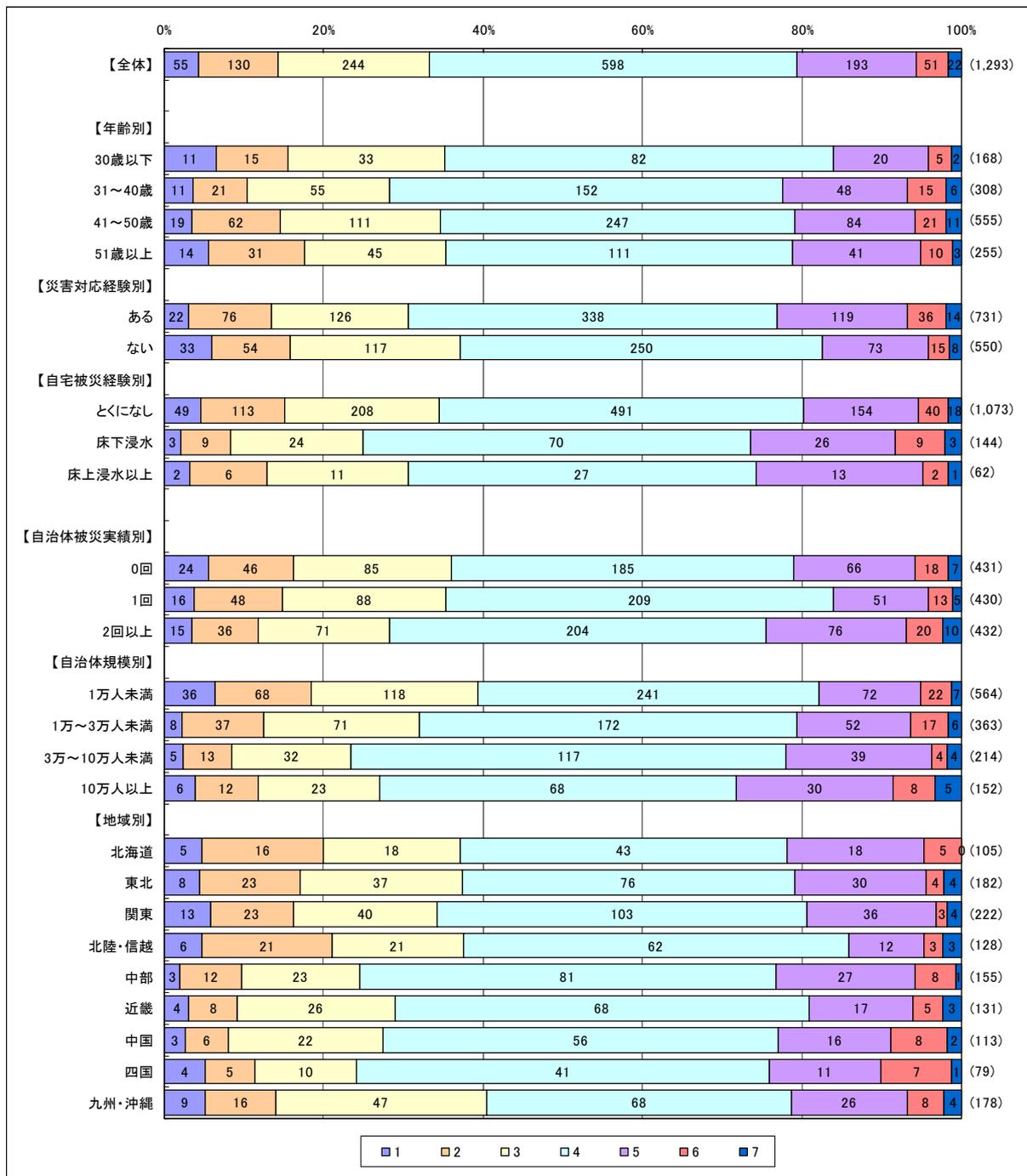
(19)河川の現状に関連する十分なデータ量



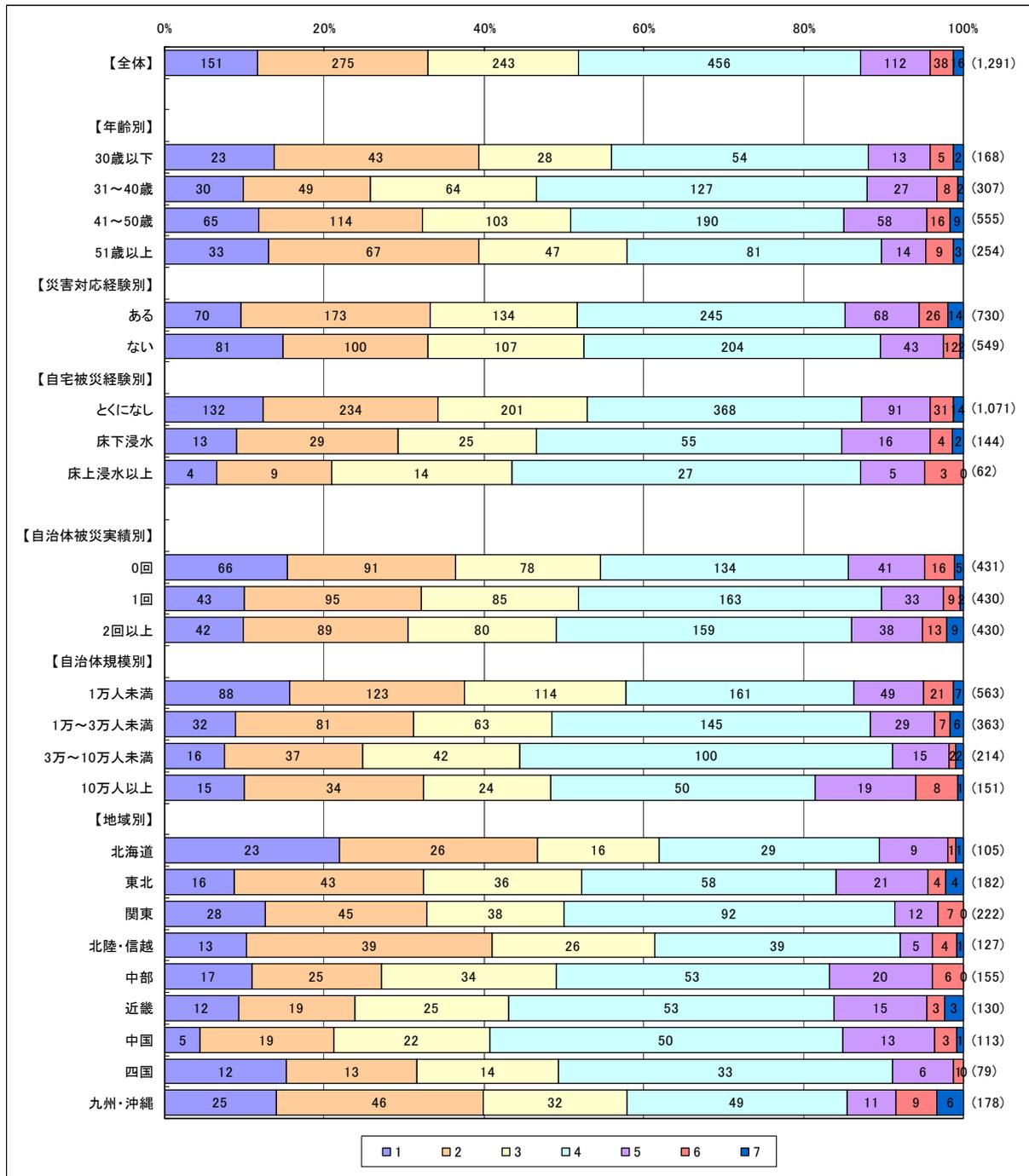
(20)河川の悪臭



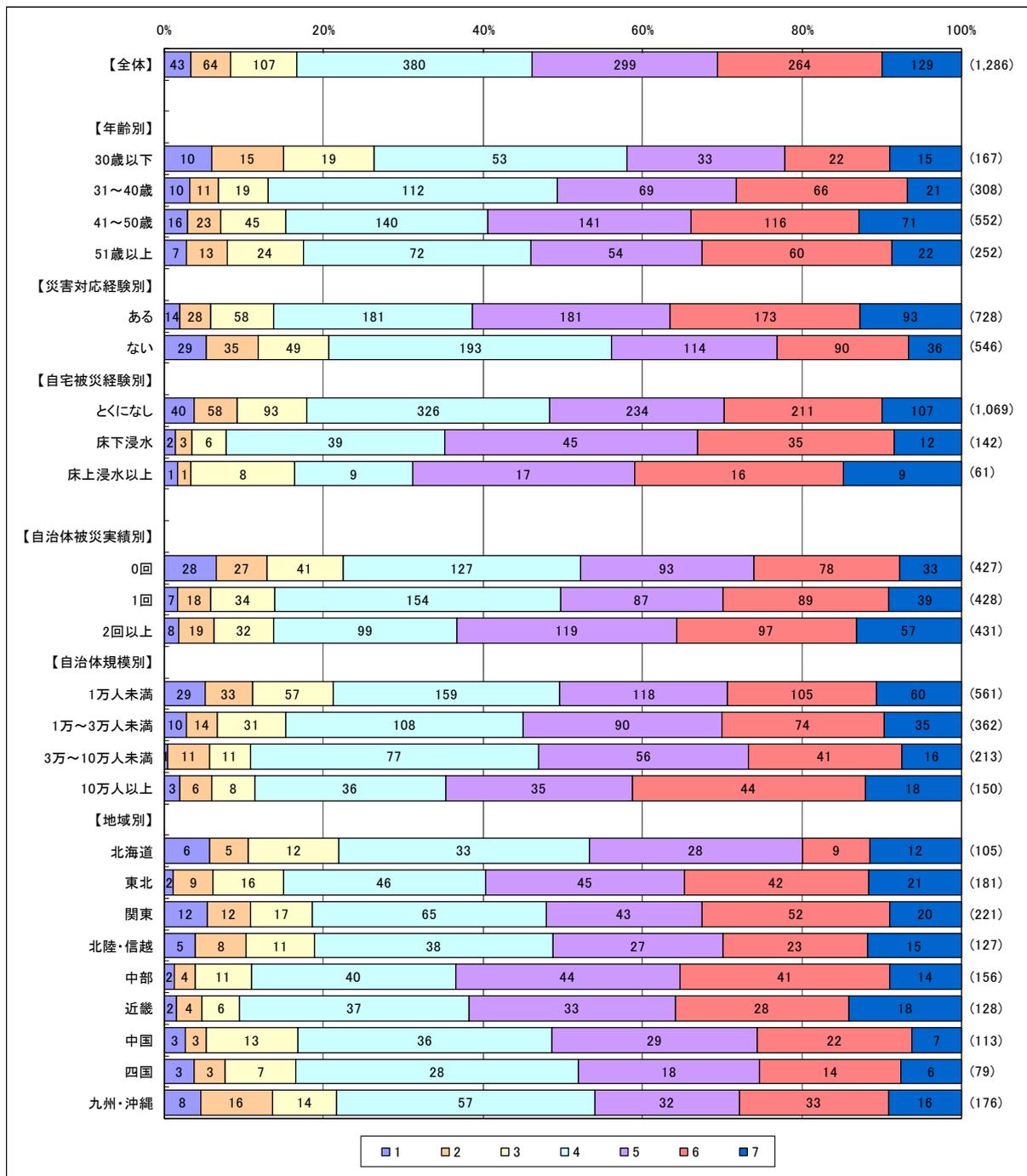
(21)住民の河川整備に対する関心の低さ



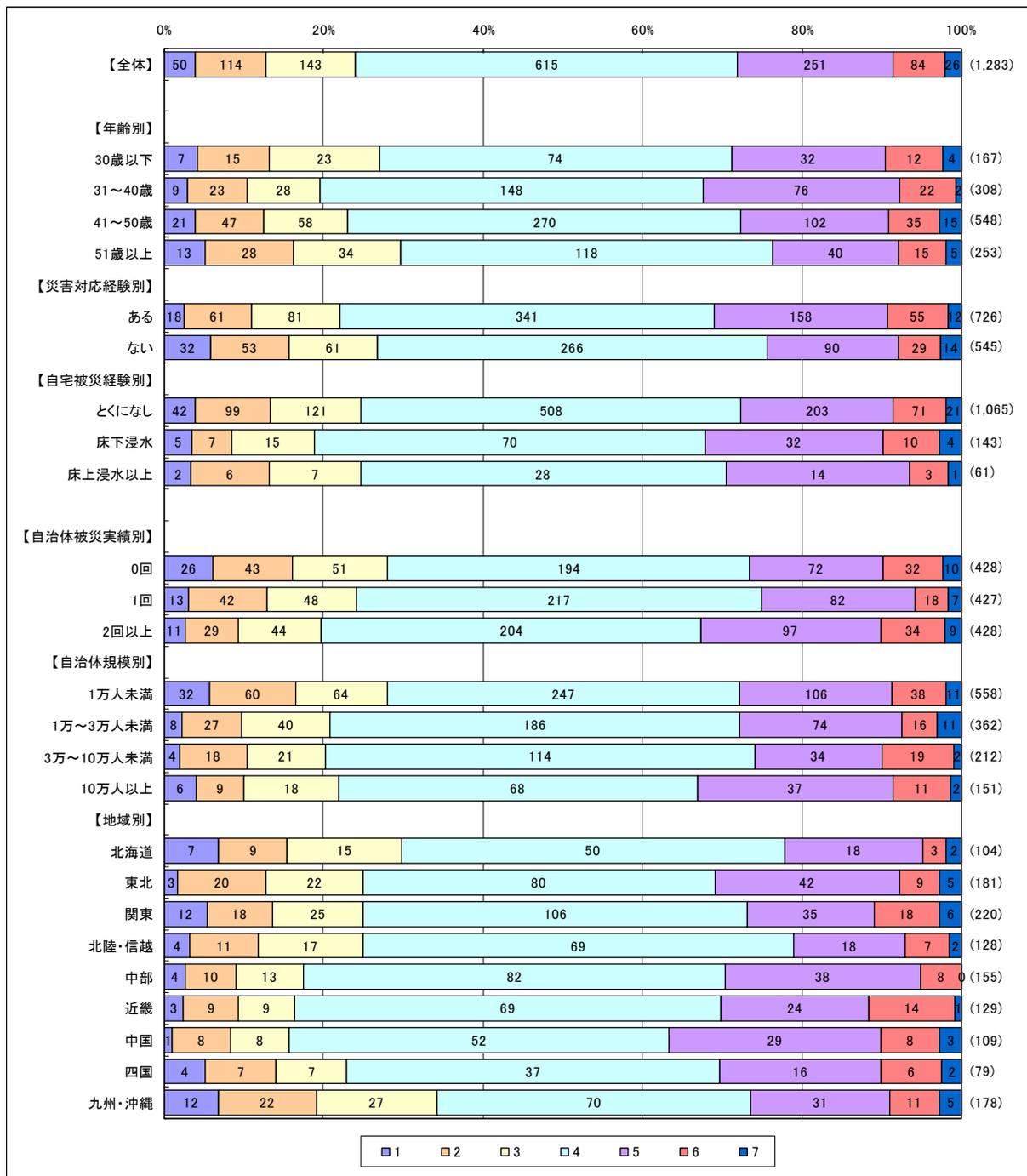
(22)河川整備事業による河川周辺の歴史的環境の消失



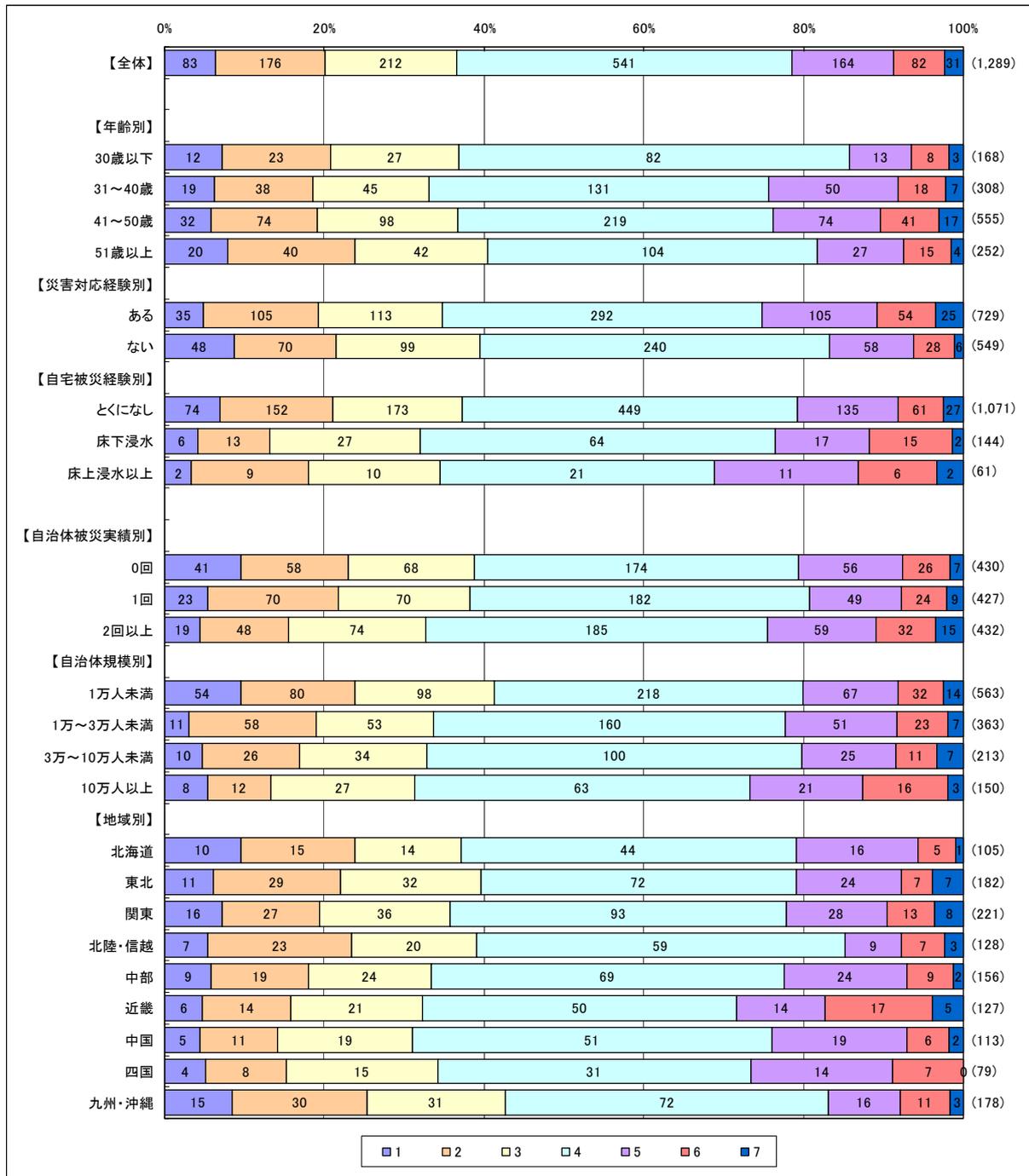
(23)治水整備に関する予算額の十分な確保



(24)河川整備に関する住民参加型の議論の実施状況



(25)河川整備に関する国や都道府県との連携



## 6. 河川管理における今後の対策の必要性に関する集計結果

### 6.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、河川管理担当部署の行政職員を対象とした内容である（河川管理担当部署対象調査票：問7に対応）。各設問項目について、「1まったく必要ではない」から「7非常に必要である」の7段階で尋ねている。表6-1に設問項目と回答の集計結果を示す。

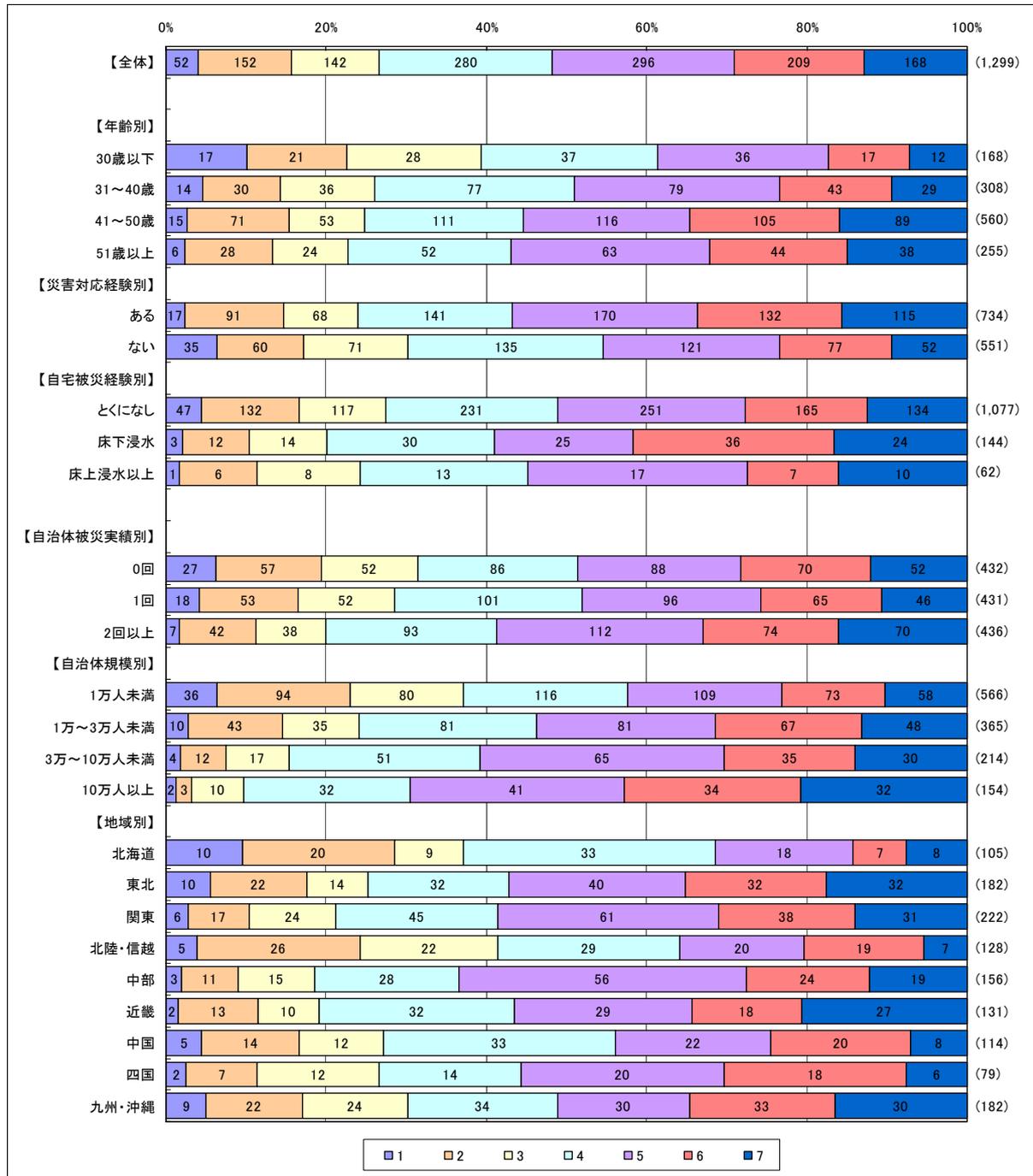
<p><b>【設問内容】</b>          あなたの自治体にとって、以下の項目を実施することは、全般的にみて、今後、どの程度必要だと思いますか。(1)～(20)のそれぞれの項目について、「1まったく必要ではない」から「7非常に必要である」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。</p>
--

表6-1 河川管理に関する今後の必要性に関する設問項目と集計結果

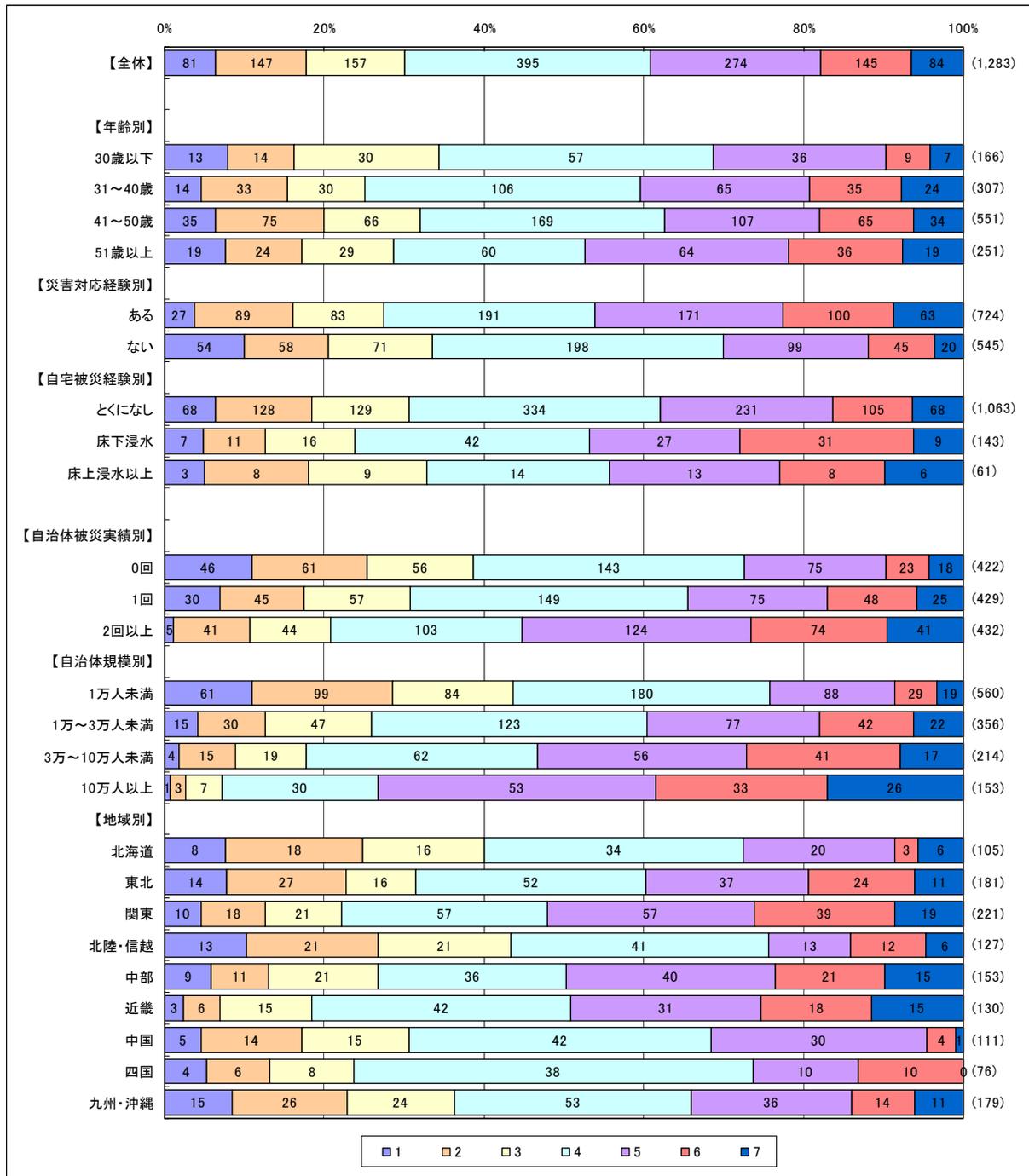
設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)河川水質の改善	4.47	1.66	1299
(2)洪水危険区域における貯留浸透機能の強化	4.10	1.55	1283
(3)流域自治体間の連携強化	4.11	1.50	1286
(4)河川整備計画策定への住民の参加	4.36	1.26	1290
(5)下水処理水の浄化機能の強化	4.42	1.64	1285
(6)河川整備計画と下水道整備の連携	4.44	1.59	1289
(7)河川周辺の動植物に配慮した河川整備	4.67	1.48	1287
(8)排水ポンプなどの内水処理施設の強化	4.25	1.74	1292
(9)住民の環境意識を高めていくこと	4.77	1.38	1291
(10)河川流域を対象としたNPOや住民団体の育成	4.27	1.33	1289
(11)保水能力を維持するための山林の保全	4.86	1.63	1285
(12)河川のレクリエーション機能の充実	4.37	1.39	1293
(13)治水を目的とした堤防の整備	4.55	1.54	1293
(14)下水処理水の有効利用	4.10	1.50	1290
(15)洪水対策に対応した下水道の整備	4.20	1.61	1292
(16)住民の洪水対策意識を高めていくこと	4.68	1.35	1288
(17)地域の景観と調和した河川整備	4.78	1.42	1294
(18)河川整備計画と土地利用計画の連携	4.51	1.36	1294
(19)河川整備に関する国や都道府県との連携強化	4.81	1.44	1289
(20)河川整備についてトータルな視点から考えることのできる住民の育成	4.52	1.28	1294

## 6.2 各設問項目の属性別集計結果

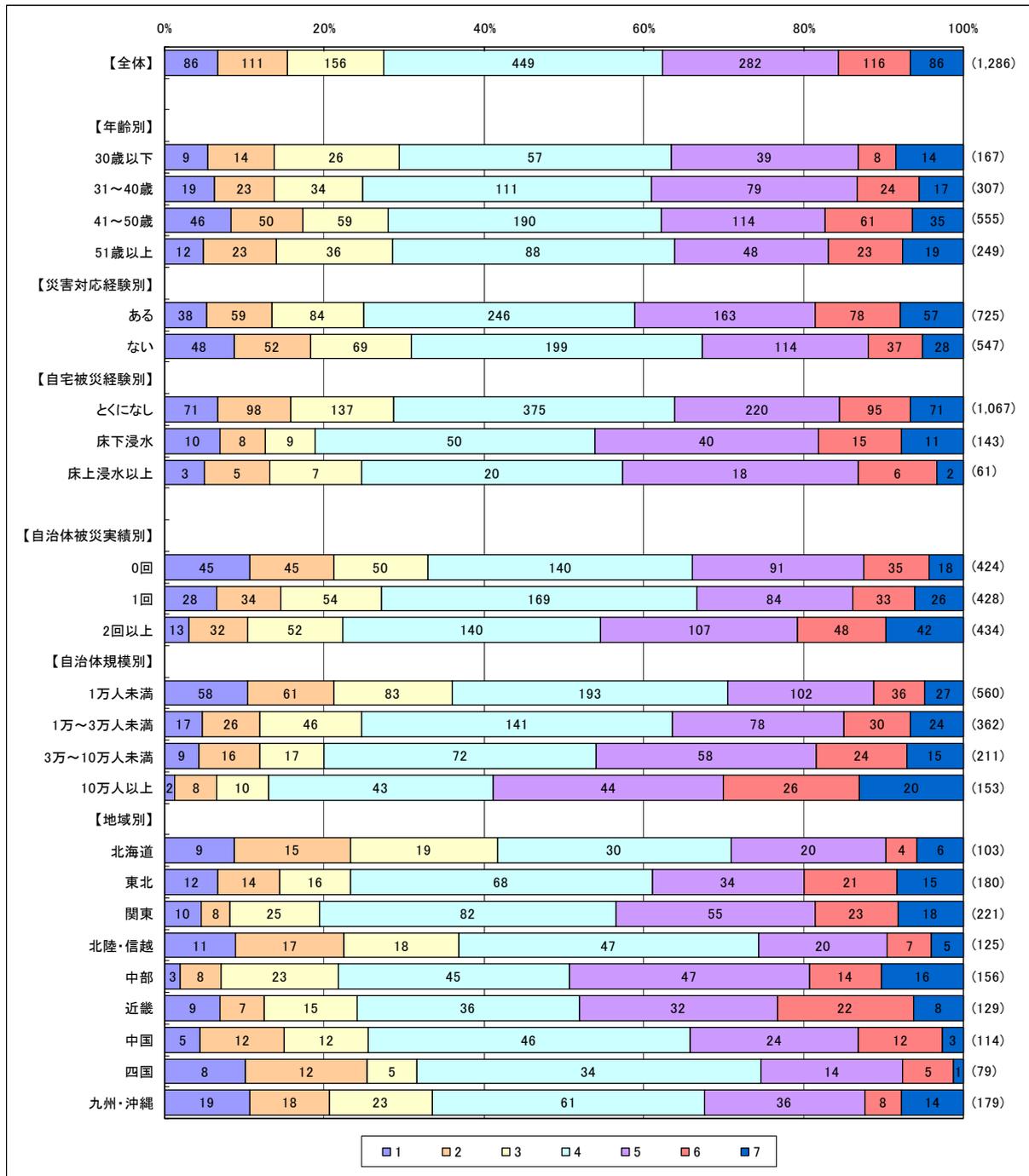
### (1)河川水質の改善



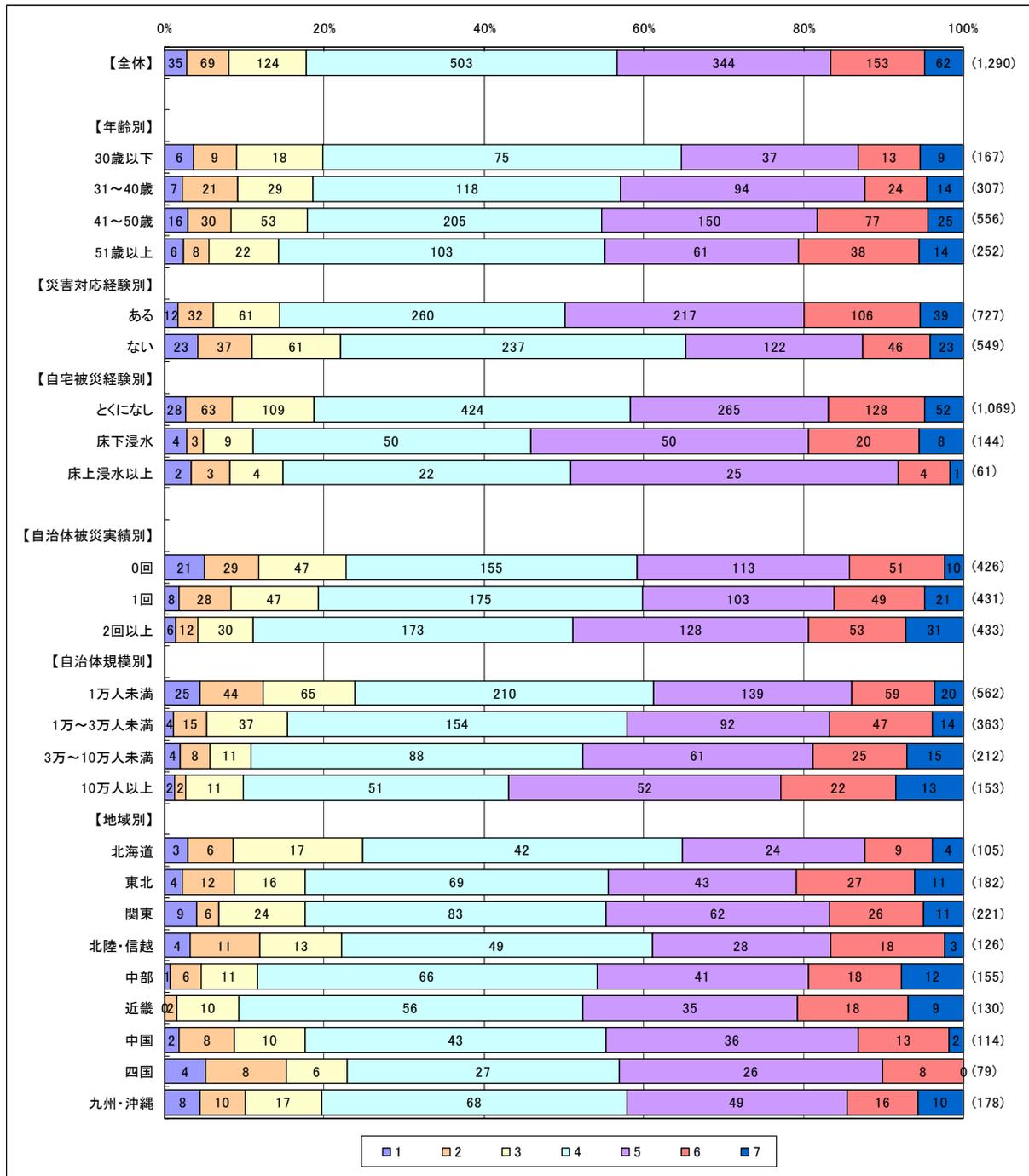
(2)洪水危険区域における貯留浸透機能の強化



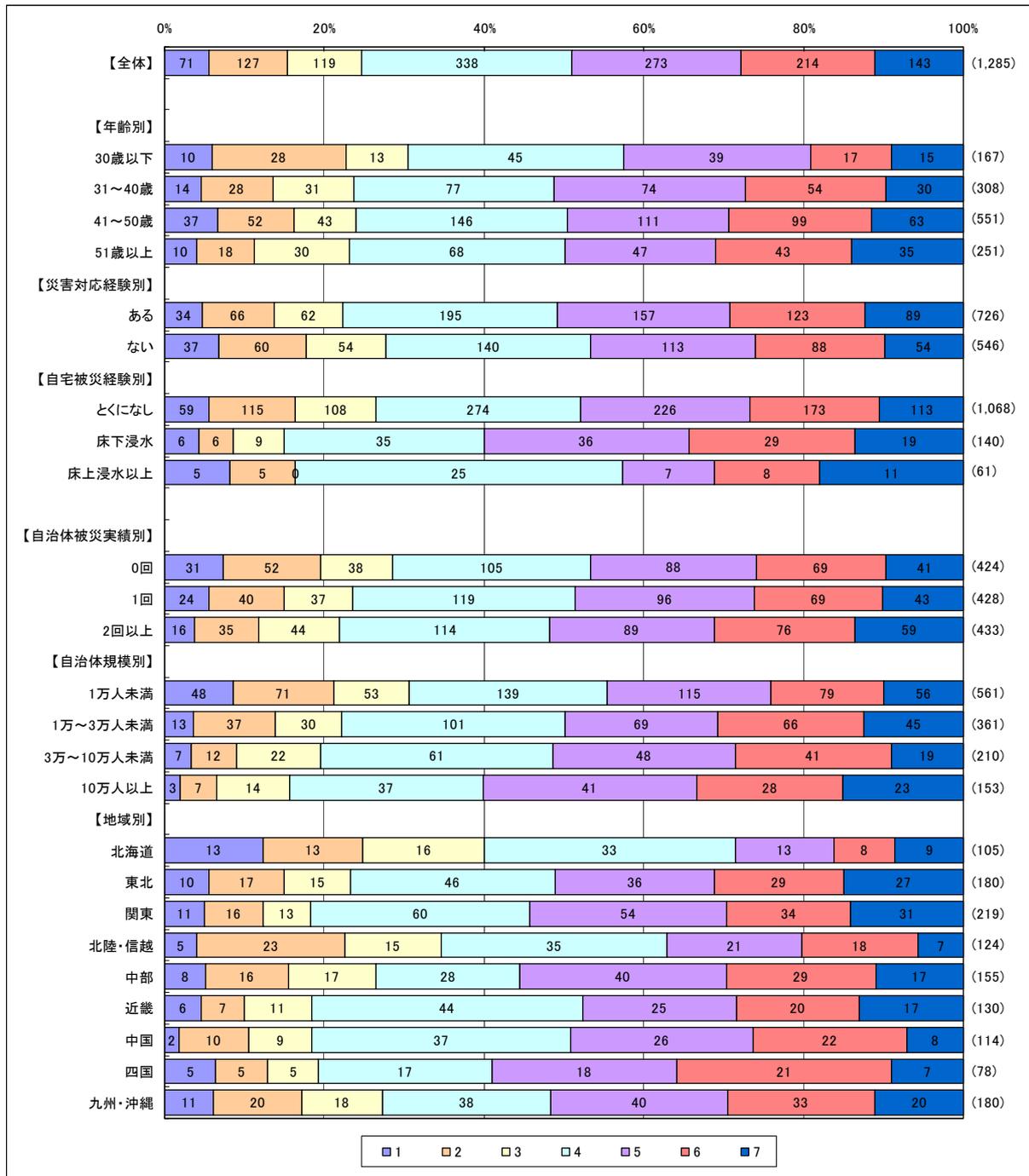
(3)流域自治体間の連携強化



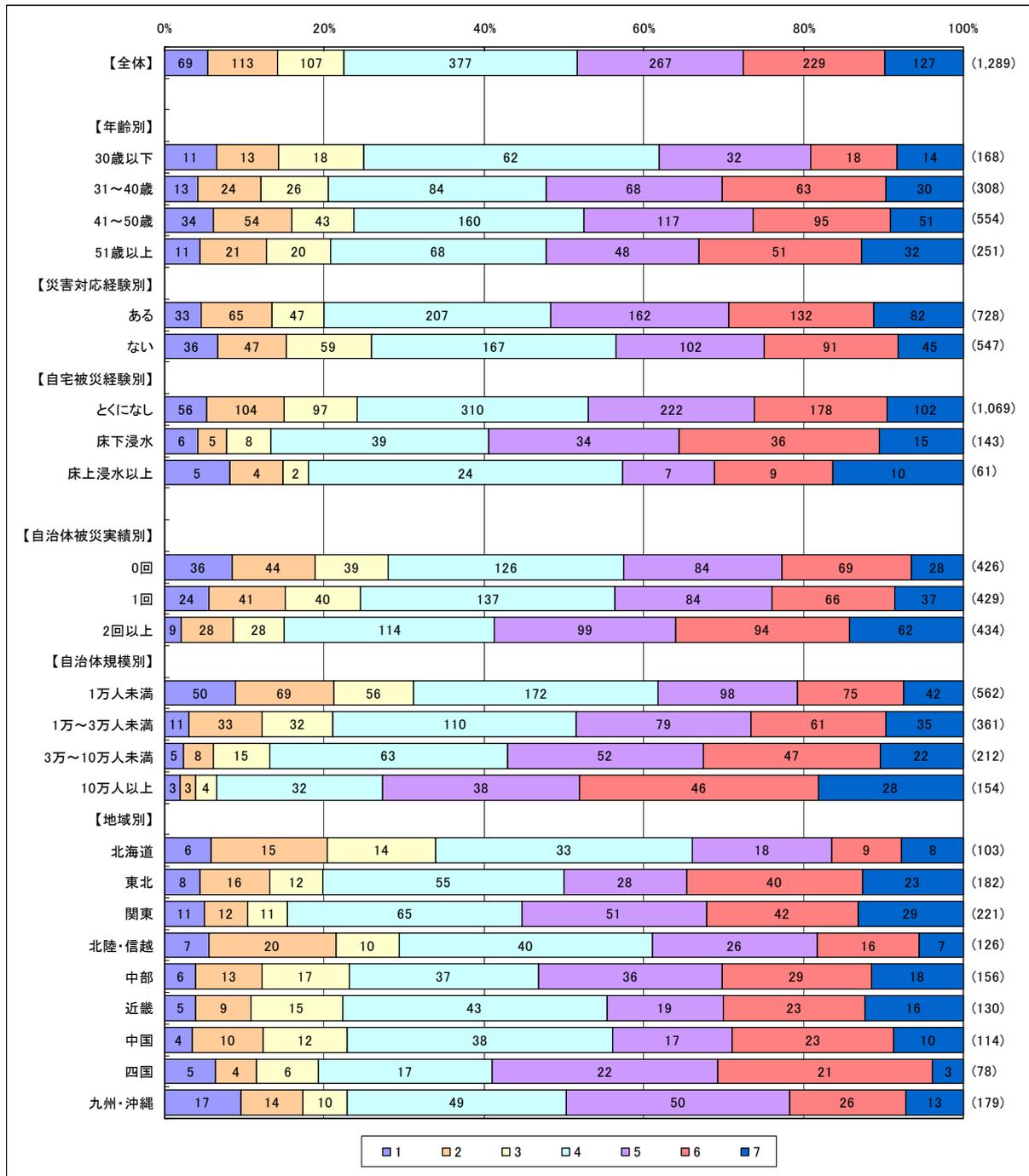
(4)河川整備計画策定への住民の参加



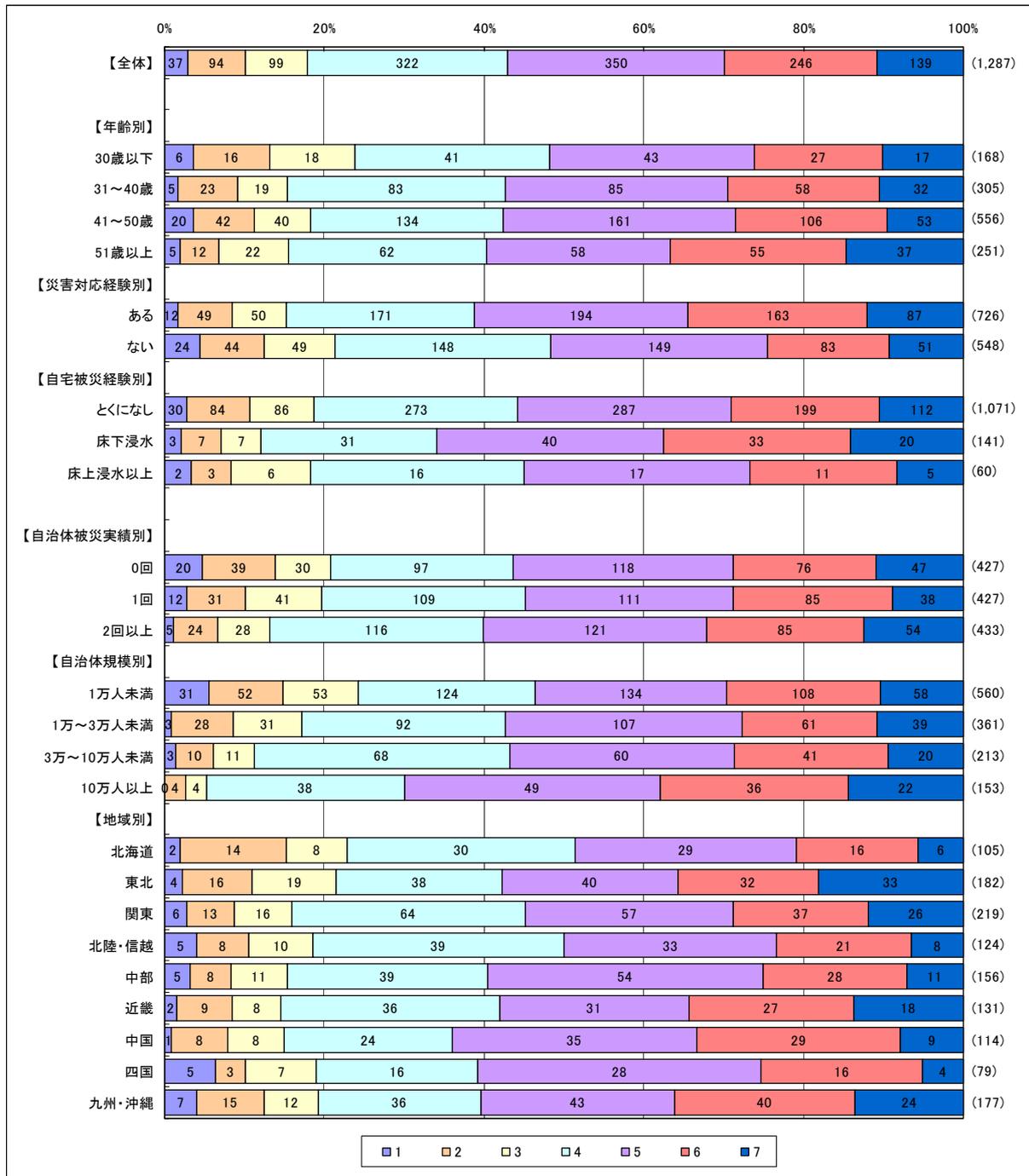
(5)下水処理水の浄化機能の強化



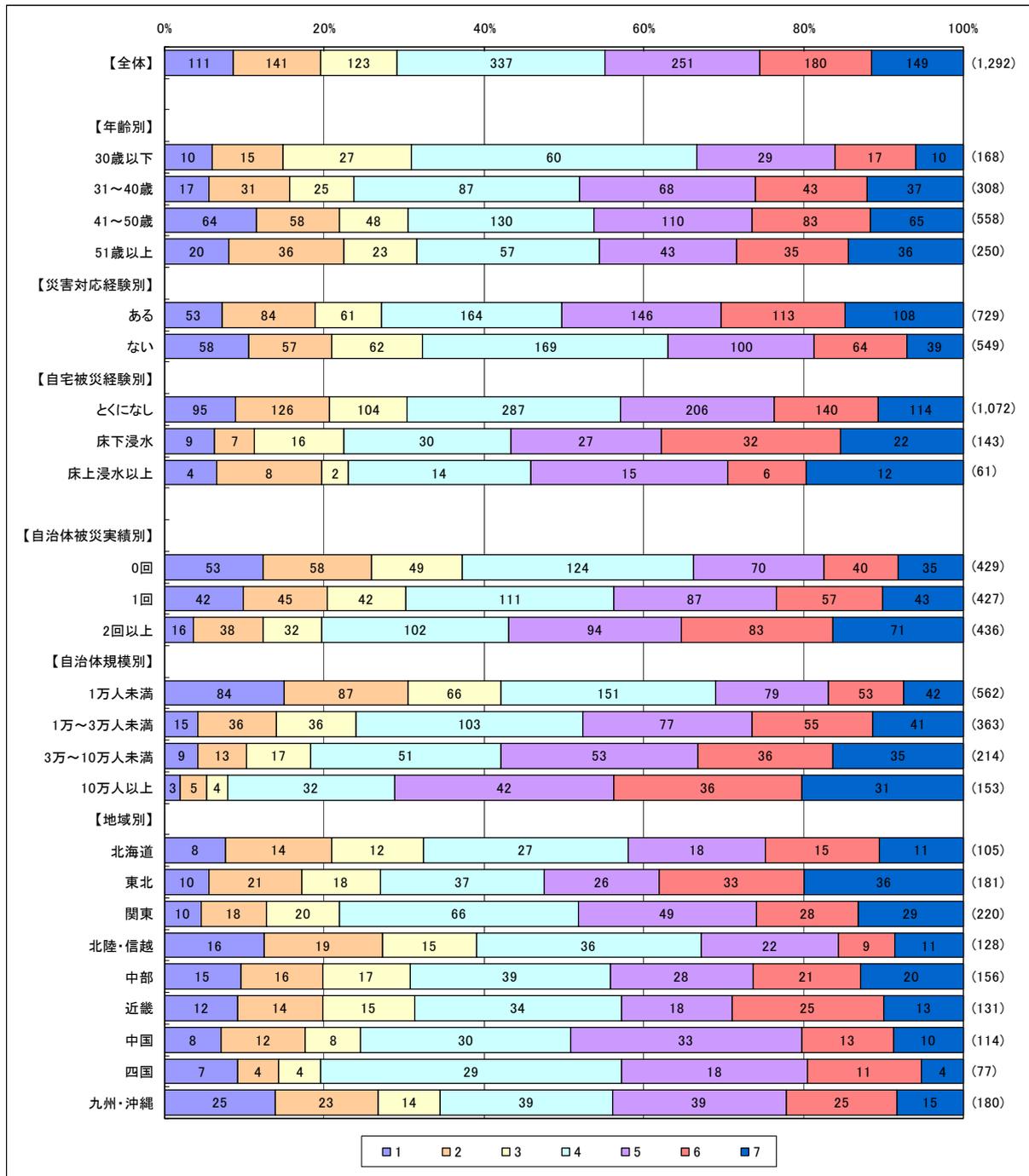
(6)河川整備計画と下水道整備の連携



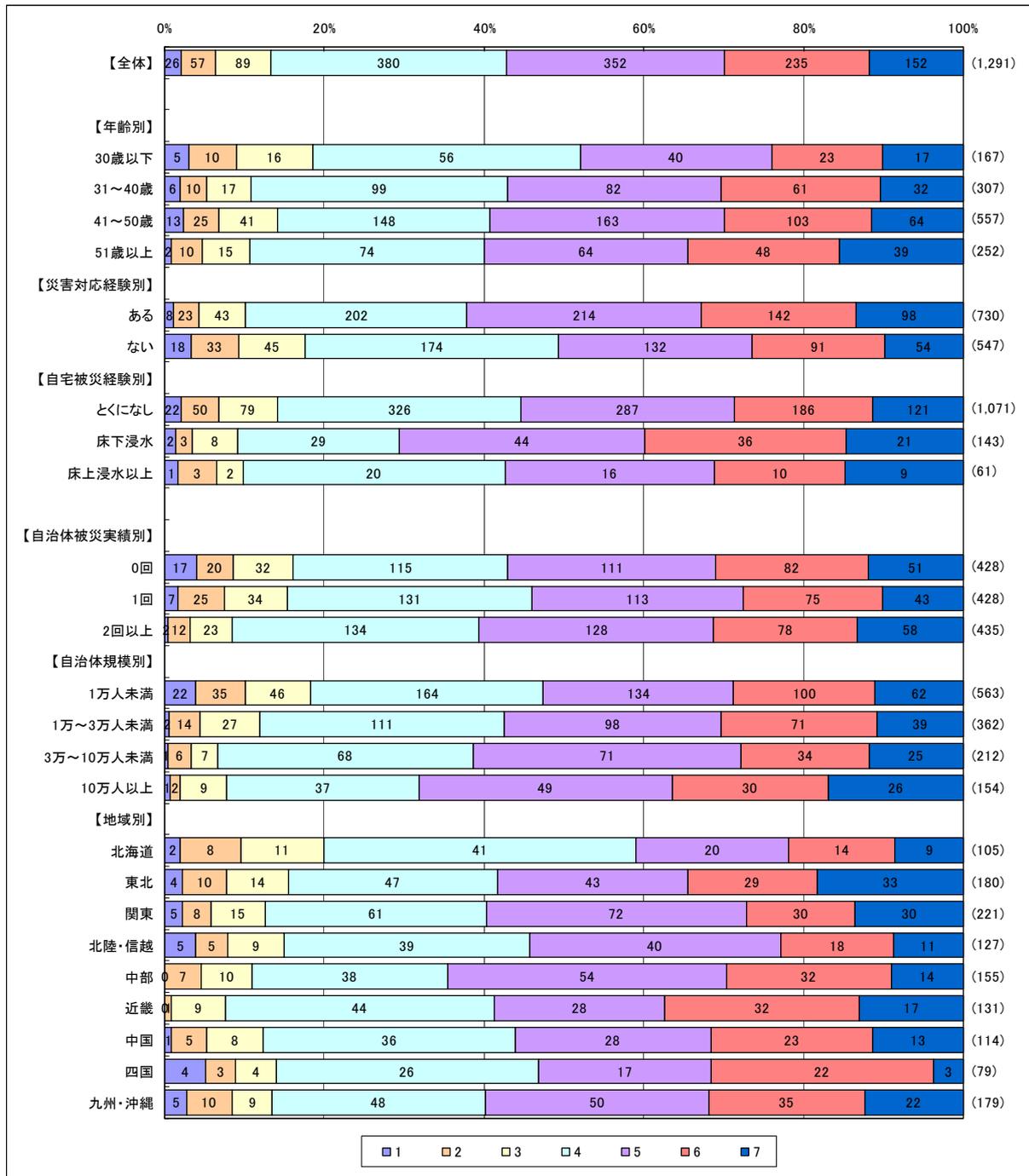
(7)河川周辺の動植物に配慮した河川整備



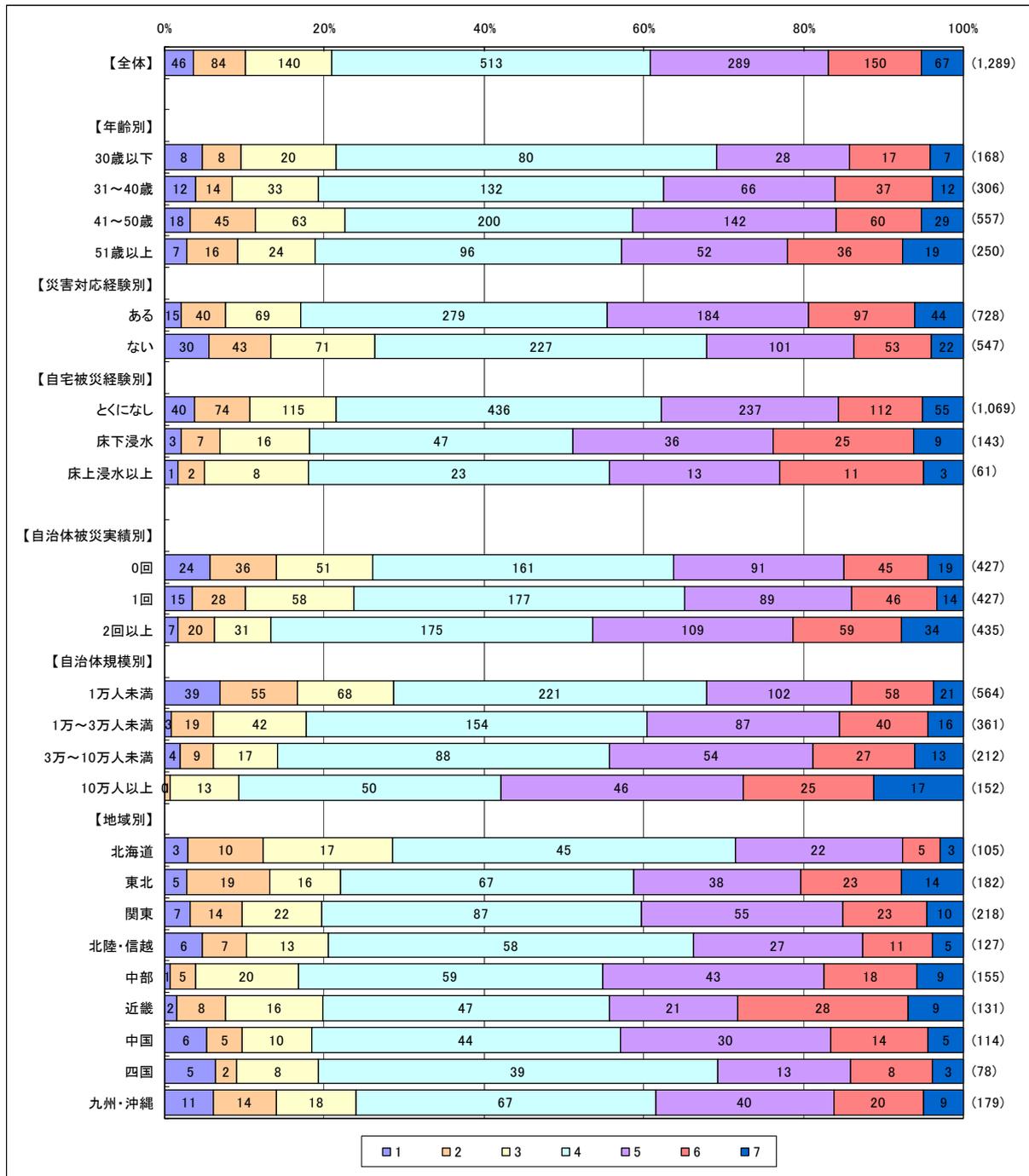
(8)排水ポンプなどの内水処理施設の強化



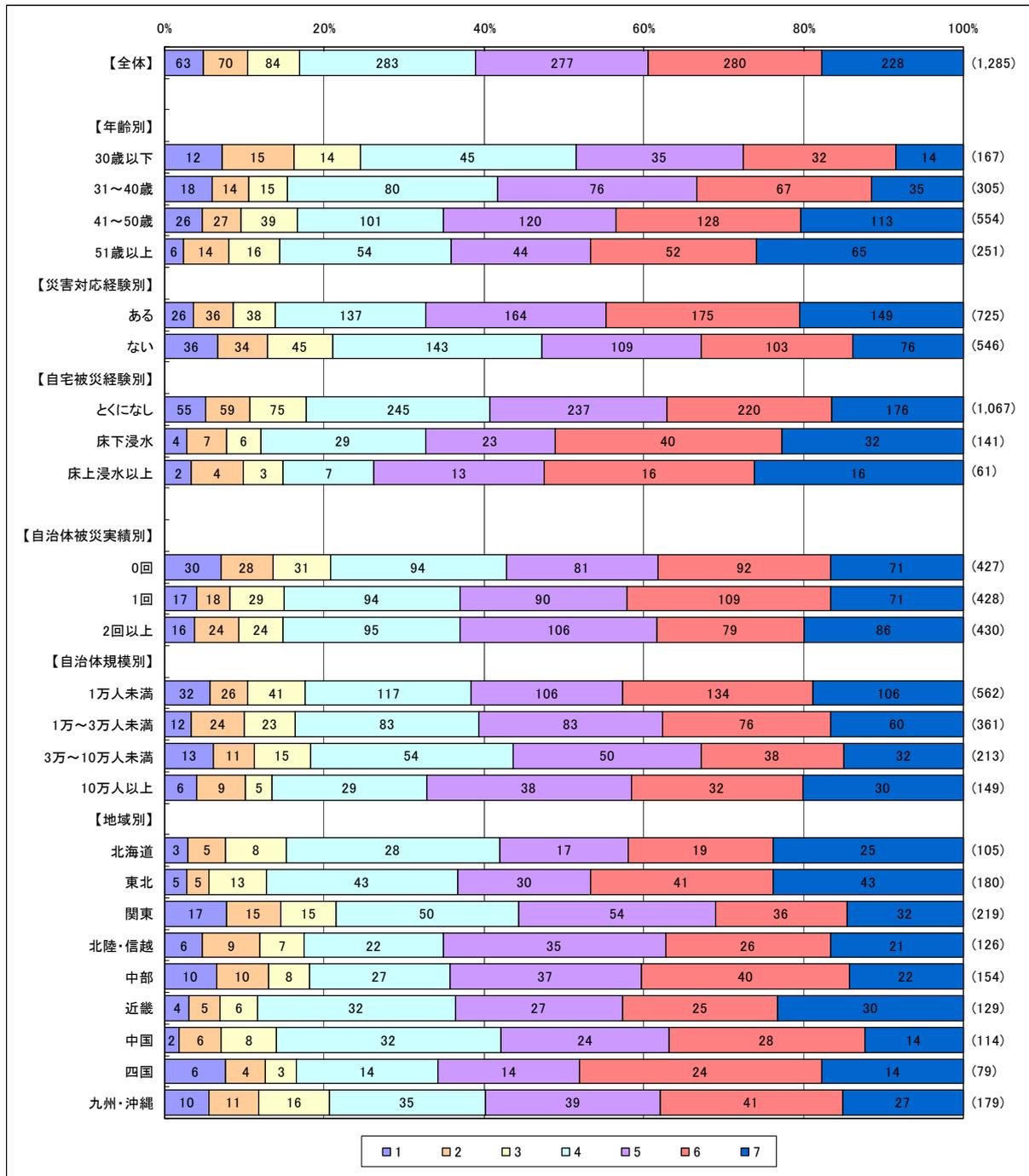
(9)住民の環境意識を高めること



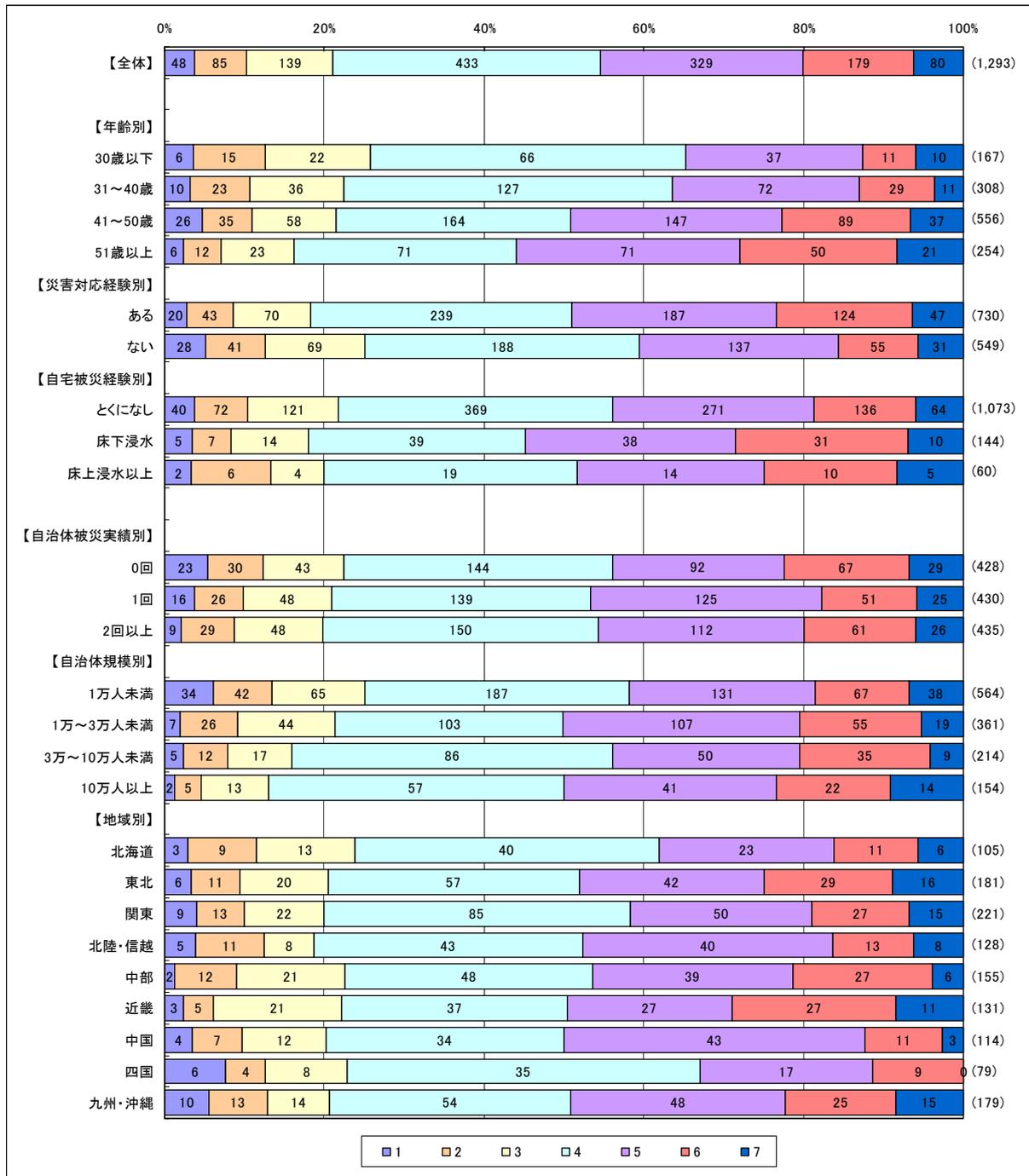
(10)河川流域を対象としたNPOや住民団体の育成



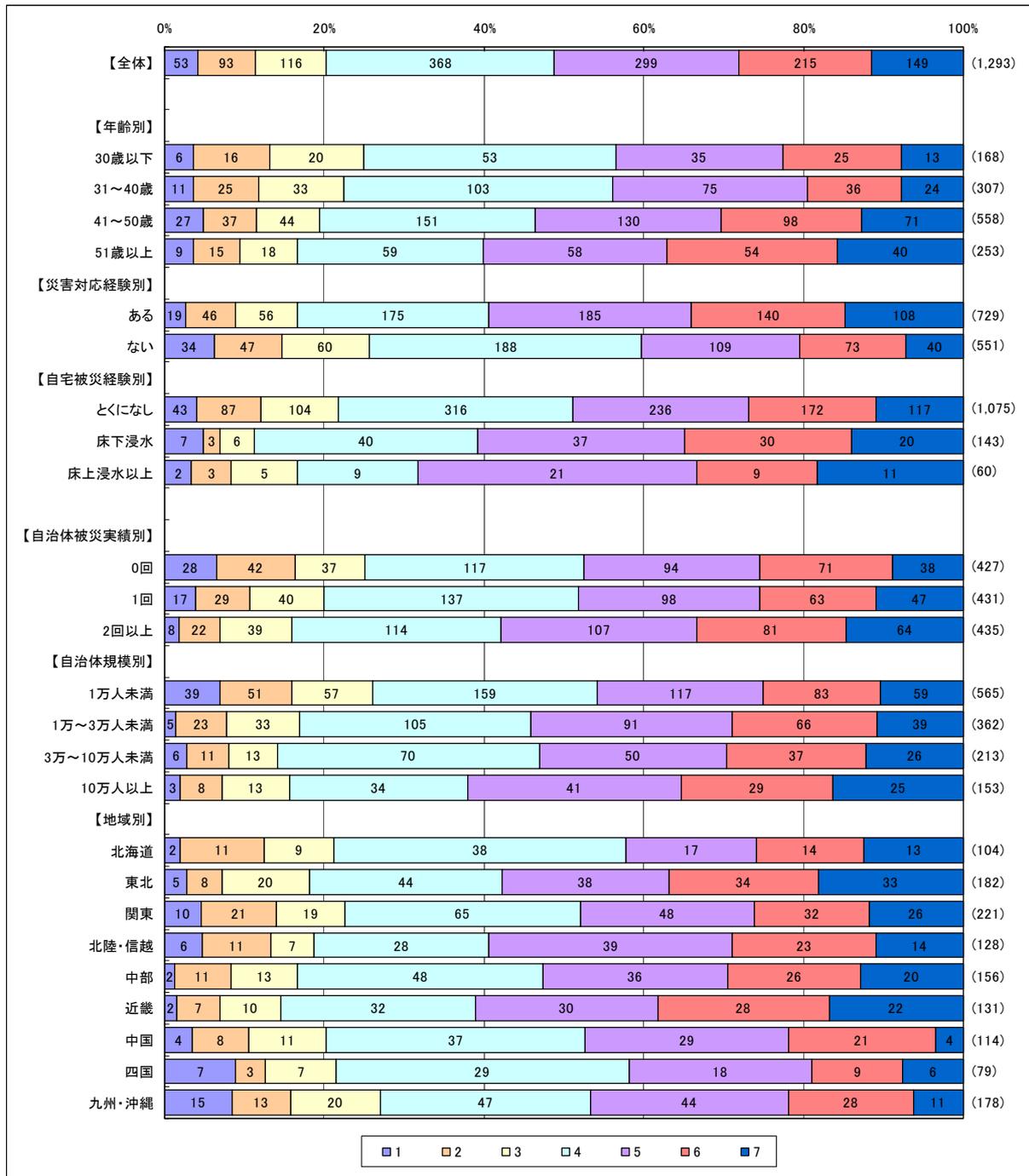
(11)保水能力を維持するための山林の保全



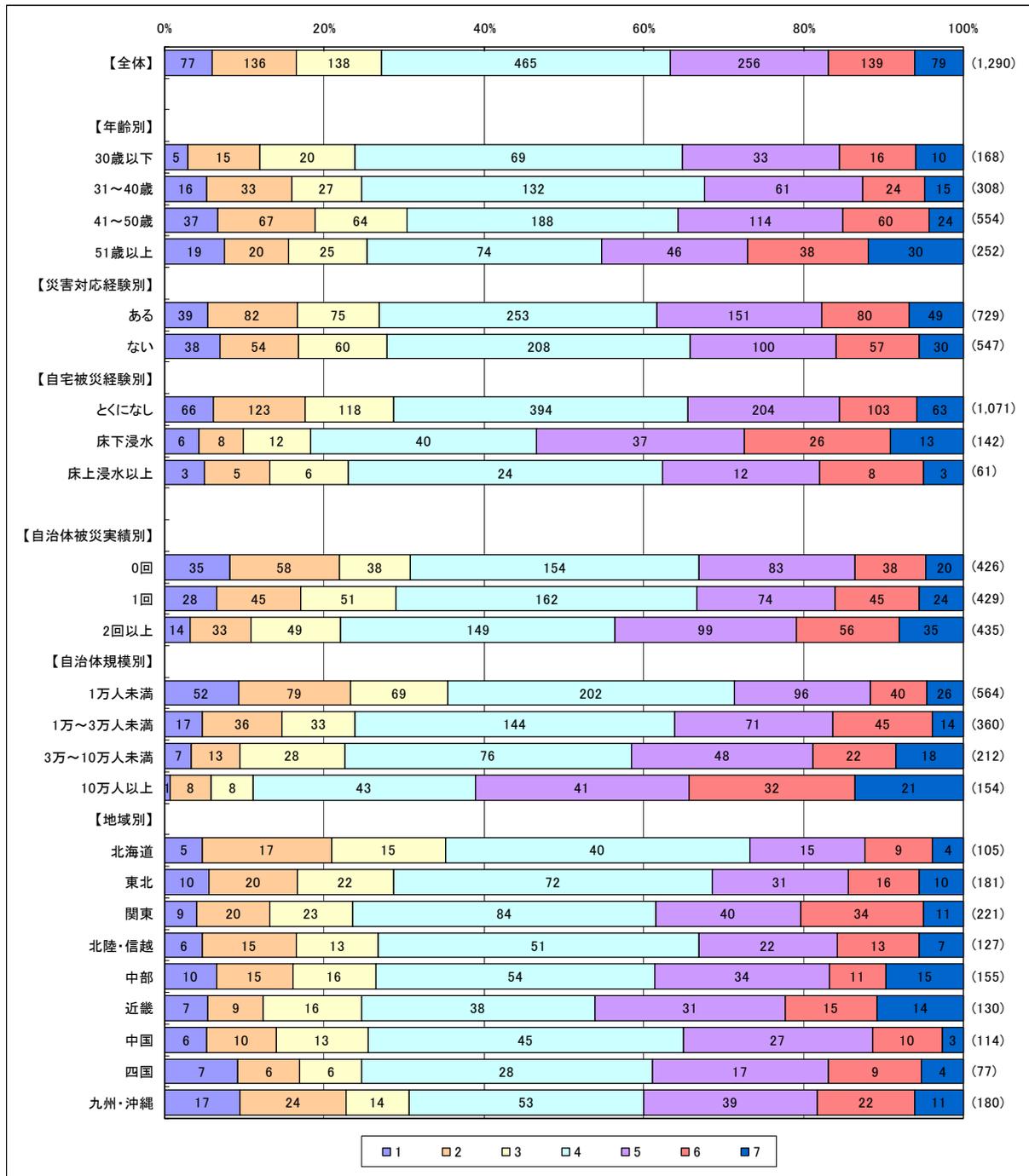
(12)河川のリクリエーション機能の充実



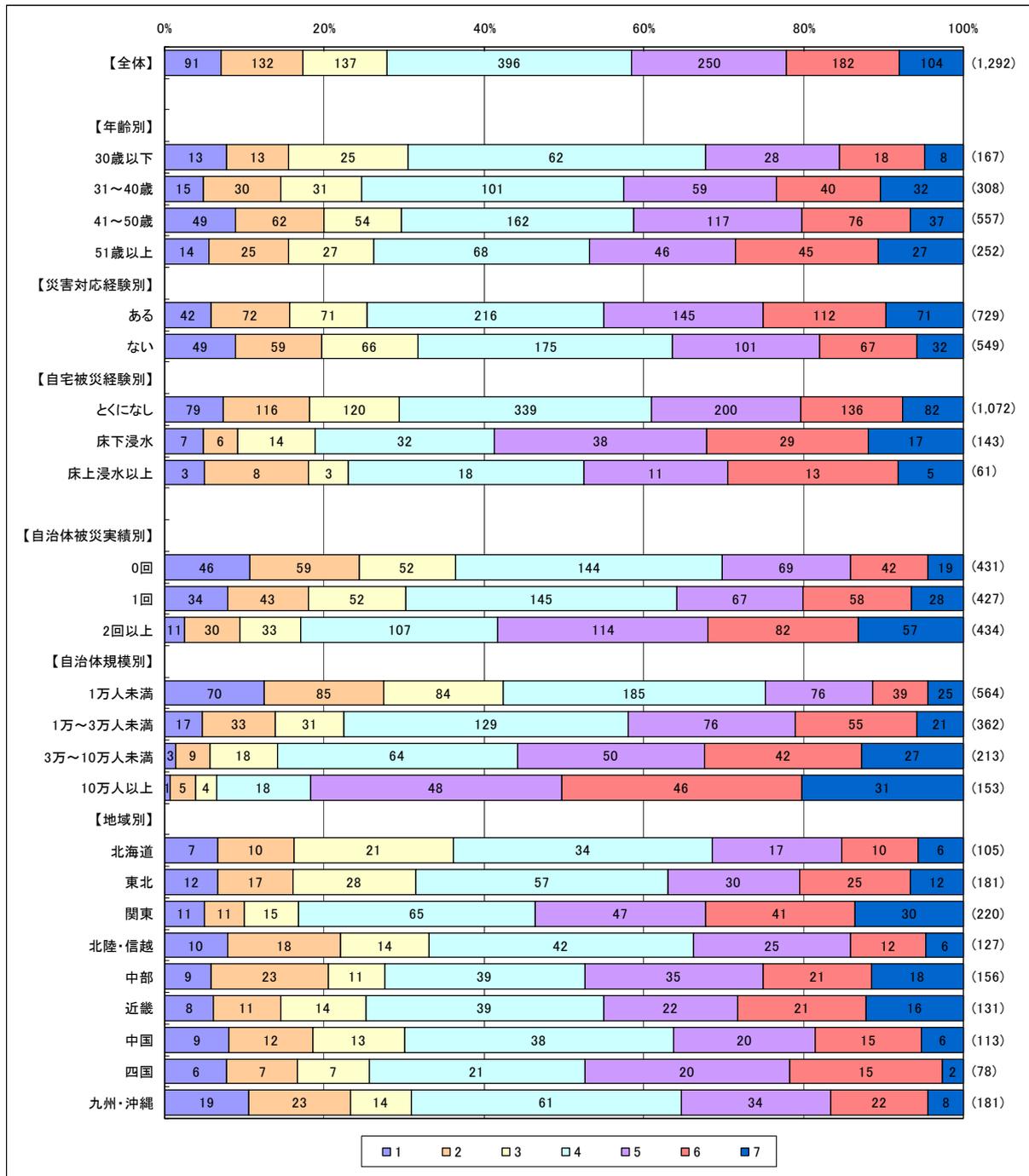
(13)治水を目的とした堤防の整備



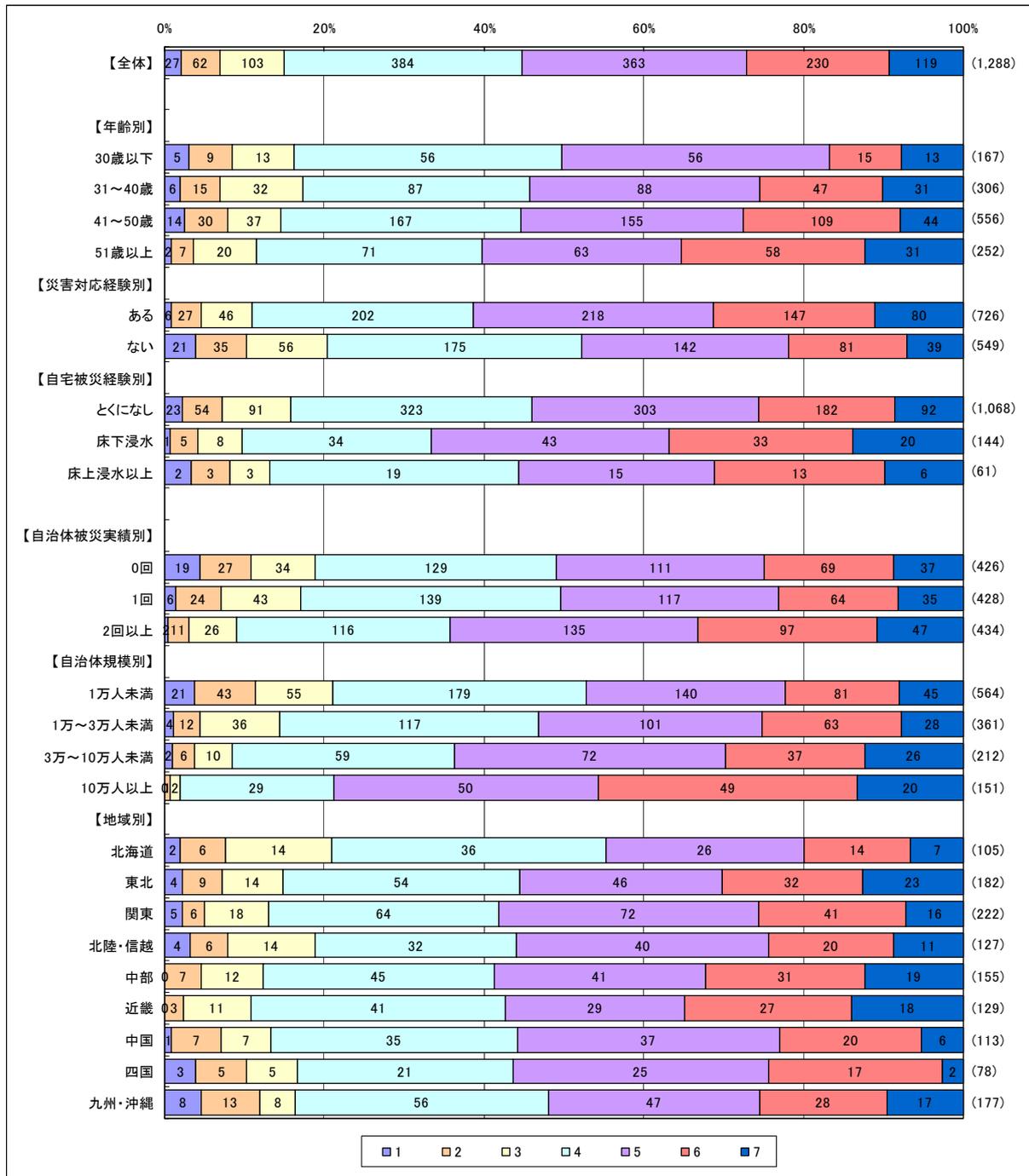
(14)下水処理水の有効利用



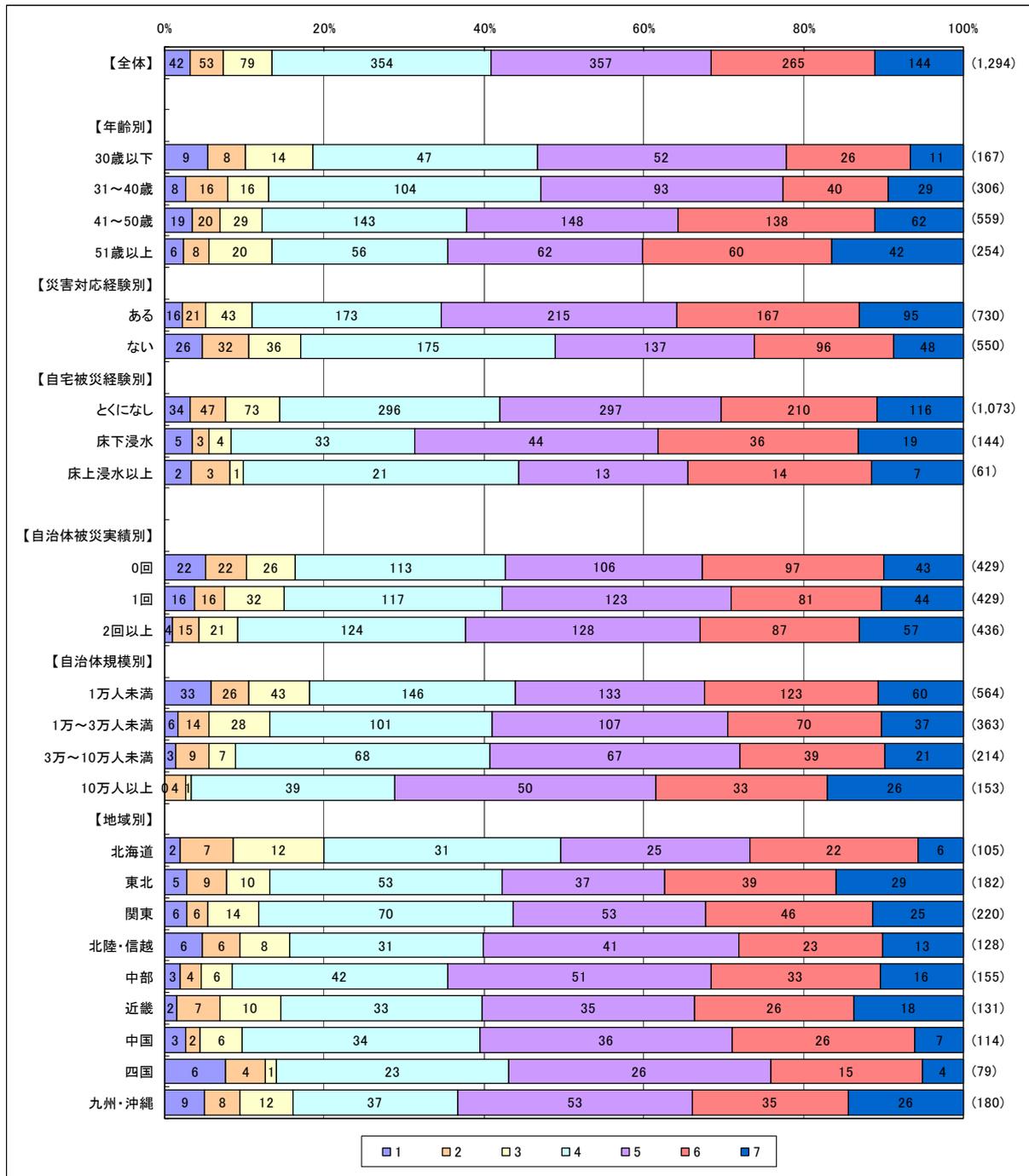
(15)洪水対策に対応した下水道の整備



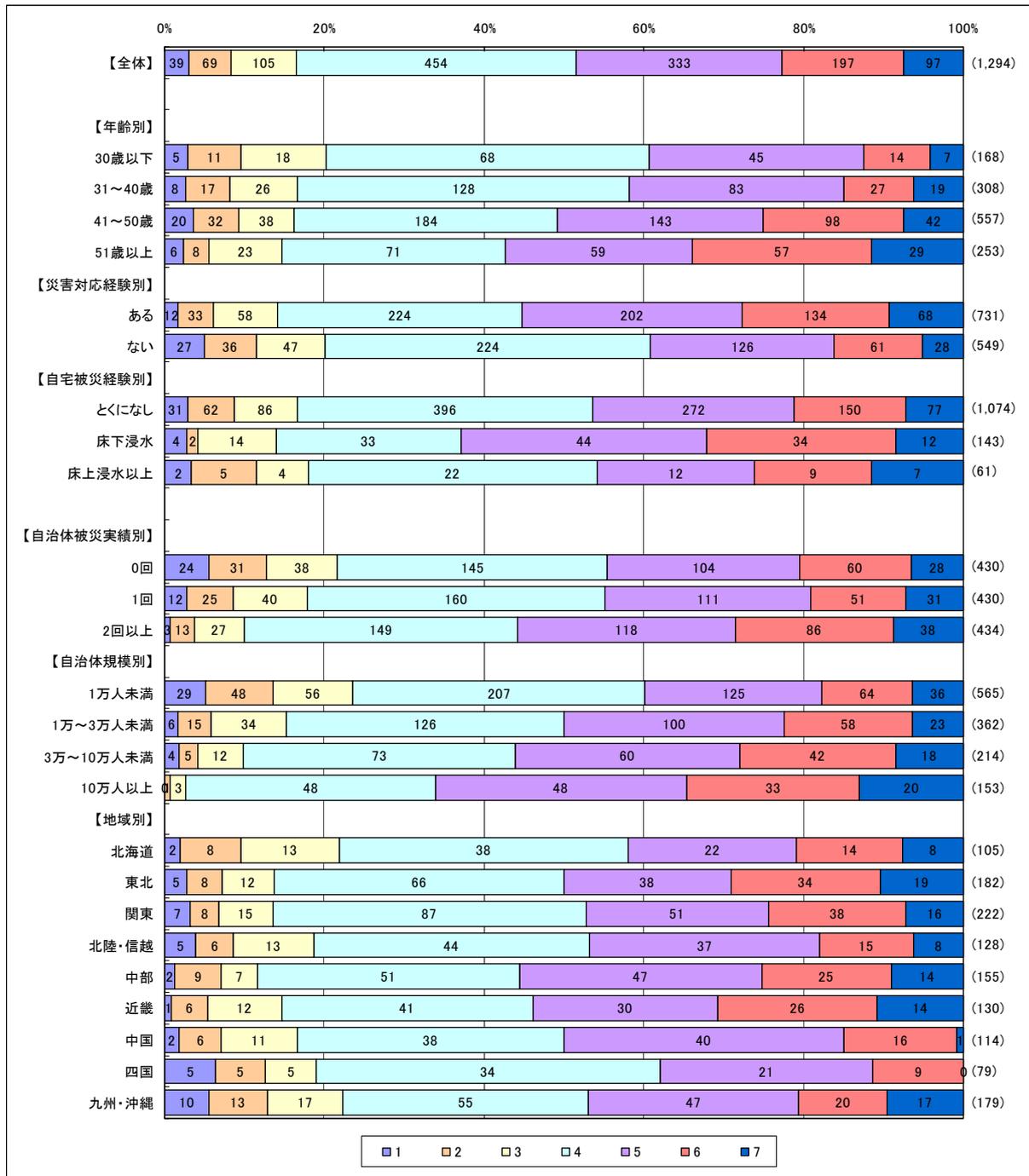
(16)住民の洪水対策意識を高めていくこと



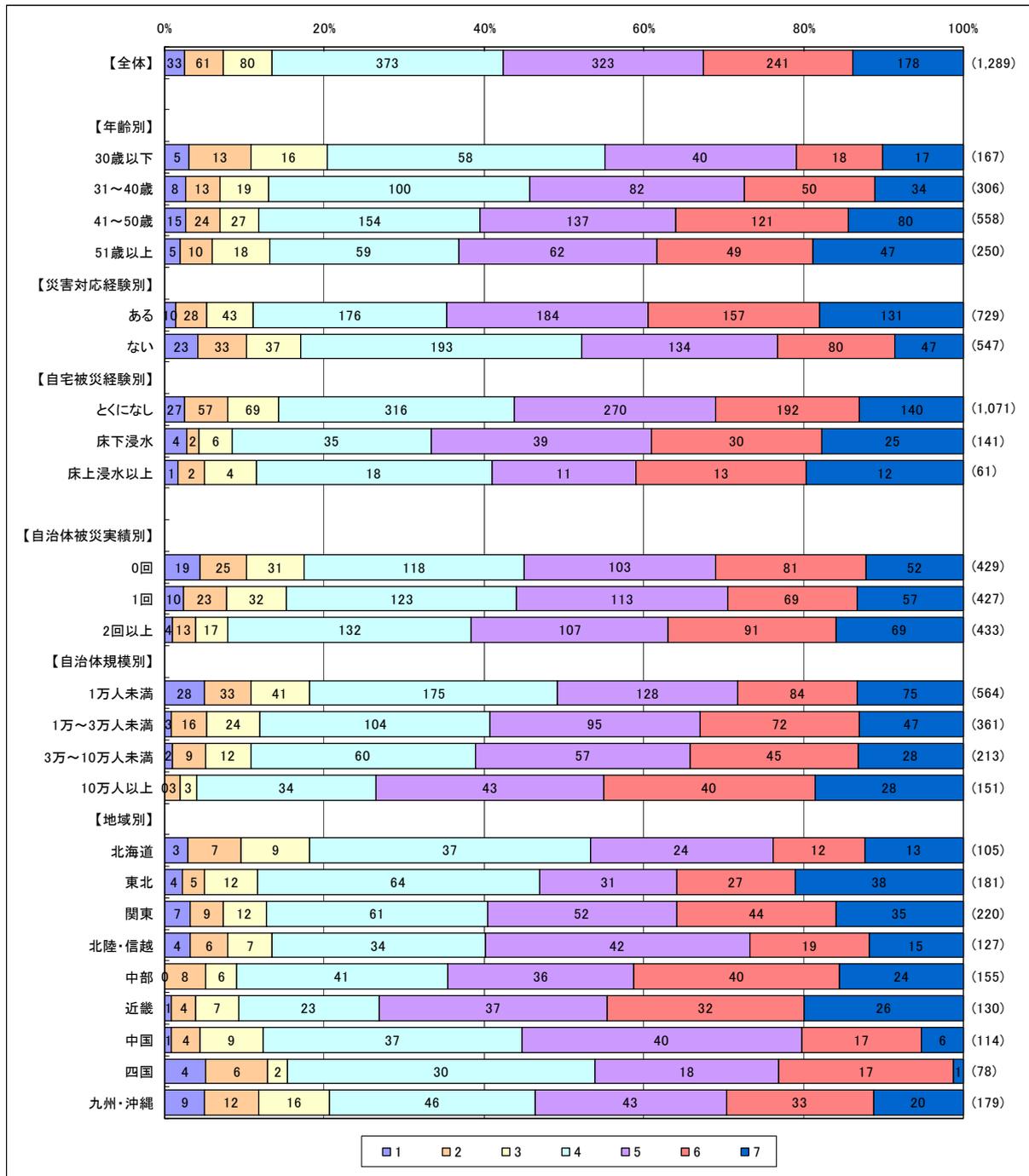
(17)地域の景観と調和した河川整備



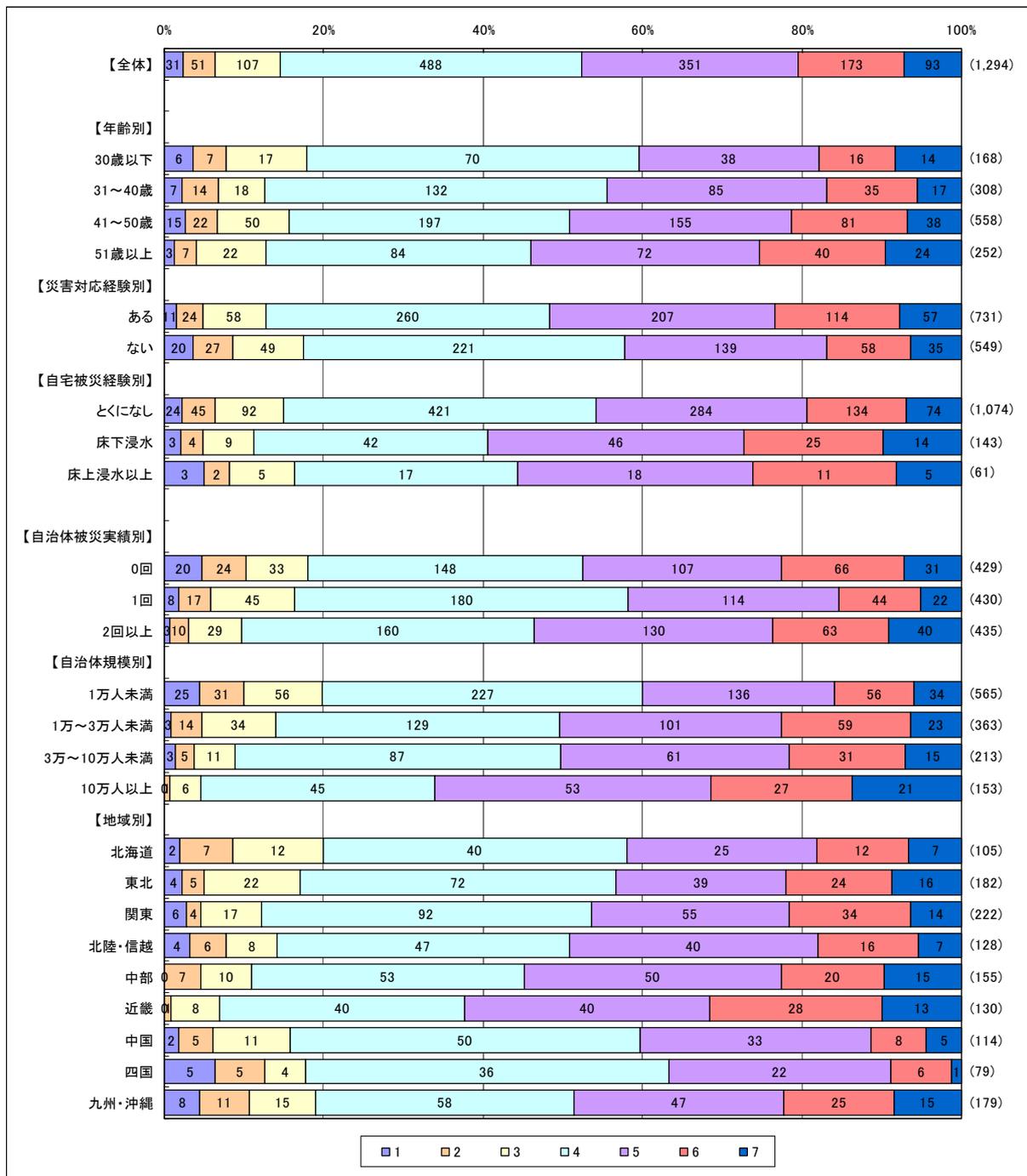
(18)河川整備計画と土地利用計画の連携



(19)河川整備に関する国や都道府県との連携強化



(20)河川整備についてトータルな視点から考えることのできる住民の育成



## 7. 危機管理における緊急対応時の課題

### 7.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、危機管理担当部署の行政職員を対象とした内容である（危機管理担当部署対象調査票：問8に対応）。各設問項目について、「1まったく問題ではない」から「7非常に問題がある」の7段階で尋ねている。表7-1に設問項目と回答の集計結果を示す。

#### 【設問内容】

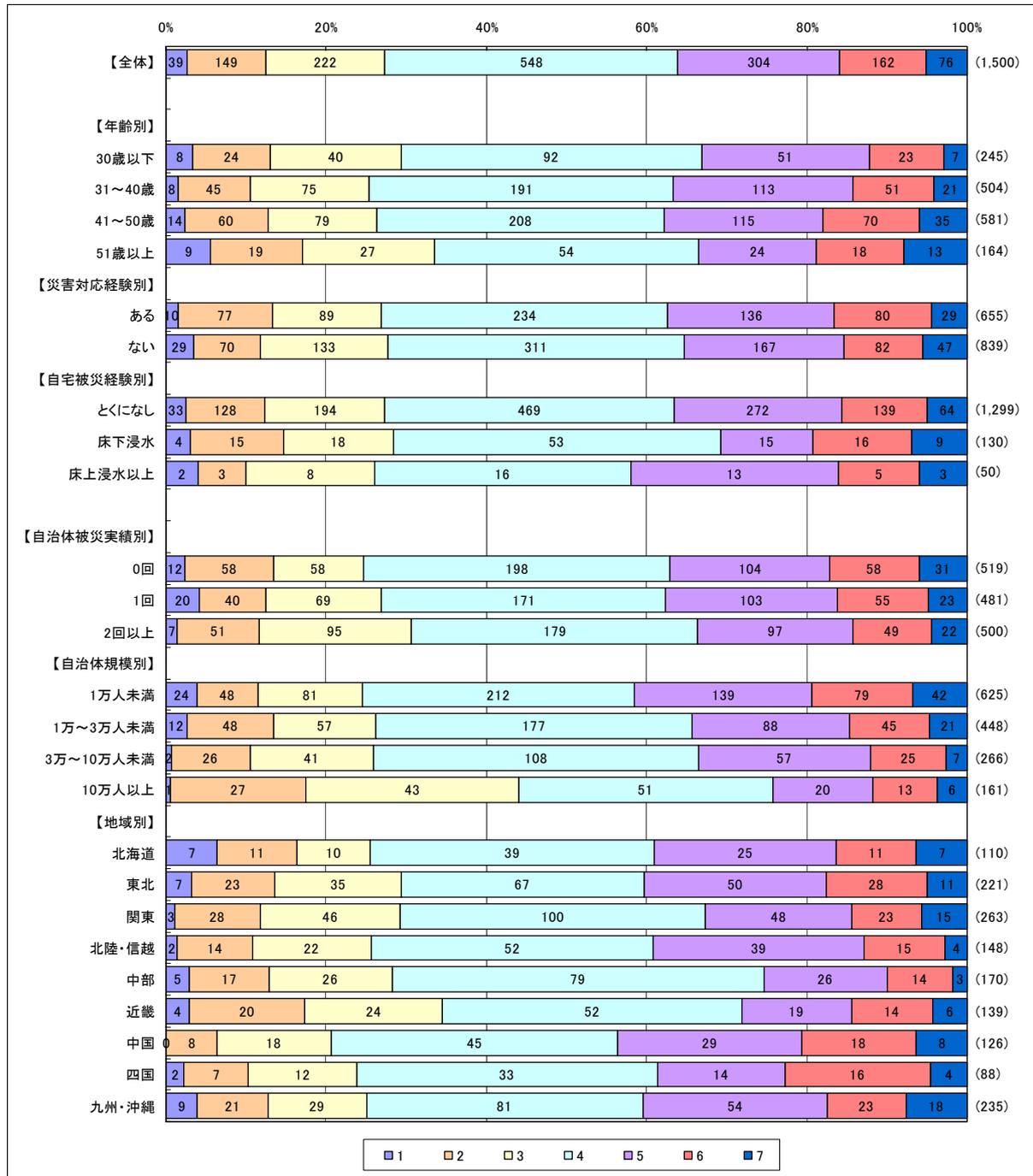
洪水災害への緊急対応が迫られるような状況を想定した場合、あなたの自治体では、以下の項目はどの程度問題があると思いますか。(1)～(11)のそれぞれの項目について、「1まったく問題ではない」から「7非常に問題がある」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。

表 7-1 危機管理における緊急時の課題に関する設問項目と集計結果

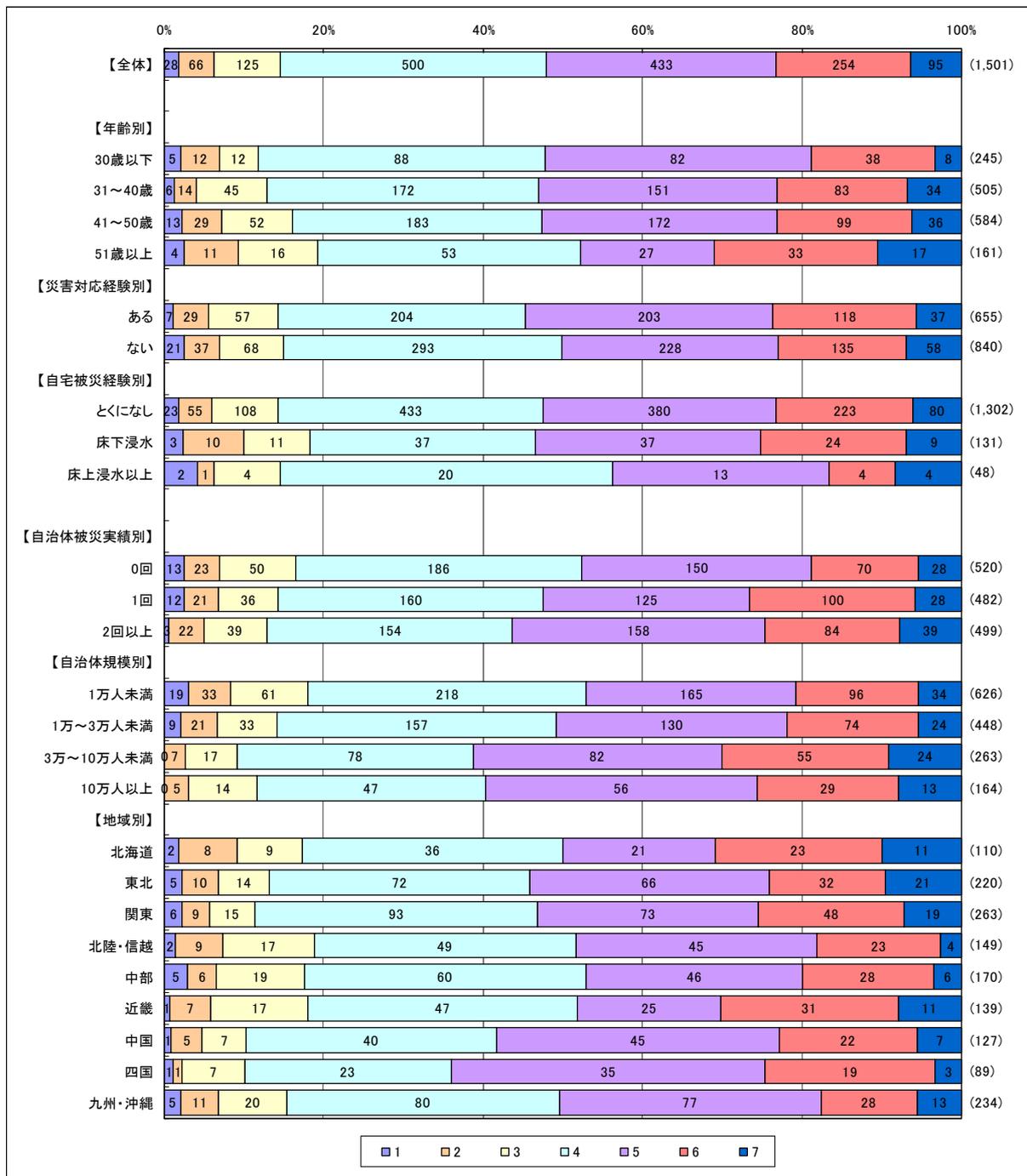
設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)緊急時の活動のための資機材の準備状況	4.15	1.36	1500
(2)住民自身の水防活動の実施	4.59	1.27	1501
(3)自治体行政職員の適切な対応	3.87	1.27	1504
(4)住民に対する避難勧告などの情報伝達設備	3.48	1.63	1502
(5)河川の上下流自治体との情報交換	3.66	1.52	1477
(6)雨量情報や洪水危険情報に対する住民の情報取得行動	4.15	1.29	1496
(7)水防団の適切な活動	3.09	1.31	1475
(8)水防活動にあたる行政内の組織間の連携	3.42	1.27	1502
(9)住民に対する避難勧告や避難指示などを出す判断基準	3.88	1.41	1494
(10)雨量・河川水位などの観測情報収集設備	3.40	1.52	1501
(11)国、都道府県との情報連絡	3.00	1.28	1508

## 7.2 各設問項目の属性別集計結果

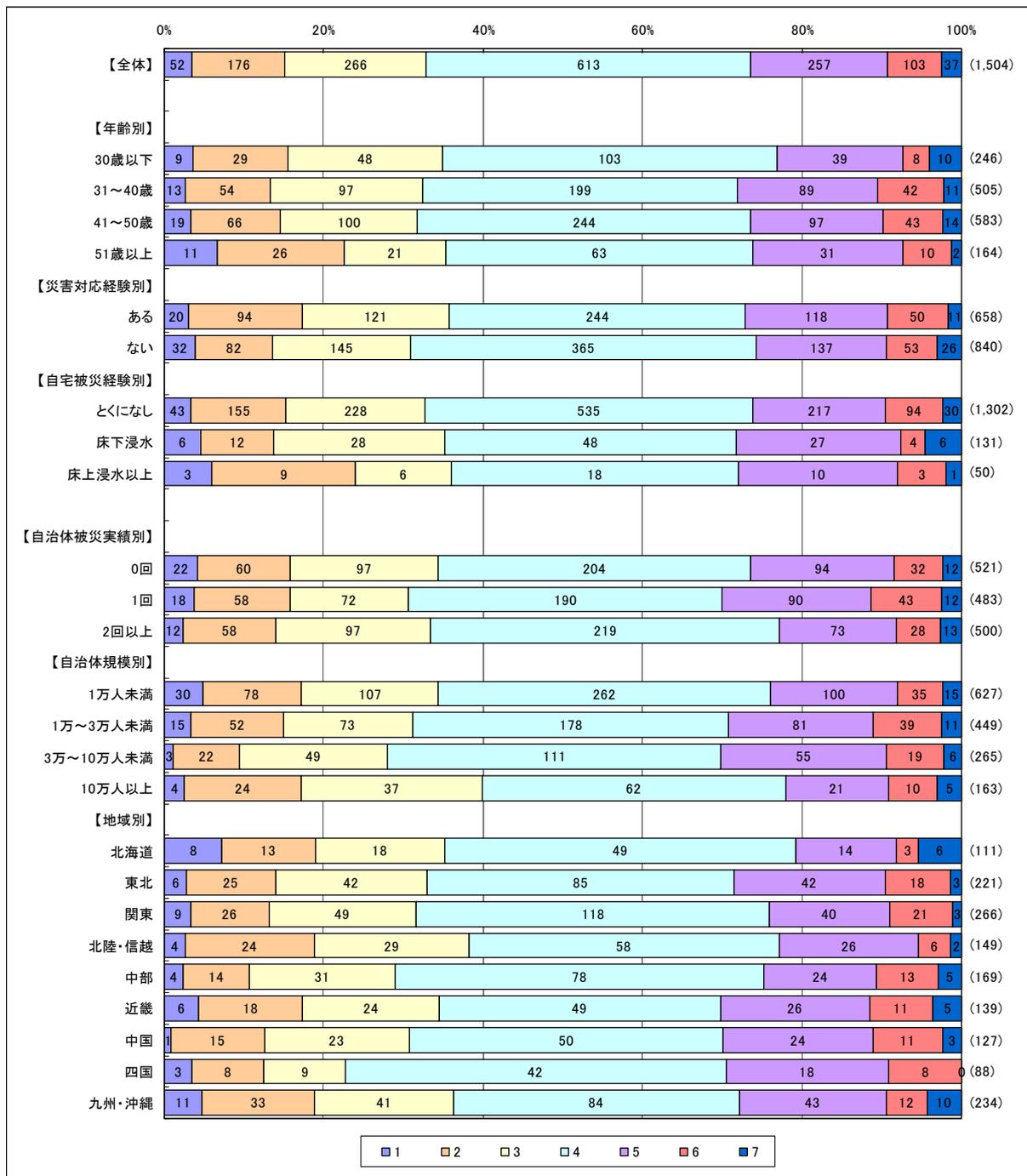
### (1)緊急時の活動のための資機材の準備状況



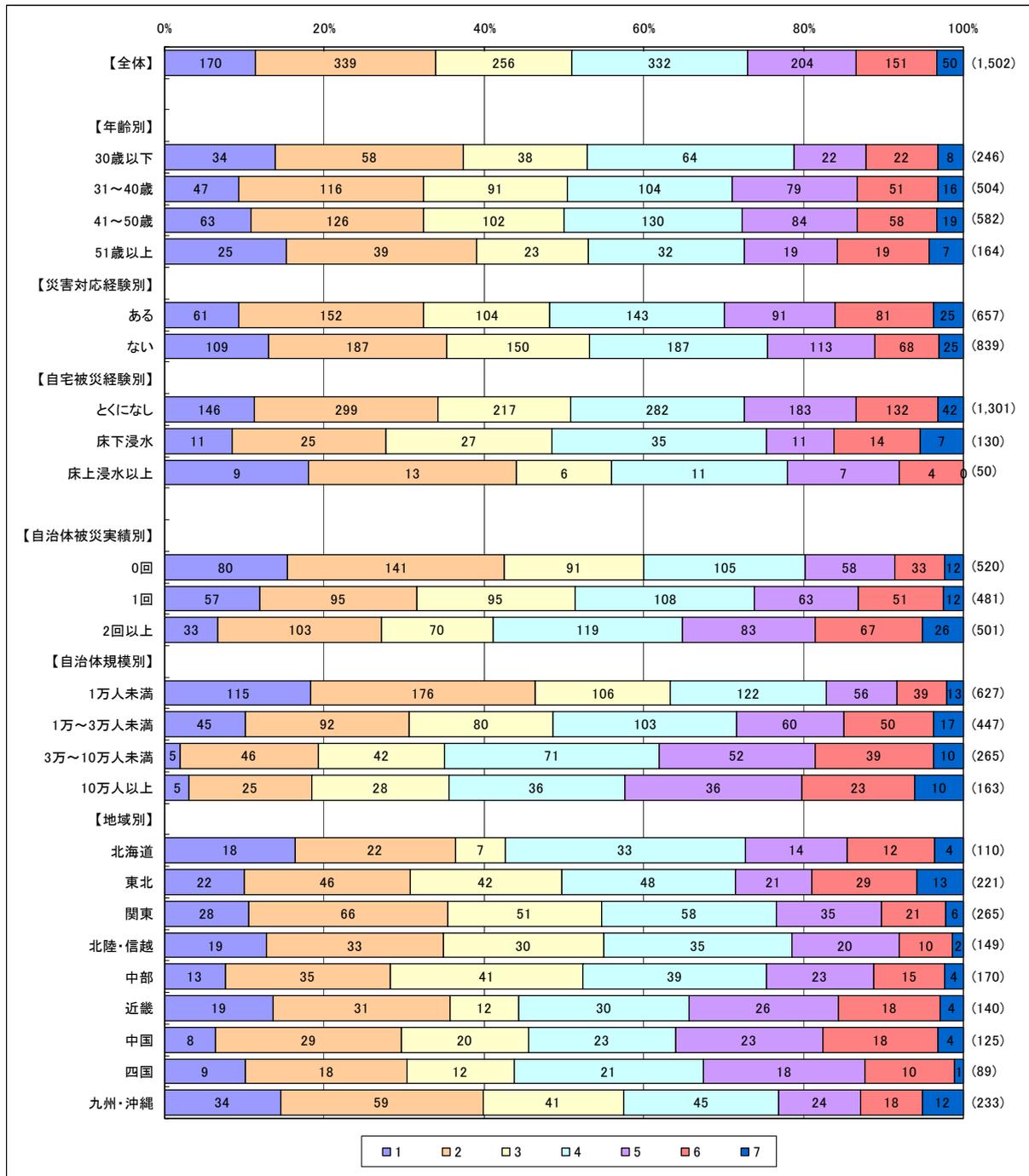
(2)住民自身の水防活動の実施



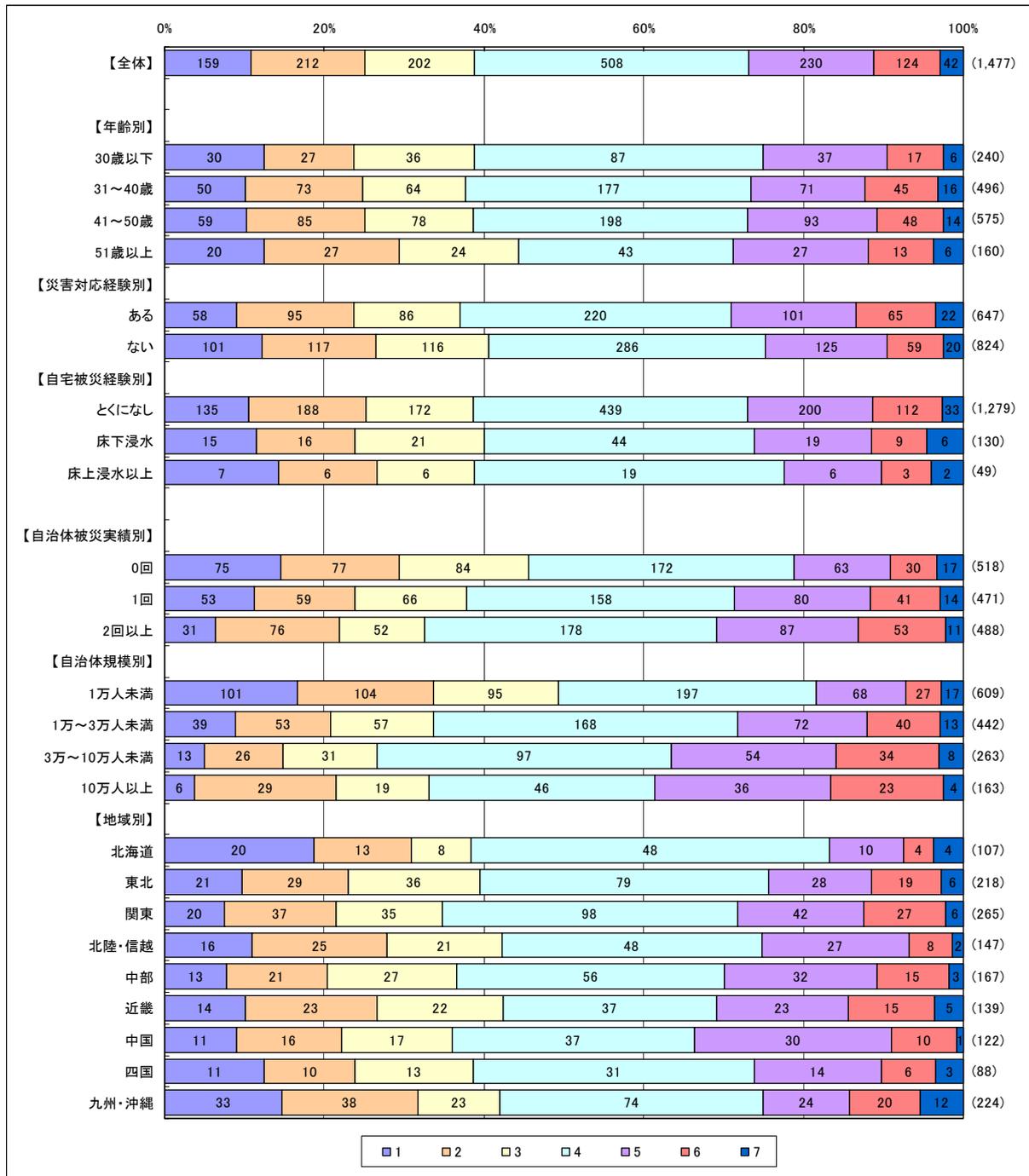
(3)自治体行政職員の適切な対応



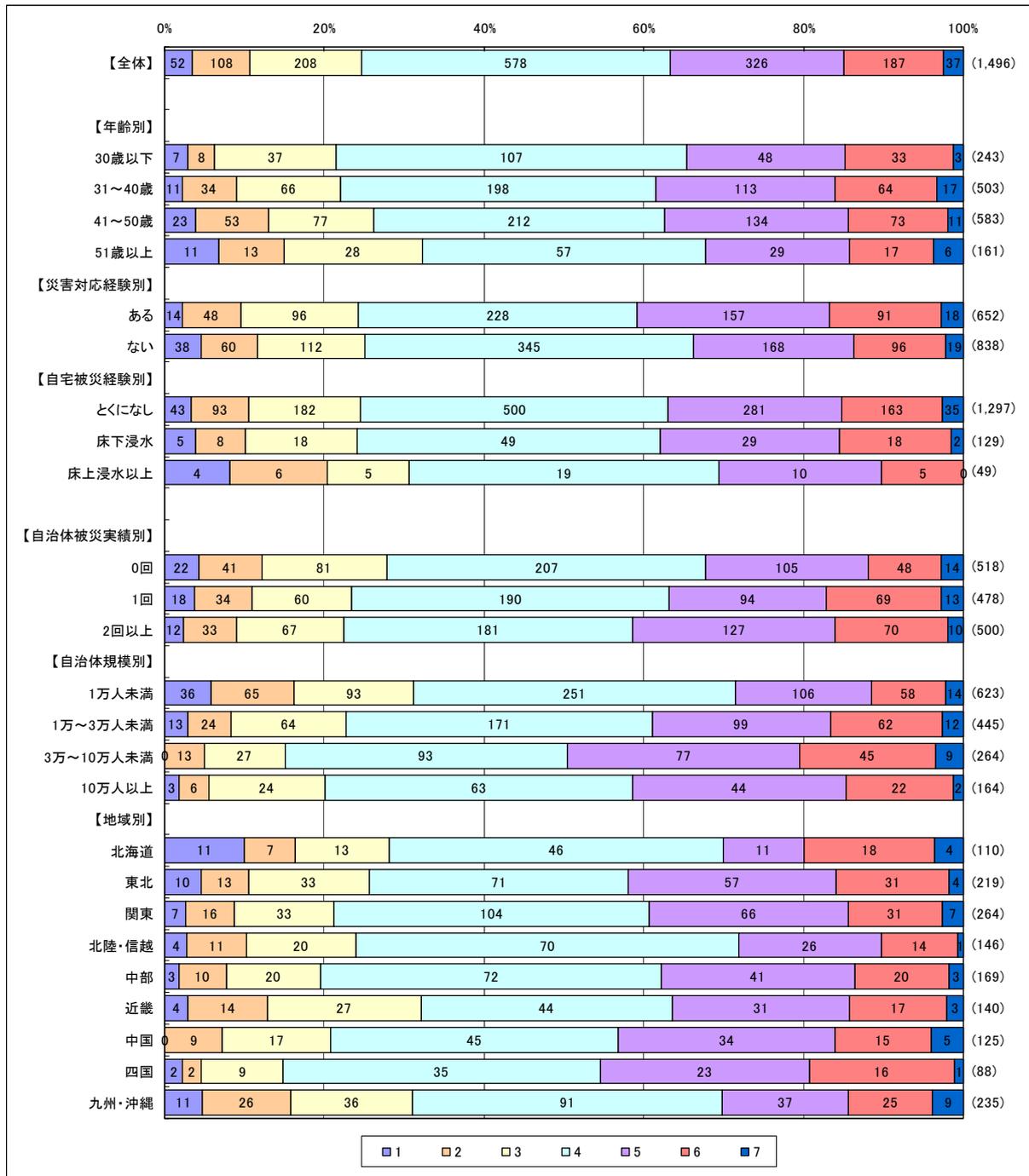
(4)住民に対する避難勧告などの情報伝達設備



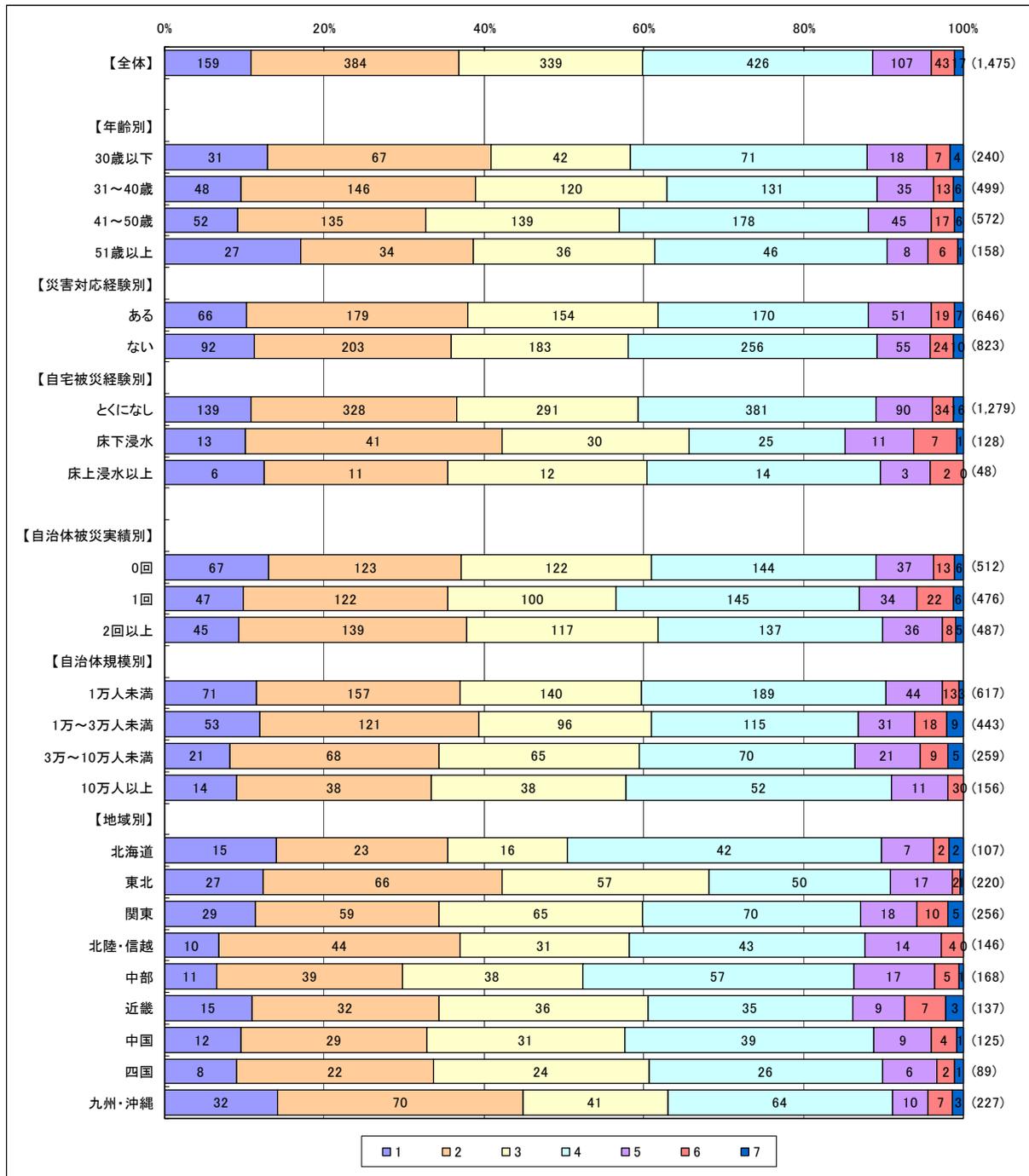
(5)河川の上下流自治体との情報交換



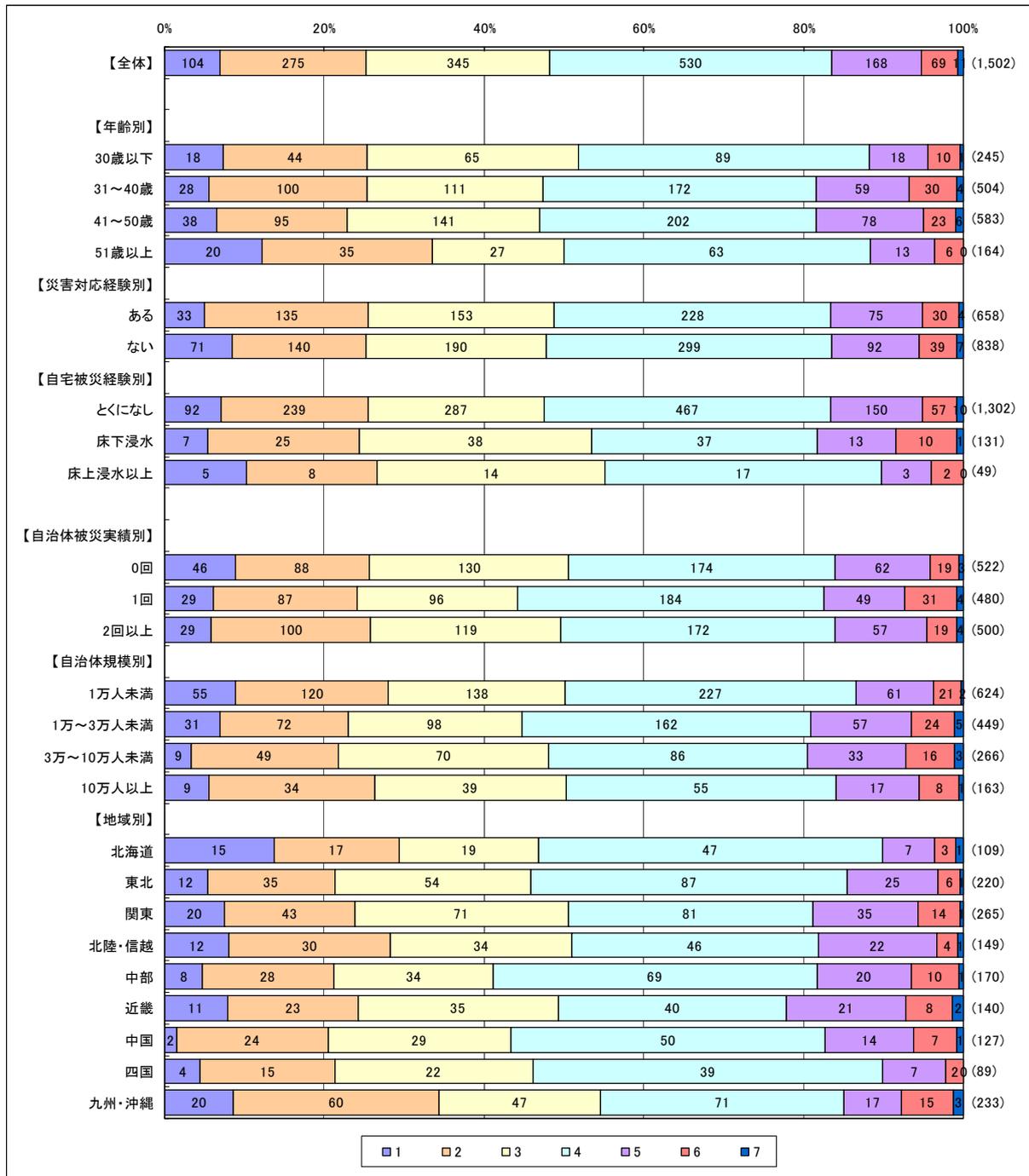
(6)雨量情報や洪水危険情報に対する住民の情報取得行動



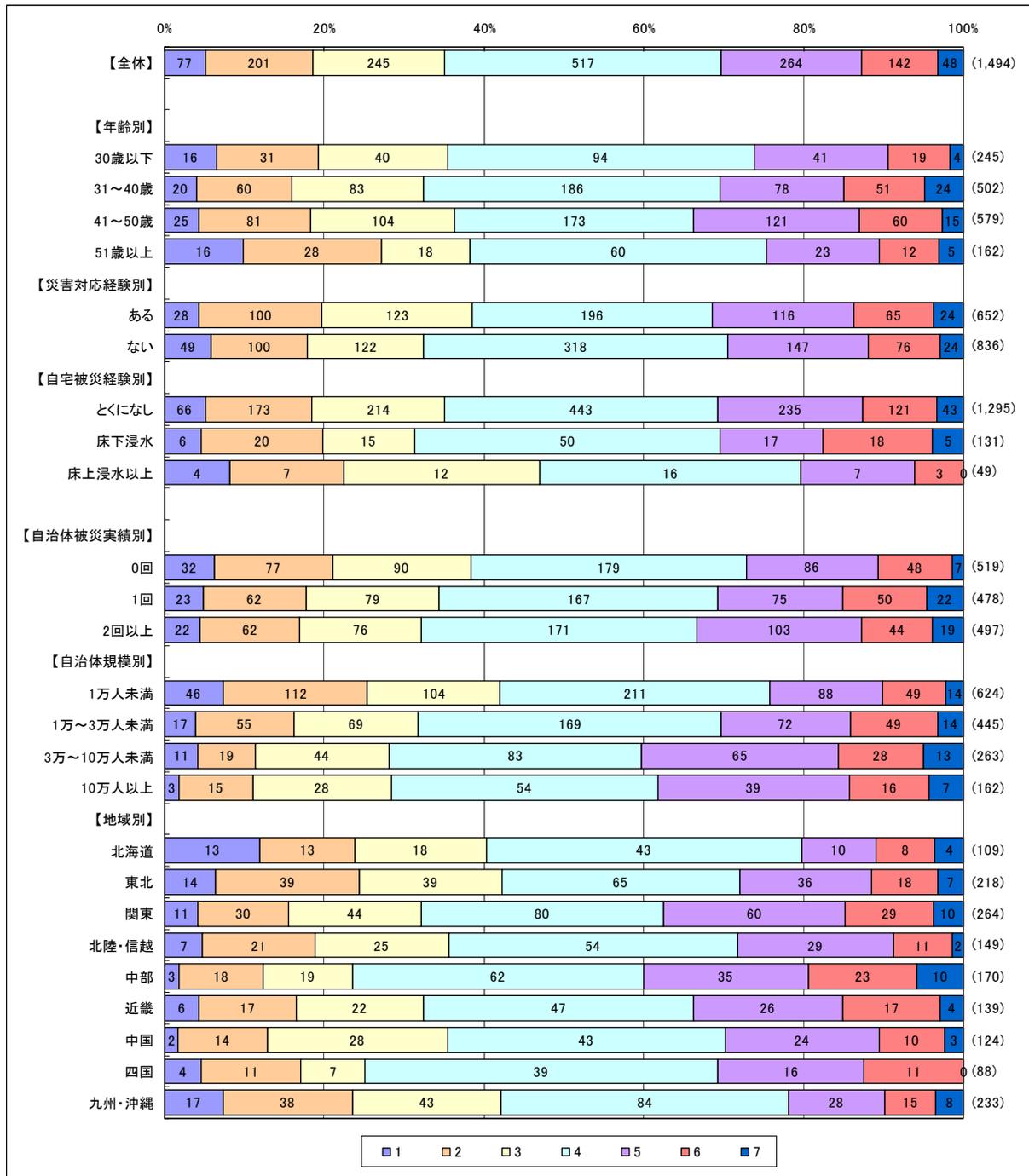
(7)水防団の適切な活動



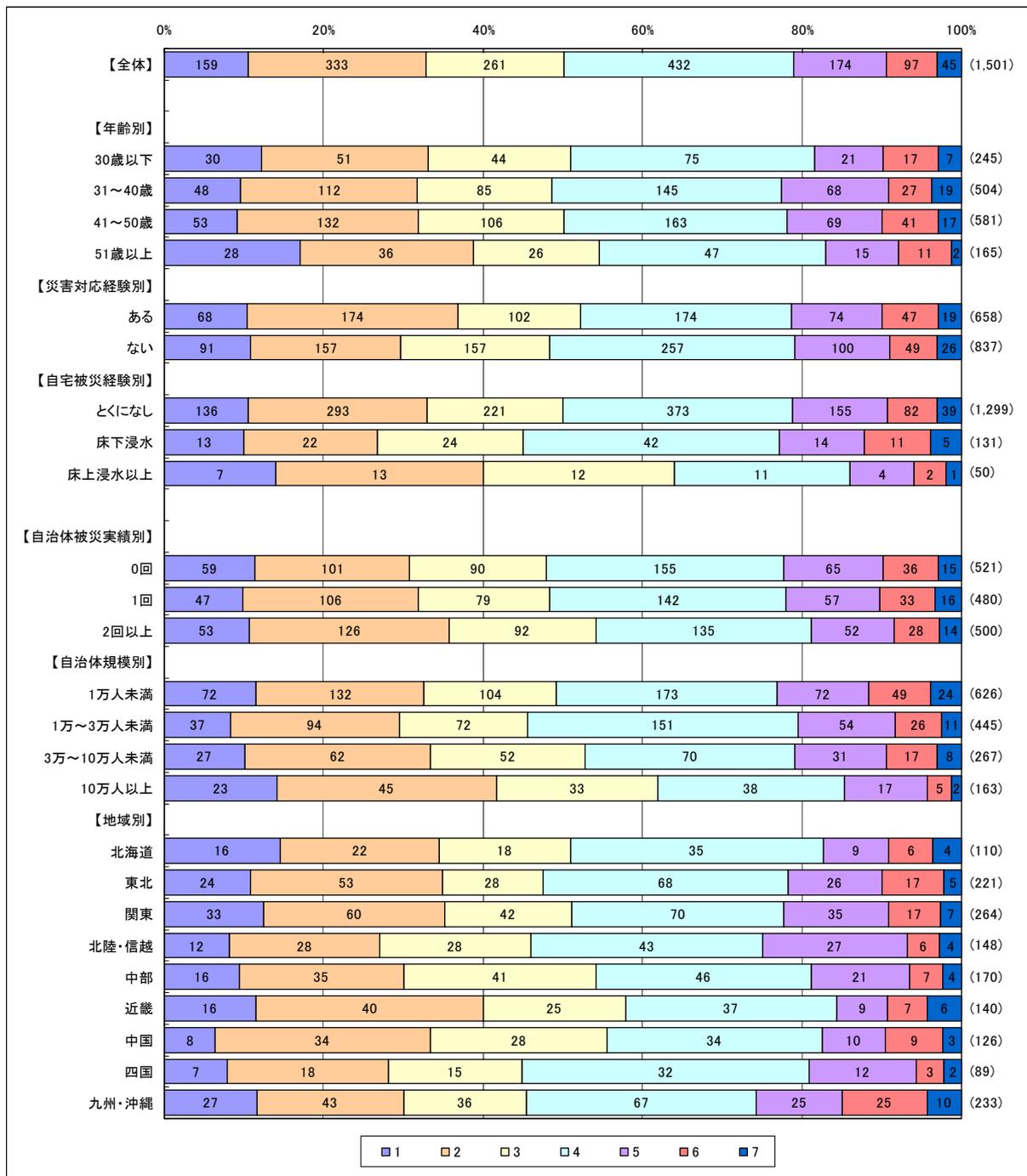
(8)水防活動にあたる行政内の組織間の連携



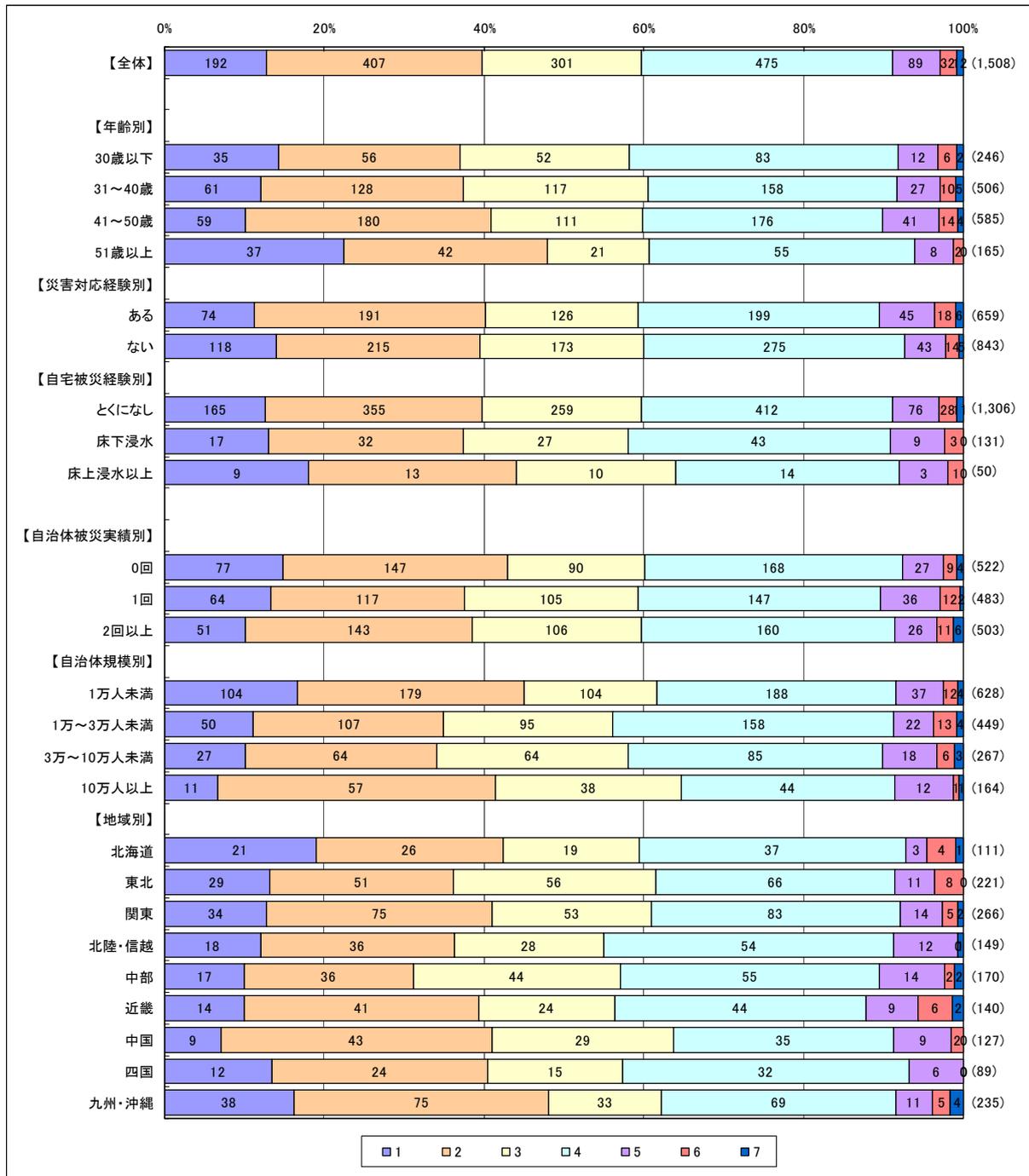
(9)住民に対する避難勧告や避難指示などを出す判断基準



(10)雨量・河川水位などの観測情報収集設備



(11)国、都道府県との情報連絡



## 8. 危機管理における平常時の課題

### 8.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、危機管理担当部署の行政職員を対象とした内容である（危機管理担当部署対象調査票：問9に対応）。各設問項目について、「1まったく問題ではない」から「7非常に問題がある」の7段階で尋ねている。表8-1に設問項目と回答の集計結果を示す。

#### 【設問内容】

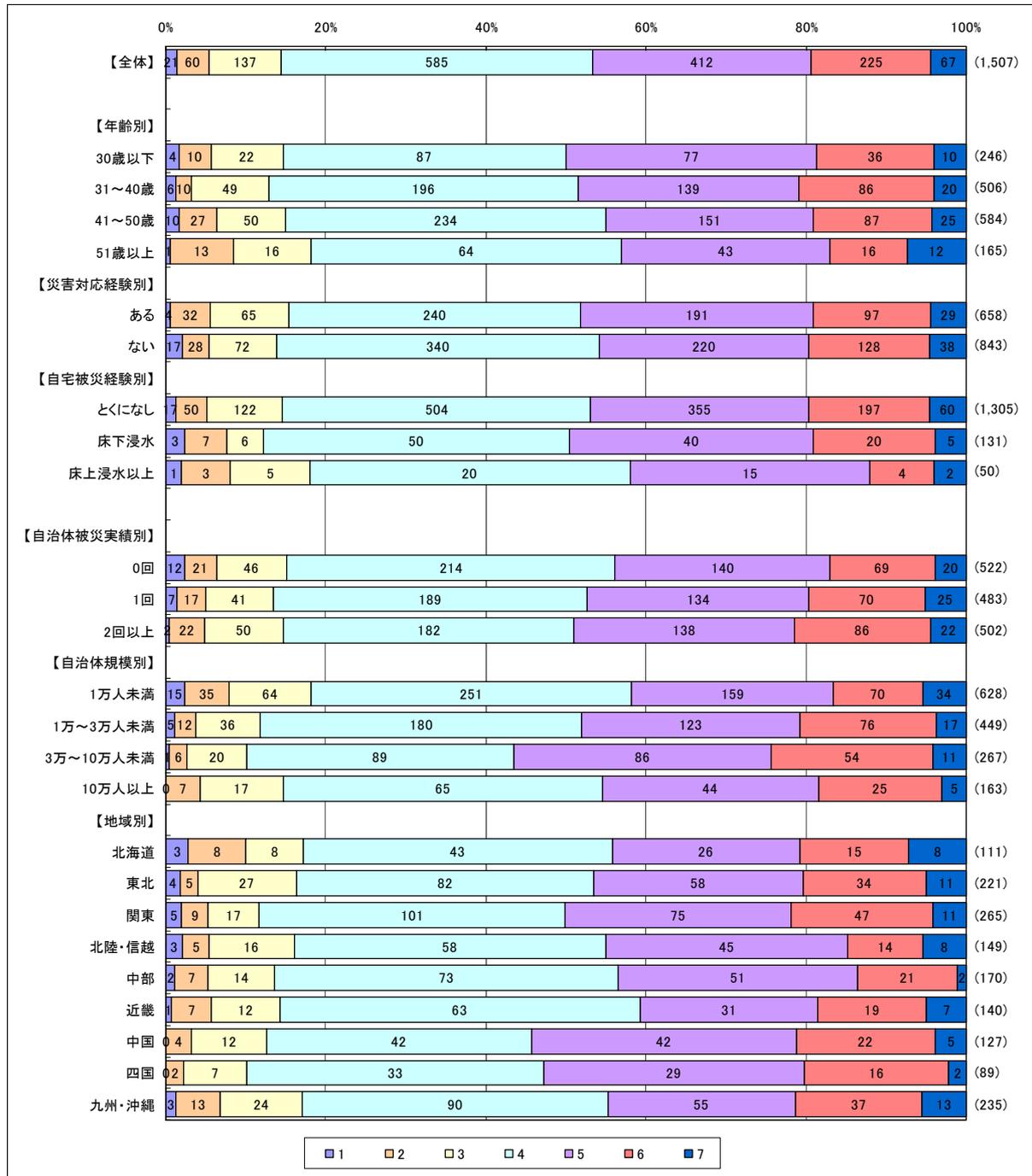
平常時の洪水対策として、次の項目はあなたの自治体にとって、どの程度問題があると思いますか。(1)～(7)のそれぞれの項目について、「1まったく問題ではない」から「7非常に問題がある」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。

表 8-1 危機管理における平常時の課題に関する設問項目と集計結果

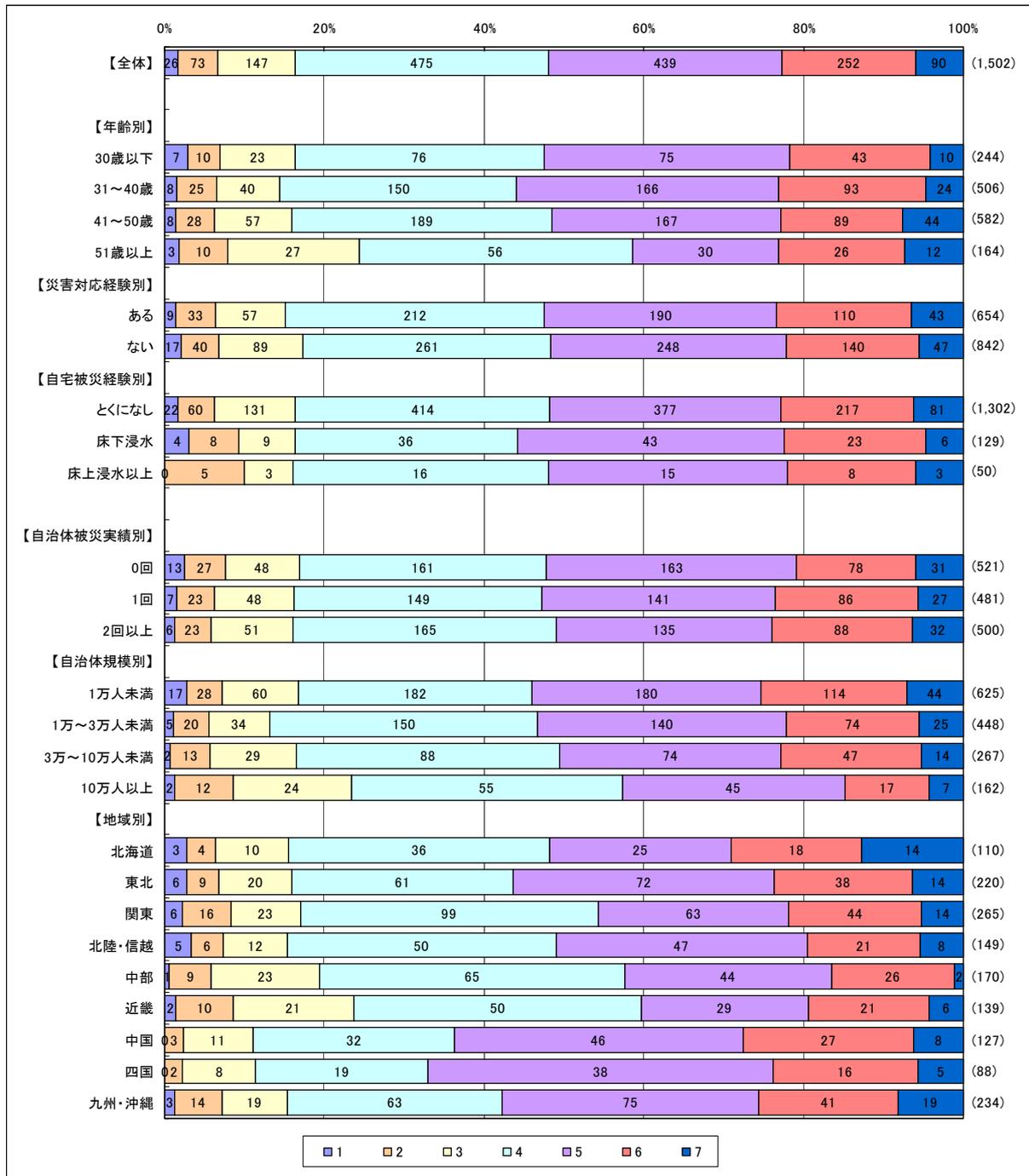
設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)住民の洪水に対する日常からの備え	4.49	1.19	1507
(2)住民を対象とした防災訓練の形態	4.56	1.28	1502
(3)行政組織や関連組織内で行う防災訓練	4.13	1.33	1499
(4)水防団の平常時の訓練活動	3.63	1.36	1468
(5)危機管理に費やされる予算の十分な確保	4.69	1.33	1501
(6)地域の洪水危険性に関する住民の認識	4.44	1.26	1497
(7)担当職員の危機管理能力を向上させるような仕組み	4.52	1.17	1507

## 8.2 各設問項目の属性別集計結果

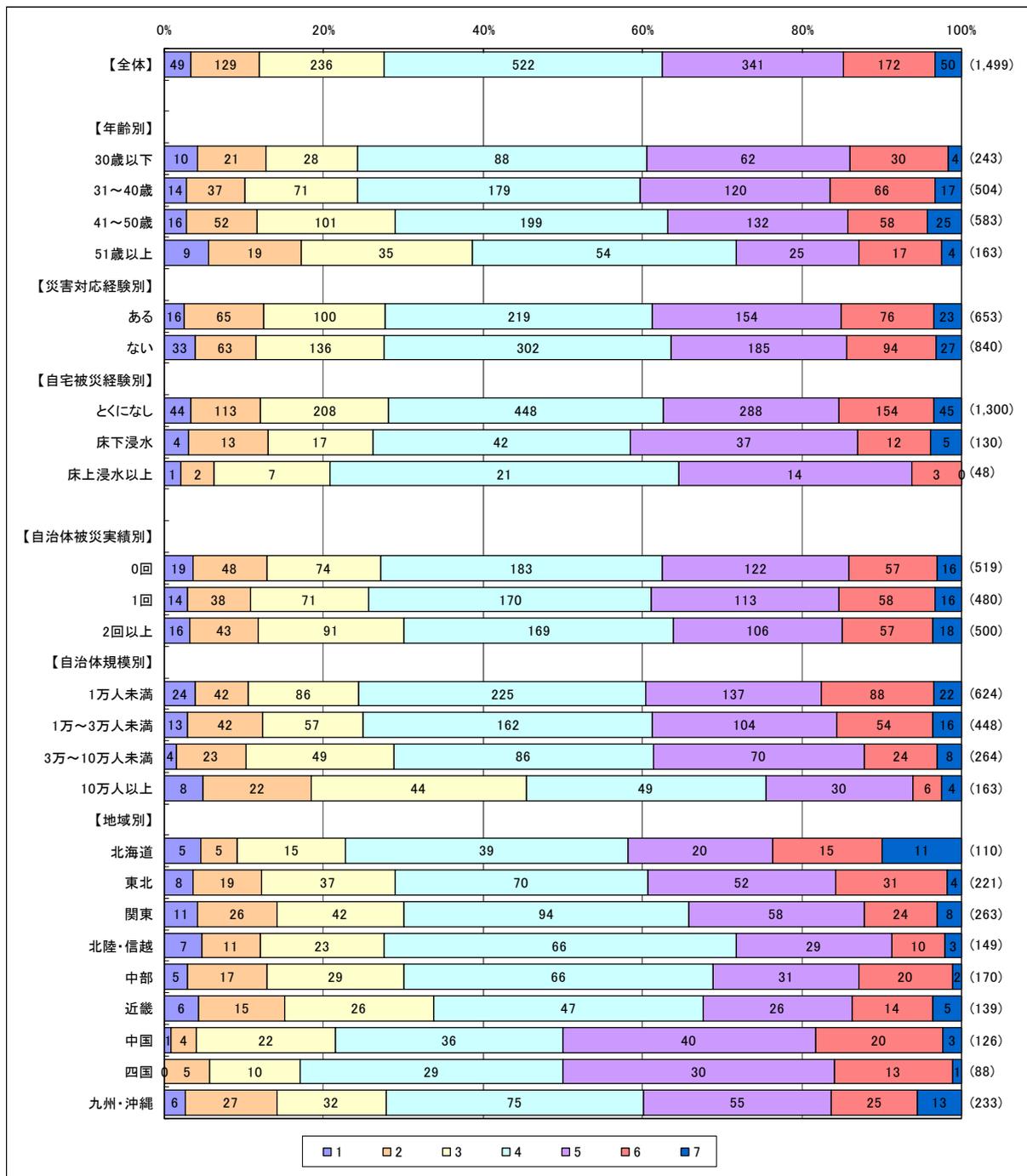
### (1)住民の洪水に対する日常からの備え



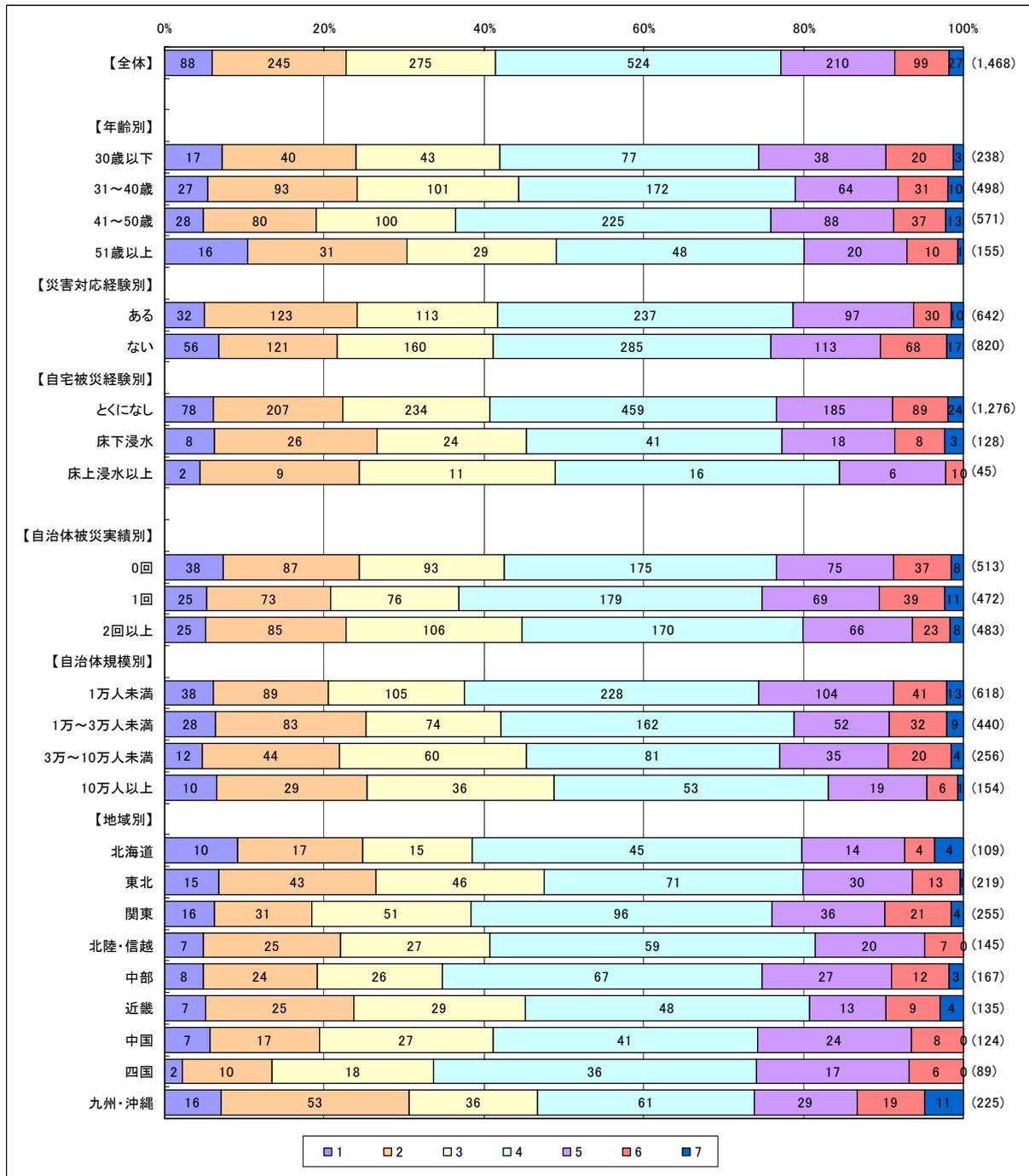
(2)住民を対象とした防災訓練の形態



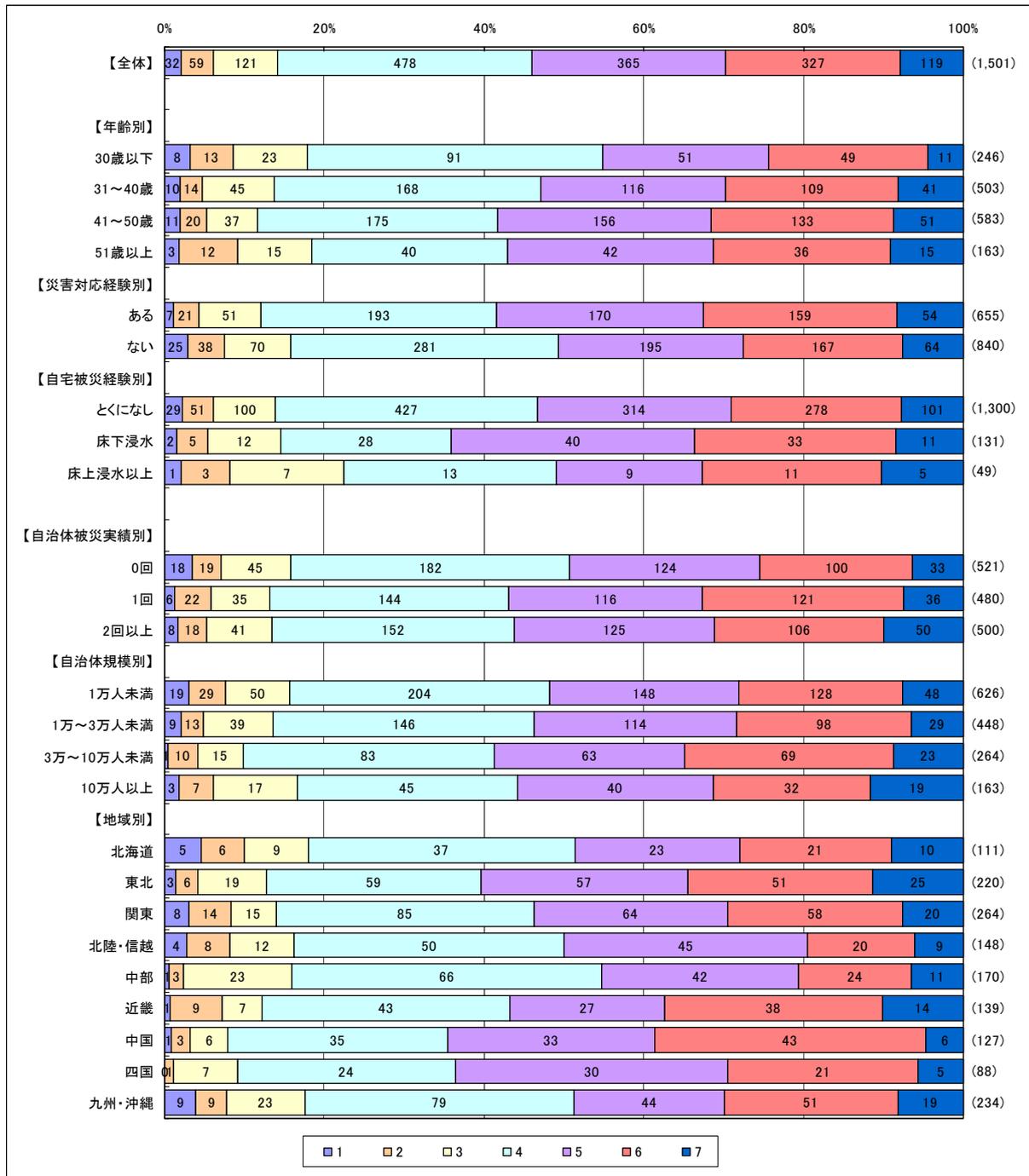
(3)行政組織や関連組織内で行う防災訓練



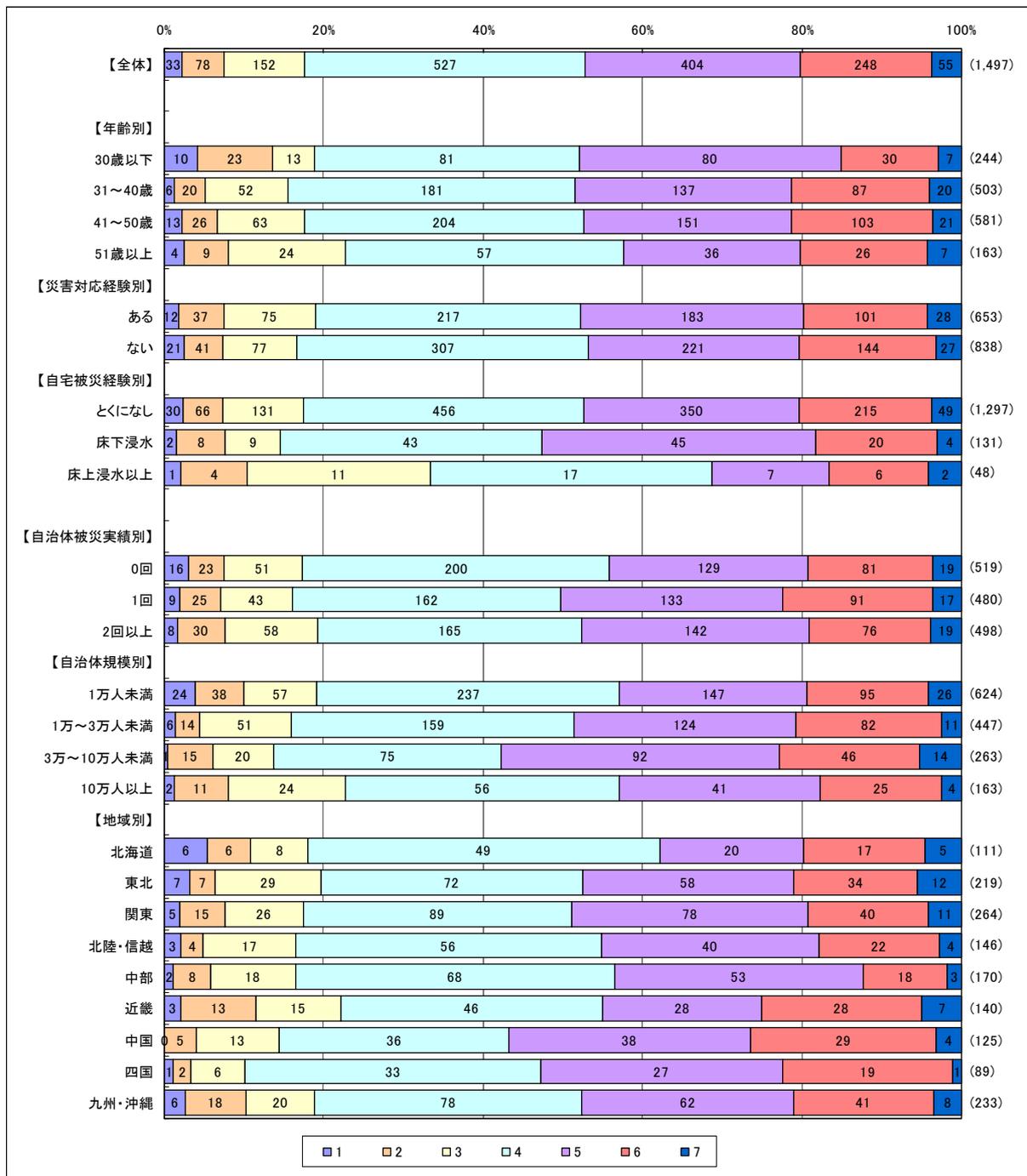
(4)水防団の平常時の訓練活動



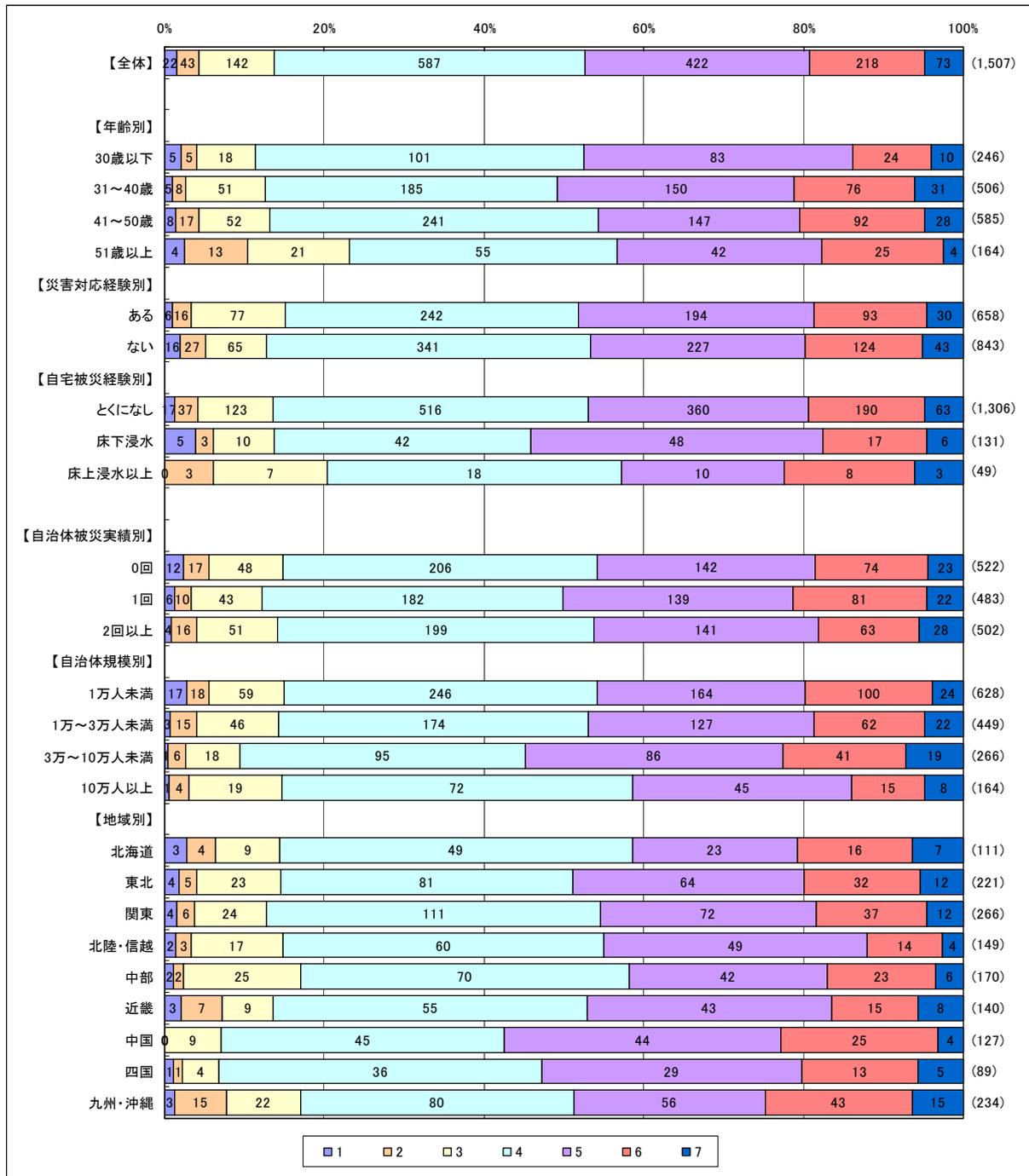
(5)危機管理に費やされる予算の十分な確保



(6)地域の洪水危険性に関する住民の認識



(7)担当職員の危機管理能力を向上させるような仕組み



## 9. 危機管理における対策の実施効果

### 9.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、危機管理担当部署の行政職員を対象とした内容である（危機管理担当部署対象調査票：問 11 に対応）。各設問項目について、「1 まったく効果はない」から「7 非常に効果がある」の7段階で尋ねている。表 9-1 に設問項目と回答の集計結果を示す。

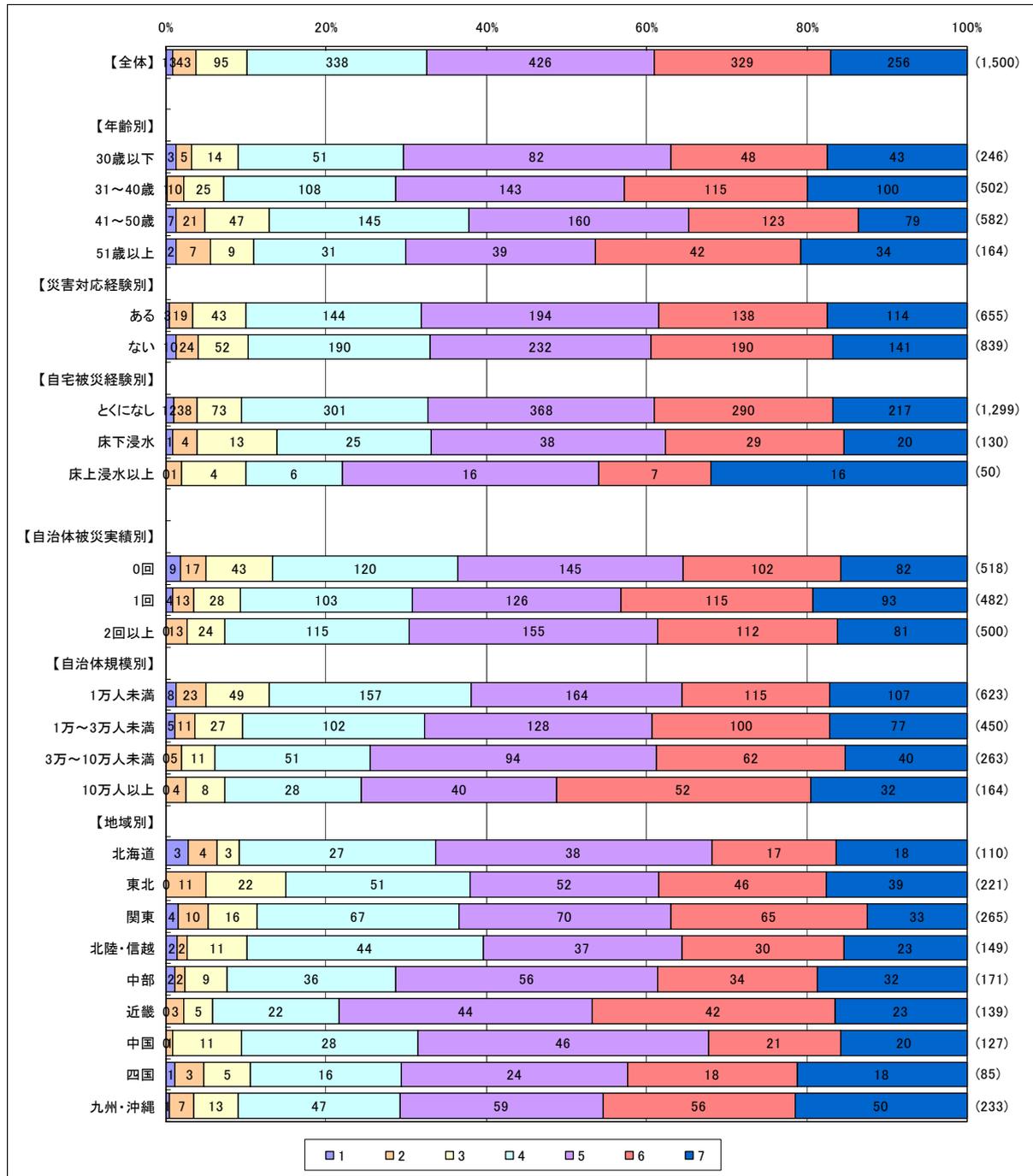
<p><b>【設問内容】</b>          あなたの自治体にとって、以下の項目を実施することは、洪水被害の軽減に対してどの程度効果があると思いますか。(1)～(12)のそれぞれの項目について、「1 まったく効果はない」から「7 非常に効果がある」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。</p>
--

表 9-1 危機管理における対策の実施効果に関する設問項目と集計結果

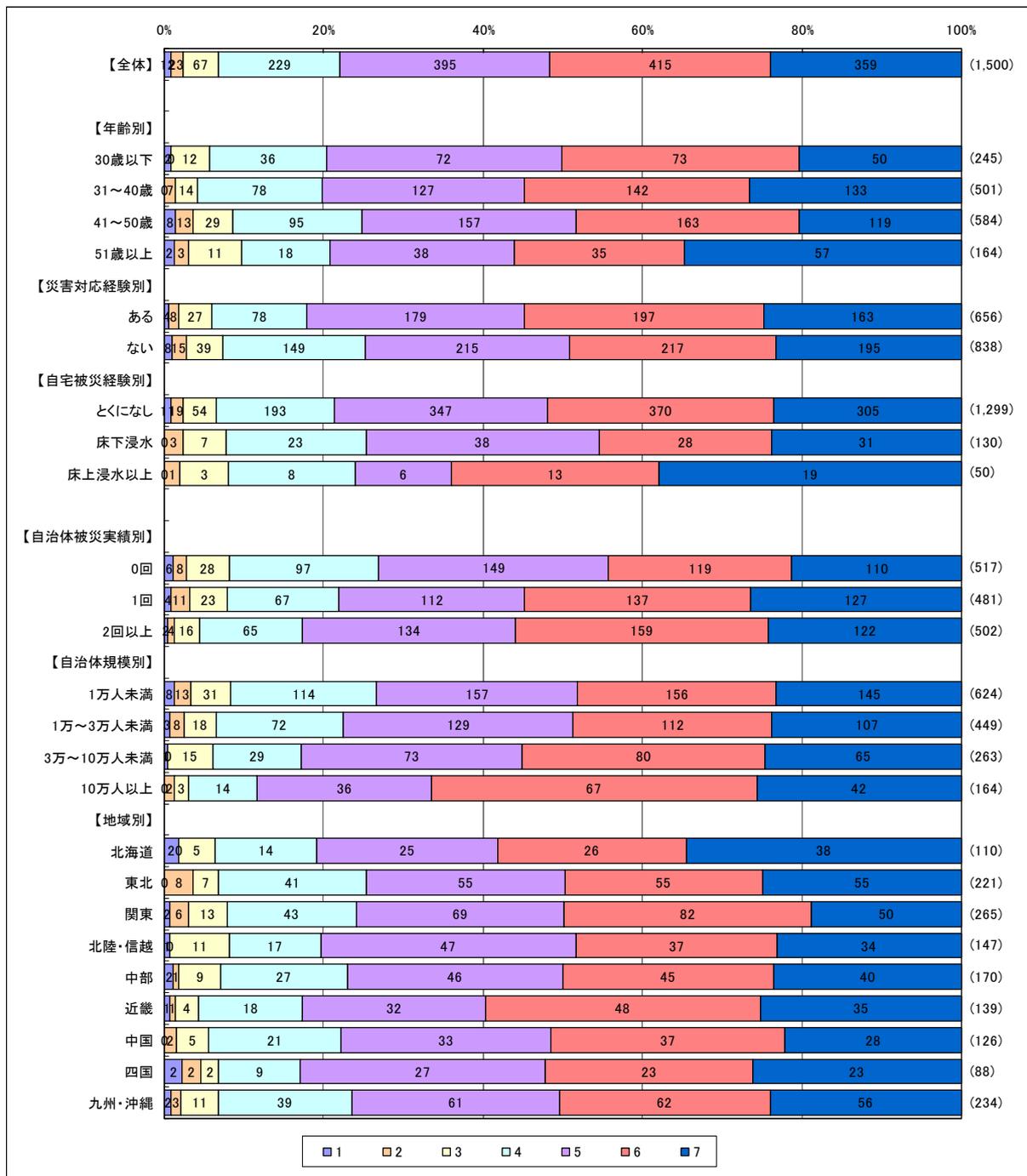
設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)住民を対象とした避難訓練の実施	5.09	1.33	1500
(2)洪水被害想定などによって洪水危険区域を把握しておくこと	5.44	1.28	1500
(3)住民に対する避難勧告等の情報伝達設備の整備	5.54	1.31	1500
(4)水防関連組織間で行う防災訓練	5.12	1.26	1485
(5)住民に対する洪水予防に関する資料の配布	4.71	1.27	1495
(6)災害弱者の所在を把握しておくこと	5.63	1.23	1499
(7)水防活動のための資機材の準備	5.53	1.22	1494
(8)危機管理担当職員の研修や訓練	5.22	1.19	1500
(9)住民を対象とした洪水防備に関する講習会	4.87	1.24	1494
(10)指揮命令系統や避難勧告等の行動基準をマニュアルにして明確にしておくこと	5.56	1.26	1498
(11)雨量や河川水位の観測情報収集設備の整備	5.41	1.30	1497
(12)自主防災組織などの住民組織の育成	5.59	1.26	1501

## 9.2 各設問項目の属性別集計結果

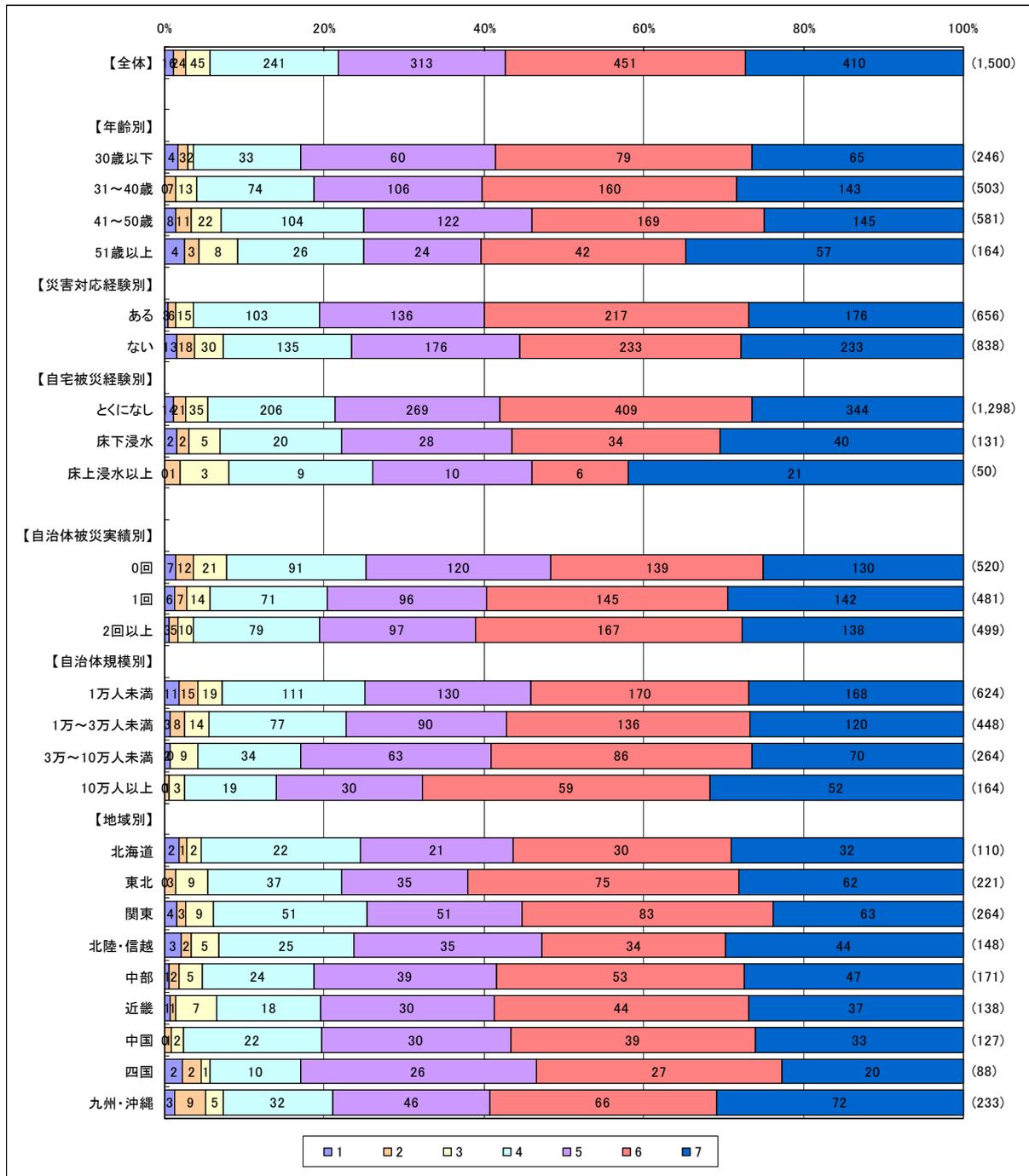
### (1)住民を対象とした避難訓練の実施



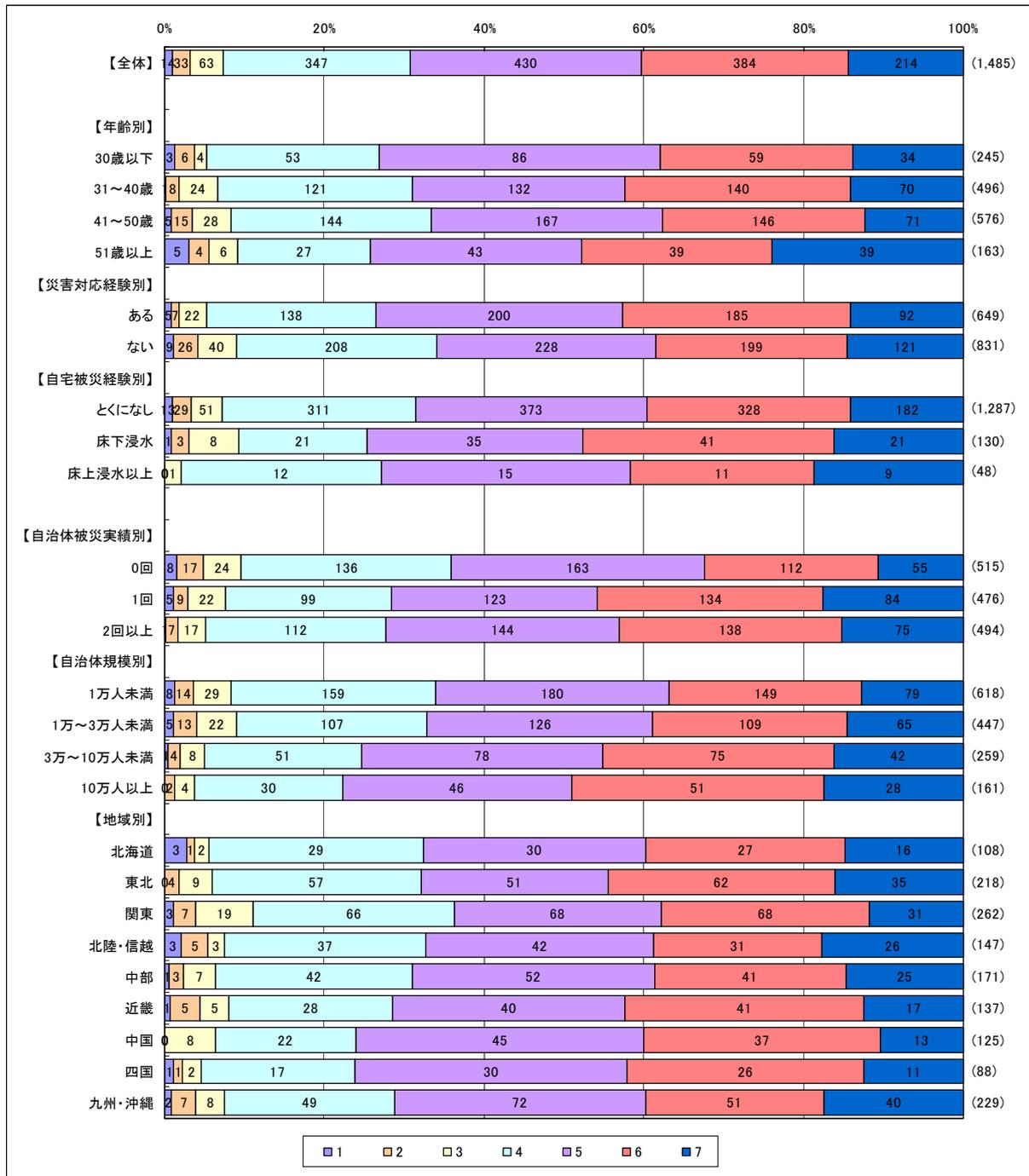
(2)洪水被害想定などによって洪水危険区域を把握しておくこと



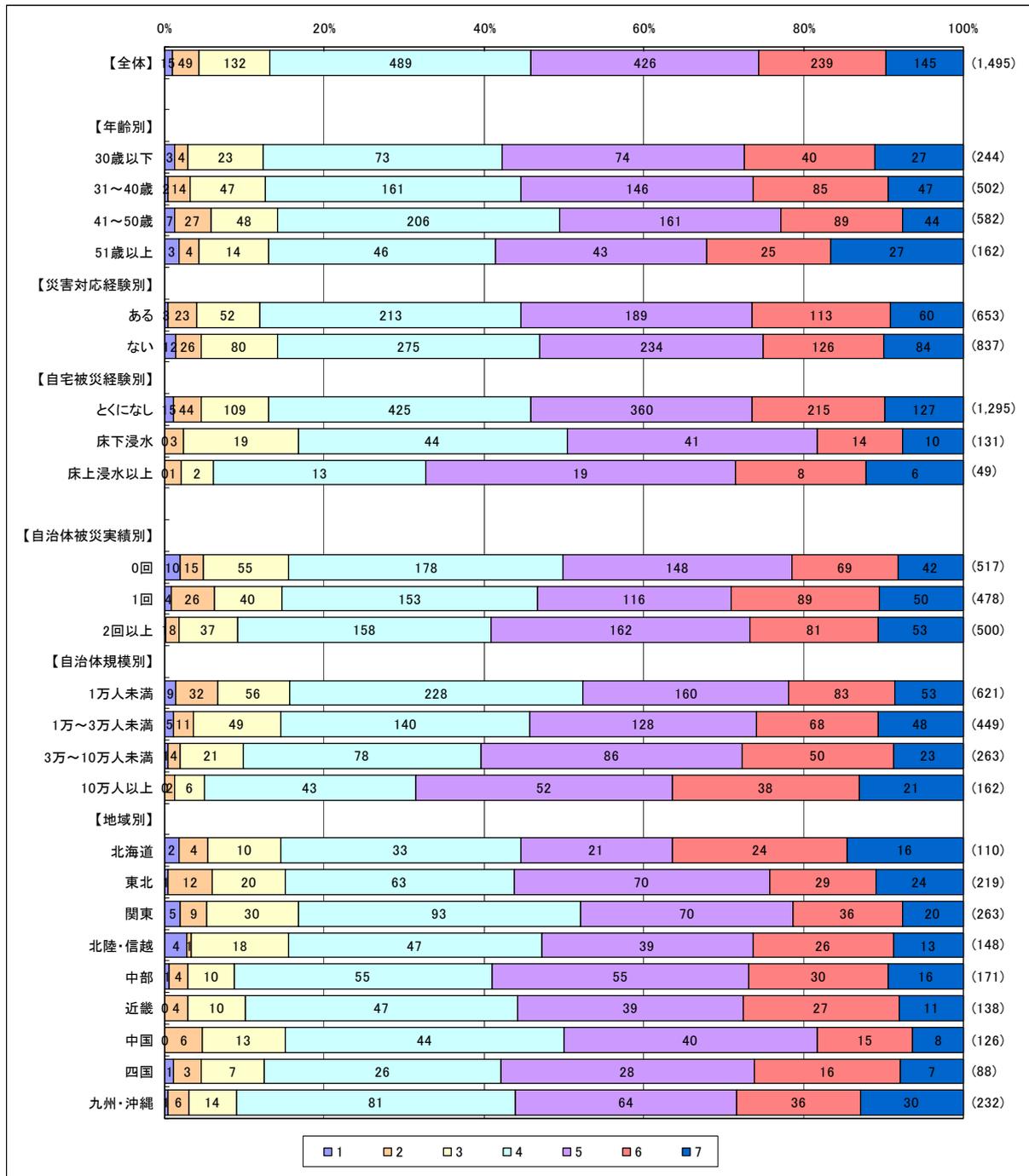
(3)住民に対する避難勧告等の情報伝達設備の整備



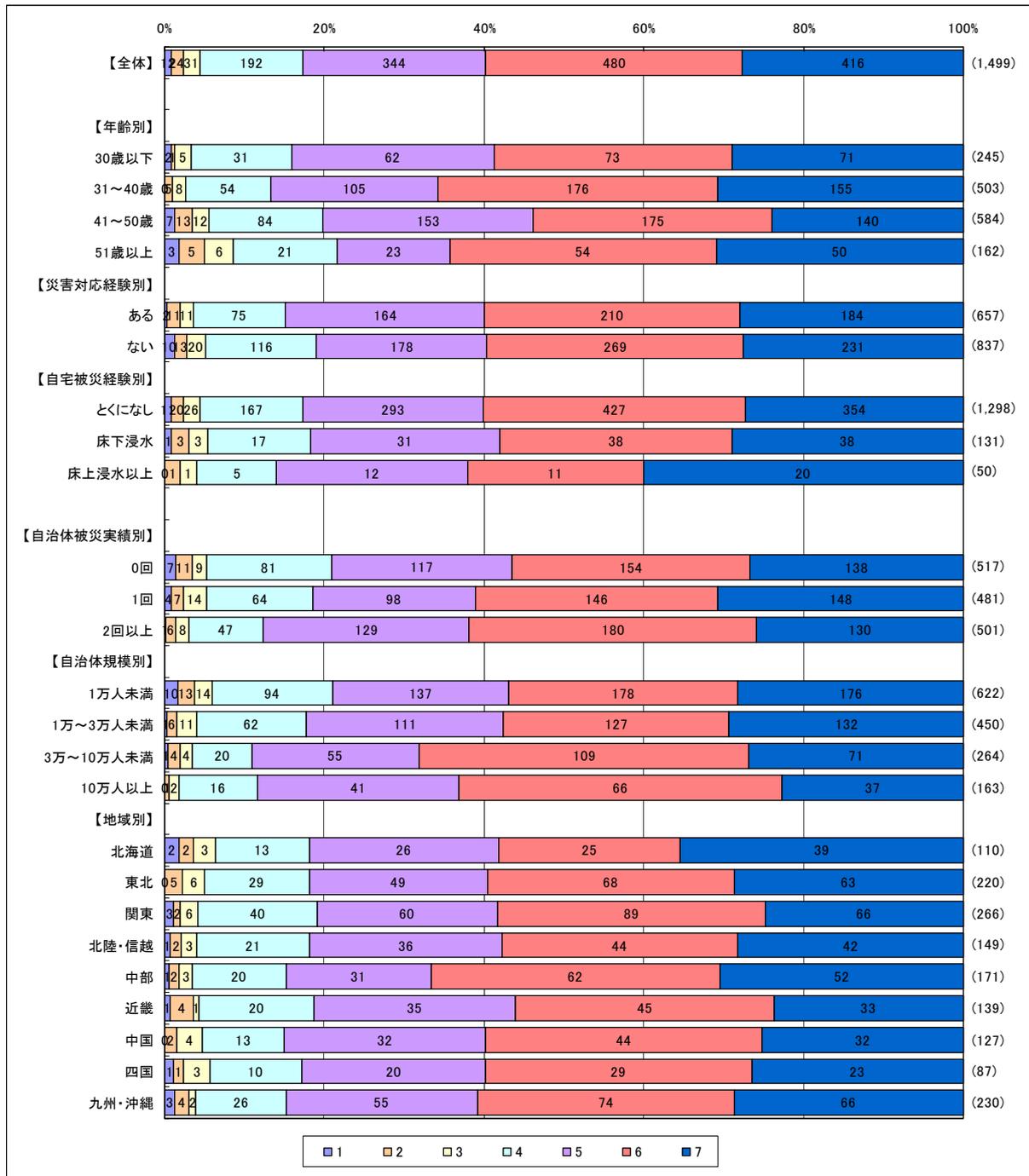
(4)水防関連組織間で行う防災訓練



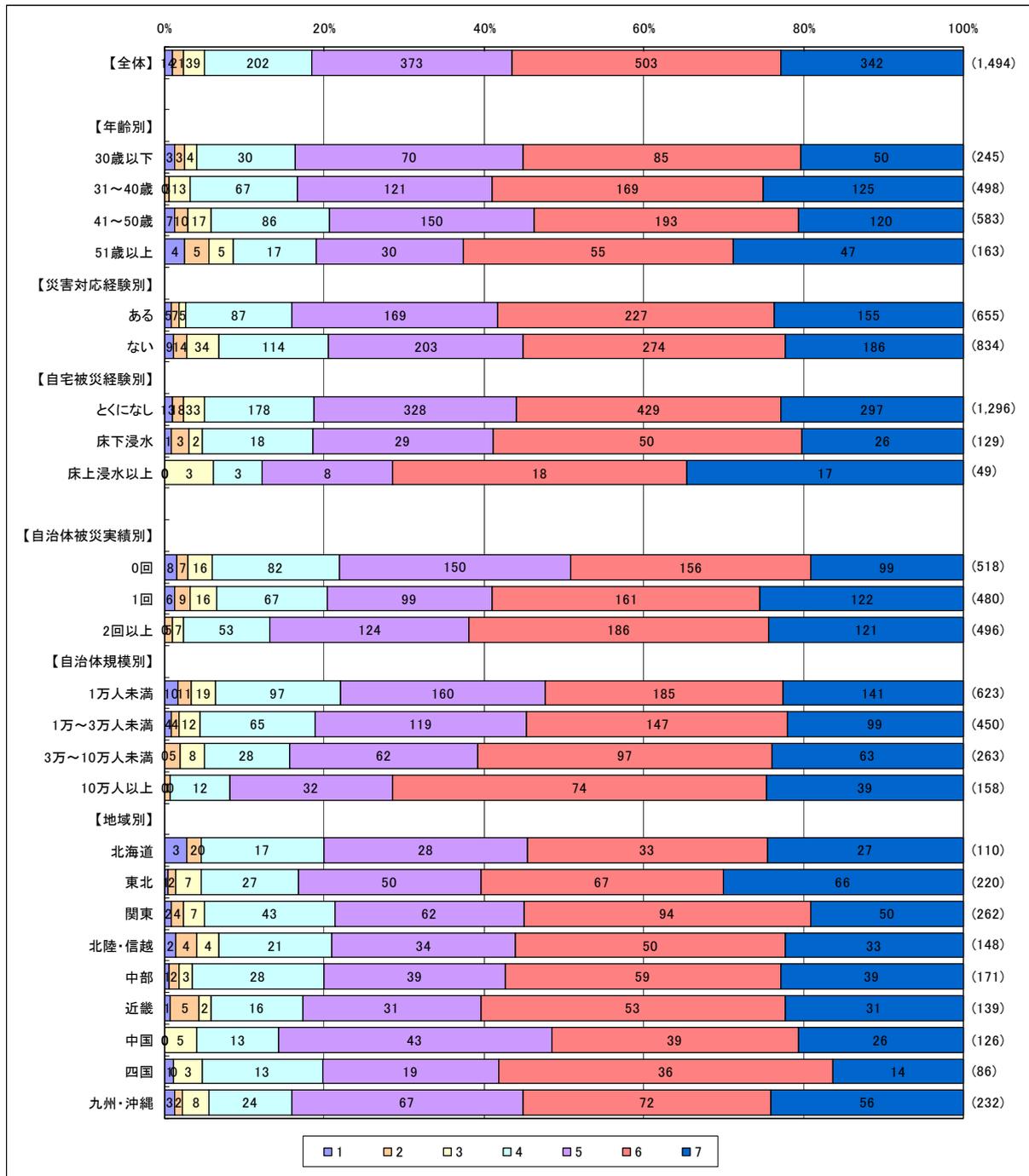
(5)住民に対する洪水予防に関する資料の配布



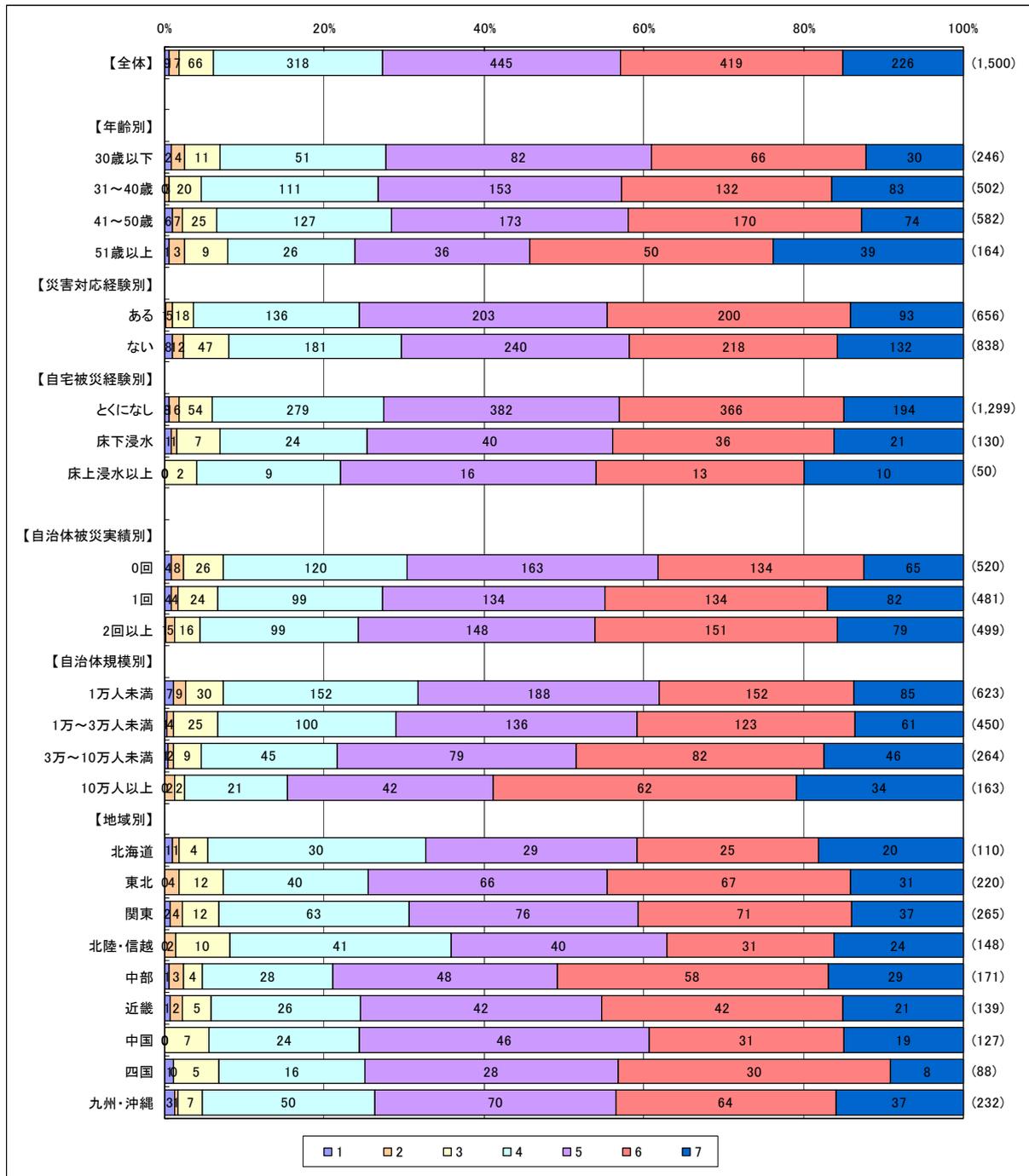
(6)災害弱者の所在を把握しておくこと



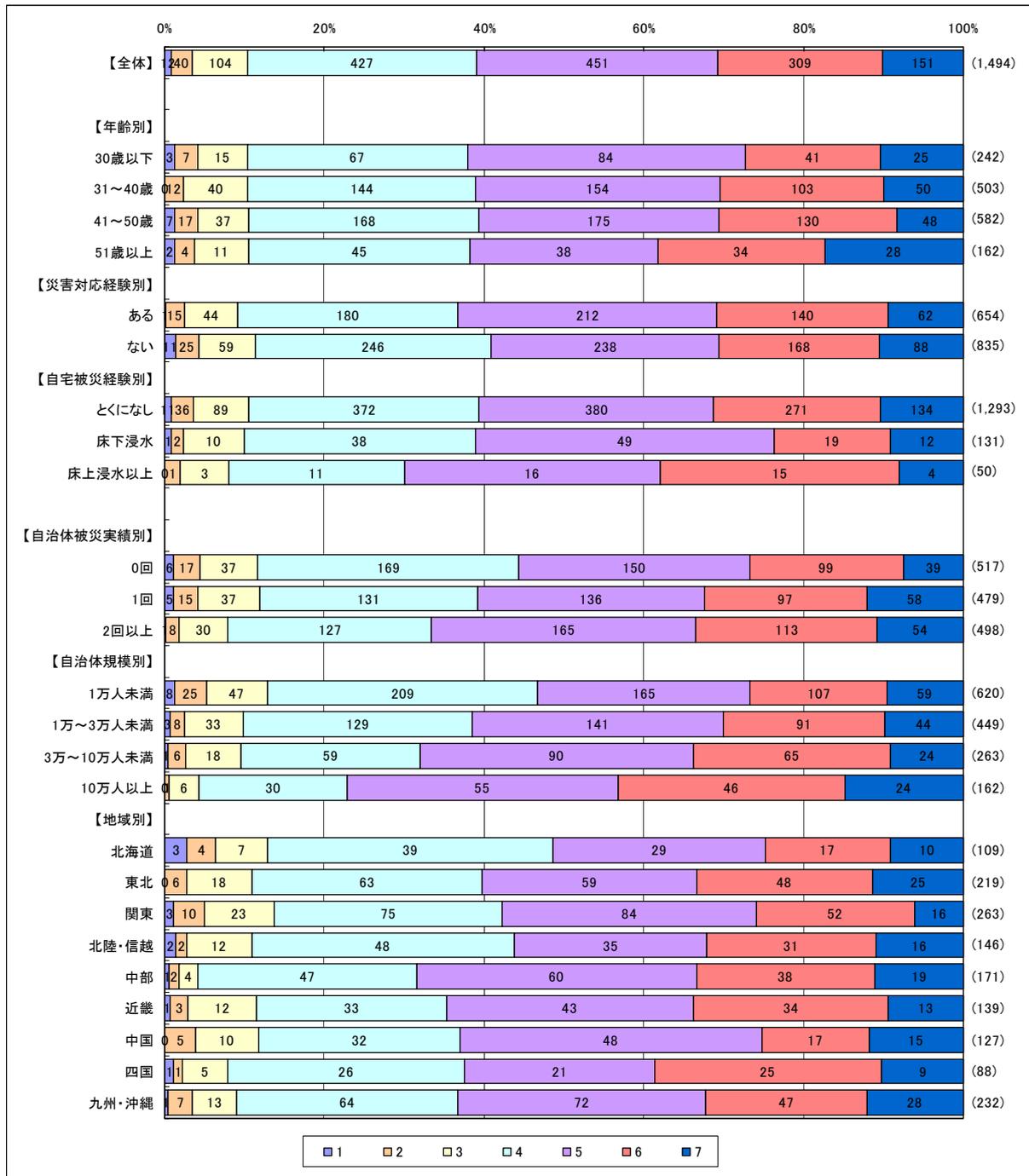
(7)水防活動のための資機材の準備



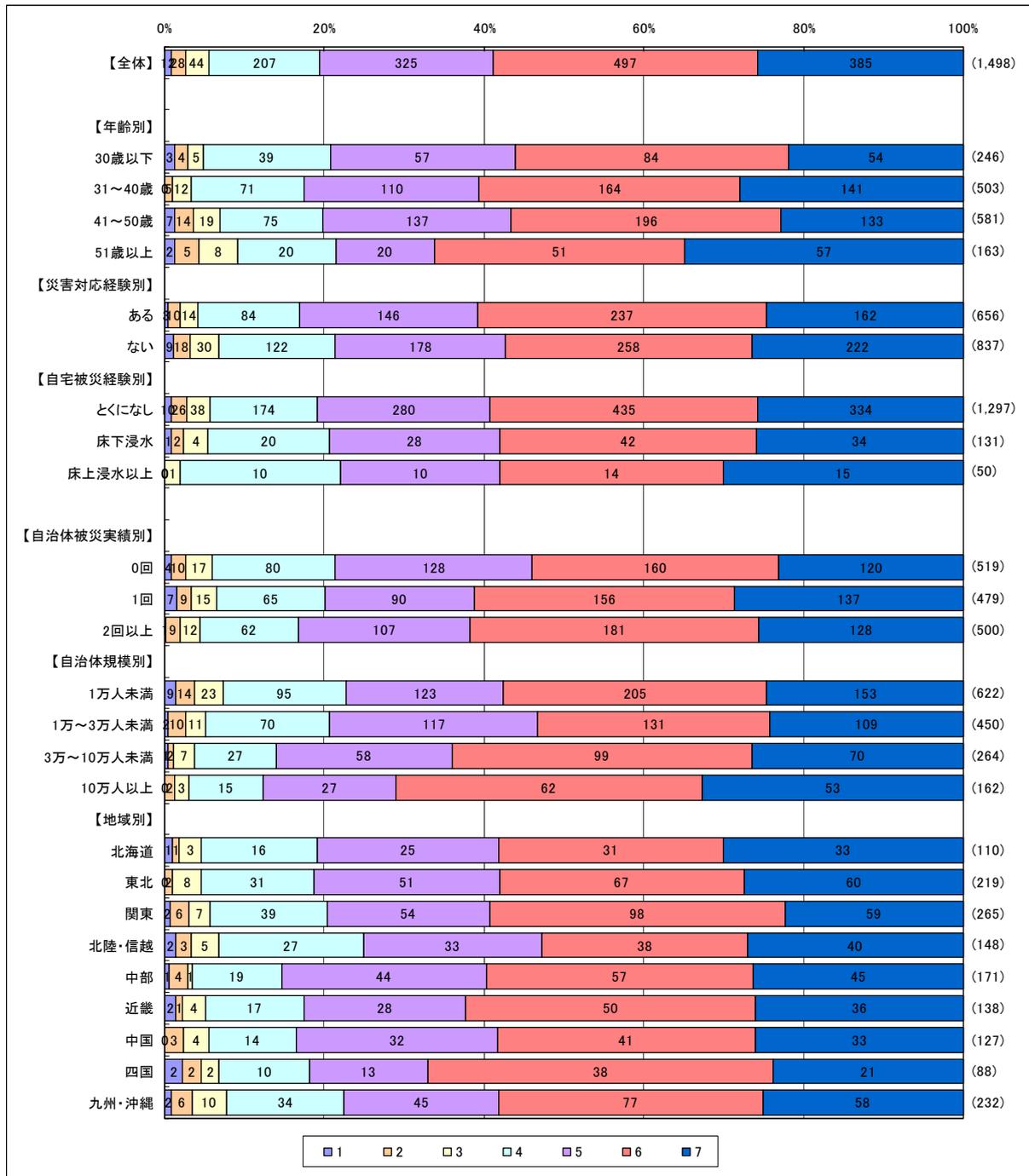
(8)危機管理担当職員の研修や訓練



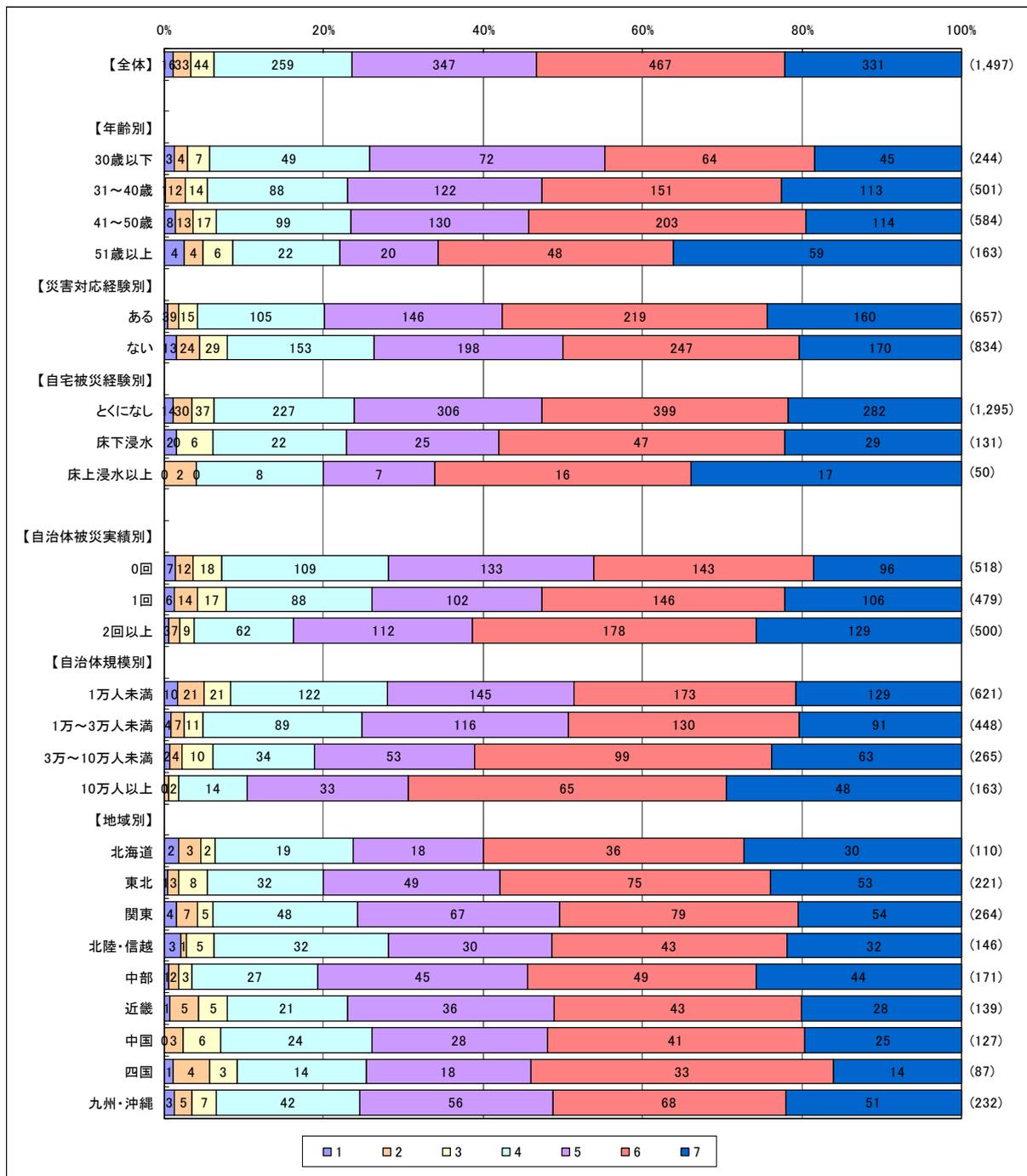
(9)住民を対象とした洪水防備に関する講習会



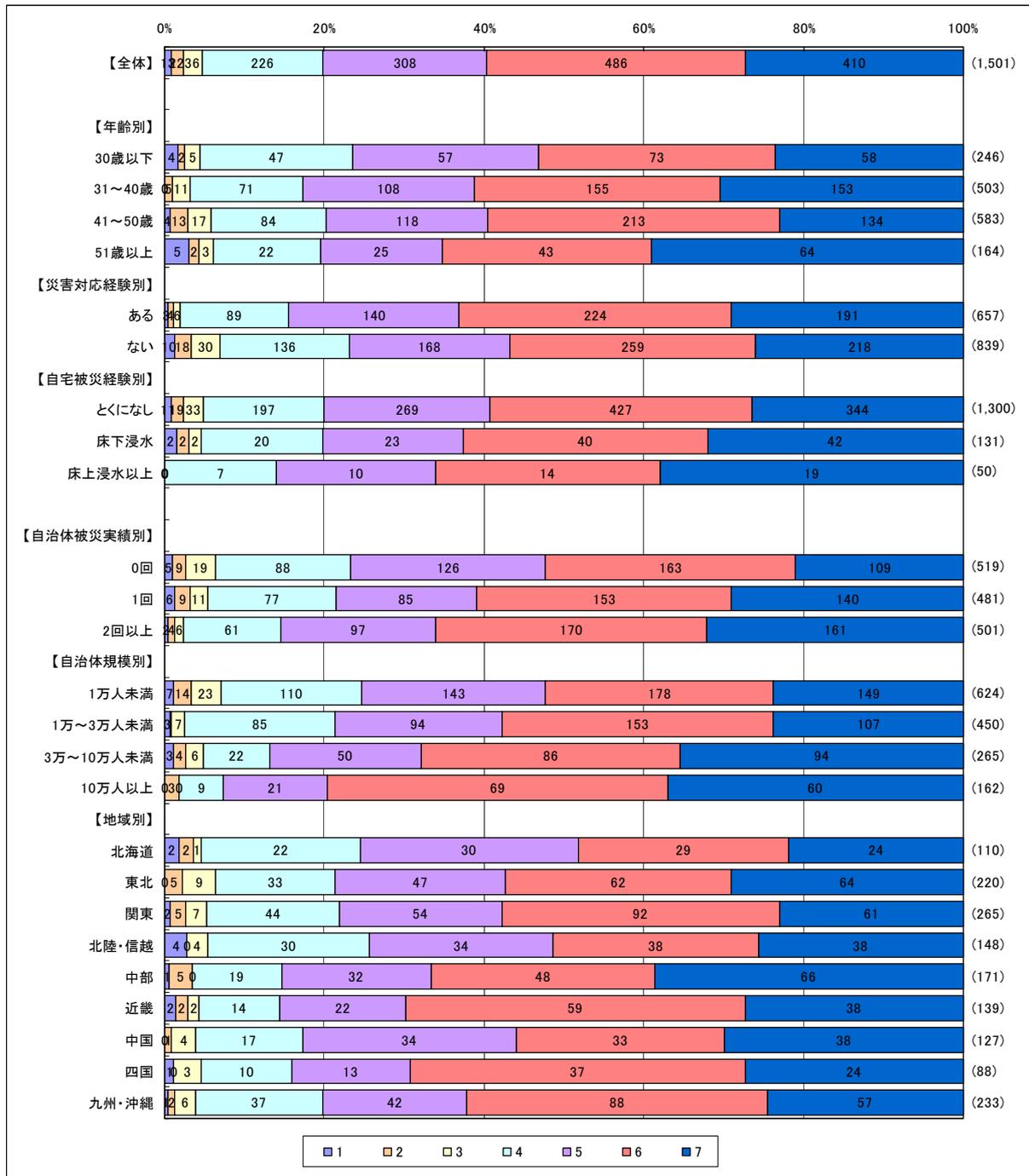
(10)指揮命令系統や避難勧告等の行動基準をマニュアルにして明確にしておくこと



(11)雨量や河川水位の観測情報収集設備の整備



(12) 自主防災組織などの住民組織の育成



## 10. 危機管理における今後の対策の必要性

### 10.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、危機管理担当部署の行政職員を対象とした内容である（危機管理担当部署対象調査票：問 12 に対応）。各設問項目について、「1 まったく必要ではない」から「7 非常に必要である」の 7 段階で尋ねている。表 10-1 に設問項目と回答の集計結果を示す。

#### 【設問内容】

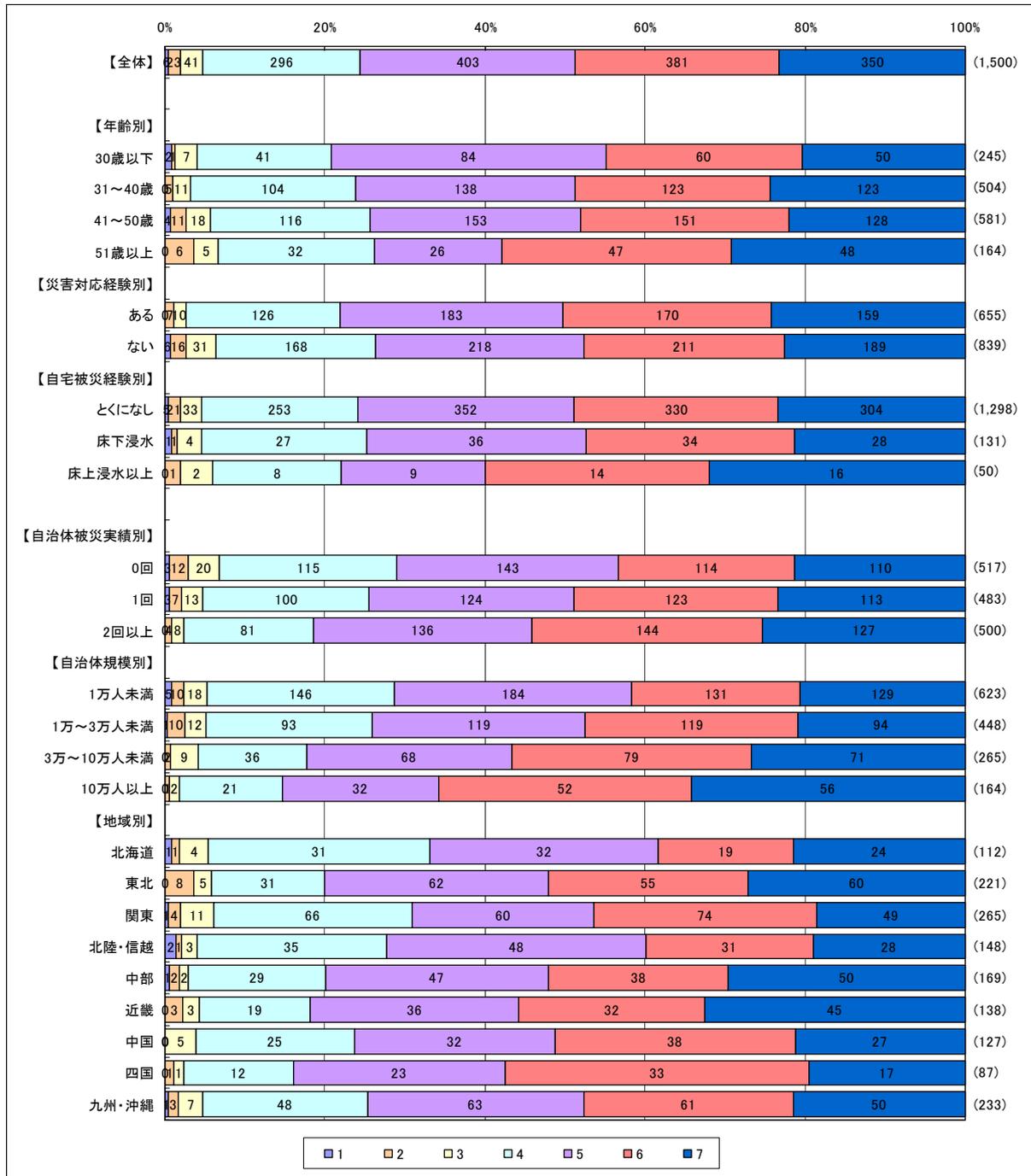
あなたの自治体にとって、以下の項目の洪水対策は、今後、どの程度取り組んでいく必要があると思いますか。(1)～(9)のそれぞれの項目について、「1 まったく必要ではない」から「7 非常に必要である」までの 7 段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を 1 つずつ選び、○印をつけてください。

表 10-1 危機管理における今後の対策の必要性に関する設問項目と集計結果

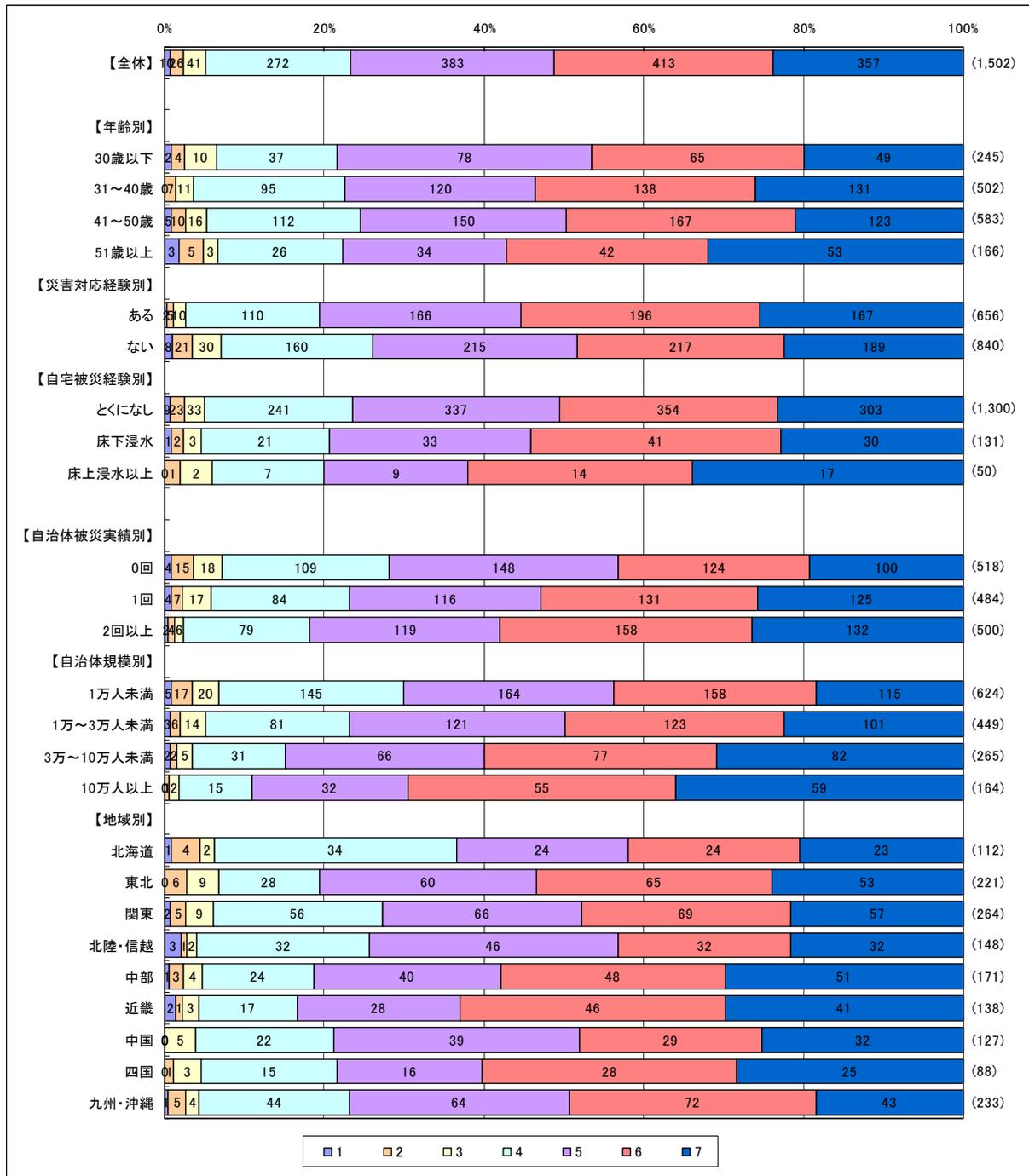
設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)住民に対する防災意識の啓蒙	5.41	1.24	1500
(2)水防団や自主防災組織などの育成	5.44	1.26	1502
(3)緊急時において水害対応にあたる組織間の連携強化	5.35	1.18	1498
(4)行政組織内の緊急時の対応マニュアルの作成と強化	5.43	1.22	1500
(5)雨量や河川水位観測施設の整備	5.16	1.36	1501
(6)被害シミュレーションなどによる洪水危険区域の把握	5.23	1.24	1497
(7)防災情報を知らせる情報伝達設備の強化	5.43	1.34	1500
(8)行政職員の危機管理能力の向上	5.50	1.16	1502
(9)住民に対する地域の洪水危険性の知識普及	5.38	1.20	1501

## 10.2 各設問項目の属性別集計結果

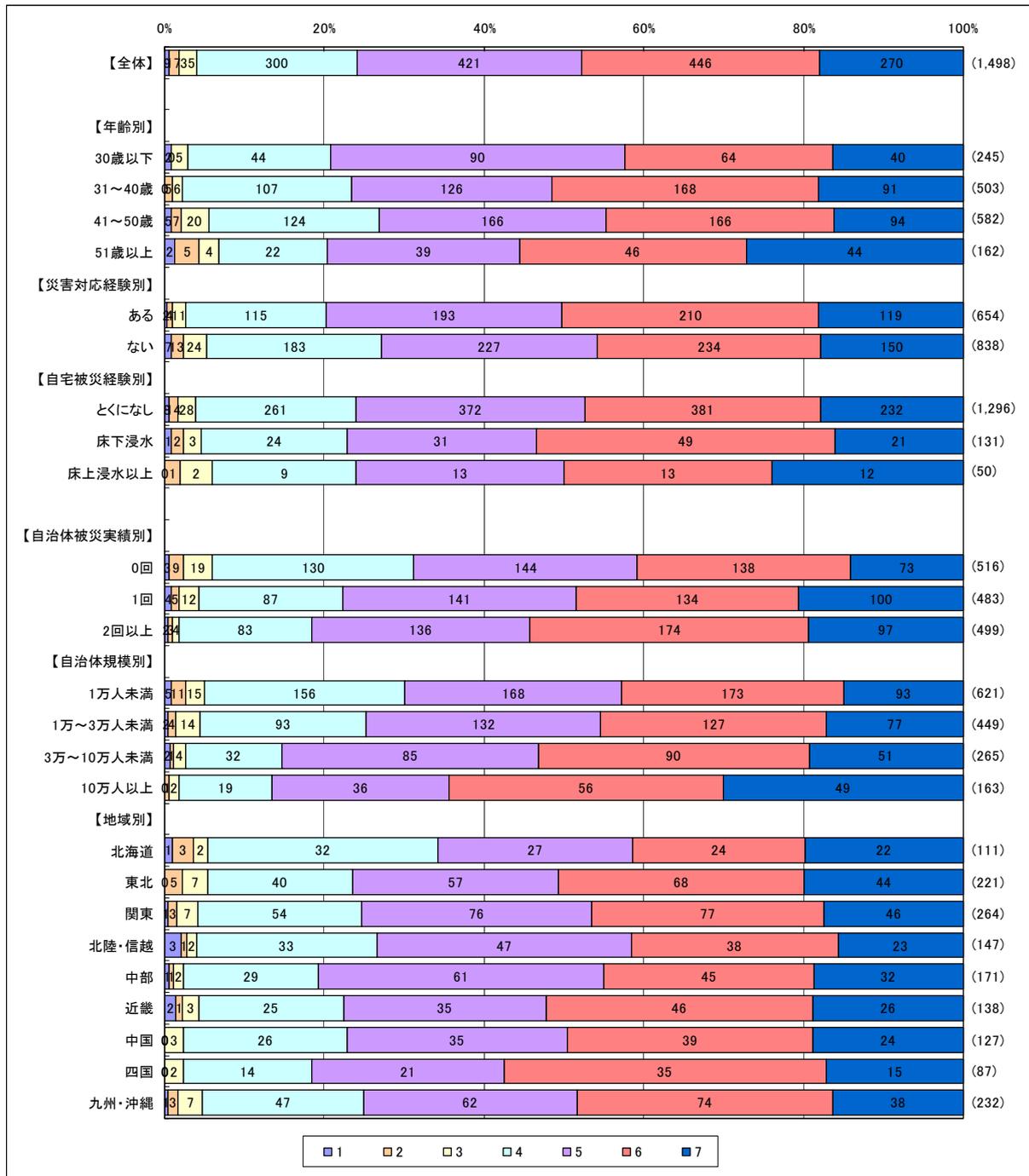
### (1)住民に対する防災意識の啓蒙



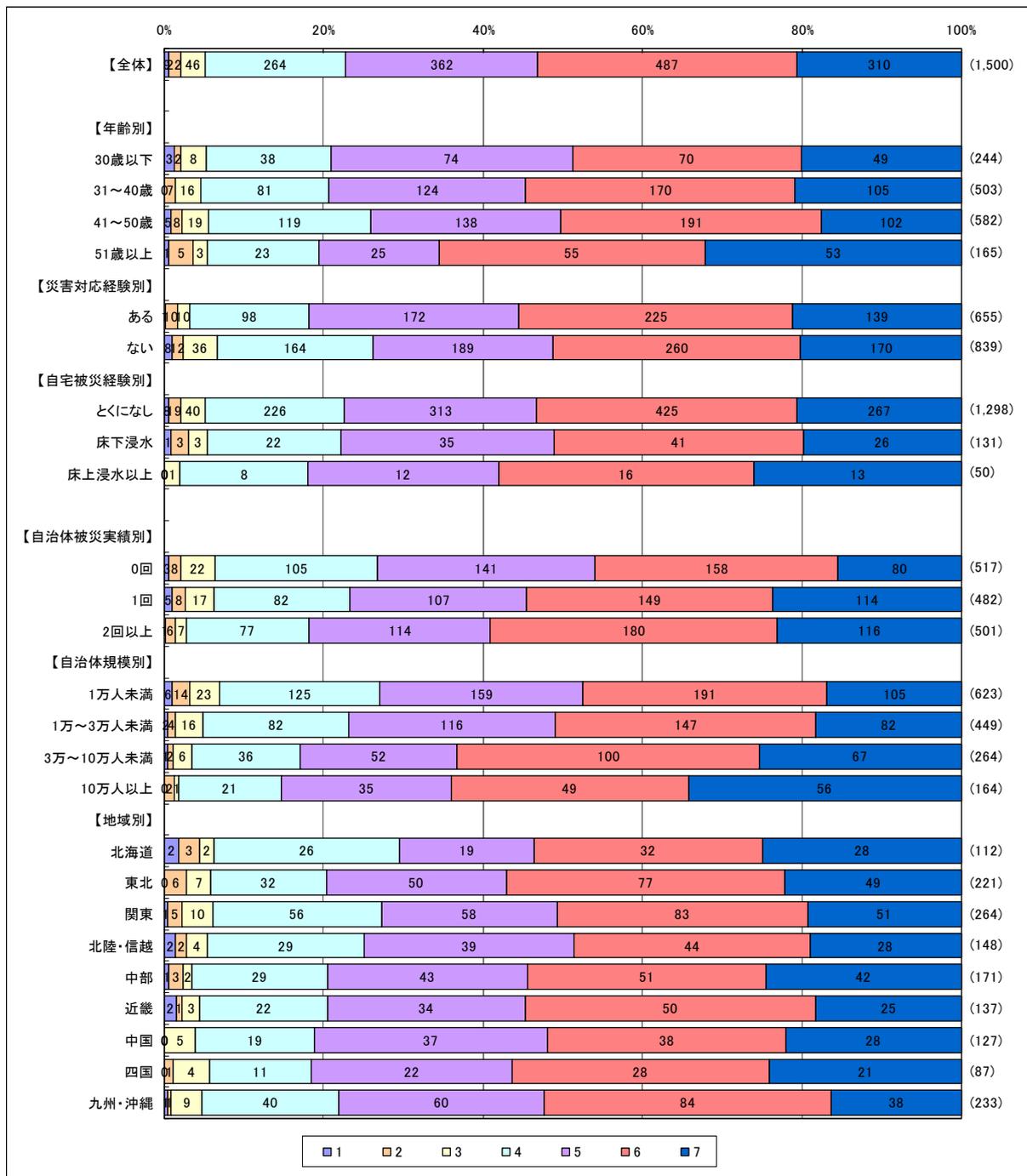
(2)水防団や自主防災組織などの育成



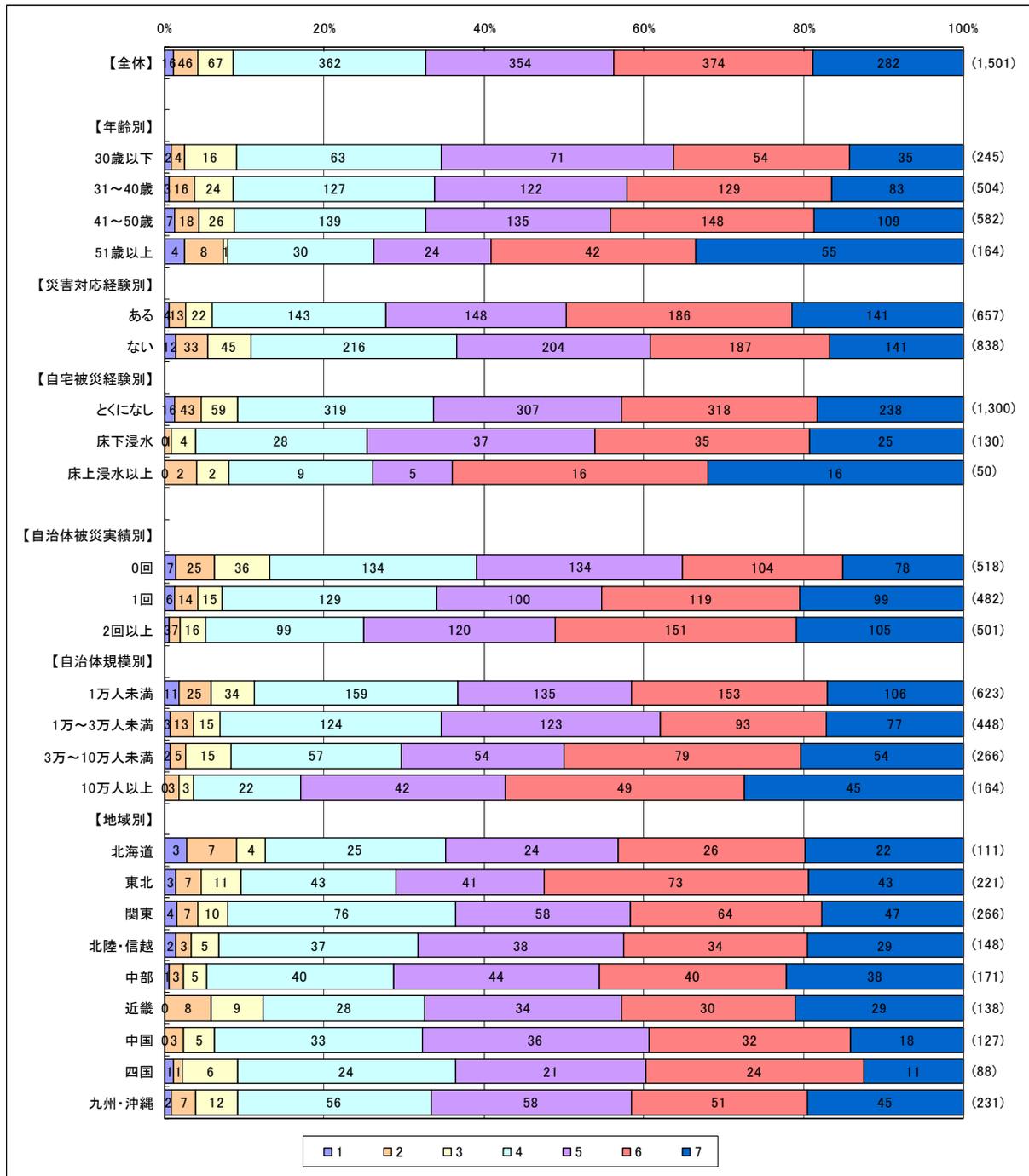
(3)緊急時において水害対応にあたる組織間の連携強化



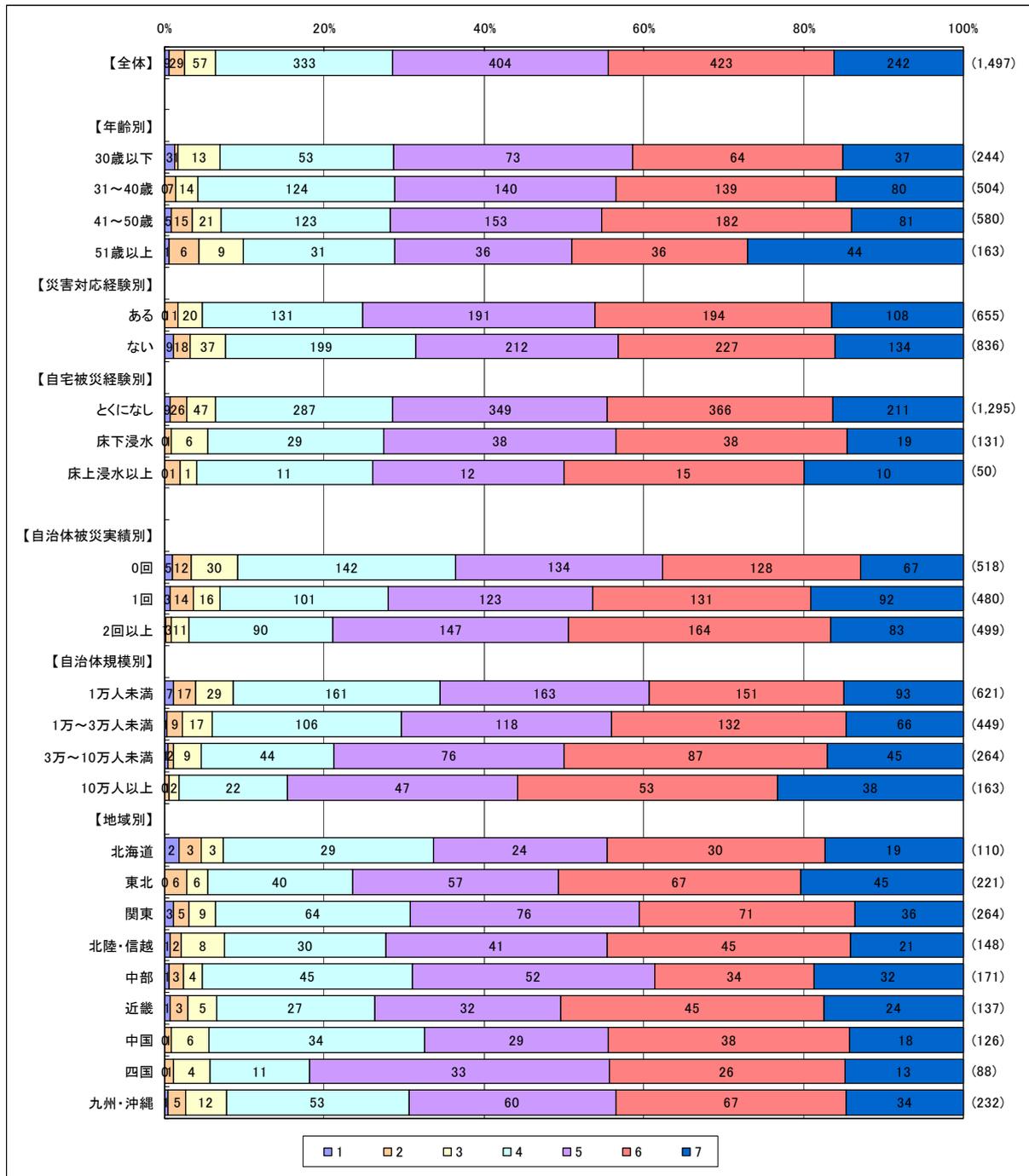
(4)行政組織内の緊急時の対応マニュアルの作成と強化



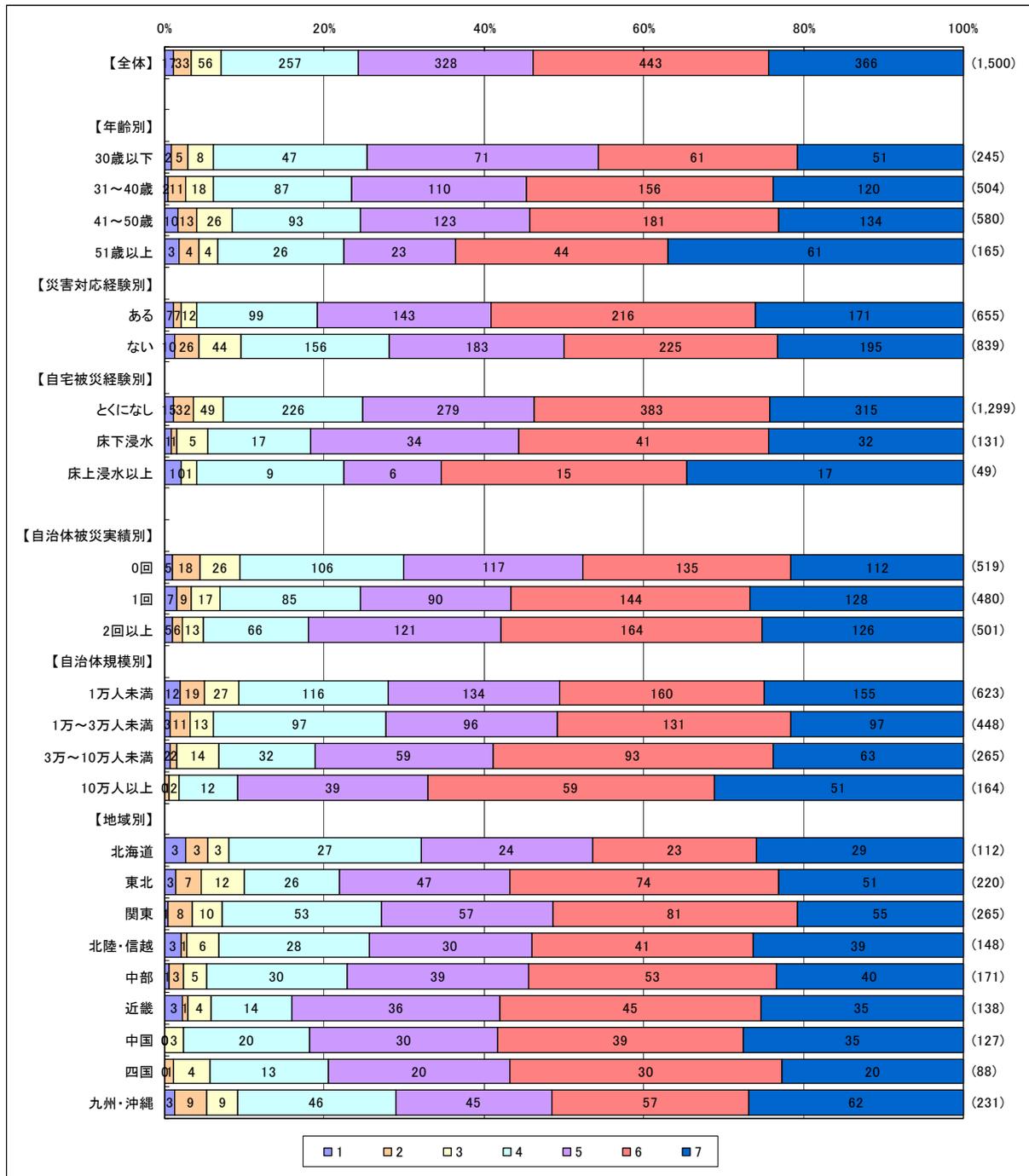
(5)雨量や河川水位観測施設の整備



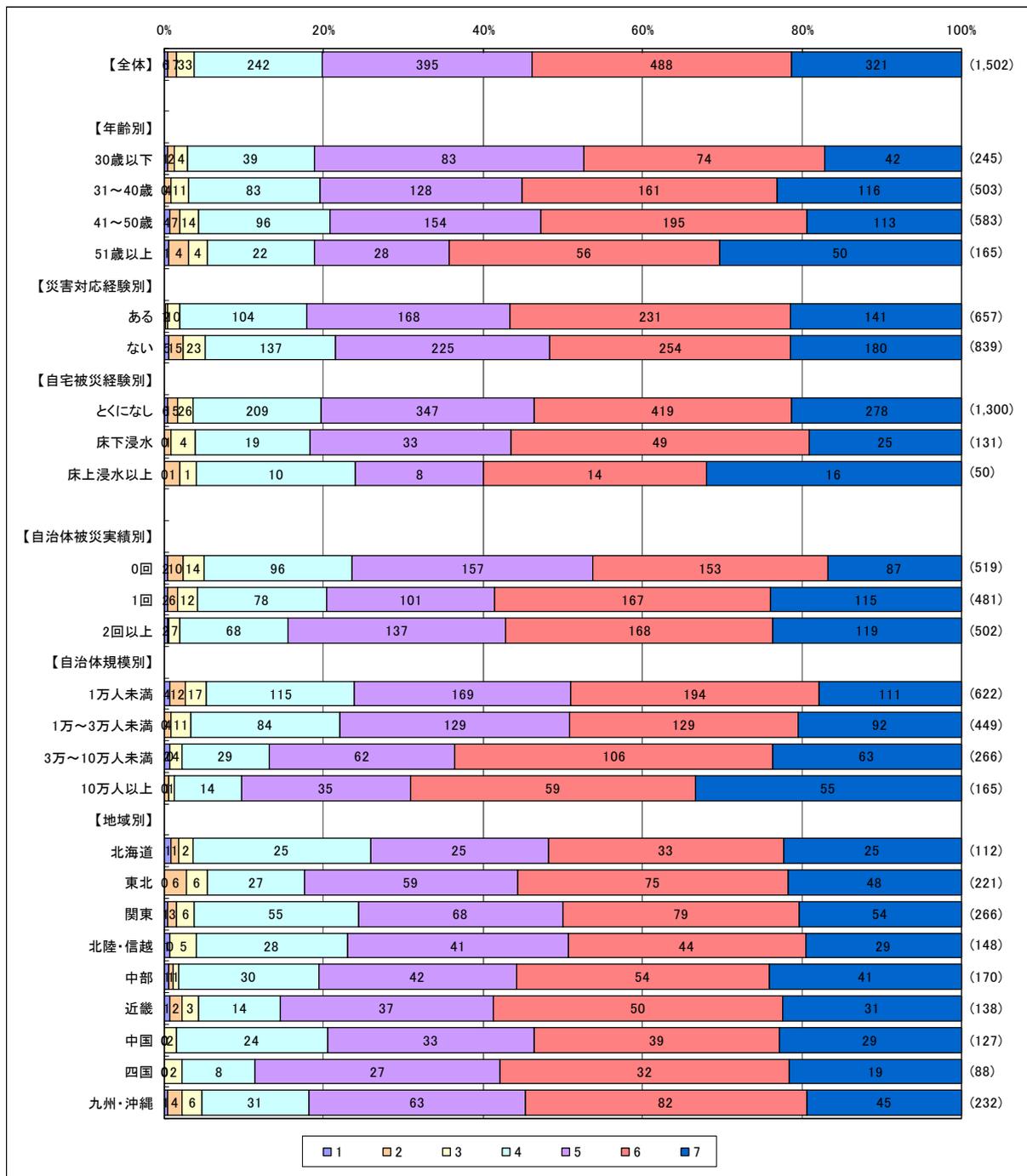
(6)被害シミュレーションなどによる洪水危険区域の把握



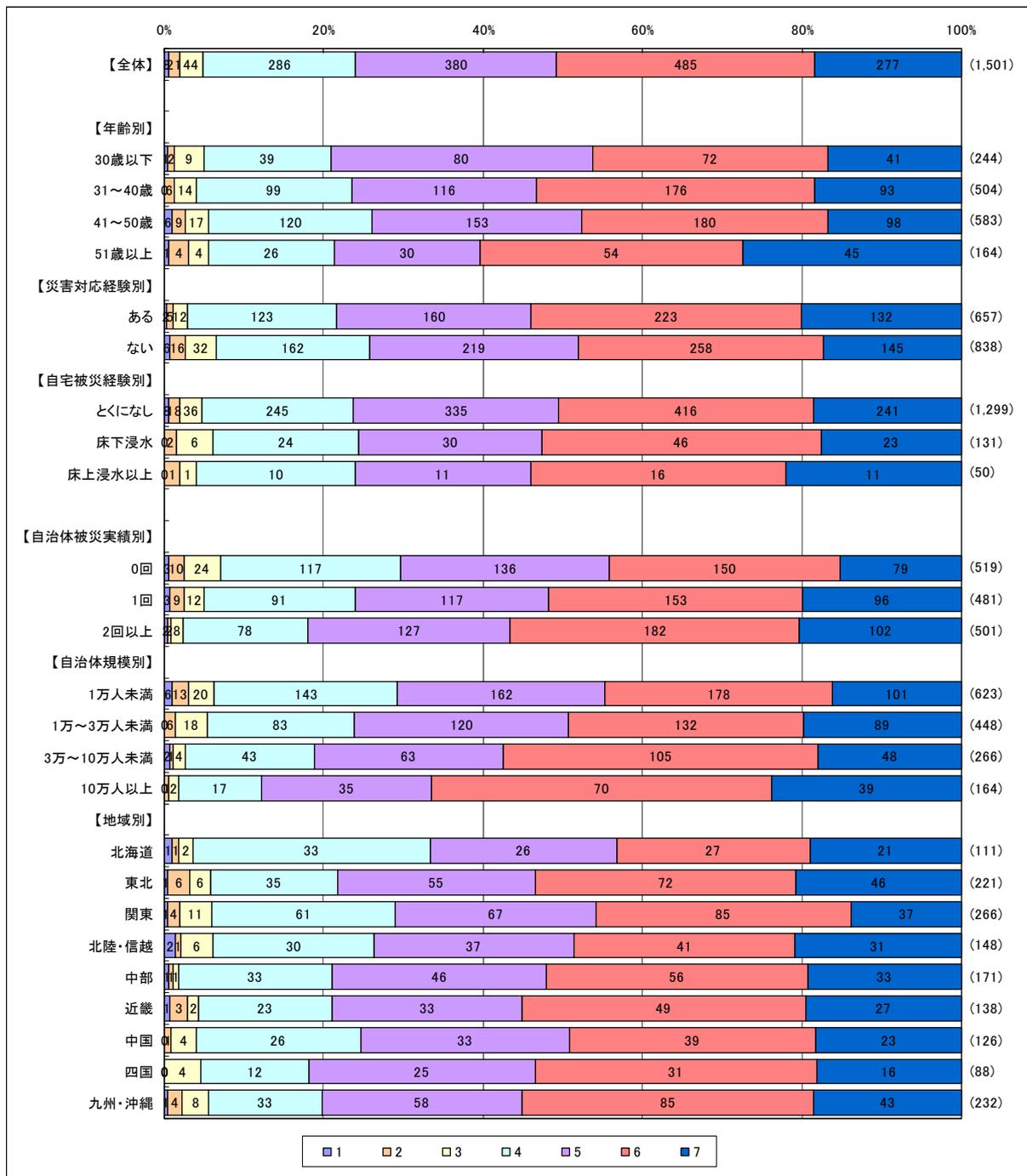
(7)防災情報を知らせる情報伝達設備の強化



(8)行政職員の危機管理能力の向上



(9)住民に対する地域の洪水危険性の知識普及



## 1 1. 危機管理対策における所属組織の措置、他組織との連携体制、住民の防災対策

### 11.1 設問内容の構成と集計結果

設問項目は、危機管理担当部署の行政職員を対象とした内容である（危機管理担当部署対象調査票：問 17 に対応）。各設問項目について、「1 まったくそう思わない」から「5 非常にそう思う」の5段階で尋ねている。表 11-1 に設問項目と回答の集計結果を示す。

<p><b>【設問内容】</b></p> <p>以下の項目についてどのように思われますか。（1）～（16）のそれぞれの項目について、「1 まったくそう思わない」から「5 非常にそう思う」までの5段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。</p>
--

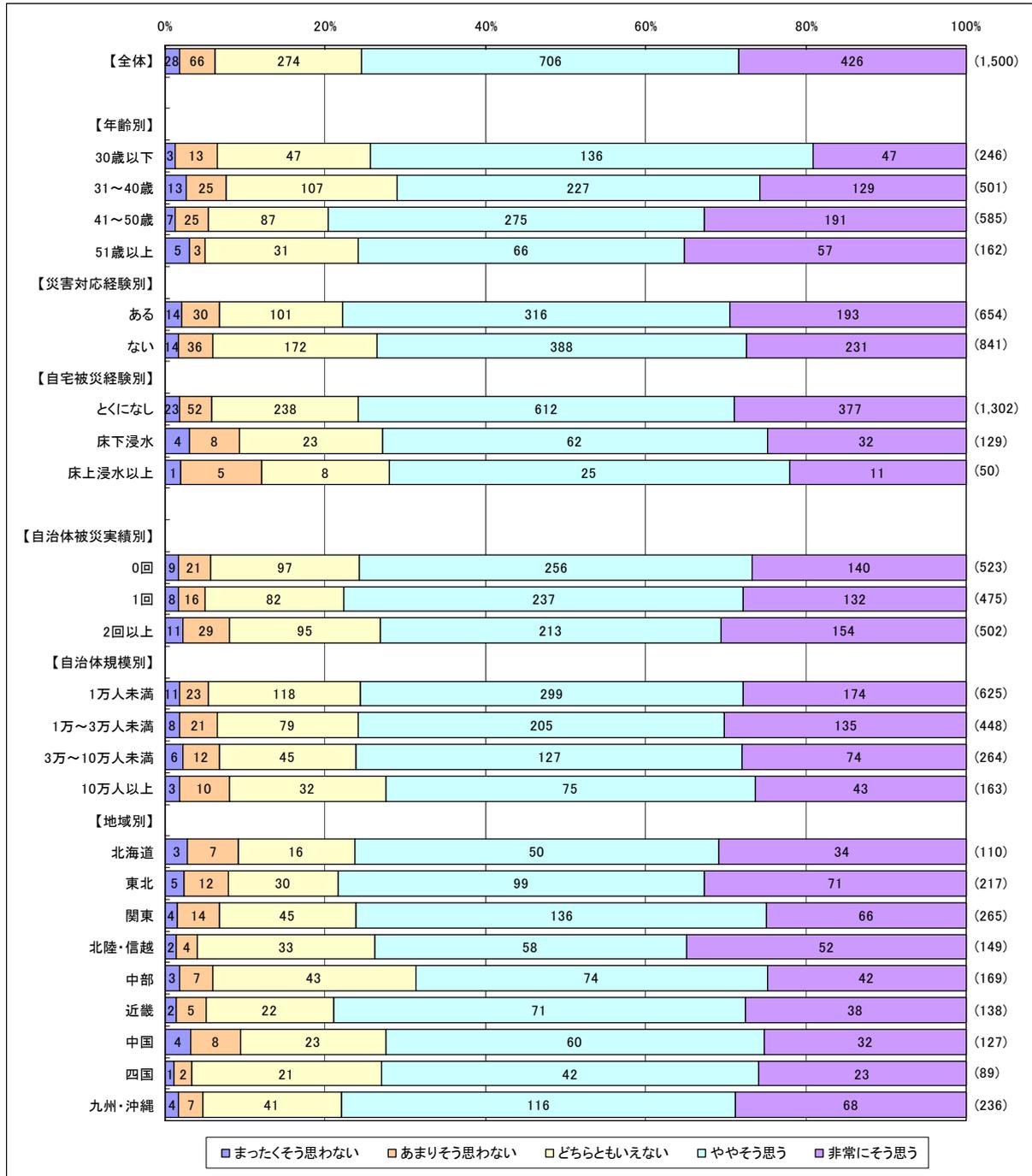
表 11-1 危機管理における所属組織の措置、他組織との連携体制、住民の防災対策に関する設問項目と集計結果

設問項目	平均値	標準偏差	度数
(1)危機管理上、一部地域を洪水等から守るために、公的資金で堤防等を築くことは公平な措置だ	3.96	0.90	1500
(2)緊急時、行政側が自力避難の困難な高齢者、障害者を優先的に保護することは、危機管理上公平な措置だ	4.32	0.79	1506
(3)広域に被害が及ぶ災害時において、相互応援協定は効果を発揮する	4.10	0.88	1502
(4)災害時において、企業側の支援を得られる体制は十分に確立されている	2.67	0.94	1501
(5)災害時に他機関との連携がうまくいくように、連携体制の確認を頻繁に実施している	2.66	0.88	1504
(6)緊急時の支援を約束している地域との被害想定のみすり合わせは、十分にできている	2.37	0.81	1499
(7)我が組織の危機管理体制は、地域の安全を守るうえで満足できるレベルに達している	2.57	0.80	1502
(8)地域住民のほとんどが、防災対策を実施している	2.22	0.71	1505
(9)もし、防災政策について住民と話し合うならば住民は誠実に対応してくれる	3.17	0.83	1501
(10)平常時の防災活動から緊急時の支援活動に至るまでNPOの活動に期待する部分は大きい	3.18	0.87	1502
(11)災害による被害を軽減するには、住民の自己責任に基づく事前対策が不可欠である	4.12	0.77	1501
(12)地域住民は、堤防及び治水ダムの建設を望んでいる	2.87	0.94	1494
(13)地域防災に関わる政策的決定を下す際には、事前に住民への説明を十分におこなうようにしている	3.29	0.86	1501
(14)防災対策を実施する時には、住民の声に耳を傾けることについては積極的に取り組んでいる	3.37	0.81	1503
(15)地域と地域が広域連携をとるにあたって、国は連携のあり方に関する全体像を示すべきだ	3.52	0.79	1501
(16)現時点では、洪水対策よりも地震対策を優先させる方向にある	3.50	1.01	1501

## 11.2 各設問項目の属性別集計結果

### (1) 堤防建設の公平性

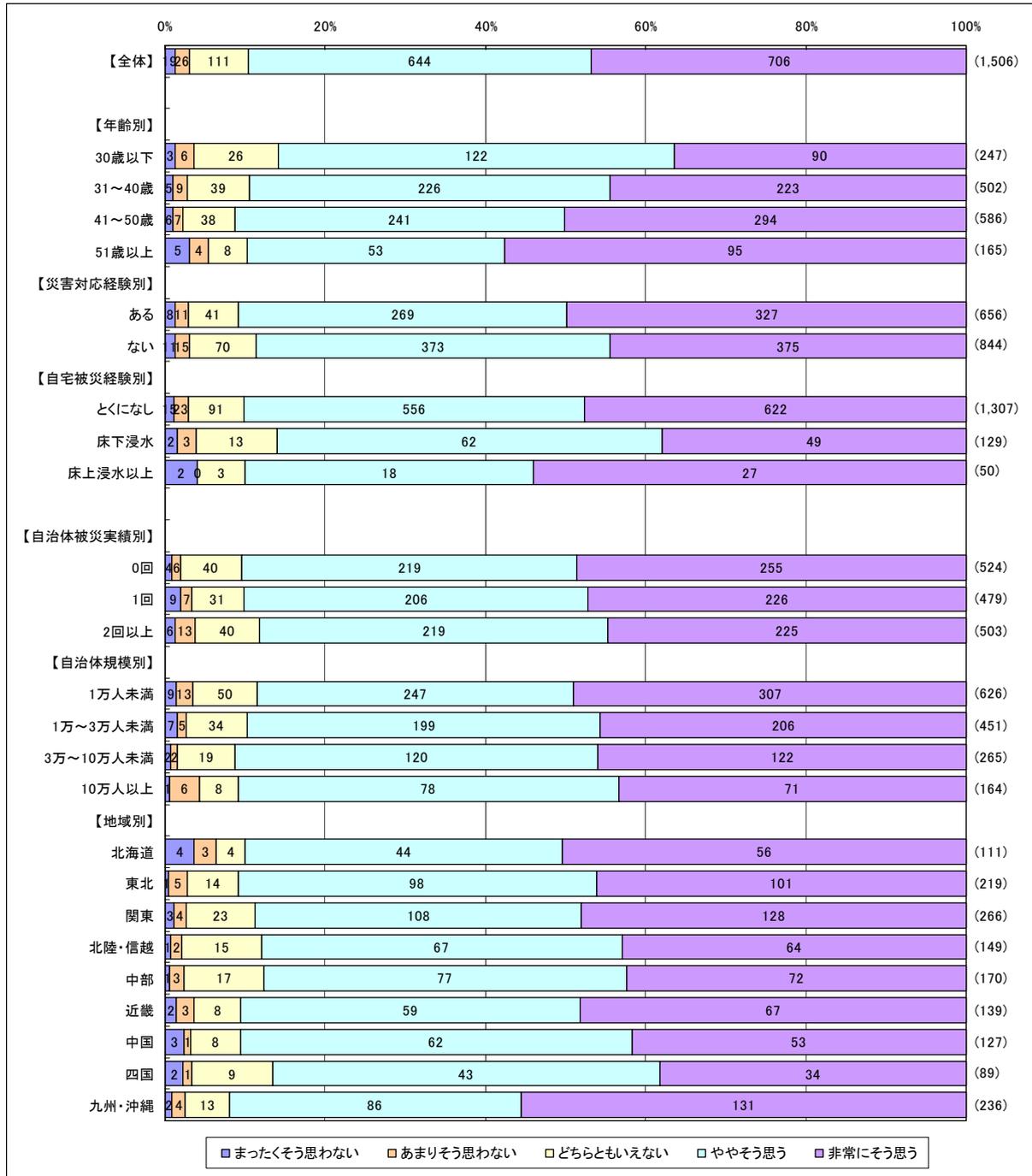
【設問項目】  
危機管理上、一部地域を洪水等から守るために、公的資金で堤防等を築くことは公平な措置だ



(2)災害弱者を優先することの公平性

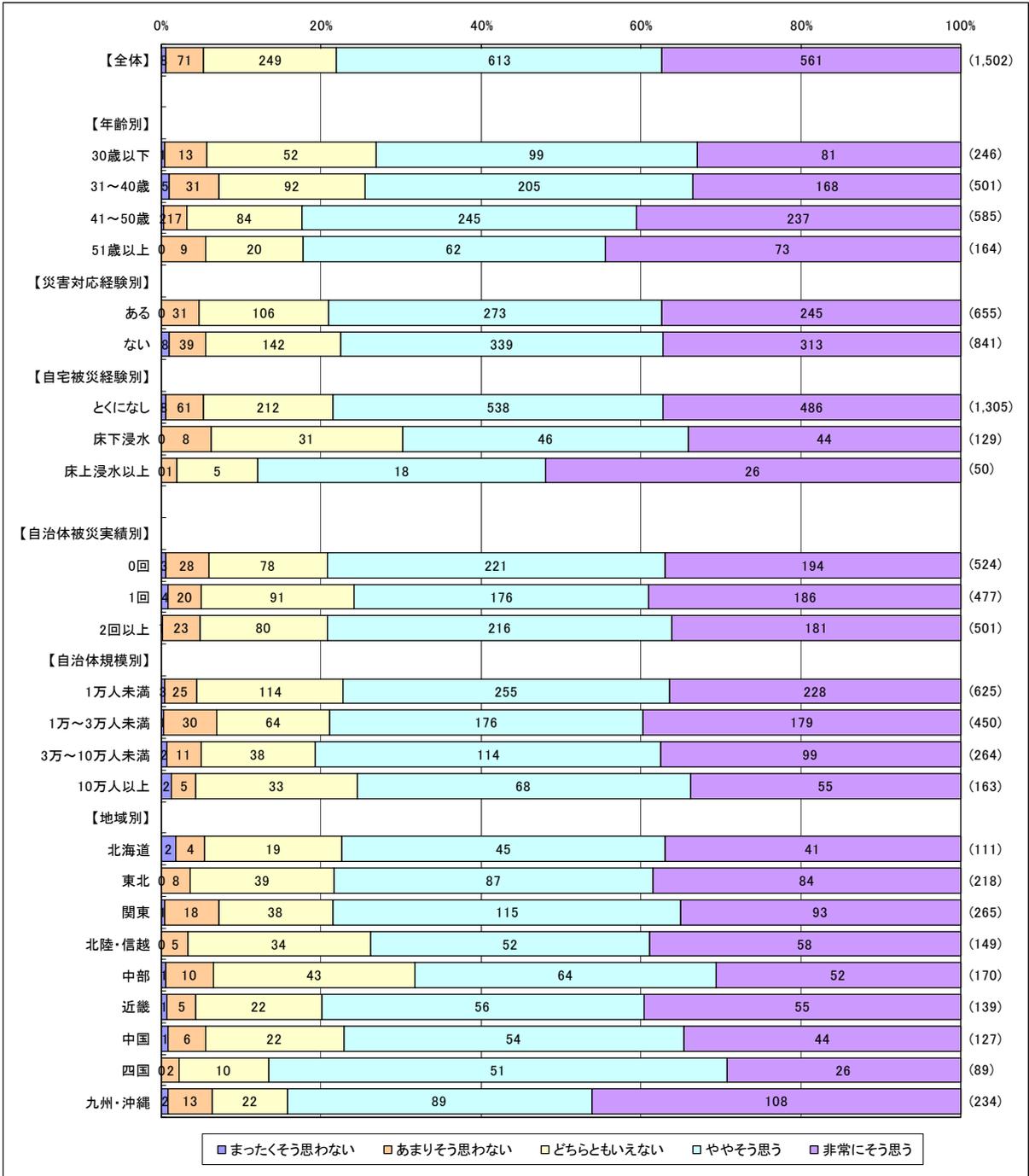
【設問項目】

緊急時、行政側が自力避難の困難な高齢者、障害者を優先的に保護することは、危機管理上公平な措置だ



(3)相互応援協定の効果

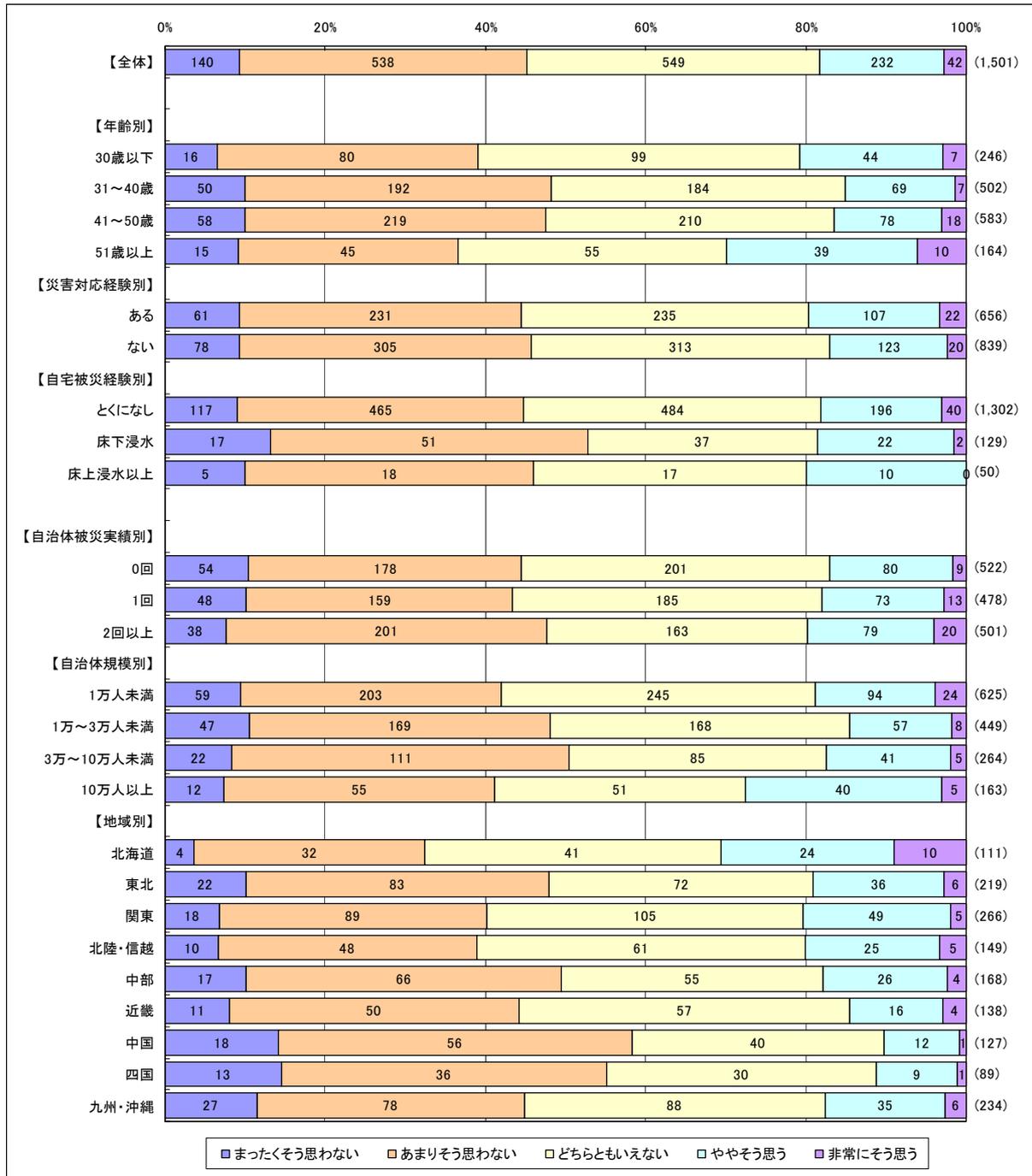
【設問項目】  
 広域に被害が及ぶ災害時において、相互応援協定は効果を発揮する



(4)災害時における企業の支援体制

【設問項目】

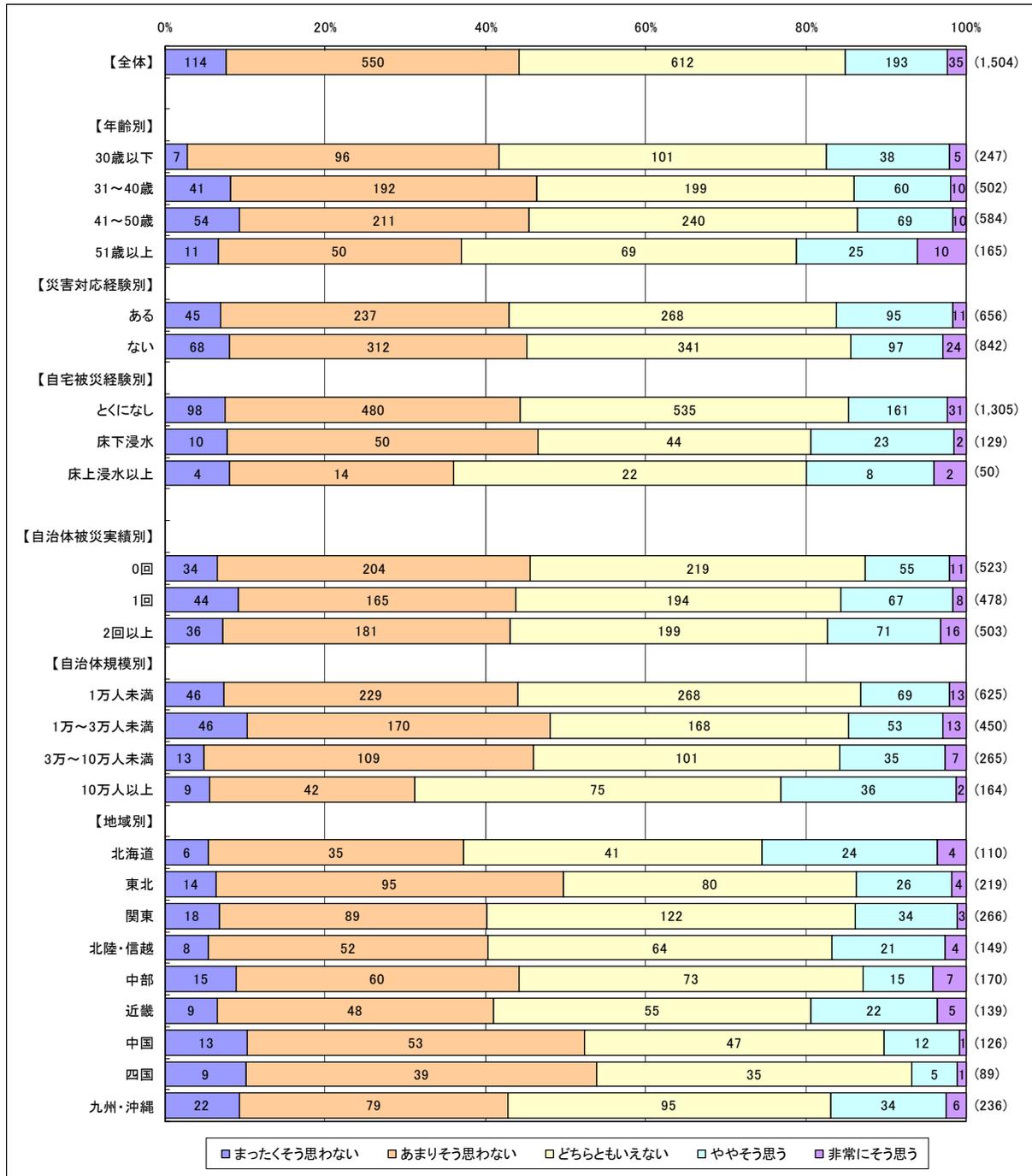
災害時において、企業側の支援を得られる体制は十分に確立されている



(5)他機関との連携体制

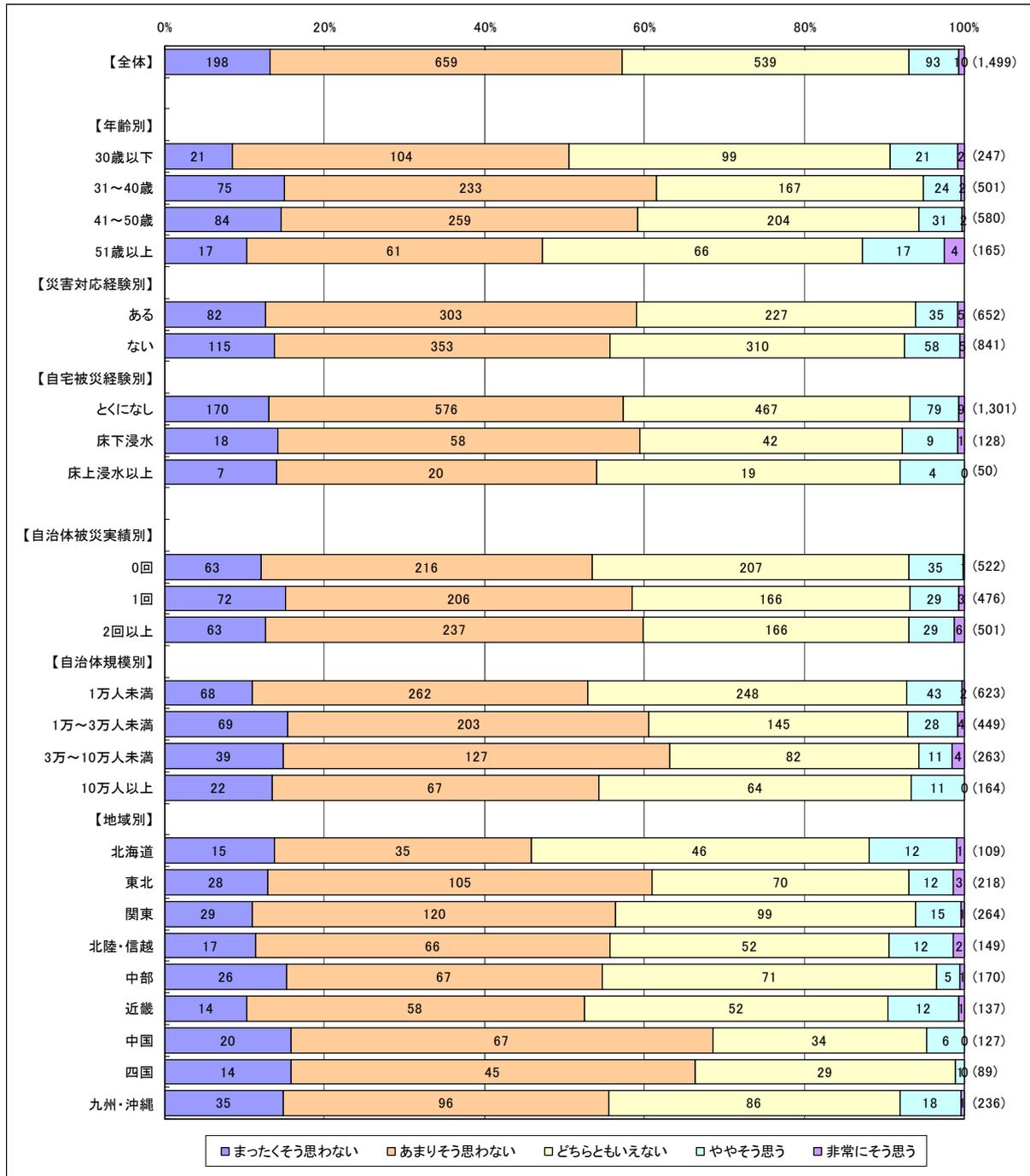
【設問項目】

災害時に他機関との連携がうまくいくように、連携体制の確認を頻繁に実施している



(6)緊急時の支援を約束している地域とのすり合わせ

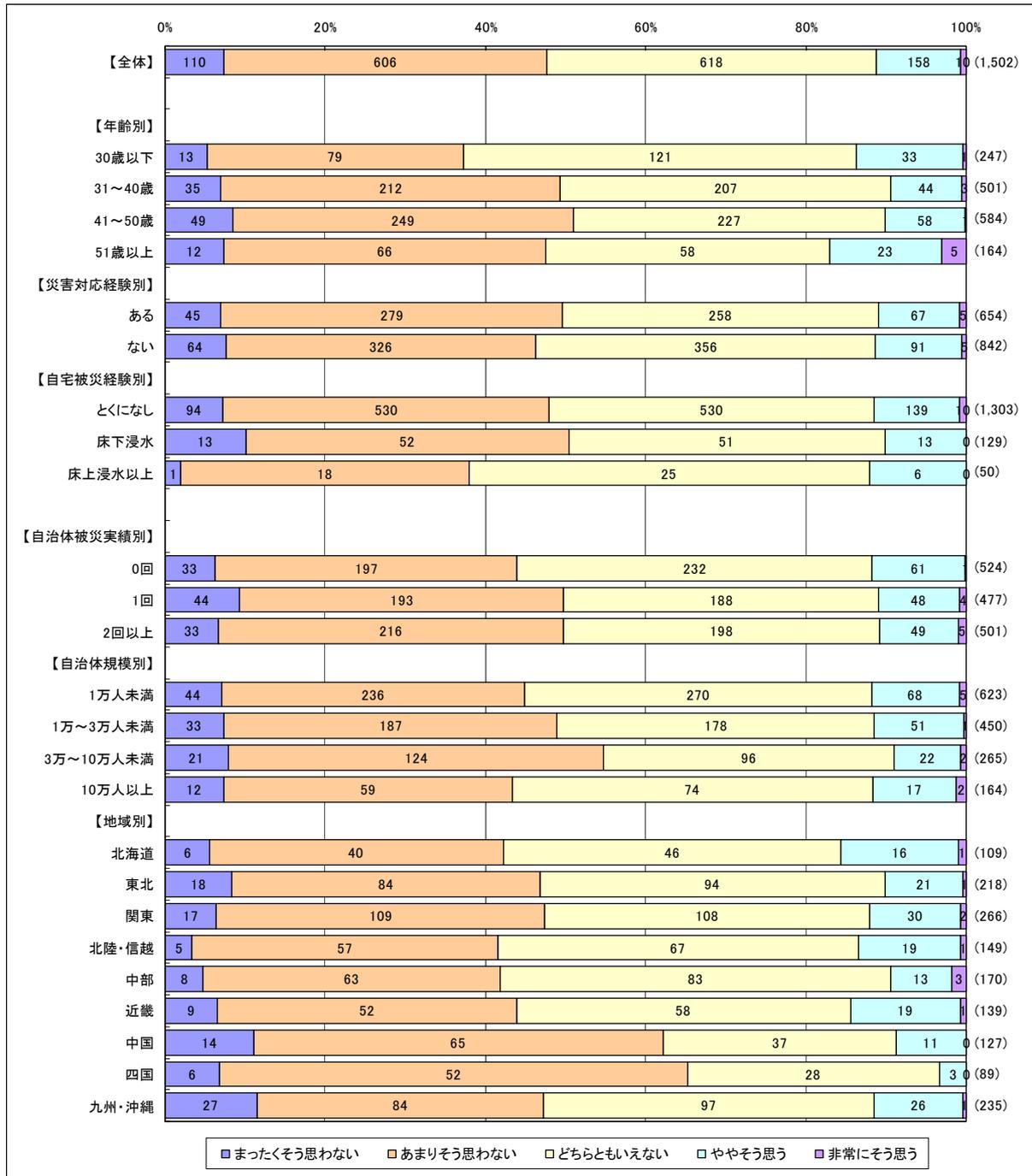
【設問項目】  
緊急時の支援を約束している地域との被害想定とのすり合わせは、十分にできている



(7)危機管理体制の満足度

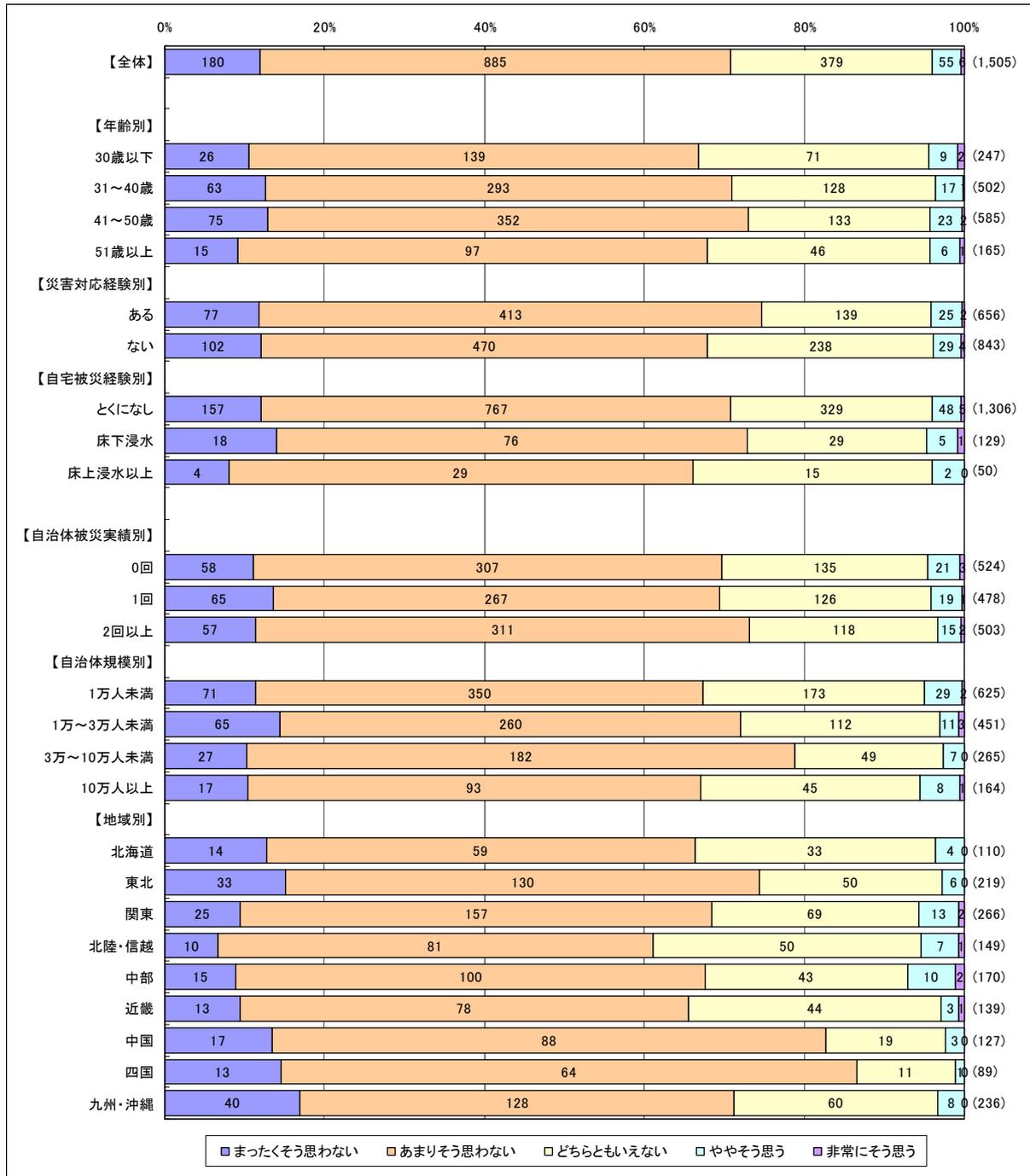
【設問項目】

我が組織の危機管理体制は、地域の安全を守るうえで満足できるレベルに達している



(8)地域住民の防災対策

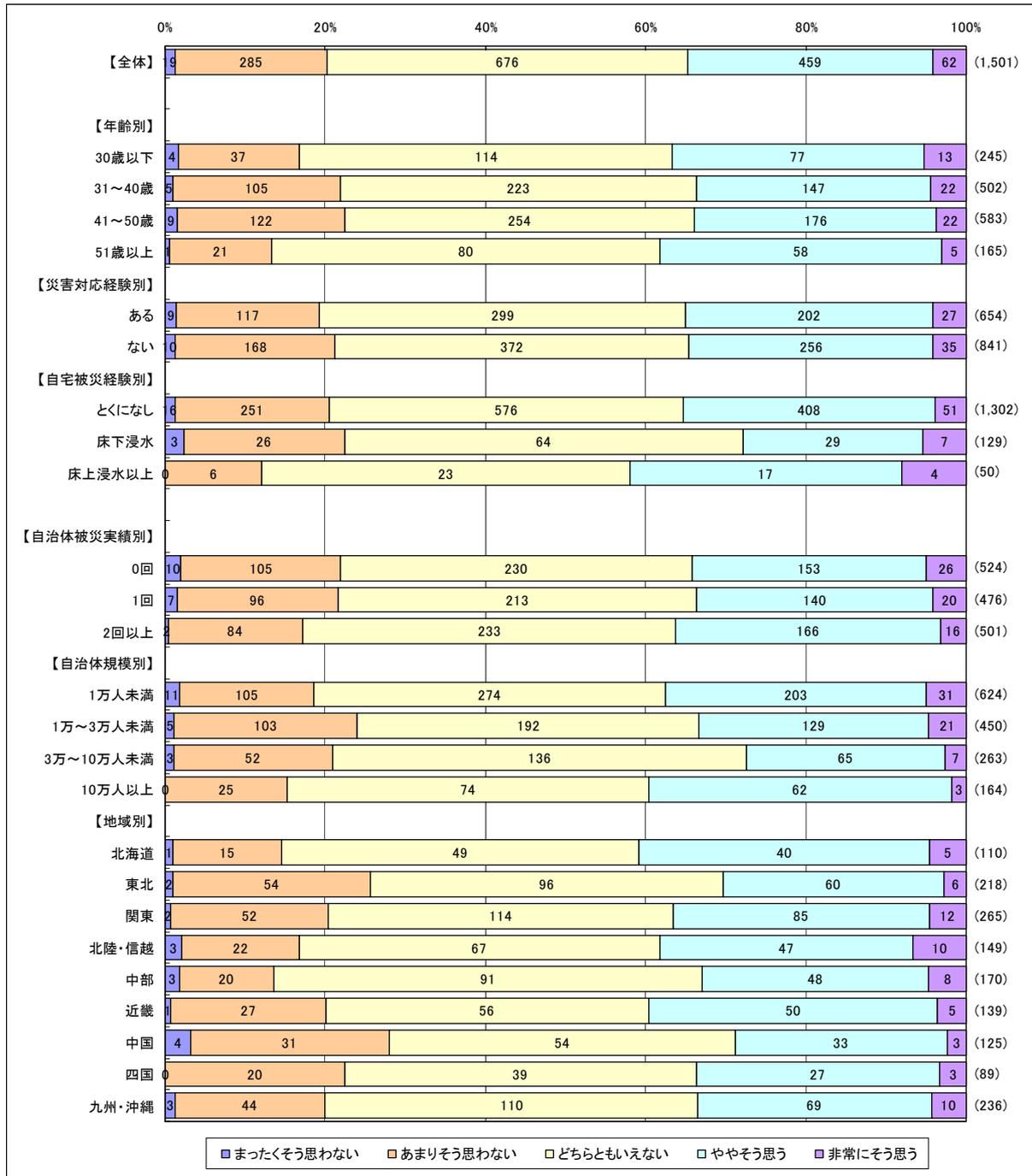
【設問項目】  
地域住民のほとんどが、防災対策を実施している



(9)防災政策に関する住民の対応

【設問項目】

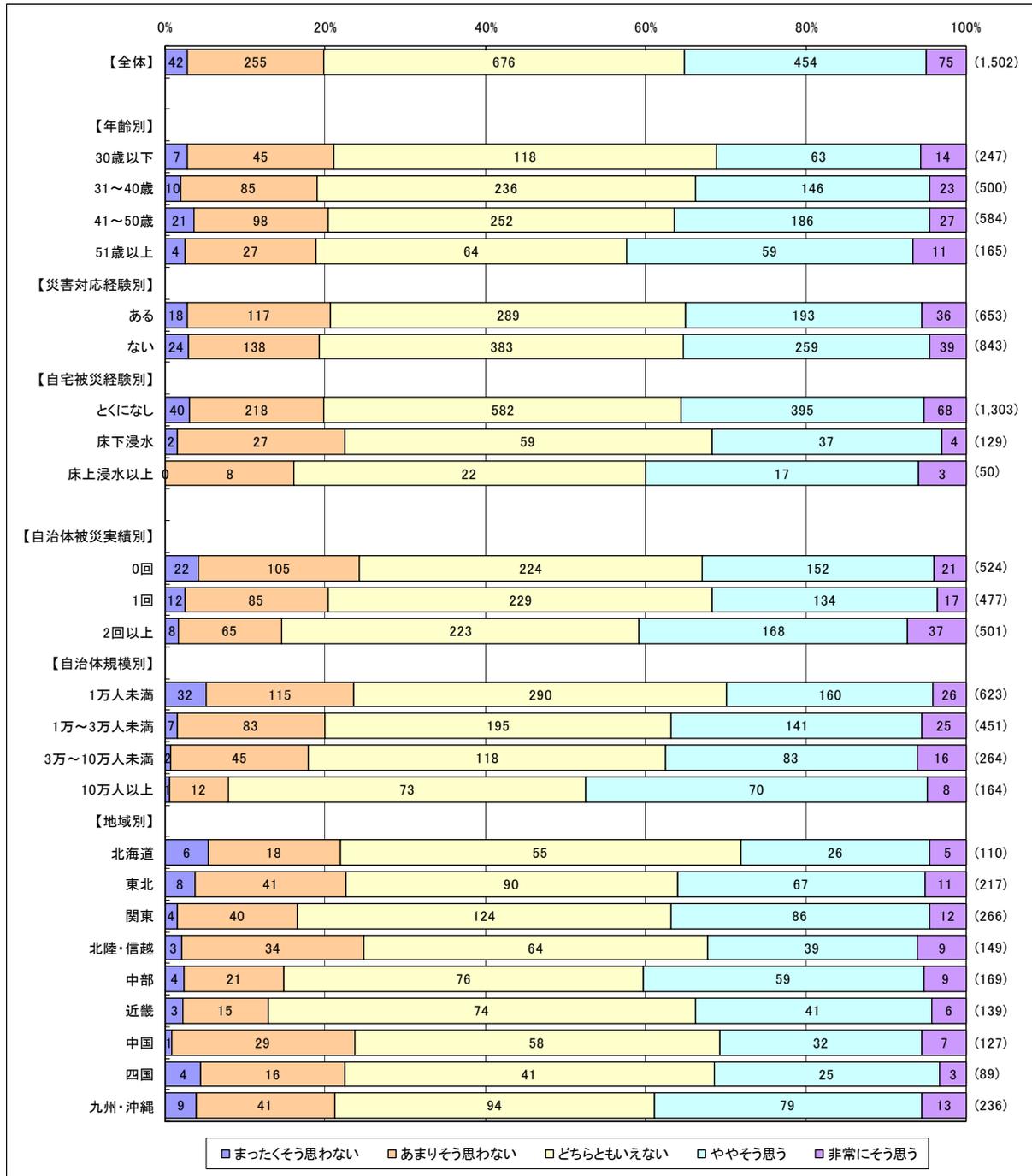
もし、防災政策について住民と話し合うならば住民は誠実に対応してくれる



(10)NPO 活動に対する期待度

【設問項目】

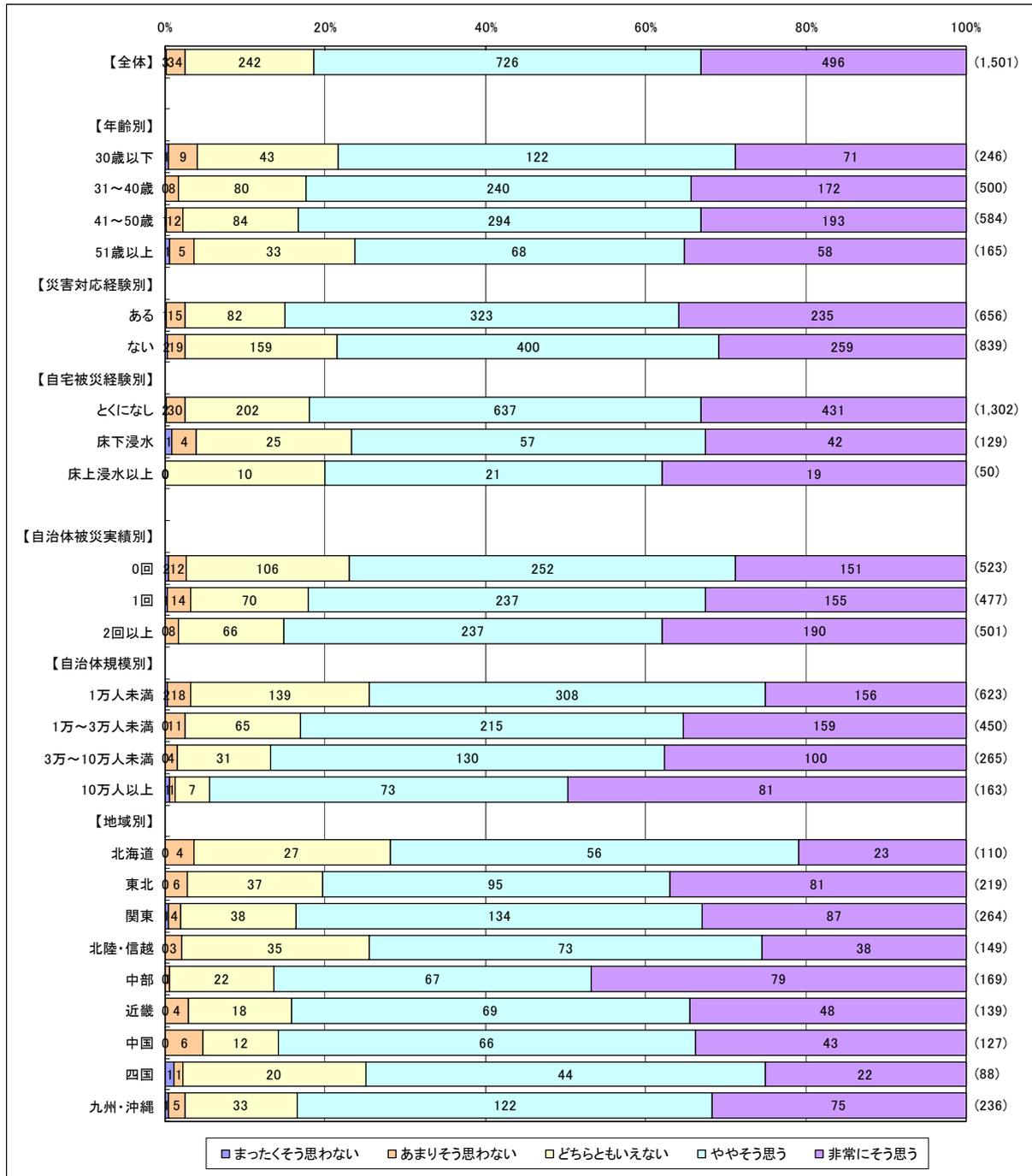
平常時の防災活動から緊急時の支援活動に至るまでNPOの活動に期待する部分は大きい



(11)住民の事前対策の必要性

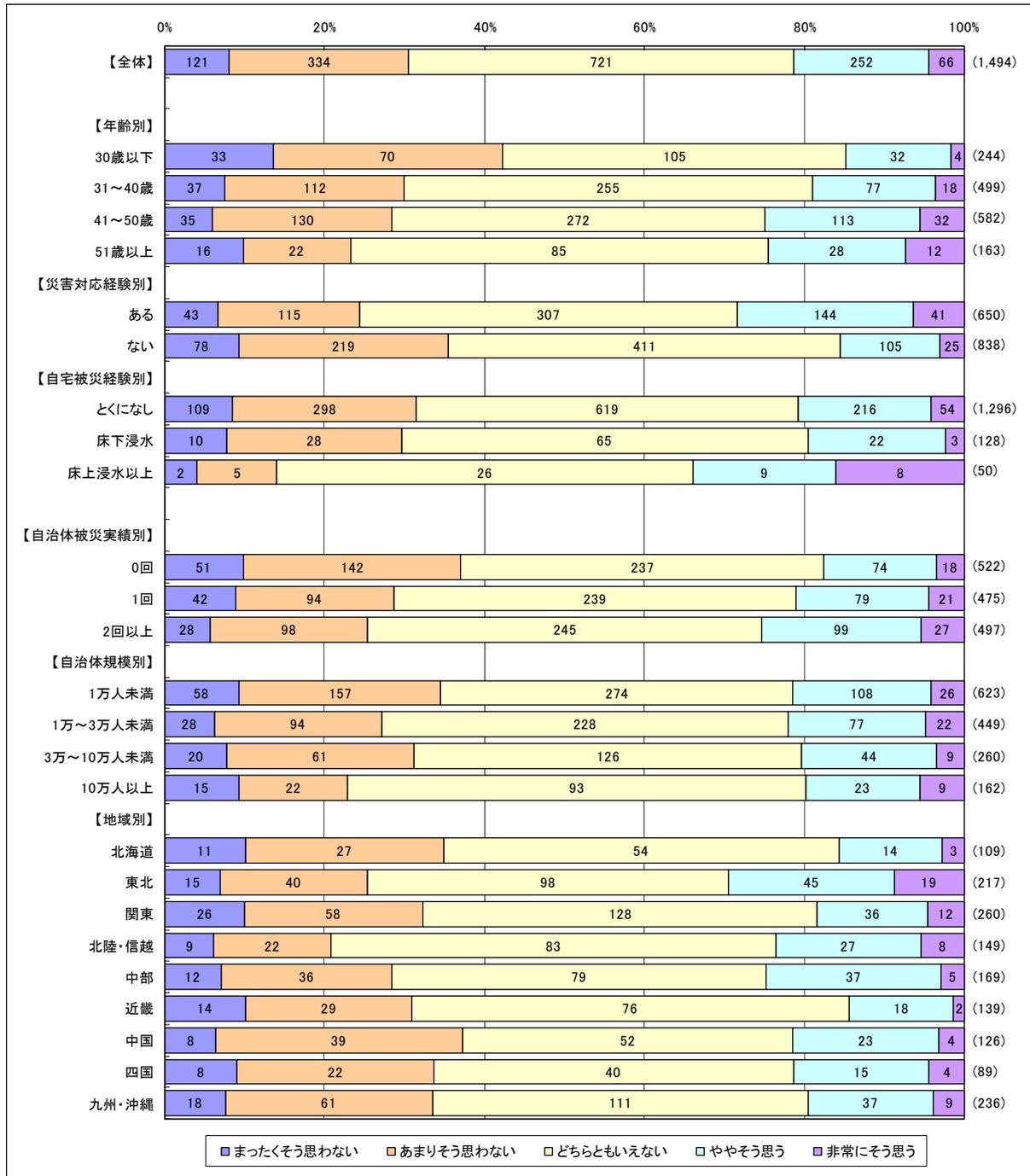
【設問項目】

災害による被害を軽減するには、住民の自己責任に基づく事前対策が不可欠である



(12)地域住民の治水施設に対する要望

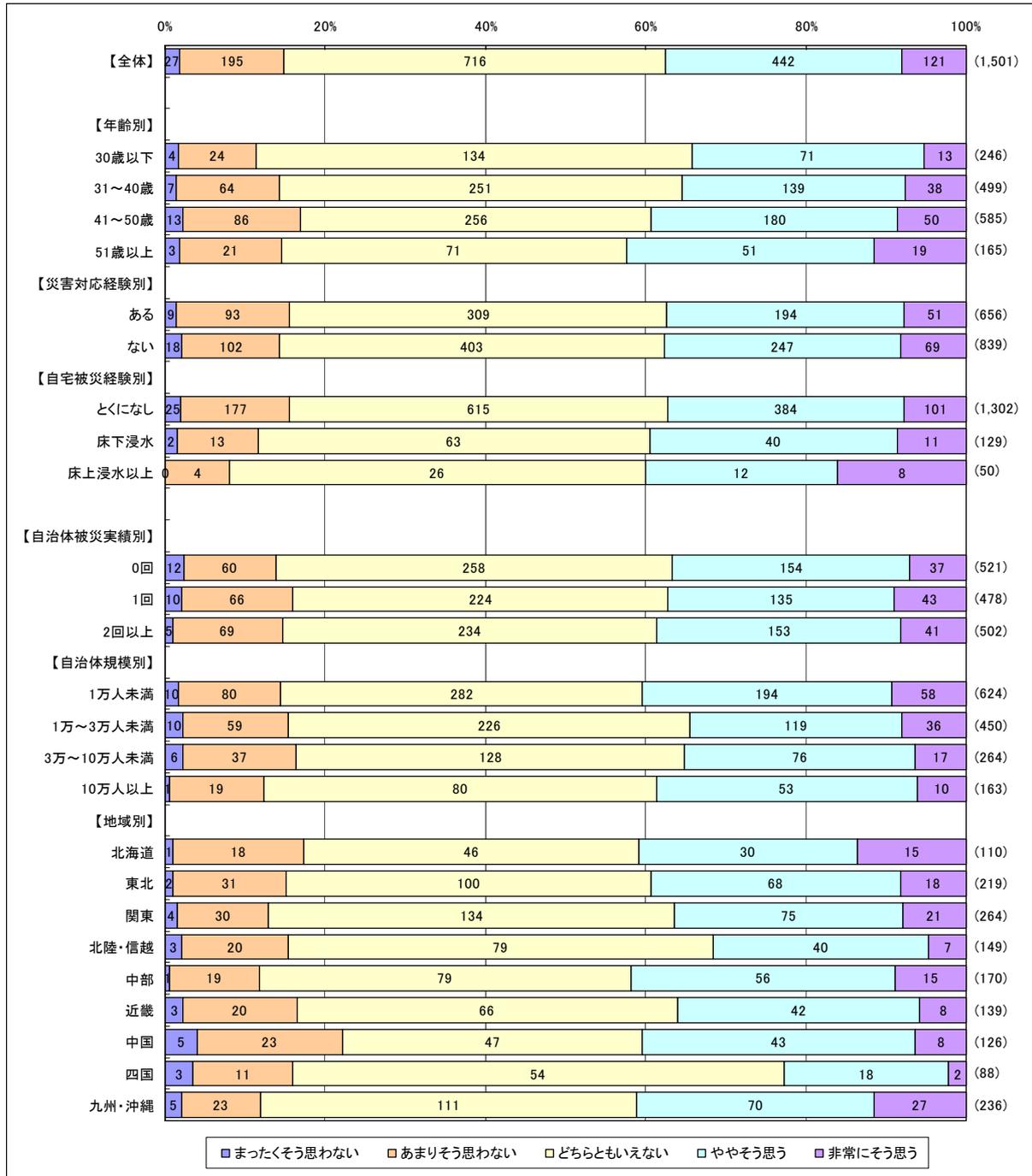
【設問項目】  
 地域住民は、堤防及び治水ダムの建設を望んでいる



(13)防災に関する政策的決定の住民への説明

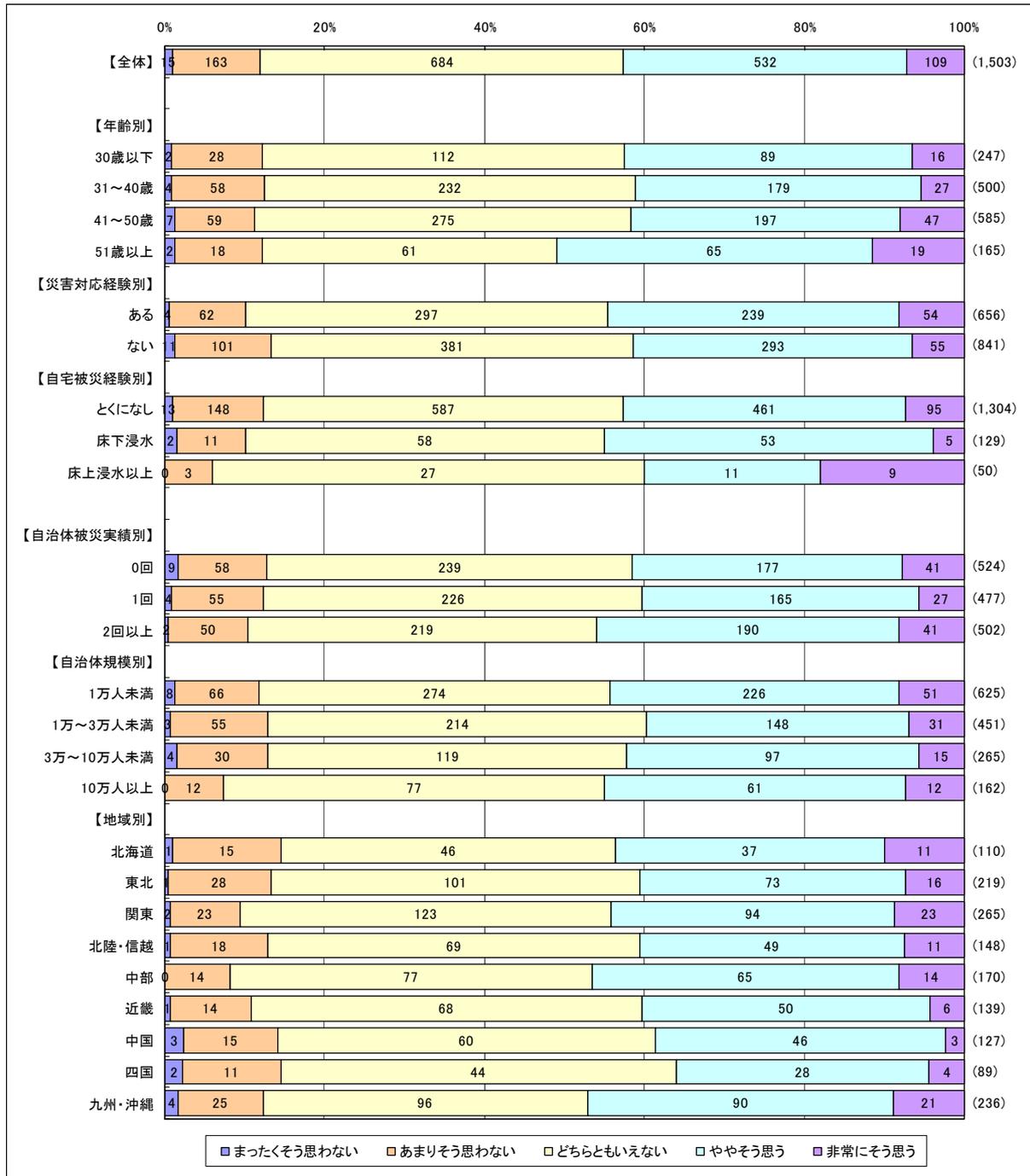
【設問項目】

地域防災に関わる政策的決定を下す際には、事前に住民への説明を十分におこなうようにしている



(14)住民の意向に関する情報収集

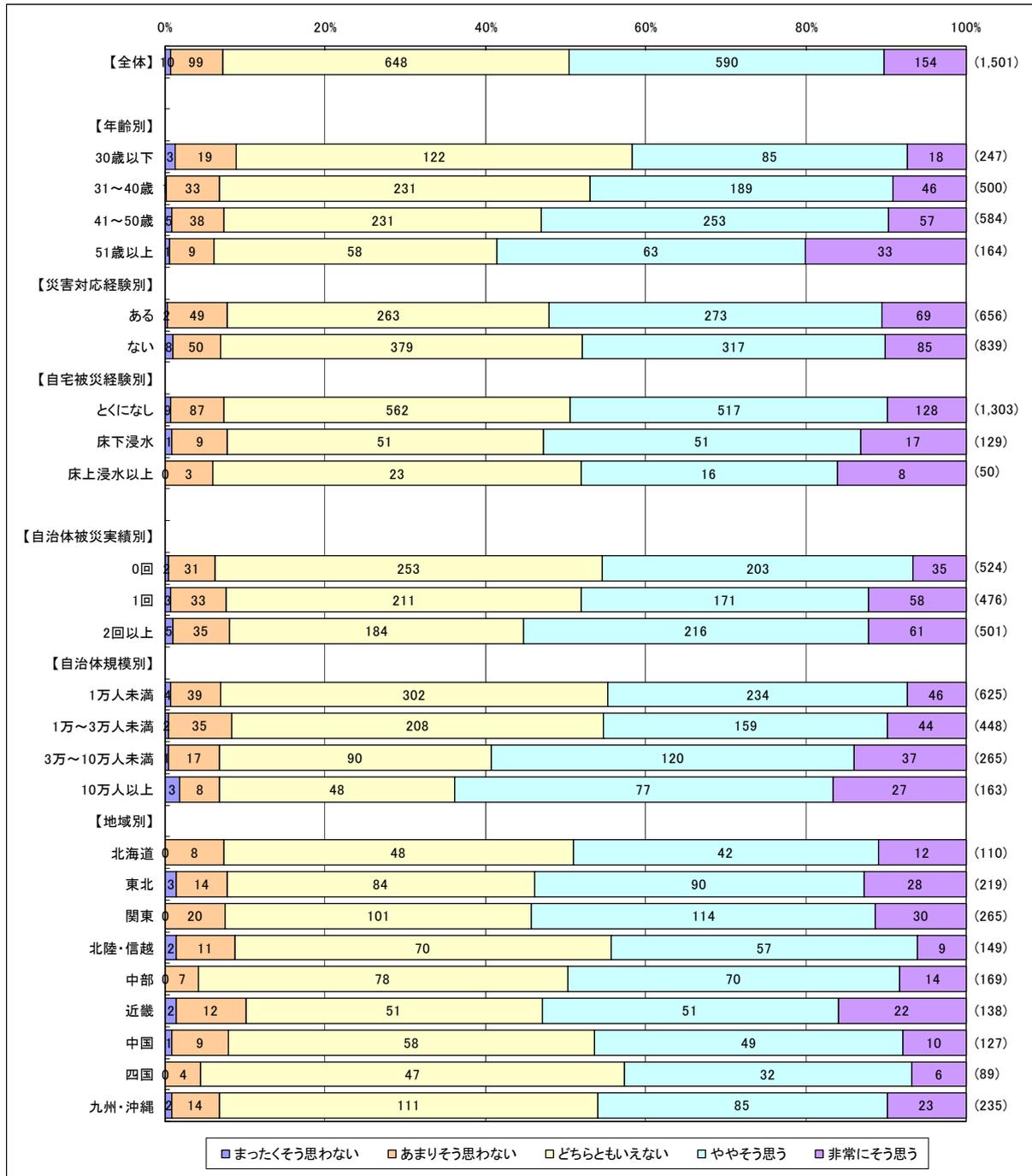
【設問項目】  
 防災対策を実施する時には、住民の声に耳を傾けることについては積極的に取り組んでいる



(15)国が示す地域間の連携体制の全体像

【設問項目】

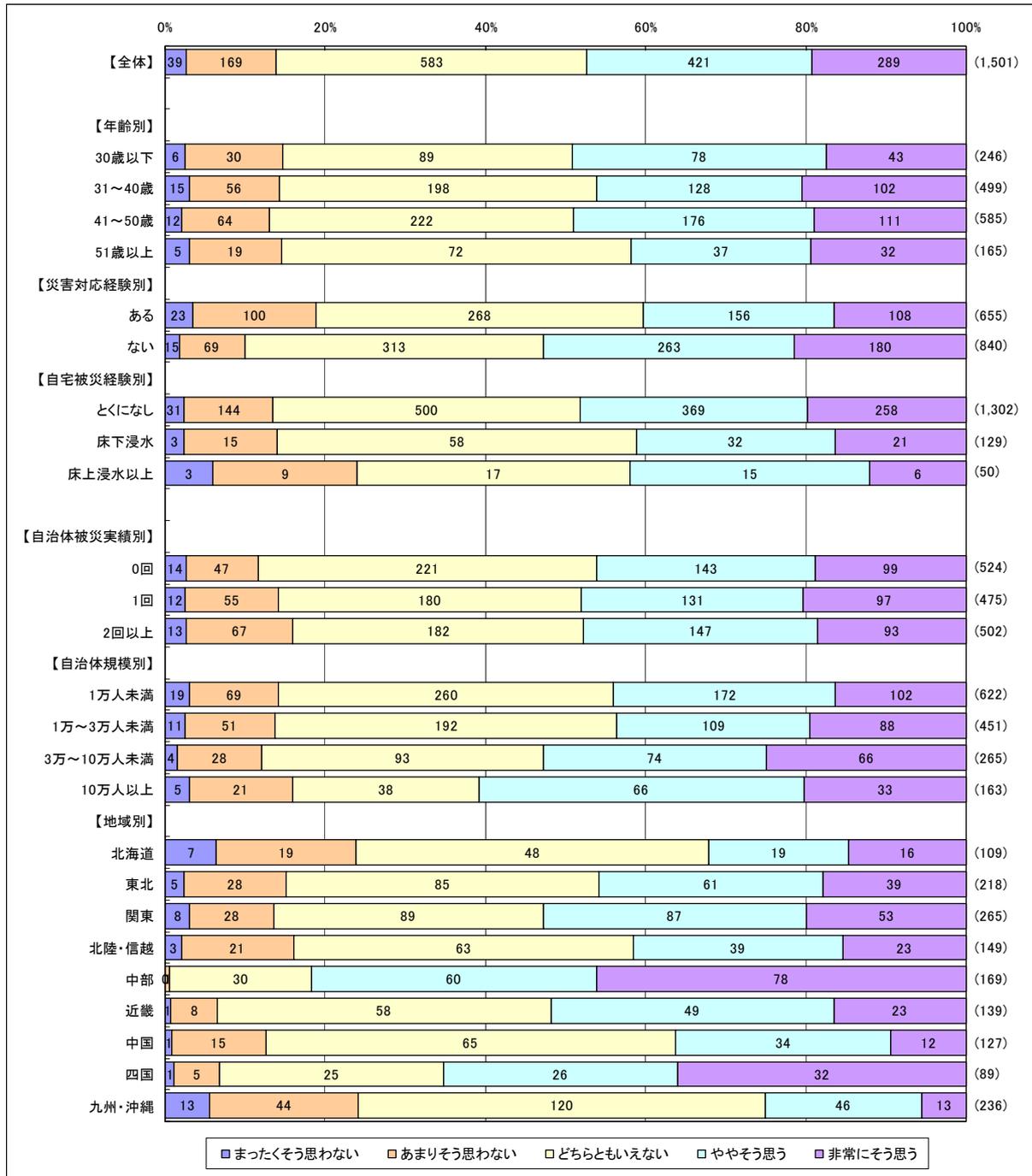
地域と地域が広域連携をとるにあたって、国は連携のあり方に関する全体像を示すべきだ



(16)洪水対策と地震対策の優先度

【設問項目】

現時点では、洪水対策よりも地震対策を優先させる方向にある



付録：調査票



## ◎ 洪水対策に関するアンケート調査 ◎

2003年2月

独立行政法人 防災科学技術研究所 総合防災研究部門  
 担当：「災害に強い社会システムに関する  
 実証的研究」プロジェクトチーム 照本、佐藤  
 電話：029-851-1611（内線7546）

### ご記入に際してのお願い

- ◆ ご記入いただきましたアンケート票は、同封の封筒に入れ、2月28日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。
- ◆ この調査についてのお問い合わせなどがありましたら、上記担当までご連絡ください。

はじめに、あなたの所属する自治体の現状についてお答えください。

問1. あなたの自治体の市区町村区分について、あてはまるもの1つに○印をつけてください。（○印は1つ）

1 市（区）                      2 町                      3 村

問2. あなたの自治体の河川環境について、お答えください。

（（1）～（4）のそれぞれに○印は1つずつ）

（1）あなたの自治体は、（水防事務組合、水害予防組合を含む）水防管理団体に指定されていますか。	1 はい	2 いいえ
（2）あなたの自治体には、洪水予報指定河川に該当する河川はありますか。	1 はい	2 いいえ
（3）あなたの自治体には、水防警報指定河川に該当する河川はありますか。	1 はい	2 いいえ
（4）あなたの自治体には、洪水被害の危険性のある区域はありますか。	1 はい	2 いいえ

問3. あなたの自治体にある1級河川、2級河川、準用河川の総延長距離と堤防整備率をご記入ください。

	総延長距離			堤防整備率
1級河川	約	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	km    000	1級河川はない
2級河川	約	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	km    000	2級河川はない
準用河川	約	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	km    000	準用河川はない

問4. あなたの自治体の過去50年以内における災害履歴について、（1）～（3）の各項目についてお答えください。また各項目について「ある」と回答された方は、内にその年（複数ある場合には一番最近の年）を西暦で記入してください。

	災害履歴	災害年（西暦）
（1）洪水災害を原因とする災害救助法や激甚災害の指定	1 ある —→ 2 ない .	<input style="width: 60px; height: 20px;" type="text"/> 年
（2）洪水に関する被害	1 ある —→ 2 ない .	<input style="width: 60px; height: 20px;" type="text"/> 年
（3）洪水被害警戒のための避難勧告や避難指示の発令	1 ある —→ 2 ない .	<input style="width: 60px; height: 20px;" type="text"/> 年

問5. 次の中から、あなたの自治体で現在実施している項目のすべてに○印をつけてください。

(○印はいくつでも)

1 住民に対する洪水を対象としたパンフ や冊子の配布	9 住民に対する河川整備に関する説明会
2 洪水ハザードマップの配布	10 住民参加型の河川整備に関する議論
3 洪水に関する被害想定の実施	11 河川整備に関するNPOや住民団体との 連携
4 洪水に関する被害想定の一斉公開	12 河川を利用した環境学習
5 浸水実績図の作成	13 河川整備計画と土地利用計画の連携
6 洪水監視カメラの設置	14 河川整備と下水道整備の連携
7 ITを利用した洪水情報収集システム	15 浸水危険区域の土地利用規制
8 自然環境に配慮した河川整備事業	16 その他(具体的に
	17 とくになし)

次に、あなたの自治体の河川行政上の課題についてお聞きします。あなた自身のお考えを率直にお答えください。

問6. あなたの自治体の河川整備や洪水対策に関連する全般的なことについて、以下の項目は現在、どの程度問題があると思いますか。(1)～(25)のそれぞれの項目について、「1まったく問題ではない」から「7非常に問題がある」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。

((1)～(25)のそれぞれについて○印は1つずつ)

	←-----→							問題がある
	問題ではない							
(1) 豪雨時における内水氾濫の危険性	1	2	3	4	5	6	7	
(2) 河川の水質の汚濁	1	2	3	4	5	6	7	
(3) 洪水被害軽減に対する住民の関心の低さ	1	2	3	4	5	6	7	
(4) 自治体組織内の河川整備に対する連携	1	2	3	4	5	6	7	
(5) 河川整備事業による河川周辺景観への影響	1	2	3	4	5	6	7	
(6) 山林開発にともなう洪水流出への影響	1	2	3	4	5	6	7	
(7) 住民の意見を反映させた河川整備の実施状況	1	2	3	4	5	6	7	
(8) 河川整備事業による河川周辺の遊び場の消失	1	2	3	4	5	6	7	
(9) 河川整備計画に対する住民の参画意欲	1	2	3	4	5	6	7	
(10) 化学物質の河川への流出	1	2	3	4	5	6	7	
(11) 都市・地域開発にともなう内水処理能力への影響	1	2	3	4	5	6	7	
(12) 河川整備計画に関する住民への情報の提供状況	1	2	3	4	5	6	7	
(13) 河川周辺のゴミの散乱	1	2	3	4	5	6	7	
(14) 河川環境の保全に対する住民の関心の度合い	1	2	3	4	5	6	7	
(15) 河川整備事業による周辺の生態系への影響	1	2	3	4	5	6	7	
(16) 豪雨時における外水氾濫の危険性	1	2	3	4	5	6	7	
(17) 河川流域の各自治体との連携	1	2	3	4	5	6	7	
(18) 河川整備事業による漁獲量の低下	1	2	3	4	5	6	7	
(19) 河川の現状に関連する十分なデータ量	1	2	3	4	5	6	7	
(20) 河川の悪臭	1	2	3	4	5	6	7	

	問題ではない まったく	←—————→						問題がある 非常に
(21) 住民の河川整備に対する関心の低さ	1	2	3	4	5	6	7	
(22) 河川整備事業による河川周辺の歴史的環境の消失	1	2	3	4	5	6	7	
(23) 治水整備に関する予算額の十分な確保	1	2	3	4	5	6	7	
(24) 河川整備に関する住民参加型の議論の実施状況	1	2	3	4	5	6	7	
(25) 河川整備に関する国や都道府県との連携	1	2	3	4	5	6	7	

あなたの自治体の河川行政に関する必要性についてお聞きします。あなた自身のお考えを率直にお答えください。

問7. あなたの自治体にとって、以下の項目を実施することは、全般的にみて、今後、どの程度必要だと思いますか。(1)～(20)のそれぞれの項目について、「1まったく必要ではない」から「7非常に必要である」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。( (1)～(20)のそれぞれについて○印は1つずつ)

	必要ではない まったく	←—————→						必要である 非常に
(1) 河川水質の改善	1	2	3	4	5	6	7	
(2) 洪水危険区域における貯留浸透機能の強化	1	2	3	4	5	6	7	
(3) 流域自治体間の連携強化	1	2	3	4	5	6	7	
(4) 河川整備計画策定への住民の参加	1	2	3	4	5	6	7	
(5) 下水処理水の浄化機能の強化	1	2	3	4	5	6	7	
(6) 河川整備計画と下水道整備の連携	1	2	3	4	5	6	7	
(7) 河川周辺の動植物に配慮した河川整備	1	2	3	4	5	6	7	
(8) 排水ポンプなどの内水処理施設の強化	1	2	3	4	5	6	7	
(9) 住民の環境意識を高めていくこと	1	2	3	4	5	6	7	
(10) 河川流域を対象としたNPOや住民団体の育成	1	2	3	4	5	6	7	
(11) 保水能力を維持するための山林の保全	1	2	3	4	5	6	7	
(12) 河川のリクリエーション機能の充実	1	2	3	4	5	6	7	
(13) 治水を目的とした堤防の整備	1	2	3	4	5	6	7	
(14) 下水処理水の有効利用	1	2	3	4	5	6	7	
(15) 洪水対策に対応した下水道の整備	1	2	3	4	5	6	7	
(16) 住民の洪水対策意識を高めていくこと	1	2	3	4	5	6	7	
(17) 地域の景観と調和した河川整備	1	2	3	4	5	6	7	
(18) 河川整備計画と土地利用計画の連携	1	2	3	4	5	6	7	
(19) 河川整備に関する国や都道府県との連携強化	1	2	3	4	5	6	7	
(20) 河川整備についてトータルな視点から考えることのできる住民の育成	1	2	3	4	5	6	7	

あなたの自治体における洪水対策や河川整備に関すること全般についてお聞きします。

問 8. 以下の項目について、7段階のスケールで分けた場合にあなた自身の考えとして最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。( (1) ~ (21) のそれぞれについて○印は1つずつ)

(1) あなたの自治体内の治水施設は、あなたの考える必要量と比較して、どの程度整備されていると思いますか。

まったく 整備されていない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 整備されている
------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------------

(2) 堤防などの構造物に頼らないソフト的な洪水対策は、今後、どの程度重要だと思いますか。

まったく 重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 重要である
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(3) 河川整備において景観面を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。

まったく 重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 重要である
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(4) あなたの自治体では、内水氾濫による被害の危険性はどの程度あると思いますか。

まったく 危険性はない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 危険性はある
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---------------

(5) 洪水対策のために行政組織内の危機管理体制を強化することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。

まったく 重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 重要である
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(6) あなたの自治体では、治水対策にかけている費用に対して、どの程度費用にみあった被害軽減効果があると思いますか。

まったく 費用にみあった効果はない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 費用にみあった効果がある
----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---------------------

(7) 住民は、全体的にみて、行政が洪水対策を推進していくことをどの程度望んでいると思いますか。

まったく 望んでいない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 望んでいる
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(8) あなたの自治体は、洪水被害の起こりやすい地域だと思いますか。

まったく 起こらない地域だ	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 起こりやすい地域だ
------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------------------

(9) 洪水対策のために平常時から住民の洪水に対する意識を啓蒙することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。

まったく 重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 重要である
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(10) 河川整備において生態系への影響を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。

まったく 重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に 重要である
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(11) 洪水対策について考えるとき、堤防やダムなどの治水施設の建設と比べて、治水施設に頼らない緊急対応などのソフト的な洪水対策はどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(12) 治水対策を考えるとき、ある程度の洪水被害の危険性なら許容してもよいと思いますか。

まったく許容すべきでない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に許容してもよい
--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------------

(13) 現在のあなたの自治体の治水対策にかけている費用と比べて、今後、どの程度費用をかけていくべきだと思いますか。

非常に費用を減らすべき	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に費用をかけるべき
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------------

(14) あなたの自治体では、堤防の破堤による洪水被害の危険性はどの程度あると思いますか。

まったく危険性はない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に危険性はある
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------

(15) 河川整備において親水性を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(16) 豪雨時の危険性に関する情報の収集・伝達に必要な設備を整備することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(17) 治水整備に関連する事業を考えるとき、事業に関連する地元への経済効果について、どの程度考慮すべきだと思いますか。

まったく考慮すべきではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に考慮すべきである
---------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------------

(18) 河川整備において環境面を考慮することは、治水対策と比較してどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(19) 治水施設の整備を推進していくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(20) ハード対策・ソフト対策全般に、様々な洪水対策に力を注いでいくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(21) 住民は、全体的にみて、「洪水による被害をある程度までなら許容してもよいと思っている」と思いますか。

住民は「まったく許容すべきでない」と思っている	←	1	2	3	4	5	6	7	→	住民は「非常に許容してもよい」と思っている
-------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------------------

行政機関の対策に関する必要性についてお聞きします。あなた自身のお考えを率直にお答えください。

問9. 以下の項目に関する対策は、行政機関としてどの程度実施していく必要があると思いますか。  
 (1)～(8)のそれぞれの項目について、「1まったく必要ではない」から「7非常に必要である」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。( (1)～(8)のそれぞれについて○印は1つずつ)

	1	2	3	4	5	6	7
(1) 被災時に、国や自治体などの公的機関が被災者に対して被害の補償のために税金を投入すること							
(2) 洪水に対する危険性を減らすために、浸水危険区域にある建物に対して、建築の構造(耐水壁、土盛り、高床式建物等)や用途を規制すること							
(3) 「自分の生命・財産は自分で守る」という、住民の自己責任意識を向上させること							
(4) 浸水危険区域内の不動産取引において、土地や建物の売り手(貸し手)が買い手(借り手)に対して、浸水の危険性のある土地であるという情報を提供しなければならないことを義務づけること							
(5) これまでに浸水被害を受けたことのある区域や将来浸水するおそれのある区域をハザードマップなどのかたちで公表していくこと							
(6) 基礎自治体における河川整備全般に対する権限を拡充していくこと							
(7) 河川整備計画に関して、住民が計画策定に参加し、住民主導型で計画を策定していくこと							
(8) 洪水対策について、住民と行政と専門家が協働で考えていくことを可能にするような計画策定支援に関するインターフェース機能を整備すること							

問10. 上記の質問項目に関連して、ご意見などありましたら自由にお書きください。



# ◎ 洪水対策に関するアンケート調査 ◎

2003年2月

独立行政法人 防災科学技術研究所 総合防災研究部門  
 担当：「災害に強い社会システムに関する  
 実証的研究」プロジェクトチーム 照本、佐藤  
 電話：029-851-1611（内線7546）

## ご記入に際してのお願い

- ◆ ご記入いただきましたアンケート票は、同封の封筒に入れ、2月28日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。
- ◆ この調査についてのお問い合わせなどがありましたら、上記担当までご連絡ください。

はじめに、あなたの所属する自治体の現状についてお答えください。

問1. あなたの自治体の市区町村区分について、あてはまるもの1つに○印をつけてください。（○印は1つ）

1 市（区）                      2 町                      3 村

問2. あなたの自治体の河川環境について、お答えください。

（（1）～（4）のそれぞれに○印は1つずつ）

（1） あなたの自治体は、（水防事務組合、水害予防組合を含む）水防管理団体に指定されていますか。	1 はい	2 いいえ
（2） あなたの自治体には、洪水予報指定河川に該当する河川はありますか。	1 はい	2 いいえ
（3） あなたの自治体には、水防警報指定河川に該当する河川はありますか。	1 はい	2 いいえ
（4） あなたの自治体には、洪水被害の危険性のある区域はありますか。	1 はい	2 いいえ

問3. 自然災害の危機管理担当部署において、平常時から危機管理に関する業務にあたる専任の職員の人数についてお答えください。

⑬		⑭	.	⑮
---	--	---	---	---

※危機管理と他の役職を兼務しているような場合は、0.5人等と換算してお答えください。

問4. 危機管理担当職の平均の移動（交替）年数について、最もあてはまるもの1つに○印をつけてください。（○印は1つ）

1 2年未満	4 4～5年未満	7 10年以上
2 2～3年未満	5 5～7年未満	
3 3～4年未満	6 7～10年未満	

問5. あなたが危機管理担当職についた総年数について、あてはまるもの1つに○印をつけてください。（○印は1つ）

1 2年未満	4 4～5年未満	7 10年以上
2 2～3年未満	5 5～7年未満	
3 3～4年未満	6 7～10年未満	

問6. あなたの自治体の過去50年以内における災害履歴について、(1)～(3)の各項目についてお答えください。また各項目について「ある」と回答された方は、内にその年(複数ある場合には一番最近の年)を西暦で記入してください。

	災害履歴	災害年(西暦)
(1) 洪水災害を原因とする災害救助法や激甚災害の指定	1 ある — 2 ない .	<input type="text"/> 年
(2) 洪水に関する被害	1 ある — 2 ない .	<input type="text"/> 年
(3) 洪水被害警戒のための避難勧告や避難指示の発令	1 ある — 2 ない .	<input type="text"/> 年

問7. (1) 次の中から、あなたの自治体で現在実施している項目のすべてに○印をつけてください。  
(○印はいくつでも)

1 住民に対する洪水を対象としたパンフや冊子の配布	12 洪水被害を対象にした地域防災計画の作成
2 住民に対する防災講習会	13 洪水を対象にした緊急時の行動マニュアルの作成
3 住民を対象とした洪水に関する避難訓練	14 避難勧告・避難指示を出す判断基準の明文化
4 洪水ハザードマップの配布	15 防災同報無線の設置
5 洪水に関する被害想定の実施	16 住民に対する洪水対策のための無線機の配布
6 洪水に関する被害想定的一般公開	17 洪水監視カメラの設置
7 浸水実績図の作成	18 ITを利用した洪水情報収集システム
8 緊急時に関する近隣自治体との相互協定	19 浸水危険区域の土地利用規制
9 水防関連組織間で行う危機管理を目的とした演習	20 とくになし
10 行政職員内で行う防災訓練	
11 職員の危機管理の研修	

問7. (2) その他にも、洪水対策として実施している項目がありましたらお書きください。



問 10. その他にも、洪水災害に関する危機管理の課題と思われることについて、ご意見などありましたら自由にお書きください。

洪水被害を軽減するための対策効果について、あなた自身のお考えをお聞きします。

問 11. あなたの自治体にとって、以下の項目を実施することは、洪水被害の軽減に対してどの程度効果があると思いますか。(1)～(12)のそれぞれの項目について、「1まったく効果はない」から「7非常に効果がある」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。

((1)～(12)のそれぞれについて○印は1つずつ)

	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">効果はない まったく</div> <div style="text-align: center; margin-right: 5px;">←————→</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-left: 5px;">非常に 効果がある</div> </div>						
	1	2	3	4	5	6	7
(1) 住民を対象とした避難訓練の実施	1	2	3	4	5	6	7
(2) 洪水被害想定などによって洪水危険区域を把握しておくこと	1	2	3	4	5	6	7
(3) 住民に対する避難勧告等の情報伝達設備の整備	1	2	3	4	5	6	7
(4) 水防関連組織間で行う防災訓練	1	2	3	4	5	6	7
(5) 住民に対する洪水予防に関する資料の配布	1	2	3	4	5	6	7
(6) 災害弱者の所在を把握しておくこと	1	2	3	4	5	6	7
(7) 水防活動のための資機材の準備	1	2	3	4	5	6	7
(8) 危機管理担当職員の研修や訓練	1	2	3	4	5	6	7
(9) 住民を対象とした洪水防備に関する講習会	1	2	3	4	5	6	7
(10) 指揮命令系統や避難勧告等の行動基準をマニュアルにして明確にしておくこと	1	2	3	4	5	6	7
(11) 雨量や河川水位の観測情報収集設備の整備	1	2	3	4	5	6	7
(12) 自主防災組織などの住民組織の育成	1	2	3	4	5	6	7



あなたの自治体における洪水対策や河川整備に関すること全般についてお聞きします。

問 14. 以下の項目について、7段階のスケールで分けた場合にあなた自身の考えとして最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。(1)～(21)のそれぞれについて○印は1つずつ)

(1) あなたの自治体内の治水施設は、あなたの考える必要量と比較して、どの程度整備されていると思いますか。

まったく整備されていない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に整備されている
--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------------

(2) 堤防などの構造物に頼らないソフト的な洪水対策は、今後、どの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(3) 河川整備において景観面を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(4) あなたの自治体では、内水氾濫による被害の危険性はどの程度あると思いますか。

まったく危険性はない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に危険性はある
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------

(5) 洪水対策のために行政組織内の危機管理体制を強化することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(6) あなたの自治体では、治水対策にかけている費用に対して、どの程度費用にみあった被害軽減効果があると思いますか。

まったく費用にみあった効果はない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に費用にみあった効果がある
------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------------

(7) 住民は、全体的にみて、行政が洪水対策を推進していくことをどの程度望んでいると思いますか。

まったく望んでいない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に望んでいる
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(8) あなたの自治体は、洪水被害の起こりやすい地域だと思いますか。

まったく起こらない地域だ	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に起こりやすい地域だ
--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(9) 洪水対策のために平常時から住民の洪水に対する意識を啓蒙することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(10) 河川整備において生態系への影響を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(11) 洪水対策について考えるとき、堤防やダムなどの治水施設の建設と比べて、治水施設に頼らない緊急対応などのソフト的な洪水対策はどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(12) 治水対策を考えるとき、ある程度の洪水被害の危険性なら許容してもよいと思いますか。

まったく許容すべきでない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に許容してもよい
--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------------

(13) 現在のあなたの自治体の治水対策にかけている費用と比べて、今後、どの程度費用をかけていくべきだと思いますか。

非常に費用を減らすべき	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に費用をかけるべき
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------------

(14) あなたの自治体では、堤防の破堤による洪水被害の危険性はどの程度あると思いますか。

まったく危険性はない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に危険性はある
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------

(15) 河川整備において親水性を考慮することは、河川整備全般の中でどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(16) 豪雨時の危険性に関する情報の収集・伝達に必要な設備を整備することは、あなたの自治体にとってどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(17) 治水整備に関連する事業を考えるとき、事業に関連する地元への経済効果について、どの程度考慮すべきだと思いますか。

まったく考慮するべきではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に考慮するべきである
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

(18) 河川整備において環境面を考慮することは、治水対策と比較してどの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(19) 治水施設の整備を推進していくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(20) ハード対策・ソフト対策全般に、様々な洪水対策に力を注いでいくことは、あなたの自治体にとって今後、どの程度重要だと思いますか。

まったく重要ではない	←	1	2	3	4	5	6	7	→	非常に重要である
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

(21) 住民は、全体的にみて、「洪水による被害をある程度までなら許容してもよいと思っている」と思いますか。

住民は「まったく許容すべきでない」と思っている	←	1	2	3	4	5	6	7	→	住民は「非常に許容してもよい」と思っている
-------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------------------

行政機関の対策に関する必要性についてお聞きします。あなた自身のお考えを率直にお答えください。

問 15. 以下の項目に関する対策は、行政機関としてどの程度実施していく必要があると思いますか。

(1)～(8)のそれぞれの項目について、「1まったく必要ではない」から「7非常に必要である」までの7段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。( (1)～(8)のそれぞれについて○印は1つずつ)

	まったく必要ではない	←—————→					非常に必要である
	1	2	3	4	5	6	7
(1) 被災時に、国や自治体などの公的機関が被災者に対して被害の補償のために税金を投入すること	1	2	3	4	5	6	7
(2) 洪水に対する危険性を減らすために、浸水危険区域にある建物に対して、建築の構造(耐水壁、土盛り、高床式建物等)や用途を規制すること	1	2	3	4	5	6	7
(3) 「自分の生命・財産は自分で守る」という、住民の自己責任意識を向上させること	1	2	3	4	5	6	7
(4) 浸水危険区域内の不動産取引において、土地や建物の売り手(貸し手)が買い手(借り手)に対して、浸水の危険性のある土地であるという情報を提供しなければならないことを義務づけること	1	2	3	4	5	6	7
(5) これまでに浸水被害を受けたことのある区域や将来浸水するおそれのある区域をハザードマップなどのかたちで公表していくこと	1	2	3	4	5	6	7
(6) 基礎自治体における河川整備全般に対する権限を拡充していくこと	1	2	3	4	5	6	7
(7) 河川整備計画に関して、住民が計画策定に参加し、住民主導型で計画を策定していくこと	1	2	3	4	5	6	7
(8) 洪水対策について、住民と行政と専門家が協働で考えていくことを可能にするような計画策定支援に関するインターフェース機能を整備すること	1	2	3	4	5	6	7

問 16. 上記の質問項目に関連して、ご意見などありましたら自由にお書きください。

危機管理対策における所属組織の措置、他組織との連携体制、住民の防災対策についてお聞きします。

問 17. 以下の項目についてどのように思われますか。(1)～(16)のそれぞれの項目について、「1まったくそう思わない」から「5非常にそう思う」までの5段階のスケールで分けた場合に最もあてはまると思う数字を1つずつ選び、○印をつけてください。

((1)～(16)のそれぞれについて○印は1つずつ)

	ま っ た く そ う 思 わ な い	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
(1) 危機管理上、一部地域を洪水等から守るために、公的資金で堤防等を築くことは公平な措置だ	1	2	3	4	5
(2) 緊急時、行政側が自力避難の困難な高齢者、障害者を優先的に保護することは、危機管理上公平な措置だ	1	2	3	4	5
(3) 広域に被害が及ぶ災害時において、相互応援協定は効果を発揮する	1	2	3	4	5
(4) 災害時において、企業側の支援を得られる体制は十分に確立されている	1	2	3	4	5
(5) 災害時に他機関との連携がうまくいくように、連携体制の確認を頻繁に実施している	1	2	3	4	5
(6) 緊急時の支援を約束している地域との被害想定のみすり合わせは、十分にできている	1	2	3	4	5
(7) 我が組織の危機管理体制は、地域の安全を守るうえで満足できるレベルに達している	1	2	3	4	5
(8) 地域住民のほとんどが、防災対策を実施している	1	2	3	4	5
(9) もし、防災政策について住民と話し合うならば住民は誠実に対応してくれる	1	2	3	4	5
(10) 平常時の防災活動から緊急時の支援活動に至るまでNPOの活動に期待する部分は大きい	1	2	3	4	5
(11) 災害による被害を軽減するには、住民の自己責任に基づく事前対策が不可欠である	1	2	3	4	5
(12) 地域住民は、堤防及び治水ダム建設を望んでいる	1	2	3	4	5
(13) 地域防災に関わる政策的決定を下す際には、事前に住民への説明を十分におこなうようにしている	1	2	3	4	5
(14) 防災対策を実施する時には、住民の声に耳を傾けることについては積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
(15) 地域と地域が広域連携をとるにあたって、国は連携のあり方に関する全体像を示すべきだ	1	2	3	4	5
(16) 現時点では、洪水対策よりも地震対策を優先させる方向にある	1	2	3	4	5

(裏面もお忘れなく)



## 謝辞

本調査を実施するにあたり、多くの地方自治体行政職員の方々にご協力いただきました。  
記して深謝いたします。